

## 第4章 自然科学分析

### 第1節 沢部(2)遺跡における放射性炭素年代(AMS測定)

併加速器分析研究所

#### 1. 測定対象試料

沢部(2)遺跡は、青森県弘前市大字小栗山字沢部地内(北緯40° 33′ 25.8″、東経140° 28′ 35.5″)に所在し、大和沢川右岸の扇状地(標高約120m)に立地する。測定対象試料は、住居跡や土坑等から出土した炭化物9点である(表1)。

試料15SAWABE-1~3、6、7は縄文時代中期末~後期初頭、15SAWABE-4、5は古代、15SAWABE-9は縄文時代前期中葉もしくは中期末~後期初頭と推定され、15SAWABE-8は時期不明である。

#### 2. 測定の意義

試料が出土した遺構の実年代を明らかにする。

#### 3. 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除き、必要量の試料を採取、乾燥させ、秤量する(付表「処理前試料量」)。
- (2) 酸-アルカリ-酸(AAA: Acid Alkali Acid)処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させ、秤量する(付表「処理後試料量」)。AAA処理における酸処理では、通常1mol/l(1M)の塩酸(HCl)を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム(NaOH)水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。
- (3) 必要量を採取、秤量(付表「燃焼量」)した試料を燃焼させ、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製、定量する。この二酸化炭素中の炭素相当量を算出する(付表「精製炭素量」)。
- (5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト(C)を生成させる。
- (6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

#### 4. 測定方法

加速器をベースとした<sup>14</sup>C-AMS専用装置(NEC社製)を使用し、<sup>14</sup>Cの計数、<sup>13</sup>C濃度(<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C)、<sup>14</sup>C濃度(<sup>14</sup>C/<sup>12</sup>C)の測定を行う。測定では、米国国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HOx II)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。測定回数と<sup>14</sup>Cカウント数を付表に示す。

## 5. 算出方法

- (1)  $\delta^{13}\text{C}$  は、試料炭素の $^{13}\text{C}$  濃度 ( $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ )を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表した値である(表1)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。 $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比は付表に記載する。
- (2)  $^{14}\text{C}$ 年代(Libby Age : yrBP)は、過去の大気中 $^{14}\text{C}$ 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年(0yrBP)として測る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。 $^{14}\text{C}$ 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。 $^{14}\text{C}$ 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 $^{14}\text{C}$ 年代の誤差( $\pm 1\sigma$ )は、試料の $^{14}\text{C}$ 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) pMC (percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の $^{14}\text{C}$ 濃度の割合である。pMCが小さい( $^{14}\text{C}$ が少ない)ほど古い年代を示し、pMCが100以上( $^{14}\text{C}$ の量が標準現代炭素と同等以上)の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の $^{14}\text{C}$ 濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の $^{14}\text{C}$ 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差( $1\sigma = 68.2\%$ )あるいは2標準偏差( $2\sigma = 95.4\%$ )で表示される。グラフの縦軸が $^{14}\text{C}$ 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない $^{14}\text{C}$ 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース(Reimer et al. 2013)を用い、OxCalv4.2較正プログラム(Bronk Ramsey 2009)を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」)という単位で表される。

## 6. 測定結果

試料の測定結果を表1、2及び付表に示す。

縄文時代中期末～後期初頭と推定される試料(15SAWABE-1~3、6、7)、および前期中葉もしくは中期末～後期初頭と推定される試料(15SAWABE-9)の $^{14}\text{C}$ 年代は、15SAWABE-1、7を除く4点が $4110 \pm 20$ yrBP(15SAWABE-3)から $3940 \pm 30$ yrBP(15SAWABE-2)の間にまとまる。暦年較正年代( $1\sigma$ )は、最も古い15SAWABE-3が縄文時代中期中葉から後葉頃、他の3点(15SAWABE-2、6、9)が中期末から後期初頭頃に相当する(小林編2008)。15SAWABE-1の $^{14}\text{C}$ 年代は $2830 \pm 20$ yrBP、暦年較正年代( $1\sigma$ )は縄文時代晩期中葉頃に相当する(小林編2008)。15SAWABE-7の $^{14}\text{C}$ 年代は $970 \pm 20$ yrBP、暦年較正年代( $1\sigma$ )は1021~1147cal ADの間に3つの範囲で示される。推定される年代に対して、15SAWABE-2、3、6、9は整合的な値を示したが、15SAWABE-1、7は新しい値となった。

古代と推定される試料(15SAWABE-4,5)の<sup>14</sup>C年代は、15SAWABE-4が $650 \pm 20$ yrBP、15SAWABE-5が $1200 \pm 20$ yrBPである。暦年較正年代(1 $\sigma$ )は、15SAWABE-4が1291~1385cal ADの間に2つの範囲、15SAWABE-5が789~870cal ADの範囲で示される。推定される年代に対して、15SAWABE-5は整合的であるが、15SAWABE-4は中世に相当する新しい値を示した(佐原2005)。

時期不明の試料15SAWABE-8の<sup>14</sup>C年代は $90 \pm 20$ yrBP、暦年較正年代(1 $\sigma$ )は1697~1917cal ADの間に3つの範囲で示される。なお、この試料の較正年代については、記載された値よりも新しい可能性がある点に注意を要する(表2、付表下の警告参照)。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

## 文献

- Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360
- 小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, アム・プロモーション
- Reimer, P. J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 55(4), 1869-1887
- 佐原眞 2005 日本考古学・日本歴史学の時代区分, 佐原眞, ウェルナー・シュタインハウス監修, 独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所編集, ドイツ展記念概説 日本の考古学 上巻, 学生社, 14-19
- Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of <sup>14</sup>C data, Radiocarbon 19(3), 355-363

表1 放射性炭素年代測定結果( $\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age(yrBP)	pMC(%)
IAAA-152282	15SAWABE-1	SI21 炉周辺 C-4	炭化物(クルミ)	AAA	-29.55 $\pm$ 0.19	2,830 $\pm$ 20	70.28 $\pm$ 0.20
IAAA-152283	15SAWABE-2	SI32 床面直上	炭化物	AAA	-27.19 $\pm$ 0.20	3,940 $\pm$ 30	61.25 $\pm$ 0.19
IAAA-152284	15SAWABE-3	SI65 6層	炭化物	AAA	-26.55 $\pm$ 0.21	4,110 $\pm$ 20	59.98 $\pm$ 0.18
IAAA-152285	15SAWABE-4	SK1 1層	炭化物	AAA	-28.79 $\pm$ 0.23	650 $\pm$ 20	92.22 $\pm$ 0.23
IAAA-152286	15SAWABE-5	SK8 炭化物層	炭化物	AAA	-28.11 $\pm$ 0.20	1,200 $\pm$ 20	86.16 $\pm$ 0.23
IAAA-152287	15SAWABE-6	SB1 pit3(SK11) 柱底	炭化物	AAA	-25.32 $\pm$ 0.20	3,960 $\pm$ 20	61.06 $\pm$ 0.18
IAAA-152288	15SAWABE-7	SK14 2層下部	炭化物	AAA	-28.29 $\pm$ 0.27	970 $\pm$ 20	88.58 $\pm$ 0.23
IAAA-152289	15SAWABE-8	SK29 覆土	炭化物	AAA	-27.46 $\pm$ 0.17	90 $\pm$ 20	98.84 $\pm$ 0.24
IAAA-152290	15SAWABE-9	SK77 底面5cm上	炭化物	AAA	-27.79 $\pm$ 0.22	3,940 $\pm$ 20	61.27 $\pm$ 0.19

[#7719]

表2 放射性炭素年代測定結果( $\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用<sup>14</sup>C年代、較正年代)(1)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 $\sigma$ 暦年代範囲	2 $\sigma$ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
IAAA-152282	2,910 $\pm$ 20	69.63 $\pm$ 0.19	2,832 $\pm$ 22	1013calBC - 971calBC (45.5%) 960calBC - 936calBC (22.7%)	1048calBC - 921calBC (95.4%)
IAAA-152283	3,970 $\pm$ 20	60.98 $\pm$ 0.19	3,937 $\pm$ 25	2479calBC - 2437calBC (38.0%) 2421calBC - 2404calBC (11.4%) 2379calBC - 2349calBC (18.8%)	2560calBC - 2536calBC (4.3%) 2492calBC - 2342calBC (91.1%)

測定番号	δ <sup>13</sup> C補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-152284	4,130 ± 20	59.79 ± 0.18	4,105 ± 24	2840calBC - 2814calBC (16.2%) 2678calBC - 2617calBC (37.7%) 2611calBC - 2581calBC (14.3%)	2860calBC - 2809calBC (23.5%) 2753calBC - 2721calBC (9.0%) 2702calBC - 2577calBC (62.9%)
IAAA-152285	710 ± 20	91.50 ± 0.23	650 ± 20	1291calAD - 1307calAD (27.1%) 1363calAD - 1385calAD (41.1%)	1284calAD - 1318calAD (41.9%) 1352calAD - 1390calAD (53.5%)
IAAA-152286	1,250 ± 20	85.61 ± 0.23	1,196 ± 21	789calAD - 870calAD (68.2%)	770calAD - 890calAD (95.4%)
IAAA-152287	3,970 ± 20	61.02 ± 0.17	3,962 ± 23	2559calBC - 2536calBC (21.7%) 2491calBC - 2463calBC (46.5%)	2570calBC - 2516calBC (34.6%) 2501calBC - 2453calBC (56.4%) 2419calBC - 2407calBC (1.6%) 2376calBC - 2351calBC (2.7%)
IAAA-152288	1,030 ± 20	87.98 ± 0.22	974 ± 20	1021calAD - 1045calAD (39.5%) 1096calAD - 1120calAD (25.0%) 1142calAD - 1147calAD (3.7%)	1017calAD - 1052calAD (47.2%) 1082calAD - 1152calAD (48.2%)
IAAA-152289	130 ± 20	98.34 ± 0.24	93 ± 19	1697calAD - 1725calAD (22.7%) 1815calAD - 1835calAD (16.2%)* 1877calAD - 1917calAD (29.3%)*	1692calAD - 1729calAD (26.5%)* 1811calAD - 1920calAD (68.9%)*
IAAA-152290	3,990 ± 20	60.91 ± 0.18	3,935 ± 24	2476calBC - 2437calBC (36.6%) 2421calBC - 2404calBC (11.9%) 2379calBC - 2349calBC (19.7%)	2559calBC - 2536calBC (2.9%) 2491calBC - 2340calBC (92.5%)

[参考値]

\* Warning! Date probably out of range

(この警告は較正プログラムOxCalが与えるもので、試料の<sup>14</sup>C年代に対応する較正年代が、当該暦年較正曲線で較正可能な範囲を超える新しい年代となる可能性があることを表す。)

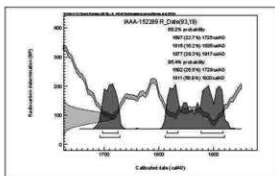
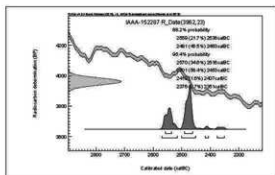
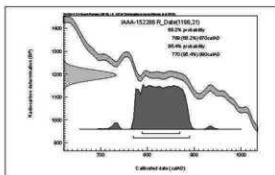
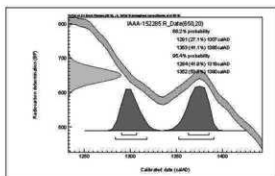
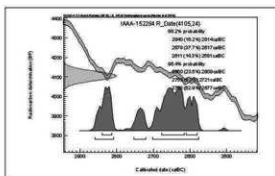
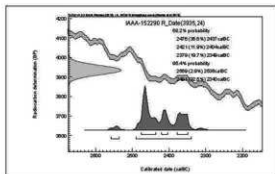
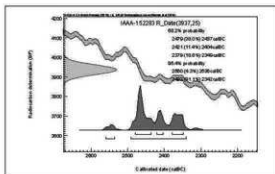
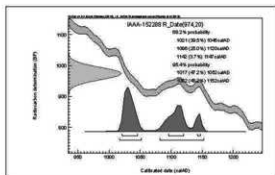
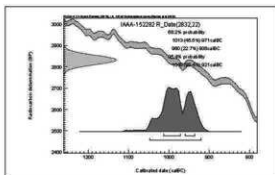
付表

試料名	測定機関 番号	採取場所	試料 形態	前処理 方法	処理前 試料量 (mg)	処理後 試料量 (mg)	燃焼量 (mg)	精製 炭素量 (mg)	測定 回数	<sup>14</sup> Cカウント 数	<sup>13</sup> C/ <sup>12</sup> C 比(‰)
15SAWABE-1	IAAA-152282	SI21 伊周辺 C-4	炭化物 (クルミ)	AAA	36.63	21.49	4.58	3.24	16	144507	1.0983
15SAWABE-2	IAAA-152283	SI32 床面直上	炭化物	AAA	34.01	1.47	1.47	0.94	16	115800	1.1010
15SAWABE-3	IAAA-152284	SI65 6層	炭化物	AAA	24.12	6.34	4.53	3.12	16	123419	1.1017
15SAWABE-4	IAAA-152285	SK1 1層	炭化物	AAA	34.62	26.72	4.66	3.34	17	185415	1.0992
15SAWABE-5	IAAA-152286	SK8 炭化物層	炭化物	AAA	36.47	10.66	4.63	2.92	16	162991	1.0999
15SAWABE-6	IAAA-152287	SB1pit3(旧SK11) 柱痕	炭化物	AAA	39.09	22.63	4.69	3.18	17	139880	1.1030
15SAWABE-7	IAAA-152288	SK14 2層下部	炭化物	AAA	43.36	32.26	4.73	3.31	16	178328	1.0997
15SAWABE-8	IAAA-152289	SK29 覆土	炭化物	AAA	44.17	33.43	4.68	3.50	16	197206	1.1007
15SAWABE-9	IAAA-152290	SK77 底面5cm上	炭化物	AAA	20.44	10.08	4.59	3.09	17	123224	1.1003

\* Warning! Date probably out of range

(この警告は較正プログラムOxCalが与えるもので、試料の<sup>14</sup>C年代に対応する較正年代が、当該暦年較正曲線で較正可能な範囲を超える新しい年代となる可能性があることを表す。)





[参考] 暦年較正年代グラフ

## 第2節 沢部(2)遺跡出土黒曜石製石器の産地推定

株式会社パレオ・ラボ

### 1. はじめに

弘前市大字小栗山字沢部地内に所在する沢部(2)遺跡からは、主に縄文時代前期中葉～後葉(円筒下層 a～c式)と同中期末葉(大木10式併行)の遺物が出土している。ここでは、遺跡より出土した黒曜石製石器について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行い、産地を推定した。

### 2. 試料と方法

分析対象は、36点の黒曜石製石器である(表1)。36点のうち、21点は縄文時代前期中葉、2点は縄文時代中期末葉とみられている。

試料は、測定前にメラミンフォーム製スポンジを用いて、測定面の表面の洗浄を行った。

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。

装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウム(Rh)、X線検出器はSDD検出器である。測定条件は、測定時間100sec、照射径8mm、電圧50kV、電流1000μA、試料室内雰囲気は真空に設定し、一次フィルタにPb測定用を用いた。

黒曜石の産地推定には、蛍光X線分析によるX線強度を用いた黒曜石産地推定法である判別図法を用いた(望月, 1999など)。本方法では、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム(K)、マンガン(Mn)、鉄(Fe)、ルビジウム(Rb)、ストロンチウム(Sr)、イットリウム(Y)、ジルコニウム(Zr)の合計7元素のX線強度(cps; count per second)につ

表1 分析対象となる黒曜石製石器の一覧

試料番号	出土遺構 グリッド	層位	器種	図面 番号	重量 (g)	時期
X1	S122 E-Fac	3層	二次加工割片		1.1	縄文時代前期中葉
X2	S132	礫土下層	石礫未成品	85-5	1.3	縄文時代中期末葉
X3	S136	上層	割片		1.6	縄文時代中期末葉
X4	S147	上層	割片		0.9	縄文時代前期中葉
X5	SK44	礫土	割片		0.5	縄文時代前期中葉以降
X6	SP772	礫土	割片		10.9	
X7	検体(Ⅷ K77)	II b層	割片		6.6	縄文時代前期中葉
X8	検体(Ⅷ K78)	I層	石礫	200-5	6.9	縄文時代前期中葉
X9	検体(Ⅷ L77)	II a層	割片		1.5	縄文時代前期中葉
X10	Ⅷ D68	Ⅷ層	割片		4.6	
X11	Ⅷ E74	Ⅷ層	割片		3.8	
X12	Ⅷ F74	IV層	割片		13.4	
X13	Ⅷ F76	I～II層	割片		1.5	
X14	Ⅷ G69	Ⅷ層	割片		0.6	
X15	検体(Ⅷ J76)	II層	割片		20.5	縄文時代前期中葉
X16	検体(Ⅷ J76)	II～III層	割片		5.3	縄文時代前期中葉
X17	検体(Ⅷ J77)	II層	割片		6.0	縄文時代前期中葉
X18	検体(Ⅷ P78)	II層	原石		15.3	縄文時代前期中葉
X19	検体(Ⅷ P78)	II層	原石		0.8	縄文時代前期中葉
X20	検体(Ⅷ P78)	II層	石礫	200-3	3.4	縄文時代前期中葉
X21	検体(Ⅷ R79)	II～III層	二次加工割片		2.9	縄文時代前期中葉
X22	Ⅷ R80	Ⅷ層	割片		4.0	
X23	検体(Ⅷ S77)	II層	割片		5.1	縄文時代前期中葉
X24	Ⅷ D69	Ⅷ層	石礫	242-7	1.2	
X25	Ⅷ D69	Ⅷ層	石礫	242-2	1.4	
X26	検体(Ⅷ Y77)	II層	割片		1.2	縄文時代前期中葉
X27	検体(Ⅷ Y77)	II層	割片		0.4	縄文時代前期中葉
X28	検体(Ⅷ Y78)	II層	割片		10.4	縄文時代前期中葉
X29	不明	不明	石礫	243-7	2.0	
X30	S122 Ⅱ区 I-Jac	3層	割片		1.3	縄文時代前期中葉
X31	S122 Ⅱ区西	3層	割片		0.7	縄文時代前期中葉
X32	S166	礫土	割片		6.2	縄文時代前期中葉
X33	SK67	礫土	割片		1.2	縄文時代前期中葉以降
X34	Ⅷ I74(旧SK68)	礫土	二次加工割片		1.2	
X35	検体(Ⅷ M77)	II層	二次加工割片		3.1	縄文時代前期中葉
X36	検体(Ⅷ M78)	II a層	石礫	199-11	1.7	縄文時代前期中葉

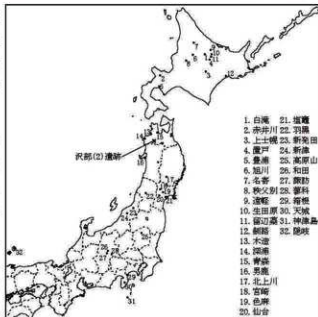


図1 黒曜石産地分布図(東日本)

いて、以下に示す指標値を計算する。

$$1) Rb \text{ 分率} = Rb \text{ 強度} \times 100 / (Rb \text{ 強度} + Sr \text{ 強度} + Y \text{ 強度} + Zr \text{ 強度})$$

$$2) Sr \text{ 分率} = Sr \text{ 強度} \times 100 / (Rb \text{ 強度} + Sr \text{ 強度} + Y \text{ 強度} + Zr \text{ 強度})$$

$$3) Mn \text{ 強度} \times 100 / Fe \text{ 強度}$$

$$4) \log (Fe \text{ 強度} / K \text{ 強度})$$

そして、これらの指標値を用いた2つの判別図(横軸Rb分率-縦軸Mn強度×100/Fe強度の判別図と横軸Sr分率-縦軸

$\log(Fe \text{ 強度} / K \text{ 強度})$ の判別図)を作成し、各地の原石データと遺跡出土遺物のデータを照合して、産地を推定する。この方法は、

できる限り蛍光X線のエネルギー差が小さい元素同士を組み合わせる指標値を算出するため、形状、厚み等の影響を比較的受けにくく、原則として非破壊分析が望ましい考古遺物の測定に対して非常に有効な方法であるといえる。ただし、風化試料の場合、 $\log(Fe \text{ 強度} / K \text{ 強度})$ の値が減少する(望月, 1999)。試料の測定面にはなるべく平滑な面を選んだ。

原石試料は、採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で、産地推定対象試料と同様の条件で測定した。表2に判別群一覧とそれぞれの原石の採取地点および点数を、図1に各原石の採取地の分布図を示す。

表2 東日本黒曜石産地の判別群

判別群	エリア	判別群名	原石採取地
北海道	白滝	白滝1	赤石山山頂(43)、八号沢遺跡(15)、赤石山山頂、八号沢の沢川支流(2)、IK遺跡(10)、十勝石炭層産地下河床(11)、アジサイの滝遺跡(10)
		白滝2	
		赤井川	赤井川
		赤井川	赤井川・太木川(24)
		上士幌	十勝三枝(4)、タラシヤベツ川右岸(42)、タラシヤベツ川左岸(10)、十三ノ沢(32)
		蘆川	蘆川山(5)
		蘆川	蘆川山(5)
		豊浦	豊浦(10)
		豊浦	豊浦(10)
		旭川	近文台(8)、野付台(2)
		名寄	名寄
		名寄	忠烈町川(19)
		秩父別	秩父別1
		秩父別2	
		秩父別3	
	遠軽	遠軽	
	遠軽	社名遺川河床(2)	
	生田原	生田原	
	生田原	仁田河川河床(10)	
	留辺蘆	留辺蘆1	
		留辺蘆2	
		タシマツ川河床(9)	
	釧路	釧路	
	釧路	釧路市登キキ一帯(9)、阿寒川右岸(2)、阿寒川左岸(6)	
青森	木造	木造	
	木造	出雲島遺跡(15)、橋ヶ原(10)	
	八森山	八森山	
青森	青森	八森山公園(8)	
秋田	男鹿	男鹿	
	男鹿	金ヶ崎	
岩手	北上川	北上川	
	北上川	北上川(9)、真城(33)	
	北上川	北上川	
古川	宮崎	宮崎	
	色原	色原	
	山合	山合	
	山合	山合	
	山合	山合	
山形	羽黒	羽黒	
	山形	山形	
新潟	新津	新津	
	新津	新津	
栃木	高野山	高野山	
	高野山	高野山	
	高野山	高野山	
	高野山	高野山	
	高野山	高野山	
	高野山	高野山	
	高野山	高野山	
長野	和田	和田	
	和田	和田	
	和田	和田	
	和田	和田	
	和田	和田	
	和田	和田	
	和田	和田	
	和田	和田	
	和田	和田	
	和田	和田	
静岡	静岡	静岡	
	静岡	静岡	
	静岡	静岡	
神奈川	神奈川	神奈川	
	神奈川	神奈川	
群馬	群馬	群馬	
	群馬	群馬	
東京	東京	東京	
	東京	東京	
島根	島根	島根	
	島根	島根	

### 3. 分析結果

表3に石器の測定値および算出した指標値を、図2と図3に黒曜石原石の判別図に石器の指標値をプロットした図を示す。視覚的にわかりやすくするため、図では各判別群を楕円で取り囲んである。

分析の結果、1点が赤井川群(北海道、赤井川エリア)、28点が出来島群(青森県、木造エリア)、4点が八森山群(青森県、深浦エリア)、1点が金ヶ崎群(秋田県、男鹿エリア)の範囲にプロットされた。K13は、図2では八森山群の範囲にプロットされたが、図3では八森山群の下方にプロットされた。これは先述したように遺物の風化による影響と考えられ(望月, 1999)、深浦群に属する可能性が高い。K10は合致する判別群がなく、産地不明であった。表3に、判別図法により推定された判別群名とエリア名を示す。

表3 測定値および産地推定結果

整理番号	X強度 (cps)	Mn強度 (cps)	Fe強度 (cps)	Rb強度 (cps)	Sr強度 (cps)	T強度 (cps)	Zr強度 (cps)	Rb-比率	Mn/100 Fe	Sr-比率	log $\frac{Fe}{X}$	判別群	エリア	整理番号
K1	225.5	174.0	1358.0	481.6	573.1	333.9	627.6	23.89	12.82	28.42	0.78	出来島	木造	K1
K2	239.6	183.6	1415.0	500.5	545.1	344.9	629.8	24.77	12.97	26.96	0.77	出来島	木造	K2
K3	205.5	155.8	1258.8	443.3	496.3	308.6	602.1	23.96	12.38	26.82	0.79	出来島	木造	K3
K4	192.1	140.3	1183.2	409.1	448.3	282.5	516.8	24.69	12.71	27.06	0.79	出来島	木造	K4
K5	220.1	161.5	1121.8	405.5	441.1	275.6	512.1	24.81	12.62	26.59	0.79	出来島	木造	K5
K6	180.7	137.1	1103.2	378.4	421.6	266.6	525.2	23.77	12.43	26.49	0.79	出来島	木造	K6
K7	230.5	172.2	1354.1	472.9	519.9	323.7	598.3	24.70	12.72	27.15	0.77	出来島	木造	K7
K8	293.2	196.2	1210.5	886.3	541.3	369.5	676.4	35.83	16.21	21.88	0.62	金ヶ崎	男鹿	K8
K9	231.5	177.7	1382.1	450.6	537.5	335.6	609.5	24.86	12.86	27.24	0.78	出来島	木造	K9
K10	212.9	79.5	1809.3	437.8	211.2	582.7	980.6	20.53	4.39	9.90	0.93	?	不明	K10
K11	218.2	163.6	1289.4	461.1	521.6	322.5	594.9	24.27	12.69	27.45	0.77	出来島	木造	K11
K12	253.4	196.0	1507.0	602.3	548.9	342.0	639.6	24.71	12.94	27.00	0.77	出来島	木造	K12
K13	244.1	70.6	2459.1	391.0	51.5	360.0	2439.7	12.06	2.84	1.59	1.01	八森山?	洞窟?	K13
K14	208.8	190.9	1243.1	449.9	499.9	314.6	576.7	24.44	12.94	27.15	0.77	出来島	木造	K14
K15	199.3	152.1	1172.3	399.9	440.9	278.4	520.5	24.39	12.97	26.89	0.77	出来島	木造	K15
K16	253.4	194.2	1322.4	518.2	571.7	380.7	644.6	24.85	12.75	27.42	0.78	出来島	木造	K16
K17	227.7	172.4	1351.5	449.1	497.0	312.3	579.1	24.44	12.76	27.05	0.77	出来島	木造	K17
K18	270.5	108.7	2696.9	638.6	68.4	490.4	3315.2	12.21	3.05	1.95	1.12	八森山	洞窟	K18
K19	133.0	102.3	809.0	286.4	315.5	220.5	373.5	24.35	12.64	26.83	0.78	出来島	木造	K19
K20	232.6	167.0	1282.8	451.1	494.6	307.6	572.8	24.70	13.02	27.08	0.74	出来島	木造	K20
K21	273.0	109.7	2683.6	527.0	67.4	480.1	3215.3	12.49	2.98	1.87	1.15	八森山	洞窟	K21
K22	240.2	180.9	1402.7	479.7	583.1	332.3	615.9	24.22	12.90	27.92	0.77	出来島	木造	K22
K23	211.6	158.1	1229.4	433.2	506.4	301.2	561.0	24.04	12.87	28.10	0.78	出来島	木造	K23
K24	323.6	110.7	1985.1	790.6	864.5	387.9	819.0	33.47	5.59	15.43	0.79	赤井川	赤井川	K24
K25	262.3	107.8	3541.9	859.5	70.7	513.9	3486.1	12.08	3.04	1.53	1.13	八森山	洞窟	K25
K26	288.4	113.5	2881.4	591.8	73.6	543.8	3666.7	12.14	2.94	1.81	1.13	八森山	洞窟	K26
K27	119.0	93.1	764.8	234.9	253.1	185.0	313.6	24.56	12.17	26.46	0.81	出来島	木造	K27
K28	234.2	179.2	1402.8	489.9	563.7	339.1	639.3	24.11	12.77	27.74	0.78	出来島	木造	K28
K29	215.2	169.7	1312.3	471.4	519.5	324.8	602.4	24.58	12.93	27.08	0.79	出来島	木造	K29
K30	222.9	173.7	1372.4	470.2	518.8	317.0	582.1	24.90	12.66	27.48	0.79	出来島	木造	K30
K31	185.1	148.0	1178.0	394.0	431.3	264.2	488.0	24.97	12.56	27.34	0.80	出来島	木造	K31
K32	196.1	117.7	883.3	335.9	376.1	240.5	451.4	23.93	13.33	26.79	0.78	出来島	木造	K32
K33	141.5	108.4	860.9	308.8	349.1	216.8	400.1	24.22	12.59	27.38	0.78	出来島	木造	K33
K34	174.6	134.5	1090.1	382.7	423.6	264.0	501.5	24.35	12.34	26.95	0.80	出来島	木造	K34
K35	240.3	180.7	1443.0	505.7	556.7	346.4	689.7	24.10	12.52	26.53	0.78	出来島	木造	K35
K36	279.2	176.5	1449.6	496.1	590.2	341.0	633.0	24.82	12.18	27.20	0.72	出来島	木造	K36

表4に時期、器種別の産地を示す。測定した36点の範囲内では、青森県産の黒曜石がほとんどであった。北海道産の石器としては、赤井川エリア産の石器が1点確認された。

#### 4. おわりに

沢部(2)遺跡より出土した黒曜石製石器36点について、蛍光X線分析による産地推定を行った結果、1点が北海道の赤井川エリア、28点が青森県の木造エリア、5点が青森県の深浦エリア、1点が秋田県の男鹿エリア産と推定された。残り1点は産地不明であった。

(竹原弘展)

#### 引用文献

望月明彦(1999) 上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定。大和市教育委員会編「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書2—上和田城山遺跡篇—」: 172-179, 大和市教育委員会。

表4 時期、器種別の産地

時期	器種	赤井川	木造	深浦	男鹿	不明	合計
縄文時代 前期中葉	石鏃	1					1
	石鏃		1	1			2
	一次加工		2	1			3
	刮片		13	1			14
	磨石		1				1
縄文時代 前期中葉以降	小計	0	17	3	1	0	21
	刮片		2				2
縄文時代 中期末葉	石鏃未成品		1				1
	刮片		1				1
	小計	0	2	0	0	0	2
	石鏃		1	1			2
	一次加工		1				1
不明	刮片		5	1		1	7
	小計	1	7	2	0	1	11
合計		1	28	5	1	1	36

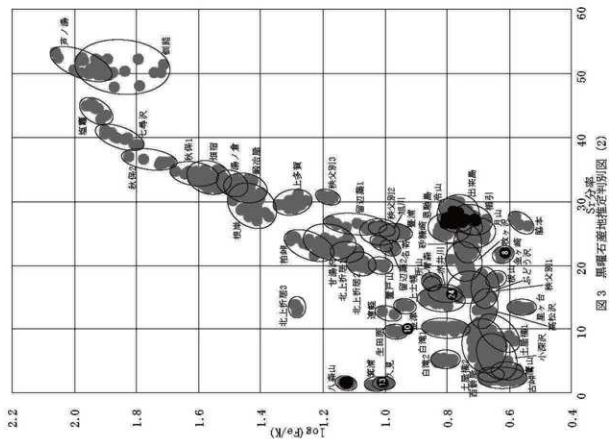


図2 黒曜石産地推定判別図(1)

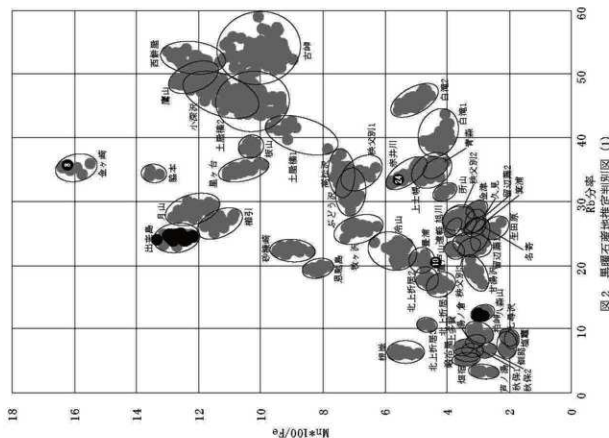


図3 黒曜石産地推定判別図(2)

### 第3節 沢部(2)遺跡出土炭化材の樹種同定

株式会社パレオ・ラボ

#### 1. はじめに

弘前市に所在する沢部(2)遺跡は、市の南部を流れる大和沢川の右岸に立地する。ここでは、縄文時代の遺構から出土した炭化材について、樹種同定を行った。

#### 2. 試料と方法

試料は、土壌を水洗選別して得られた炭化材である。水洗選別は青森県埋蔵文化財調査センターで行われ、同じ土壌試料を用いて炭化種実同定も行われている。縄文時代前期中葉の試料は竪穴建物跡SI13の炉内、SI22の3b層、土坑SK3の下層と中層、SK21の10層と10層上面、SK79の4層、5層、6層、4～6層、12層、土器埋設遺構SR27の2層、捨場遺構ⅢK77のⅡa層とⅡb層、ⅢM77のⅡa層とⅡb層から得られた炭化材、縄文時代前期後半の試料は竪穴建物跡SI17の炉3と、SI41の炉2の2層、SK106の中層から得られた炭化材、縄文時代中期末葉の試料は竪穴建物跡SI45aのpit3の2層と1～2層で得られた炭化材で、分析可能な大きさの炭化材を抽出し、同定対象とした。

抽出した炭化材について実体顕微鏡観察で大まかな分類群に分けた後、各分類群から約1点を走査型電子顕微鏡で観察した。観察試料は、カミソリまたは手で3断面(横断面・接線断面・放射断面)を割り出し、直径1cmの真鍮製試料台に試料を両面テープで固定した。次に、イオンスパッタで金コーティングを施し、走査型電子顕微鏡(KEYENCE社製 VHX-D510)を用いて樹種の同定と写真撮影を行った。残りの試料は、青森県埋蔵文化財調査センターに保管されている。

#### 3. 結果

樹種同定の結果、針葉樹はアスナロとヒノキ科、イヌガヤの3分類群、広葉樹はカツラとサクラ属、ケンボナシ属、ニレ属、クリ、コナラ属コナラ節(以下、コナラ節)、ニシキギ属、カエデ属、キハダ、ミズキ、トネリコ属シオジ節の11分類群、その他に分類群不明の樹皮と、単子葉類のイネ科の、計15分類群が確認された。また、部位が節であるために樹種の特定に至らなかった広葉樹も見られた。形状はすべて破片であったため、分析点数は参考である。結果の一覧を付表1に示す。

以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を記載し、走査型電子顕微鏡写真を図版に示す。

##### (1)アスナロ *Thujaopsis dolabrata* (L.f.) Siebold et Zucc. ヒノキ科 図版1 1a-1c(No.13-3)

仮道管と放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材部から晩材部への移行は比較的緩やかである。樹脂細胞は晩材部に散在し、放射組織内にも豊富に樹脂を含む。分野壁孔は小型のスギ型～ヒノキ型で、1分野に不揃いに3～4個存在する。

アスナロは温帯に分布する常緑高木である。材の加工性や割裂性は中庸だが、耐朽性および保存性が高い。

##### (2)ヒノキ科 Cupressaceae 図版1 2a-2c(No.16-2)

仮道管と放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は緩やかである。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔は小型で、1分野に1～3個存在する。年輪が非常に密で、分野

表1 遺構別の樹種同定結果

分類群	時期		前期中葉										前期後半			中期中葉		計								
	遺構	S113 S122	SK3	SK21	SK79	SK77	SK77	SK77	SK77	SK77	SK77	SK77	SK77	SK77	SK77	SK77	SK77		SK77							
種別	層位・位置	SP内	2b	下層 (2層)	中層	10層 10層	10層 上面	4層	6層	6層	4-6層	12層	2層	2a層	2b層	2a層	2b層	2層	2層	中層	2層	pit3	pit3	1-2層	1-2層	
アスナロ								3																		7
ヒノキ科																										3
イヌガヤ																										1
カツラ				3																						3
ナナラ属																										1
ケンボナシ属					2			7																		10
ニレ属																										4
クワ																										10
コナラ属コナラ亜				1	4	10	10	1	1	10	8	6	6	13	10	3	10	8								147
コシヤギ属																										3
カエデ属																										1
キハダ																										2
ミズキ																										1
トネリコ属シヨジ亜																										4
広葉樹 (類)																										10
雑草																										10
イヌ科																										1
計				2	6	20	10	1	1	32	6	6	11	24	10	7	21	13	1	6	4	4	15	20	228	

壁孔の型が不明瞭であるため、ヒノキ科までの同定に留めた。

(3) イヌガヤ *Cephalotaxus harringtonia* (Knight ex Forbes) K. Koch var. *harringtonia* イヌガヤ科 図版1 3a-3c (No. 20-2)

仮道管と放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。仮道管は薄壁で、晩材部の幅は非常に狭い。樹脂細胞は早材から晩材で均等に分布する。放射組織は単列で2~5細胞高、分野壁孔はトウヒ型で、1分野に1~2個存在する。仮道管にらせん肥厚がある。

イヌガヤは岩手県以南の暖帯から温帯に生育する常緑の低木または小高木である。材は堅硬および緻密である。

(4) カツラ *Cercidiphyllum japonicum* Siebold et Zucc. ex Hoffm. et Schult. カツラ科 図版1 4a-4c (No. 8-2)

小型で角張った道管が、ほぼ単独で密に分布する散孔材である。道管の穿孔は階段状で、30段程度となる。放射組織は1~3列幅で、平伏細胞と方形細胞からなる異性である。

カツラは暖帯から温帯に分布する落葉高木である。材は軟軟で韌性があり、加工は容易である。

(5) サクラ属(広義) *Prunus* s.l.バラ科 図版1 5a-5c (No. 19-3)

やや小型の道管が、単独あるいは斜め方向に2~3個複合する散孔材である。道管の穿孔は単一で、内壁にはらせん肥厚がみられる。放射組織は同性で、1~5列幅である。

サクラ属は温帯に生育する落葉または常緑の高木または低木である。サクラ属はさらにサクラ亜属やスモモ亜属、モモ亜属、ウワミズザクラ亜属などに分類され、25種がある。木材組織からはモモとバクチノキ以外は識別困難なため、この2種を除いたサクラ属とする。材は比較的重硬および緻密だが、加工容易である。

(6) ケンボナシ属 *Hovenia* クロウメモドキ科 図版1・2 6a-6c (No. 13-4)

やや大型の道管が年輪のはじめに配列し、晩材部では厚壁で小型の道管が単独もしくは2~3複合して散在する環孔材である。道管の穿孔は単一である。放射組織は異性で、1~3列幅である。

ケンボナシ属は暖帯から温帯に分布する落葉高木で、ケンボナシとケンボナシの2種がある。材の重さおよび堅さは中庸、切削加工は容易で、狂いや割れは少ない。



(7)ニレ属 *Ulmus* ニレ科 図版2 7a-7c(No. 2-2)

大型の道管が年輪のはじめに1列に並び、晩材部では小道管が集団をなして接線状から斜めに配列する環孔材である。道管の穿孔は単一で、小道管にはらせん肥厚がみられる。放射組織は同性で、3～5列幅程度である。また、接線断面において軸方向柔組織が層界状構造となる。

ニレ属は暖帯から温帯に分布する落葉高木で、アキニレとハルニレ、オヒョウの3種がある。ハルニレの材は、中庸からやや重硬でやや粘り気があるが、狂いが出やすく、保存性もよくない。

(8)クリ *Castanea crenata* Siebold et Zucc. ブナ科 図版2 8a-8c(No. 1-1)

大型の道管が年輪のはじめに数列並び、晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で、主に単列である。

クリは暖帯から温帯下部に分布する落葉高木である。材は重硬で、耐朽性および耐湿性に優れ、保存性が高い。

(9)コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 図版2 9a-9c(No. 13-2)

大型の道管が年輪のはじめに1列程度並び、晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で、単列と広放射組織の2種類がある。

コナラ節は暖帯から温帯下部に分布する落葉高木で、カシワとミズナラ、コナラ、ナラガシワがある。材は全体的に重硬で、加工困難である。

(10)ニシキギ属 *Euonymus* ニシキギ科 図版2 10a-10c(No. 13-6)

小型の道管が、単独で年輪内に均等に分布する散孔材である。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で、すべて平伏細胞からなる同性である。

ニシキギ属は暖帯から温帯に分布する落葉または常緑の高木ないし低木であるが、ときに藤本もある。ニシキギやマサキ、マユミなど18種がある。マユミの材は、やや硬硬だが、割裂は容易である。

(11)カエデ属 *Acer* ムクロジ科 図版2・3 11a-11c(No. 5-3)

径が中型の道管が、単独もしくは放射方向に数個複合して分布する散孔材である。横断面において木部繊維の壁厚の違いによる雲紋状の様相がみられる。道管の穿孔は単一で、道管壁にはらせん肥厚がみられる。放射組織はほぼ同性で、1～5列幅である。

カエデ属は主に温帯に分布する落葉高木で、オオモミジやハウチワカエデ、イタヤカエデなど26種がある。木材組織からはチドリノキやカジカエデ以外は識別困難なため、この2種を除いたカエデ属とする。材は全体的に緻密で、韌性がある。

(12)キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. ミカン科 図版3 12a-12c(No. 19-2)

大型で丸い道管が早材部に配列し、晩材ではごく小型で薄壁の小道管が集団をなして帯状～斜線状に配列する環孔材である。道管に赤褐色の樹脂が見られ、穿孔は単一である。放射組織はほぼ同性、1～6列幅できれいな紡錘形となる。

キハダは温帯に分布する落葉高木である。材はやや軽軟で加工容易だが、水湿に強い。

(13)ミズキ *Cornus controversa* Hemsl. ex Prain ミズキ科 図版3 13a-13c(No. 13-5)

小型の道管が、単独もしくは数個複合して分布する散孔材である。道管の穿孔は20段程度の階段状

である。放射組織は、縁辺部に方形もしくは直立細胞が2~4程度ある異性で、細胞幅は5列程度である。

ミズキは落葉中高木で、温帯亜から寒帯に広く分布する。材はやや硬いが、加工は比較的容易である。

(14) トネリコ属シオジ節 *Fraxinus sect. Fraxinaster* モクセイ科 図版3 14a-14c(No. 3-2)

年輪のはじめに大型の道管が数列並ぶ環孔材で、晩材部では厚壁の小道管が単独もしくは放射方向に2~3個複合して散在する。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で、1~3列幅である。

シオジ節は温帯に分布する落葉高木で、シオジとヤチダモがある。材はやや重硬で粘りがあり、加工性および保存性は中庸である。

(15) 樹皮 Bark 図版3 15a(No. 17-2)

篩細胞および篩部放射組織からなる二次細胞および周皮で構成される樹皮である。樹皮は対象標本が少なく、サクラ属やカバノキ属以外は同定には至っていない。

(16) イネ科 Poaceae 図版3 16a. イネ科(No. 1-2)

柔細胞と維管束で構成される単子葉類である。維管束が柔細胞中に散在する不斉中心柱で、維管束を囲む維管束鞘は薄い。稈の組織のみから属や種を識別するのは難しい。

#### 4. 考察

縄文時代前期中葉の遺構では、竪穴建物跡SI13の炉内でクリとイネ科、SI22の3b層でクリとシオジ節が確認された。土坑SK3では、下層でクリが多く、カツラとケンボナシ属も確認された。中層ではクリのみが確認された。SK21の10層と10層上面ではクリが確認された。SK79の4層では、クリが多く、ケンボナシ属とアスナロ、コナラ節、ミズキ、ニシキギ属もみられた。5層ではクリとミズキ、6層ではクリ、4~6層ではクリとヒノキ科、ニレ属、12層ではクリと樹皮、イネ科がみられた。土器埋設遺構SR27の2層では、クリが確認された。捨場のⅢK77のⅡa層ではクリとサクラ属、キハダ、Ⅱb層ではクリとイヌガヤが確認された。捨場ⅢM77のⅡa層ではクリとアスナロ、カエデ属、シオジ節、Ⅱb層ではアスナロが確認された。

縄文時代前期後半の遺構では、竪穴建物跡SI17の炉3でクリとニレ属、SI41の炉2の2層でクリが確認された。土坑SK106の中層ではクリとミズキが確認された。

縄文時代中期末葉の竪穴建物跡SI45aでは、pit3の2層でクリとケンボナシ属、カエデ属、1~2層でクリとニレ属、イネ科が確認された。

全体ではクリが最も多く、すべての遺構で確認された。クリ以外の広葉樹や針葉樹のアスナロとイヌガヤも温帯上部から冷温帯に分布する樹木であり、遺跡周辺に生育していた樹木が伐採利用されたと推測される。青森県内における縄文時代前期の炭化材は、青森市の三内丸山遺跡で多く分析されており、クリが優占するものの、カエデ属やオニグルミ、コナラ節、ニレ属、ヌルデ、ハンノキ属、ミズキなど多様な落葉広葉樹が確認されている(伊東・山田編, 2012)。弘前市では、縄文時代前期の炭化材の分析事例は確認されていないが、三内丸山遺跡と類似した木材利用の傾向がみられた。

(黒沼保子)

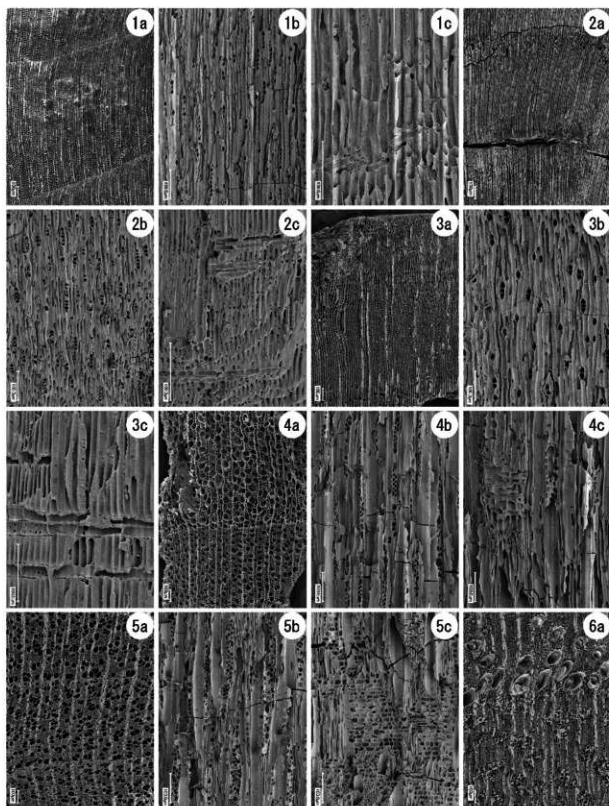
引用・参考文献

平井信二(1996)木の大事典。394p, 朝倉書店。

伊東隆夫・山田昌久編(2012)木の考古学—出土木製品用材データベース—。449p, 海青社。

付表1 樹種同定結果一覧

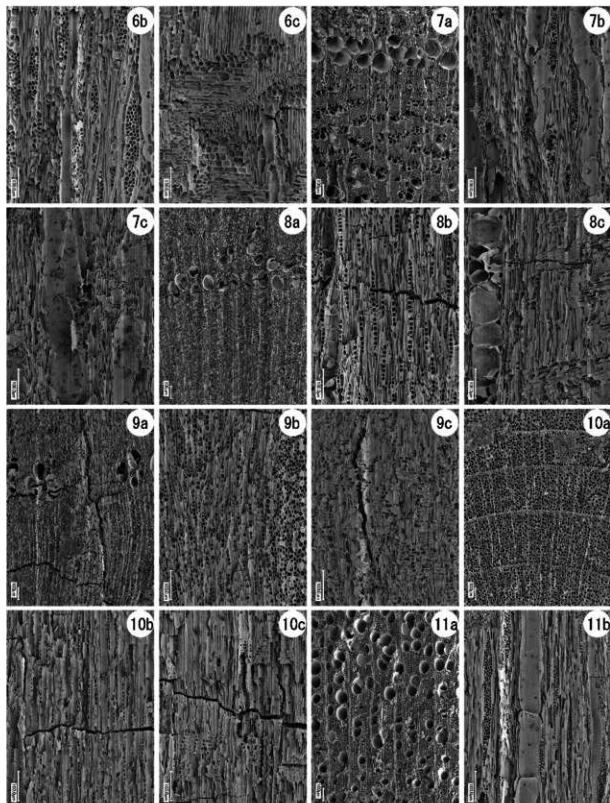
No.	遺構名	層名	その他	備考	フローテーション 識別番号など	樹種	形状	残存径	分析 点数	
1-1	SI13	-	南 炉内	燃料材の可能性あり	⑤-2 5mm	クリ	破片	<1cm角	1	
1-2	SI13	-	南 炉内	燃料材の可能性あり	⑤-2 5mm	イネ科	破片	<0.5cm角	1	
2-1	SI17	-	炉3	燃料材の可能性あり	③-3 5mm	クリ	破片	<1cm角	4	
2-2	SI17	-	炉3	燃料材の可能性あり	③-3 5mm	ニレ属	破片	<0.5cm角	1	
3-1	SI22	3b	c-c' sec		②-3 残土	クリ	破片	<1cm角	4	
3-2	SI22	3b	c-c' sec		②-3 残土	トネリコ属シオジ節	破片	<0.5cm角	1	
4	SI41	2層	炉2	燃料材の可能性あり	③-5 5mm	クリ	破片	<0.5cm角	4	
5-1	SI45a	2層	pit3		③-8 5mm	クリ	破片	<1cm角	13	
5-2	SI45a	2層	pit3		③-8 5mm	ケンボナシ属	破片	<0.5cm角	1	
5-3	SI45a	2層	pit3		③-8 5mm	カエデ属	破片	<0.5cm角	1	
6-1	SI45a	1~2層	南側 pit3		③-7 5mm	クリ	破片	<1cm角	16	
6-2	SI45a	1~2層	南側 pit3		③-7 5mm	イネ科	破片	<0.5cm	1	
6-3	SI45a	1~2層	南側 pit3		③-7 5mm	ニレ属	破片	<0.5cm角	1	
6-4	SI45a	1~2層	南側 pit3		③-7 5mm	広葉樹(節)	破片	<1cm角	2	
7-1	SK3	下層	床面直上		④-1 残土	クリ	破片	<1.5cm角	8	
7-2	SK3	下層	床面直上		④-1 残土	ケンボナシ属	破片	<1.5cm角	2	
8-1	SK3	下層	床面直上			炭化物サンプル	クリ	破片	<1.5cm角	7
8-2	SK3	下層	床面直上			炭化物サンプル	カツラ	破片	<1cm角	3
9	SK3	中層				炭化物サンプル	クリ	破片	<1.5cm角	10
10	SK21	10層				炭サンプル	クリ	破片	<2cm角	1
11	SK21	10層上面				炭サンプル	クリ	破片	<2cm角	1
12	SR27	2層			⑤-1 5mm	クリ	破片	<0.5cm角	10	
13-1	SK79	4層			⑬~⑭	クリ	破片	<1cm角	16	
13-2	SK79	4層			⑬~⑭	コナラ属コナラ節	破片	<1cm角	3	
13-3	SK79	4層			⑬~⑭	アスナロ	破片	<1cm角	3	
13-4	SK79	4層			⑬~⑭	ケンボナシ属	破片	<1cm角	7	
13-5	SK79	4層			⑬~⑭	ミズキ	破片	<0.5cm角	2	
13-6	SK79	4層			⑬~⑭	ニシキギ属	破片	<0.5cm角	1	
14-1	SK79	5層			⑯	クリ	破片	<1cm角	5	
14-2	SK79	5層			⑯	ミズキ	破片	<1cm角	1	
15	SK79	6層			⑳	クリ	破片	<1cm角	6	
16-1	SK79	4~6層			㉑	クリ	破片	<1cm角	6	
16-2	SK79	4~6層			㉑	ヒノキ科	破片	<1cm角	3	
16-3	SK79	4~6層			㉑	ニレ属	破片	<1cm角	2	
17-1	SK79	12層			㉓~㉔	クリ	破片	<1cm角	13	
17-2	SK79	12層			㉓~㉔	楡皮	破片	<1.5cm角	10	
17-3	SK79	12層			㉓~㉔	イネ科	破片	<0.2cm	11	
18-1	SK106	中層			㉕	クリ	破片	<0.5cm角	1	
18-2	SK106	中層			㉕	ミズキ	破片	<0.5cm角	1	
18-3	SK106	中層			㉕	広葉樹(節)	破片	<1cm角	2	
19-1	Ⅲ K77	Ⅱ a層			①~⑤	クリ	破片	<1cm角	3	
19-2	Ⅲ K77	Ⅱ a層			①~⑤	キハダ	破片	<0.5cm角	1	
19-3	Ⅲ K77	Ⅱ a層			①~⑤	サクラ属	破片	<1cm角	1	
19-4	Ⅲ K77	Ⅱ a層			①~⑤	広葉樹(節)	破片	<1cm角	2	
20-1	Ⅲ K77	Ⅱ b層			⑥~⑩	クリ	破片	<1cm角	10	
20-2	Ⅲ K77	Ⅱ b層			⑥~⑩	イヌガキ	破片	<0.5cm角	1	
20-3	Ⅲ K77	Ⅱ b層			⑥~⑩	広葉樹(節)	破片	<0.5cm角	10	
21-1	Ⅲ M77	Ⅱ a層			⑪~⑬	クリ	破片	<0.5cm角	8	
21-2	Ⅲ M77	Ⅱ a層			⑪~⑬	カエデ属	破片	<0.5cm角	1	
21-3	Ⅲ M77	Ⅱ a層			⑪~⑬	トネリコ属シオジ節	破片	<0.5cm角	1	
21-4	Ⅲ M77	Ⅱ a層			⑪~⑬	アスナロ	破片	<0.5cm角	3	
22	Ⅲ M77	Ⅱ b層			⑪~⑬	アスナロ	破片	<0.5cm角	1	



図版1 沢部(2)遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真(1)

1a 1c. アスナロ(No. 13 3), 2a 2c. ヒノキ科(No. 16 2), 3a 3c. イヌガヤ(No. 20 2), 4a 4c. カツラ(No. 8 2),  
5a-5c. サクラ属(No. 19-3), 6a. ケンボナシ属(No. 13-4)

a: 横断面, b: 接線断面, c: 放射断面

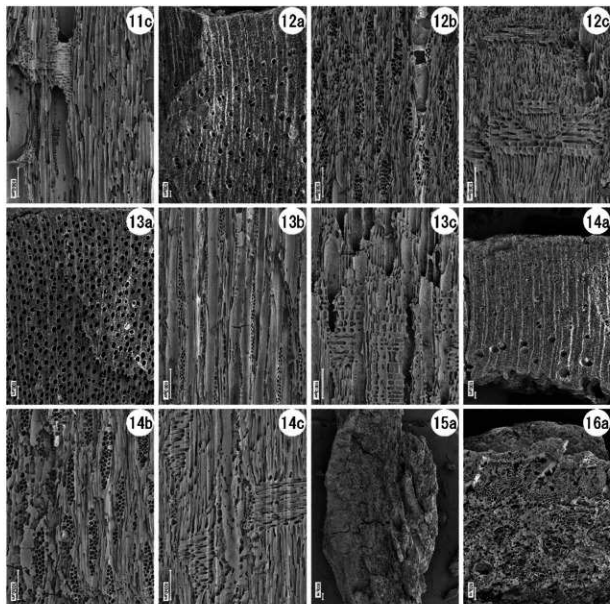


図版2 沢部(2)遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真(2)

6b 6c. ケンボナシ属(No. 13-4)、7a 7c. ニレ属(No. 2-2)、8a 8c. クリ(No. 1-1)、9a 9c. コナラ属コナラ節(No. 13-2)、10a-10c. ニシギギ属(No. 13-6)、11a-11b. カエデ属(No. 5-3)

a: 横断面、b: 接線断面、c: 放射断面





図版3 沢部(2)遺跡出土炭化材の走査型電子顕微鏡写真(3)

11c. カエデ属(No. 5-3)、12a-12c. キハダ(No. 19-2)、13a-13c. ミズキ(No. 13-5)、14a-14c. トネリコ属シオジ節(No. 3-2)、15a. 樹皮(No. 17-2)、16a. イネ科(No. 1-2)

a: 横断面、b: 接線断面、c: 放射断面

## 第4節 沢部(2)遺跡出土の炭化種実

株式会社パレオ・ラボ

### 1. はじめに

弘前市大字小栗山に所在する沢部(2)遺跡は、大和沢川右岸の標高約130mの扇状地上に立地する、縄文時代前期を中心とした、縄文時代前期～中期および古代の複合遺跡である。ここでは、縄文時代前期の遺構などから出土した炭化種実の同定を行い、当時の利用植物の一端を明らかにする。

### 2. 試料と方法

試料は、遺構の覆土などから採取された、水洗選別済みの種実である。遺構は、堅穴建物跡(SI)と土坑(SK)、土器埋設遺構(SR)である。遺構の時期は、縄文時代早期以降、前期中葉(円筒下層a～b式期)、前期後半(円筒下層b～c式期)、中期末葉(大木10式期並行)、後期後葉～晩期前葉、古代か(10世紀頃)と推定されている。

土壌の採取から水洗、炭化物の抽出は、青森県埋蔵文化財調査センターが行った。水洗には5.0mm、2.0mm、1.0mm目の篩が用いられ、それぞれの篩および残土から炭化種実が抽出されていた。水洗量は、表を参照されたい。

同定・計数は、肉眼および実体顕微鏡下で行った。計数の方法は、完形または一部が破損していても1個体とみなせるものは完形として数え、1個体に満たないものは破片とした。破片が多い分類群は、重量から完形個体換算数を求めた。計数が困難な試料および現生の種実は、おおよその数を記号(+)で示した。試料は、青森県埋蔵文化財調査センターに保管されている。

### 3. 結果

同定の結果、木本植物ではヤマブドウ炭化種子と、クワ属炭化核、クリ炭化果実、クリ炭化子葉(大きさでAとBにタイプ分類)、オニグルミ炭化核、ウルシ属-ヌルデ炭化内果皮、ウリノキ炭化種子、ミズキ炭化核、マタタビ属炭化種子、ニワトコ炭化核、タラノキ炭化核の11分類群、草本植物ではヒエ属炭化種子とアワ炭化種子、エノコログサ属炭化種子、ササ属炭化種子、スマレ属炭化種子、ヒシ属炭化果実、ミズヒキ炭化果実、サナエタデーオオイヌタデ炭化果実、イヌタデ属A炭化果実、イヌタデ属B炭化子葉、キケマン属炭化種子、ヤエムグラ属炭化種子の12分類群の、計23分類群が得られた。このほかに、科以上の詳細な同定ができなかったものを不明A炭化種実とした。残存状態が悪く、微細な破片であるため識別点を欠く同定不能な一群を同定不能炭化種実とした。種実以外には、炭化した虫えいと子囊菌、炭化材、未炭化の種実が含まれていたが、同定の対象外とした。表1～4に同定結果を示す。

以下に、時期ごとの炭化種実の産出傾向を遺構別(捨場は層序列)に記載する(不明と同定不能炭化種実は除く)。

#### [縄文時代早期以降]

SK16：ヤエムグラ属がわずかに得られた。



表1 沢部(2)遺跡から出土した炭化種実(1)(括弧内は破片数)

No.	①-1	①-2・3	①-4・5	①-6	S121	①-7	①-8	①-9	①-10	①-1・2	①-3
	採集位置	遺土上	遺土上	遺土の下	伊内	伊内土層内	土層外	伊内上層	伊内下層	SR-12下層	C-C'5m中央
層位	遺土上	遺土上	遺土の下	伊内	伊内土層内	土層外	伊内上層	伊内下層	SR-12下層	1	33
時期	縄文時代後期後葉-縄文前期										前期中葉
分類群	重量(g)	480	12000	2550	770	1450	450	340	630	8790	3880
アワ	炭化種実	(1)			(1)						(42)
オニグルミ	炭化種実	①* 0.85g	①* 0.85g	②③* 15.22g	④* 7.60g	⑤⑥* 9.45g	⑦* 7.35g	⑧⑨* 7.12g	⑩* 6.42g	⑪* 5.17g	
イヌゲタダ	炭化種実										
子葉面	炭化種子	12 (1)	9	156 (80)	121 (80)	49 (30)	118 (30)	171 (30)	24 (1)	12	6
虫食い	炭化材	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)		
種名	種実									+	+

\*1-9

※先形個体換算数(オニグルミ炭化種実:1/2量の重量0.75gからの換算数)

表2 沢部(2)遺跡から出土した炭化種実(2)(括弧内は破片数)

No.	①-1	①-2	①-3	①-4	①-5	①-6	①-7	①-8	①-9	①-1	
	採集位置	S110	S116	S117	S141	S123	S145	SR6	SR6	SR6	SR3
層位	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	
時期	前期中葉	前期中葉	前期後半	前期後半	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	
分類群	重量(g)	100	720	340	130	300	680	2380	2610	820	3120
アワ	炭化種子										(3)
オニグルミ	炭化種実		①* 0.12g								
イヌゲタダ	炭化種実										1
カタマン	炭化種子										1
子葉面	炭化種子		34		2			39	35	10	43
虫食い	炭化材										1
種名	種実										(*)

\*1-9

※先形個体換算数(オニグルミ炭化種実:1/2量の重量0.75gからの換算数)

表3 沢部(3)遺跡から出土した炭化種実(3)(段ボール資料,括弧内は破片数)

No.	①-2	①-3	①-4	①-1	①-5	①-6	①-7
	採集位置	SR16	SR52	S115	SR27	S119層	S132
層位	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内
時期	早期以降	後期初期	中期中葉	前期中葉	前期中葉	中期中葉	古代か
分類群	重量(g)	1690	20	90	2000	280	380
アワ	炭化種子						740
イヌゲタダ	炭化種実			1			
ヤムダツ	炭化種子	1				1	2
子葉面	炭化種子	42		48	5	4	15 (1)
虫食い	炭化材	1					69
種名	種実						87

\*1-9

※先形個体換算数(オニグルミ炭化種実:1/2量の重量0.75gからの換算数)

表4 沢部(2)遺跡から出土した炭化種実(括弧内は破片数)

No.	①-②	①-③	①-④	①-⑤	①-⑥	①-⑦	①-⑧	①-⑨	①-⑩	①-⑪	①-⑫
	層位	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内	伊内
時期	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉	前期中葉
分類群	重量(g)	3930	4710	1810	2120	2380	880	950	1910	1890	460
アワ	炭化種子										3930
オニグルミ	炭化種実		0.94g		0.92g		0.72g		0.62g		21
イヌゲタダ	炭化種実	①* 1.73g	②③* 33.46g	④* 2.39g	⑤⑥* 105.62g	⑦* 5.95g	⑧⑨* 5.11g	⑩⑪* 84.74g	⑫* 0.97g	⑬* 0.62g	
カタマン	炭化種子										1
子葉面	炭化種子	①* 1.32g	②* 4.46g	③* 0.75g	④* 7.46g	⑤* 3.10g	⑥* 0.82g	⑦* 0.60g	⑧⑨* 11.31g	⑩* 1.36g	⑪* 0.84g
虫食い	炭化材	1 (2)			1 (3)	5 (1)			2 (3)		
種名	種実										3
アワ	炭化種子		4						15 (3)		1
オニグルミ	炭化種実										10
イヌゲタダ	炭化種実										2
カタマン	炭化種子										1
子葉面	炭化種子		1								3
虫食い	炭化材										2
種名	種実										10
アワ	炭化種子										10
オニグルミ	炭化種実										10
イヌゲタダ	炭化種実										10
カタマン	炭化種子										10
子葉面	炭化種子										10
虫食い	炭化材										10
種名	種実										10

\*1-9, \*\* 30-60, \*\*\* ①0-30, \*\*\*\* 10以上

※先形個体換算数(アワ炭化種子:1粒の重量0.47gからの換算数, オニグルミ炭化種実:1/2量の重量0.75gからの換算数)

[縄文時代前期中葉]

SI12：同定可能な炭化種実は得られなかった。

SI13南：同定可能な炭化種実は得られなかった。

SI22：クリが少量、オニグルミがわずかに得られた。

SK3：クリとキケマン属がわずかに得られた。

SK79：クリが非常に多く、オニグルミが少量含まれていた。12層の試料以外にはウルシ属-ヌルデがわずかに含まれていた。12層からは、クワ属とニワトコ、ヒエ属が少量、ヤマブドウとマタタビ属、エノコログサ属、ササ属、ヒシ属、ミズヒキがわずかに得られた。

SR27：イヌタデ属Aがわずかに得られた。

捨場Ⅱ a層：クリが非常に多く、オニグルミがやや多く、イヌタデ属Bが少量、ウリノキとニワトコ、イヌタデ属Aがわずかに得られた。

捨場Ⅱ b層：クリが多く、オニグルミがやや多く、ヤマブドウとウルシ属-ヌルデ、ミズキ、ニワトコ、タラノキ、スミレ属、サナエタデーオオイヌタデ、イヌタデ属A、イヌタデ属Bがわずかに得られた。

[縄文時代前期後半]

SI17：同定可能な炭化種実は得られなかった。

SI41：同定可能な炭化種実は得られなかった。

SK106：オニグルミが少量、クリがわずかに得られた。

[縄文時代中期末葉]

SI16：オニグルミがわずかに得られた。

SI18：同定可能な炭化種実は得られなかった。

SI23：同定可能な炭化種実は得られなかった。

SI32：イヌタデ属Aがわずかに得られた。

SI45a：同定可能な炭化種実は得られなかった。

SR12：同定可能な炭化種実は得られなかった。

[縄文時代後期初頭]

SK32：同定可能な炭化種実は得られなかった。

[縄文時代後期後葉～晩期前葉]

SI21：オニグルミが非常に多く、クリが少量、イヌタデ属Aがわずかに得られた。

[古代か]

SK14：アワとイヌタデ属Aがわずかに得られた。

SK96：サナエタデーオオイヌタデがわずかに得られた。

SK112：クワ属とクリ、オニグルミ、ニワトコ、ヒエ属、アワがわずかに得られた。

次に、得られた分類群の記載を行い、図版に写真を示して同定の根拠とする。なお、分類群の学名は米倉・梶田(2003-)に準拠し、APGⅢリストの順とした。

(1) ヤマブドウ *Vitis coignetiae* Pulliat 炭化種子 ブドウ科

上面観は楕円形、側面観は基部が尖る卵形。基部は太く長く突出する。背面の中央もしくは基部寄

りに匙状の着点があり、腹面には縦方向の2本の深い溝がある。写真の個体は中央が裂けてしまっている。種皮は薄く硬い。長さ4.1mm、幅3.3mm、厚さ2.7mm。

(2) クワ属 *Morus* spp. 炭化核 クワ科

側面観はいびつな広倒卵形または三角状倒卵形、断面は卵形または三角形。背面は稜をなす。表面にはゆるやかな凹凸があり、厚く、やや硬い。基部に嘴状の突起を持つ。長さ1.7mm、幅1.3mm。

(3) クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. 炭化果実 ブナ科

側面観は広卵形。表面は平滑で、細い縦筋がみられる。底面にある殻斗着痕はざらつく。果皮内面にはいわゆる渋皮が厚く付着する。残存高7.6mm、残存幅12.0mm、残存厚4.7mm。

(4) クリA *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. A 炭化子葉 ブナ科

子葉は広卵形で、表面に縦方向の深いしわ状の溝がある。しわ以外の面は平坦で、硬質。光沢がある。高さ13.3mm、幅14.2mm、厚さ7.3mm、完形個体でも高さ15mm未満と推定される一群をクリAとした。

(5) クリB *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. B 炭化子葉 ブナ科

形態的な特徴はAと同じであるが、皺がほとんど見られず、大型の個体をクリBとした。腹面は平滑で光沢はない。頂部が緩やかに突出する。高さ19.3mm、幅18.2mm、厚さ10.6mm。

(6) オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Komatsu) Kitam. 炭化核 クルミ科

すべて1/2未満の破片であるが、完形ならば側面観は広卵形。木質で、壁は厚くて硬く、ときどき空隙がある。表面に浅い縦方向の縫合線があり、浅い溝と凹凸が不規則に入る。断面は角が尖るものが多い。内部は二室に分かれる。最大の破片で、残存高17.3mm、残存幅18.3mm、残存厚11.0mm。

(7) ウルシ属-ヌルデ *Toxicodendron* spp. - *Rhus javanica* L. 炭化内果皮 ウルシ科

上面観は中央がやや膨らむ扁平、側面観は中央がややくびれた広楕円形で、片方がやや膨れる。ざらついた質感がある。表面および断面構造の詳細な検討は行えなかったため、実体顕微鏡下でのウルシ属-ヌルデの同定に留めた。形状はヌルデ以外のウルシ属に似る。長さ3.7mm、幅4.8mm、厚さ2.7mm。

(8) ウリノキ *Alangium platanifolium* (Siebold et Zucc.) Harms 炭化種子 ミズキ科

上面観と側面観は楕円形。背腹両面には浅い不規則な溝がそれぞれ縁の内側を一周する。長さ6.9mm、幅6.0mm、厚さ4.4mm。

(9) ミズキ *Cornus controversa* Hemsl. ex Prain 炭化核 ミズキ科

楕円形〜ゆがんだ球形。基部に裂けたような大きな着点がある。種皮は厚く、やや軟らかい。縦にやや流れるような深い溝と隆起が走る。残存長3.7mm、残存幅3.7mm。

(10) マタタビ属 *Actinidia* spp. 炭化種子 マタタビ科

上面観は楕円形、側面観は倒卵形または楕円形。表面には五角形や六角形、円形、楕円形などの窪みが連なる規則的な網目模様がある。壁は薄く硬い。長さ3.1mm、幅1.6mm。

(11) ニフトコ *Sambucus racemosa* L. subsp. *sieboldiana* (Miq.) H. Hara var. *sieboldiana* Miq. 炭化核 レンブクソウ科

上面観は扁平、側面観は楕円形で基部がやや尖る。基部に小さな着点があり、縦方向にやや反る。波状の凹凸が横方向に走る。長さ2.4mm、幅1.3mm、亜種のエゾニフトコの可能性もあるが、現生のニフトコとエゾニフトコの大きさ(辻ほか、2006)と比較すると、ニフトコに近い大きさである。

(12) タラノキ *Aralia elata* (Miq.) Seem. 炭化核 ウコギ科

上面観は扁平、側面観は半月形。稜に沿って網目状の構造がある。長さ1.7mm、幅1.2mm。

(13) ヒエ属 *Echinochloa* sp. 炭化種子(穎果) イネ科

側面観は楕円形、断面は片凸レンズ形で、厚みは薄くやや扁平である。胚は幅が広く、胚の長さは全長の2/3程度と長い。臍は幅が広いうちわ型。SK79(縄文時代前期中葉)出土の計測可能な10点の大きさは、長さ1.3~1.5(平均1.4±0.0)mm、幅1.0~1.1(平均1.1±0.1)mm、SK112(古代か)出土の2点の大きさは、長さ平均1.8±0.2mm、幅平均1.2±0.1mm(表5)。

(14) アワ *Setaria italica* P. Beauv. 炭化種子(穎果) イネ科

上面観は楕円形、側面観は円形に近い。腹面下端中央の窪んだ位置に細長い楕円形の胚がある。胚の長さは全長の2/3程度。長さ1.3mm、幅1.2mm。

(15) エノコログサ属 *Setaria* sp. 炭化種子(穎果) イネ科

上面・側面観は楕円形。長さ1.2mm、幅1.1mm。腹面下端中央の窪んだ位置に細長い楕円形の胚があり、長さは全長の2/3程度。

(16) ササ属 *Sasa* spp. 炭化種子(穎果) イネ科

狭卵形体で、やや扁平。両端がやや細い。長さ4.3mm、幅2.1mm、厚さ2.2mm。背面はわずかに曲線をなすが、腹面はよく湾曲し、片方の端部に円形の胚がある。

(17) スミレ属 *Viola* spp. 炭化種子 スミレ科

卵形。表面には縦方向に薄く密な筋がある。下端中央にへそがある。長さ1.1mm、幅0.8mm。

(18) ヒシ属 *Trapa* spp. 炭化果実 ミソハギ科

破片であるが、完形ならば不整三角形で、先端が尖った角が4方向にのびる。萼片が肥厚してできた腕の破片のみが産出した。先端は尖るが、残存していない。残存長6.9mm、残存幅9.2mm。

(19) ミズヒキ *Persicaria filiformis* (Thunb.) Nakai ex W.T.Lee 炭化果実 タデ科

上面観は両凸レンズ形、側面観は広卵形。着点には円形の孔があく。壁は薄く、表面はざらざらしている。長さ2.1mm、幅1.5mm。

(20) サナエタデーオオイスタデ *Persicaria scabra* (Moench) Mold.- P. *lapathifolia* (L.) S.F.Gray 炭化果実 タデ科

上面観は扁平で両凸レンズ形、側面観は広卵形で先端が尖る。表面は平滑で、やや光沢がある。長さ1.6mm、幅1.2mm。

(21) イスタデ属A *Persicaria* sp. A 炭化果実 タデ科

上面観は三稜形、側面観は卵形。表面は平滑で光沢がある。長さ1.4mm、幅1.1mm。

(22) イスタデ属B *Persicaria* sp. B 炭化子葉 タデ科

上面観は両凸レンズ形、側面観は広卵形。先端が突出する。表面には微細な網目状隆線がある。長

表7 ヒエ属炭化種子の大きさ

	長さ		幅	時期
	mm	mm	mm	
SK79, 12層	1.4	1.1		縄文時代前期中葉
	1.4	1.0		
	1.5	1.0		
	1.4	1.1		
	1.4	1.1		
	1.4	1.1		
	1.4	1.1		
	1.4	1.1		
	1.4	1.0		
	1.3	1.0		
最小	1.3	1.0		
最大	1.5	1.1		
平均	1.4	1.1		
標準偏差	0.0	0.1		
SK112, 3層	1.9	1.3		古代か
	1.6	1.1		
平均	1.8	1.2		
標準偏差	0.2	0.1		

単位(mm)

さ2.8mm、幅2.3mm。

(23) キケマン属 *Corydalis* sp. 炭化種子 ケシ科

上面観は両凸レンズ形、側面観は腎臓状円形。縁辺部周辺の表面には細かいいぼ状の突起が密生する。ミヤマキケマンに似る。長さ1.2mm、幅1.3mm。

(24) ヤエムグラ属 *Galium* spp. 炭化種子 アカネ科

上面観は円形、側面観は楕円形。側面片側の中央が大きく円形にくぼむ。表面には微細な網目状隆線がある。長さ1.5mm、幅1.2mm。

(25) 不明A Unknown A 炭化種実

上面観は楕円形、側面観は広倒卵形。状態が悪いが、下端部に向かって不規則に伸びるしわのような溝がある。長さ3.1mm、幅3.1mm。

#### 4. 考察

以下、時期別に考察を行う。

縄文時代早期以降の土坑SK16からは、ヤエムグラ属がわずかに得られた。ヤエムグラは道端に生育する草本植物であるが、ひつつき虫として人間に伴い、土坑周辺に持ち込まれた可能性もある。

縄文時代前期中葉では、3棟の竪穴建物跡と、2基の土坑、2か所の捨場の試料を検討したところ、土坑のSK79や捨場から非常に多くのクリが得られた。特にSK79の4層からは、完形個体に換算して700個体弱のクリAの子葉が得られている。底面に近い12層からは、食用可能なヤマブドウやクワ属、クリA・B、オニグルミ、マタビ属、ニワトコ、ヒエ属、ササ属、ヒシ属が得られた。12層から出土したクリは果皮の状態の果実が多く、また大型の子葉であるクリBも得られた。クリAは小型で糠が顕著に見られるため、生のクリが炭化したのではなく、勝栗のように乾燥させたクリの子葉がなんらかの要因で炭化した可能性がある。一方、クリBは表面が平滑で大型のため、生のクリが炭化した可能性がある。12層からはクリAがほとんど得られておらず、種実の種類数が多く、堆積した種実の組成や量の点でも他の層との差が見られた。

SK79の12層から得られたヒエ属では、栽培種に近い丸みを帯びた小型のタイプ、いわゆる「縄文ヒエ」型(吉崎, 1997)が確認された。いずれも炭化しており、人による利用の痕跡を示している可能性がある。吉崎昌一(1995)では、縄文時代前期後半にはかなり広い地域でヒエ属の粗放な農耕が始まっていた可能性が指摘されており、沢部(2)遺跡はその初源期にあたる出土事例になろう。

SK79の4層と4~6層から得られたウルシ属-ヌルデは、栽培種のウルシである可能性と野生種のヤマウルシやツタウルシなどである可能性があるが、今回のように外部形態のみでは種レベルの同定はできない。詳しい同定には、内果皮の断面構造などの検討が必要である。ウルシ属-ヌルデがウルシならば、中果皮の蠟が利用された可能性があり、ウルシの木が遺跡周辺に存在した可能性が出てくる。

捨場から得られた種実のうち、ヤマブドウとクリ、オニグルミ、ミズキ、ニワトコが食用可能である。辻圭子ほか(2006)によると、ミズキは香辛料としての利用方法が想定されている。このほか、山地の林内に生育する落葉低木であるウリノキや若芽が食用可能な陽樹であるタラノキ、スマレ属やサナエタデ-オオイヌタデ、イヌタデ属A、イヌタデ属Bなどの草地などに生育する草本の種実は産出数がわずかなため、偶発的に炭化して堆積した可能性が考えられる。ただし、イヌタデ属は種によつ

ては利用可能である。

縄文時代前期中葉では、3棟の堅穴建物跡と2基の土坑、1基の土器埋設遺構、捨場Ⅱa・Ⅱb層から、堅果類のクリとオニグルミ、ベリー類のヤマブドウとミズキ、マタタビ属、ニフトコ、イネ科のヒエ属とササ属、水生植物のヒシ属の利用が確認できた。一方、ドングリ類やマメ類は全く得られなかった。

続く、縄文時代前期後半の土坑SK106からオニグルミとクリが得られた。2棟の堅穴建物跡からは同定可能な炭化種実は何れも得られなかった。

縄文時代中期末葉では、5棟の堅穴建物跡と1基の土器埋設遺構が検討されたが、堅穴建物跡であるSI16からオニグルミ、SI32からイヌタデ属Aがわずかに得られたのみであった。

縄文時代後期初頭の土坑1基からは、同定可能な炭化種実は何れも得られなかった。

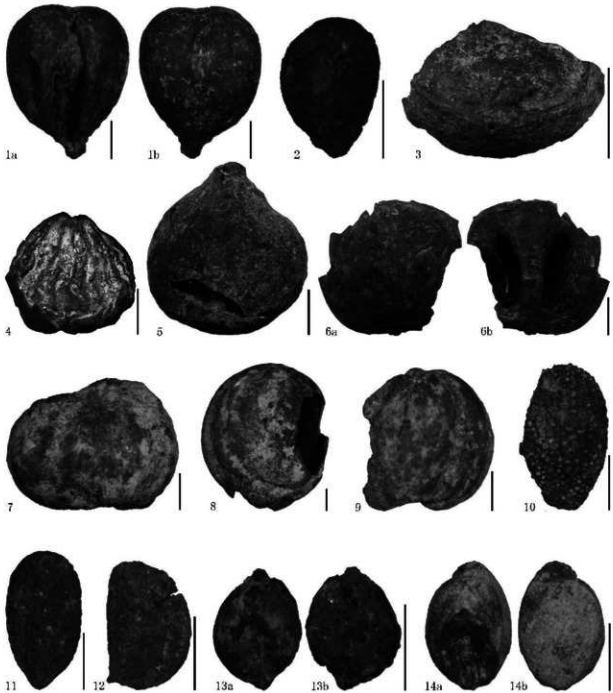
縄文時代後期後葉～晩期前葉の堅穴建物跡SI21からは、非常に多くのオニグルミの核、少量のクリの果実と、わずかにイヌタデ属Aが得られた。食用にならないクリの果実やオニグルミの核は破片であるため、食用となる子葉を取り出したのち、加工時の残滓である不要な核を炉で燃やした可能性が考えられる。

古代の製炭土坑の可能性が高いと推定されている土坑3基からは、いずれもわずかに炭化種実が得られ、栽培植物のアワが含まれていた。ヒエ属も縄文時代のヒエ属より一回り大きく、イヌビエもしくはタイヌビエの可能性もある。このほかに、クワ属とクリ、オニグルミ、ニフトコの食用になる種実と、サナエタデーオオイヌタデとイヌタデ属Aの草本がわずかに得られた。いずれも数点の産出のため、土坑の周囲で利用された種実や生育していた種実がなんらかの要因で炭化し、土坑に堆積した可能性がある。

(佐々木由香・バンダリ スタルシヤン)

#### 引用文献

- 辻 圭子・辻 誠一郎・南木睦彦(2006)青森県三内丸山遺跡の縄文時代前期から中期の種実遺体群と植物利用。植生史研究特別第2号, 101-120, 日本植生史学会。
- 米倉浩司・梶田 忠(2003-)BG Plants 和名-学名インデックス(YList), <http://ylist.info>
- 古崎昌一(1995)日本における栽培植物の出現。季刊考古学, 50, 18-24。
- 古崎昌一(1997)縄文時代の栽培植物。第四紀研究, 36-5, 343-346。

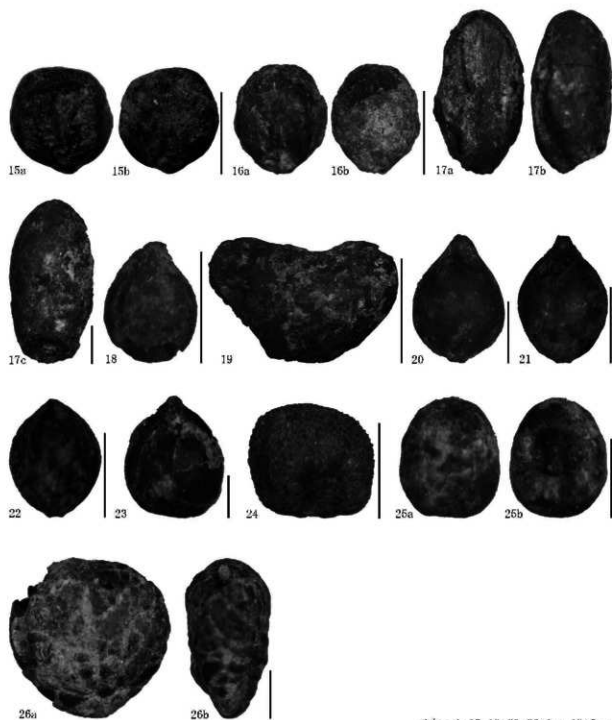


スケール 1, 2, 7-14:1mm, 3-6:5mm

図版1 沢部(2)遺跡から出土した炭化種実(1)

1. ヤマブドウ炭化種子(SK79,12層, No. ㉙~㉚), 2. クワ属炭化核(SK79,12層, No. ㉛~㉜), 3. クワ炭化果実(SK79, 12層, No. ㉝~㉞), 4. クワA炭化子葉(SK79, 4層, No. ㉟~㊱), 5. クワB炭化子葉(SK79, 12層, No. ㊲~㊳), 6. オニグルミ炭化核(SK79,12層, No. ㊴~㊵), 7. ウルシ属 スルデ炭化内果皮(SK79,4層, No. ㊶~㊷), 8. ウリノキ炭化種子(Ⅲ K77, Ⅱ a層, No. ①~⑤), 9. ミズキ炭化核(Ⅲ M77, Ⅱ b層, No. ㊸~㊹), 10. マタタビ属炭化種子(SK79,12層, No. ㊺~㊻), 11. ニワトコ炭化核(SK79,12層, No. ㊼~㊽), 12. タケノキ炭化核(Ⅲ K77, Ⅱ b層, No. ⑥~⑩), 13. ヒメ風炭化種子(SK79,12層, No. ㊾~㊿), 14. ヒメ風炭化種子(SK112内焼上, 3層, No. ㊿)





スケール 15-18, 20-26:1mm, 19:5mm

図版2 沢部(2)遺跡から出土した炭化種実(2)

15. アワ炭化種子(SK112内焼土, 3層, No. ㊸), 16. エノコログサ属炭化種子(SK79, 12層, No. ㊹~㊺), 17. ササ属炭化種子(SK79, 12層, No. ㊻~㊼), 18. スミレ属炭化種子(ⅢK77, II b層, No. ㊽~㊾), 19. ヒシ属炭化果実(SK79, 12層, No. ㊿~㋀), 20. ミズヒキ炭化果実(SK79, 12層, No. ㋁~㋂), 21. サナエタデ-オオイスタデ炭化果実(ⅢK77, II b層, No. ㋃~㋄), 22. イスタデ属A炭化果実(ⅢK77, II b層, No. ㋅~㋆), 23. イスタデ属B炭化種子(ⅢM77, II b層, No. ㋇~㋈), 24. キケマン炭化種子(SK3, 下層(床面直上層), No. ㋉-1), 25. ヤエムグラ属炭化種子(SK16, 2層下部, No. ㋊-2), 26. 不明A炭化種実(SK112内焼土, 3層, No. ㋋)

## 第5章 総括

### 第1節 縄文時代前期の遺構と遺物

#### 1 遺構について

##### (1) 遺構の種類・数量・配置状況

今回報告された当概期の遺構は、竪穴建物跡49軒(円筒下層a～c式期)、土坑13基(円筒下層a～c式期)、土器埋設遺構8基(円筒下層a～c式期)、捨場1か所(円筒下層a～b2式期)である。このうち土坑については土坑墓とみられるもの3基、フラスコ状土坑10基が含まれる。これらの施設は、遺跡が所在する尾根の頂部～斜面部に配置される。竪穴建物跡は斜面落ち際と、斜面裾部分の若干平坦な部分に多く配置され、IVAライン以北の調査区東側に存在する沢地地形部分には遺構が配置されない状況である。遺構配置図を一見すると、標高121m付近、125m付近、131m付近に等高線に沿って帯状に竪穴建物跡の空地がみられ、第250図のようなまとまりを持つように見える。土坑のうちフラスコ状土坑については、一部斜面に配置されるもの(SK3、円筒下層b2式期)もあるが、多くは尾根頂部の平坦面付近に配置されることが多い(円筒下層b2～c式期)。なお、フラスコ状土坑については、時期決定の根拠を欠くものは数量に入れていないので、もう少し数量が増えると思われる。土器埋設遺構もフラスコ状土坑と同様の配置状況がみられる。

##### (2) 竪穴建物跡について

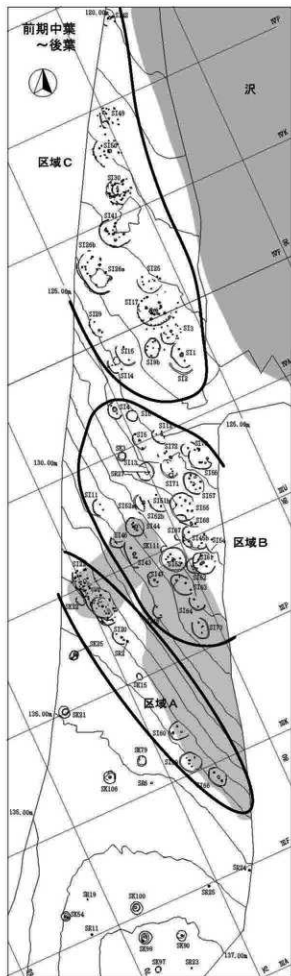
集落を構成する施設のうち、竪穴建物跡について若干の検討を加えてみたい。第2表には竪穴建物跡の諸属性を、第1表には主要属性の区域及び時期ごとの数量をまとめた。それによると本遺跡の当該期竪穴建物跡には以下のような特徴がみられる。

平面形：楕円形、円形、長楕円形などがみられる。

柱穴配置：第250図のように0～6本以上の柱が配置されるが、2本の柱穴が炉を挟むように長軸上に配置されるものの数量が小型の建物に多い。また、4本以上で梁間1間×桁行1間以上の長方形配置をとるものは竪穴規模が5mを超える。時期ごとにみると、円筒下層a～b1式期には、柱穴配置2と5bがみられる。円筒下層b1～b2式期には柱穴配置2が多く、4もみられるようになる。

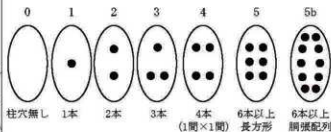
区域A		柱穴配置							炉					
時期種	竪穴数	0	1	2	3	4	5	5b	-a	b1	b2	c	d	-
a-b1	6			4					1	2	1	1	3	1
区域B		柱穴配置							炉					
時期種	竪穴数	0	1	2	3	4	5	5b	-a	b1	b2	c	d	-
a-b1	4		1	2	1						1		2	1
b1-c	9		8	1						2	5	1	1	
b1-b2	3	1	2							1	1	1		
b2-c	7		3	2				2		1	1	5		
c-	1		1							1	1			
a-c	2		2							1	1			
区域C		柱穴配置							炉					
時期種	竪穴数	0	1	2	3	4	5	5b	-a	b1	b2	c	d	-
a-b2	1						1							1
b2-c	4		1	2	1					1	1	1	1	
c-	1			1						1				
a-c	9		8	1						2	3	1	3	

第1表 区域・時期による竪穴属性の数量表

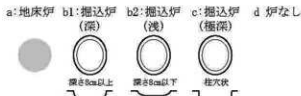


番号	時期	区域	長軸	炉	柱穴	所属施設
S1	下層a-c	C	4.9	b1	2	-
S13新	下層a-c	C	4.2	b1	4	壁柱穴
S13古	下層a-c	C	-	b2	2	
S14	下層a-c	B	3.2	b1	2	
S15	下層a-c	B	3.7	b2	2	
S16	下層a-b1	B	2.2	d	?	
S19b	下層a-c	C	3.1	d	2	
S111	下層b2	B	3.3	d	2	
S112	下層b1-2	B	3.2	b1	2	土坑
S113	下層b2	B	3.3	b2	0	
S114	下層a-c	C	3.0	-	2	
S115	下層a-c	C	4.5	-	2	
S117a	下層b2-c	C	6.3	c	4	壁柱穴・櫓?
S117be	下層b2-c	C	-	b1	2	
S120	下層a-b1	A	3.0	b1	2	
S122a	下層a-b1	A	4.5	b2	2	
S122d	下層a-b1	A	12.4	a	5b	壁柱穴
S126a	下層b2-c	C	8.6	-	5	壁周溝
S126b	下層b2-c以前	C	7.2	-	5	
S129	前期中葉以降	C	4.0	-	2	
S130a	前期	C	2.0	b2	2	
S141ab	下層b2-c	C	6.0	b2	4	
S143	下層b2式以前	B	5.5	b1	2	
S144a	下層a-b1以降	B	3.8	b2	2	
S144b	下層a-b1以降	B	-	b1	2	
S145b	下層b2以降	B	5.1	d	4	2か所
S146	下層b1~b2以降	B	2.7	b1	?	
S147	下層a-b1以降	B	3.0	b2	2	
S148	下層a-b1以降	B	2.5	d	2	
S149	前期	C	4.5	b2	2	テラス1・土坑
S150ab	下層b2-c以降	C	6.5	b1	4	壁柱穴
S151b	下層a-b1以降	B	-	b1	2	テラス1
S152a	下層b2-c以降	B	3.4	b1	2	
S153新	下層a-b1以降	B	5.1	b2	4	
S153古	下層a-b1以降	B	-	b2	2	
S154	下層a-b1	B	-	-	-	
S155	下層a-b2以降	B	5.4	d	4	テラス2
S156	下層b1~b2以降	B	4.8	d	2	テラス1
S157	下層a-b1以降	B	4.7	?	2	
S159	前期中葉以前	A	4.3	b2	2	
S160	前期中葉以前	A	3.5	d	?	
S161	下層b1~b2以降	B	4.5	b2	2	テラス1・壁柱穴
S163	下層a-b1	B	4.8	b2	2	テラス1
S164	下層b1~b2以前	B	3.3	d	2	
S166	下層a-b1	A	4.0	b2	2	
S170	下層b1~b2以降	B	2.8	d	2	
S171	下層b1~b2以降	B	3.7	d	2	土坑
S173	下層a-b1以降	B	4.1	b2	2	

第2表 竪穴建物跡の属性表



竪穴建物跡の柱穴配置分類



竪穴建物跡炉跡の分類



第250図 縄文時代前期の竪穴建物跡の分類と配置状況

炉跡：火床が赤く被熱する地床炉はSI22（円筒下層a～b1式期）のみである。この建物の炉跡は被熱範囲が深く広いのが特徴である。その他は床面を掘り込んだ掘込炉である。掘り込みの深さにより第250図のように3つに分類した。なお、SI1では炉内に灰とみられる灰白色の土壌が堆積するのを確認したが、そのほかの堅穴では確認できなかった。赤く被熱しないため炉と認定するのに躊躇したが、青森県内では、主に津軽・下北地域の縄文時代前期に類例が相当数見られるようなので、炉跡と判断した。火床が赤くならない理由は灰を厚く溜めた上で火を炊いていたためと想定している。なお、cとした極深の掘込炉については、SI17（円筒下層b2～c式期）のみにみられ、確認面に極弱い焼土がみられた。この炉形態は、周堤をもついわゆる「特殊施設」のありかたに類似する。

その他：床面端部の1または2か所にテラス状の段差が構築されたものが6例みられた。小型堅穴の場合長軸端部に、中型の穴の場合長辺の隅2か所にそれぞれ比高8cm程度の段差が構築されている。柱穴はこの段差の際に配置される。この施設は区域Bで多く見つかり、出土遺物などから円筒下層b1～b2式期に盛行したとみられる。その他には、SI12・71で壁際に小型の土坑が掘られているのが確認された。

### (3) 前期の集落の変遷過程について

第1表によると、区域Aでは円筒下層a～b1式期、区域Bでは円筒下層b1～b2式期、区域Cでは円筒下層b2～c式期に建物跡が増加することがわかる。したがって建物跡群はおおまかにA→B→Cの順に変遷することが想定される。これをもとに各時期の集落施設と特徴を以下にあげてみた。

#### 円筒下層a～b1式期の集落（主に区域A）

堅穴建物跡・捨場で構成され、10m超の大型と小型のものがセットとなる。炉跡は地床炉と掘込炉がみられる。斜面最上位に施設が並ぶ。捨場は建物跡内部や周辺にみられる。

#### 円筒下層b1～b2式期の集落（主に区域B）

堅穴建物跡・フラスコ状土坑・土器埋設遺構・捨場で構成される。建物跡が斜面に、フラスコ状土坑・土器埋設遺構は一部を除き尾根頂部に配置される。堅穴建物跡は楕円形で小型のものと、長軸6m程度のやや大きめの円形ないし長楕円形のものがセットとなる。大きめなものは斜面やや下方の緩斜面付近に配置されている。また、壁際にテラス状の段差が構築されるものも特徴的である。炉には掘込炉がある。捨場が本格的に形成され始める。

#### 円筒下層b2～c式期（主に区域C）

堅穴建物跡・フラスコ状土坑・土器埋設遺構・捨場で構成される。また、土坑墓はこの時期に比定されるかもしれない。建物跡は緩斜面に配置されるものが多く、6mを超えるやや大きめの円形または楕円形のものが増える傾向がある。小型と大型のセットから、大型主体に小型が付随する構成に変化した可能性がある。その他の施設は土坑や土器埋設遺構が丘陵頂部に引き続き配置される。ただし区域Cについては攪乱・削平が激しく遺構上部が滅失しているものが多いため遺構上面に捨場等が形成されていた可能性は否定できない。

これらに加え、尾根頂部には多数の小ピットが検出されている。これらの中には縄文時代中期末葉～後期初頭の堅穴建物跡の残骸や独立柱建物跡が含まれると共に、縄文時代前期の堅穴建物跡の柱穴も含まれる可能性は否定できない。

## 2 土器について

### (1) 土器の出土状況

今回の調査では、円筒下層a～c式土器が出土した。各型式の出土量は計測していないが、復元されたものの量を見る限り、下層a～b1式の量が多く、下層b2～c式がこれに続くと思われる。これらは、使用状態で近い状況で遺構の底面等から出土するものがほぼ無く、竪穴建物跡の凹地や遺構外や捨場などに上砂等と一緒にまとめて廃棄されていることが特徴である。但し、プラスチック状土坑と土器埋設遺構は別で、前者では十坑底面付近からやや上位で完形に復元されるような個体が複数出土する場合がある。後者では土器そのものを地面に穴を掘って埋めているため、使用状態のまま発掘される。以下、今回報告した土器群において、遺構内外からまとまった状況で出土したものや、特徴的なもの等について概説する。なお、第3章本文中や土器観察表における土器型式比定は、本稿より若干幅を持たせている。

### (2) 一括出土資料群の概説(第251・252区)

#### 円筒下層a式土器

SI22・66のほか、捨場Ⅱb層でまとまった資料が得られた。底径と口径の差が大きいバケツ状の器形を持ち、口縁部に結節回転文が施文されるのが特徴である。胴部文様には結節回転文・単軸絡条体第1類・撚り戻し縄文等が多用されるのが特徴である。口縁部と胴部の区画には陰帯が用いられ、SI6のように指頭押圧と組み合わせて加飾されることが多い。また、SI22では遺構の重複と土器の廃棄の前後関係等により、下層a式(SI22d・SI22a)と下層b1式(SI22ハ区1層)が上下逆を持って出土している。

#### 円筒下層b1式土器

SI22・SK3・捨場Ⅱa'層でまとまった資料が得られた。下層a式に比べ、口径と底径の差が小さくなり、器高が伸び全体的に細長い器形が多い。口縁部には結節回転文のほか、各種絡条体が横位に施文されることが多い。SI22ロ・ハ区のように多くの個体に口縁部区画陰帯が用いられる。指頭押圧と組み合わせた加飾も多い。陰帯は下層a式に比べ低く、細くなる。使用される原体は下層a式とあまり変化は無いが、胴部に結節回転文を帯状に施文するものがやや多くみられる。SK3の資料は絡条体を回転施文する個体が多く、下層b1式とb2式との中間的な様相とみられる。

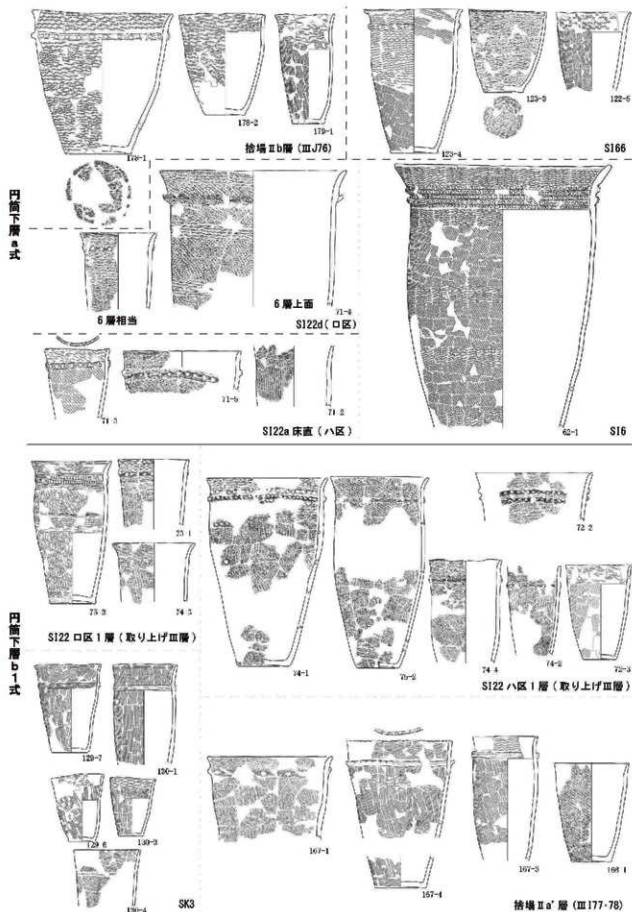
#### 円筒下層b2式土器

プラスチック状土坑から一括資料が得られている。また、下層b1式の器形をさらに上下に伸ばしたような器形を持つ。口縁部には縄や絡条体原体の横位回転や羽状縄文がみられ、陰帯はさらに低くなる。陰帯の他に縄の側面圧痕による区画もみられる。胴部文様には単軸絡条体第1類や多軸絡条体の他、RIIや撚り戻し縄文などがみられる。

#### 円筒下層c式土器

一括資料はSK25・SI41・43等でみられる。資料数は下層b2式に比べ少ない。器形は下層b2式とあまり変化はなく、波状口縁が増える傾向がある。口縁部には無文地や羽状縄文地に縄の側面圧痕により平行線・縦区画などの文様が施文されるものがみられる。SI41の96-11は全面条痕整形されている。なお、遺構外の238-11については、口縁部文様帯幅が狭く、胴部に上下幅の狭い羽状縄文が帯状に数段施文されている。これらの特徴は下層d1式によくみられるため、本個体は下層d1式に比定される可能性がある。

本遺跡の円筒下層式土器群は、平川市大面遺跡や人勢町大平遺跡に類例を求めることができ、津軽南部地域の特徴をよく表した土器群だといえよう。



第251図 前期の土器(1)



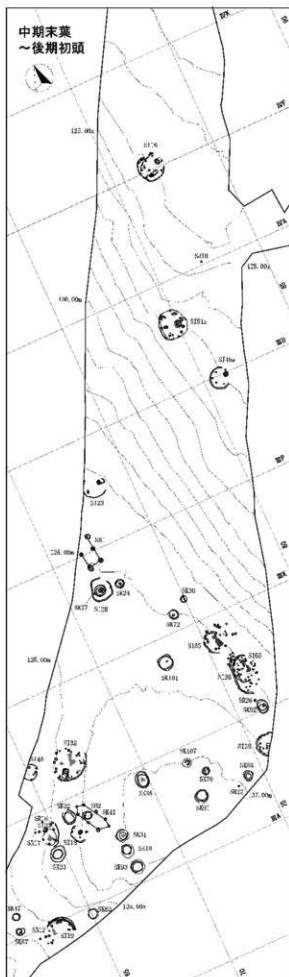
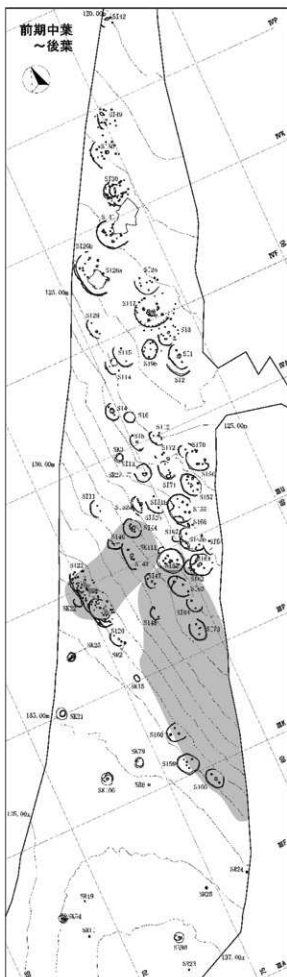
第252図 前期の土器(2)

(3) 注意すべき文様について(第252図)

口縁部や胴部に爪状あるいは梢円形の刺突様の圧痕が帯状に連続する個体が複数確認され、8点を掲載した。これらの文様は、円筒下層式土器の研究史初期において青森県つがる市石神遺跡や秋田県大館市茂谷下岱遺跡等で注目されていたものである。近年になり、青森県弘前市神原(2)遺跡において同様の文様が多数検出され、木の枝を回転したものの可能性があることが報告された(青森県教委2013)。その後、これらの圧痕の原体が、「冬芽」の「葉痕」の可能性が高く、葉痕の間隔が詰まった「短枝」の回転圧痕である可能性などが指摘され、その圧痕が前期前葉から円筒下層b1式までの北海道から東北地方に分布することが判明した(秦・茅野2018)。特に青森県津軽地域と秋田県大館盆地で出土量が多い。本遺跡出土資料では、腎形や爪形の圧痕が口縁部や胴部に帯状に施文されるものがみられた。これらはおおむね円筒下層a～b1式に比定される。このうち238-6については、圧痕が他と比べて小さく菱形を呈するのが特徴である。今回は樹種の特定までいられなかったため、その点については今後の課題としたい。

(茅野)





第253圖 時期別遺構配置圖

0 5-1/700 20m

## 第2節 縄文時代中期末葉～後期初頭の遺構と遺物

### 1 遺構について

本遺跡では縄文時代中期末葉～後期初頭に帰属する遺構として、竪穴建物跡14棟、掘立柱建物跡2棟、フラスコ状土坑6基、土器埋設遺構5基が検出された。また、中期末葉～後期初頭の土器片が含まれるフラスコ状土坑14基については、該期より後の時期の遺構・遺物が遺跡内にほとんどないことから、該期に属する可能性が高い。

#### (1) 遺構の配置状況

遺構配置(第253回)をみると、調査区南側の尾根上に位置する遺構が多数を占め、斜面裾の若干平坦な部分に竪穴建物跡3棟と土器埋設遺構1基が点在する。

尾根上に位置する竪穴建物跡は、斜面落ち際の標高135mライン付近に東列と西列に分かれて分布する。現状では列状配置と捉えられるが、竪穴建物跡が分布する標高135mラインは調査区外で環状となることから、環状配置もしくは馬蹄形配置となる可能性もある。東列と西列には掘立柱建物跡が各1棟伴い、東列には長方形を呈するSB1が等高線に平行に、西列には亀甲形を呈するSB2が等高線に対して45°の角度で位置する。各掘立柱建物の周辺には単独の柱穴が多数検出されていることから、掘立柱建物跡が複数存在していた可能性が高い。フラスコ状土坑は竪穴建物跡と同様に標高135mライン付近に構築されるものの他に、尾根頂部である標高137m付近に構築されるものがある。詳細は後述のとおりであるが、前者は比較的浅く、後者は深い傾向が看取される。土器埋設遺構は、土坑と同様に標高135mライン付近に構築されるものと標高137m付近に構築されるものがある。

#### (2) 竪穴建物跡について

竪穴建物跡に伴う属性について、傾向や特徴を以下にまとめる。各遺構の属性は第3表に記載し、集成図を第254図に掲載した。

##### 【規模・形態】

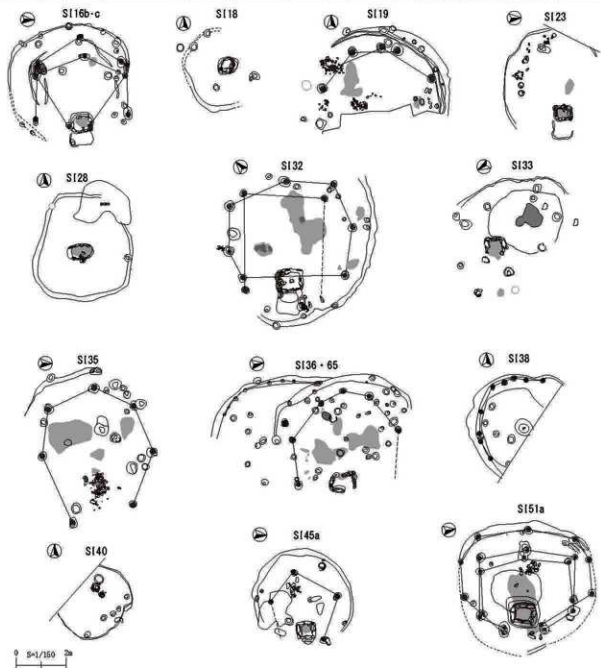
竪穴建物跡は竪穴全体が検出された例はないものの、残存部分からおおよその形態を復元することが可能であった。平面形はいずれも円形もしくは楕円形で、規模は径約4～6.5mのものが多いが、径約3mの小型の建物跡も1棟(SI40)存在する。

##### 【炉】

該期の主体となる径約4～6.5mの竪穴建物跡の炉は、複式炉が3棟、石囲炉が7棟、周堤炉が1棟、被災により炉が確認できないものが2棟である。複式炉は方形の石組部と床面を方形に窪めた前庭部からなる。前庭部にピットや溝を伴う例はない。SI16・23は等高線の低い方の壁際に、SI32は等高線に平行する壁際に構築され、いずれも前庭部は固く締まる。石組部は長方形平面で、炉の主軸方向を短軸、それに直行する方向を長軸とする。炉床は床面より低い。石囲炉は7棟で確認されたが、そのうち4棟(SI33・45・51・65)は複式炉の石組部と同様の配置及び形態であることから、明確な前庭部は検出されなかったものの、複式炉に準ずる炉形態と捉えることができる。また、SI35も残存状況から同種の炉の可能性が高い。SI18・28の炉は舟形を呈し、竪穴中央に構築される。SI28は後期初頭に比定されることから、この形態の炉を伴う2棟は

第3表 中期末葉～後期初頭の堅穴建物跡属性表

遺構名	柱穴配置	壁柱穴	炉	土器埋設遺構	焼土	辺長(m)	壁替	炭焼時遺物炭葉	壁溝	備考
SI16c	5	—	推式伊	—	—	4.6×4.0	2	○	—	伊石抜き取り。
SI18	?	—	石圍伊	—	—	3.7	—	—	—	—
SI19	?	○	—	SR12	大形焼土塊	5	1	○	○	ピットとSR12上面の石直列一(被熱)。埋設土器被熱なし。SI32-40で同一個体土器片出土。
SI23	—	—	推式伊	○	—	4.2	—	○	—	炭焼後土器埋設、土器分割炭葉。
SI28	—	—	石圍伊	—	—	4.2×3.6	—	—	—	—
SI32	4-7	—	推式伊	—	床面被熱	6.5	1	○	—	伊脇に二箇一対の立石、伊石抜き取り。SI19-40で同一個体土器片出土。
SI33	?	—	石圍伊(複式伊?)	—	大形焼土塊	4~5	—	○	—	—
SI35	7	—	石圍伊(複式伊?)	○	床面被熱	5.5	—	○	—	炭焼後土器埋設、土器分割;伊上面炭葉、伊破盛。
SI36	?	○	—	—	—	5	—	○	—	—
SI38	?	○	扇揚伊	—	—	4.5	—	—	—	—
SI40	?	—	—	—	—	3	—	○	—	SI19-32で同一個体土器片出土。
SI45a	5	—	石圍伊(複式伊?)	○	—	4	—	○	—	—
SI51a	5-7-9	—	石圍伊(複式伊?)	○	床面被熱	5.3	2	○	○	青波黄赤・赤色顔料器器出土、アスファルト塊、アスファルト器器出土、伊石抜き取り、炭焼後土器埋設。
SI65	7	—	石圍伊(複式伊?)	○	床面被熱	5	—	?	—	—



第254図 中期末葉～後期初頭の堅穴建物跡集成図

他の建物跡よりも新しいと考えられる。周堤炉を伴う1棟(SI38)については、周堤炉に前底部が伴う複式炉状の炉が該期に認められることから(青森県教委1995)、本例も同種の炉となる可能性がある。小型のSI40は炉が伴っていた可能性があるが、判然としない。

#### 【柱穴配置】

主柱穴配置が復元できたのは6棟である。5・7・9本の奇数を基本とし、炉の主軸線上に1基と主軸に対し概ね左右対称に配置される。SI16の柱穴は細長い掘方を持つことから、柱が板状に加工されていた可能性がある。壁柱穴が伴うのは3棟である。これらはいずれも主柱穴配置が不明であるが、主柱穴となりうる柱穴が検出されていることから、主柱穴＋壁柱穴の構造となる可能性もある。小型のSI40については、ピットは検出されたものの性格は特定しがたく、柱穴の構造は不明瞭である。

#### 【その他の施設】

##### a. 壁溝

2棟(SI19・51a)で検出された。どちらも全周はせず、部分的に巡る。

##### b. 土器埋設遺構

5棟に土器埋設遺構が伴い、そのうち3棟(SI23・35・65)は建物廃絶後に構築されている。SI19の土器埋設遺構(SR12)は、埋設土器上面に破損した石皿が被せられており、同一個体の石皿が建物ピット内から出土している。SI45aの土器埋設遺構は、建物埋没段階で床面から口縁部が10cm程度表出していたと復元される。どちらも構築のタイミングは定かではないものの、他の3例と同様に建物廃絶後埋設の可能性も考えられる。また、SI51のpit11やSI36・65のpit29にはほぼ完形に復元可能な土器が出土しており、これらも土器埋設遺構の可能性がある。土器埋設遺構は建物壁際に構築される傾向が看取されるものの、位置については特定の傾向は認められない。

1) SI65内に位置するpit29はSI36に伴う可能性があるため、その場合は6棟となる。

##### c. 立石

SI32において、炉の脇に2個一対の立石が検出された。同種の施設については、出入口の可能性が指摘されている(岩手県埋文1978、石井2003ほか)。東北地方北部の縄文時代中期末葉から後期に見られる施設であり、青森県内では後期に事例が増加する傾向が指摘されている(石井2003)。中期末葉の例としては、弘前市(旧相馬村)湯口長根遺跡(相馬村教委1999)や西目屋村川原平(6)遺跡(青森県教委2016)・水上(2)遺跡(2017b)などがある。

#### 【廃絶に伴う痕跡】

##### a. 焼失建物

本遺跡では床面が広範囲に被熱もしくは大形の焼土塊が覆土に含まれ、炭化物が覆土に多く混入する建物が6棟検出された。奥壁部と複式炉の間に焼土が見られる例については、地床炉とみる説もあるが(阿部2008 p.163)、本遺跡の例は被熱範囲が広く、地床炉とするには規模が大きいが、炭化材が出土していないため、焼失建物と認定するには十分には条件を満たしていないもの(岡村2007)、前述の理由より焼失建物と推定した。半数程度が焼失建物であるため失火とは考えにくく、廃絶に伴う意図的な行為が想定される。

##### b. 炉石の抜き取り

4棟で廃絶時に炉石が抜き取られた痕跡が確認された。SI35では一辺が残存するのみであり炉の形状を留めていないことから、積極的な破壊行為が想定される。SI16・32・65は炉石の一部が抜き取られている。

### c. 土器埋設と遺物廃棄

10棟で遺物の廃棄が行われ、3棟(SI23・35・65)は建物廃絶後に土器埋設遺構が構築されている。廃棄される遺物は、ほぼ完形に復元可能な土器が一定数含まれ、炉上面に廃棄される例(SI32・35)や、床面に整然と据え置かれる例(SI23)もある。また、土製品・石製品が複数含まれる例(SI40・45a)もあり、SI45aでは完形の土偶が出土した。土器埋設遺構が構築された3棟では、SI35で深鉢の下部が埋設され上部が炉上面に廃棄されており、SI23で深鉢の下部が逆位に埋設され上部が近接して廃棄されていた。SI65では深鉢の下部が浅い窪みに据え置かれており前2者と同様の様相を呈するが、上部については判然としない。なお、SI19・32・40では覆土から同一個体の土器片が出土しており、各建物跡の相関性が窺われる。

以下、上記を踏まえ堅穴建物跡の様相をまとめる。

該期の堅穴建物跡のうち、前述のとおり2棟(SI18・28)は後期初頭に属する可能性が高く、その他の堅穴建物跡は、出土遺物や炉の形態から中期末葉に属すると考えられる。小型のSI40も後期初頭の土器が1点出土しているものの、遺物廃棄の様相が中期末葉の堅穴住居跡に類することから、中期末葉に属する可能性が高い。

中期末葉の堅穴建物跡は、径約4～6.5mの円形もしくは楕円形を呈するものが主体を占め、径約3mの小型の堅穴建物跡が1棟存在する。径約4～6.5mの堅穴建物跡は奇数の主柱穴を持ち、複式炉や備する石囲炉を伴う。また、土器埋設遺構が付随する例やピット内に土器が廃棄される例が一定数見受けられる。廃絶にあたっては、焼失・炉石の抜き取り・土器埋設などの行為が行われ、埋め戻し時に大量の遺物が廃棄される傾向がある。特異な例として周堤炉を伴うSI38があり、この堅穴建物跡には明確な主柱穴配置は認められず、壁柱穴が付随する。また、建物廃絶時の行為や遺物の大量廃棄は行われず、小型のSI40は、炉や主柱穴は判然とせず、土器埋設遺構は認められないが、埋め戻し時には大量の遺物が廃棄される。

該期の堅穴建物跡は、炉や壁溝を含む形態や規模については該期の一般的な様相を呈するものの(青森県教委2006・2011bなど)、柱穴配置については5・7・9本の奇数を主流とし、偶数配置が極めて少ない点で特徴的である。また廃絶にあたっては、焼失や炉石の抜き取り、土器埋設などの行為が行われ、埋め戻し時に遺物を大量廃棄するなど、儀礼的な様相が看取される建物が多く存在する。

後期初頭の可能性が高い堅穴建物跡2棟は明確な主柱穴配置が認められず、舟形の石囲炉が堅穴中央に構築される。建物廃絶時の行為や遺物の大量廃棄は認められない。

後述のとおり、中期末葉の堅穴建物跡から出土した土器は大木10併行新相段階に納まることから、中期末葉の集落の時期幅は比較的短いと考えられる。後期初頭と考えられる堅穴建物跡には時期を示す明確な遺物が伴わないことから、中期末葉の集落からの連続性については判然としない。

### (3) フラスコ状土坑について

フラスコ状土坑の属性について、傾向や特徴を以下にまとめる。各遺構の属性は第4表に記載した。

#### 【配置と形態】

該期に属するフラスコ状土坑は20基検出されており、構築位置で2つのグループに分けることができる。尾根頂部(標高137m付近)に構築されるグループ(SK10・31・35・70・83・91・93・107)は、深さ82cmのSK107を除いていずれも132～193cmと深い傾向があり、底面にピットや溝が付伴例はない。堅穴建物跡と同

第4表 中期末葉～後期初頭のフラスコ状土坑属性表

遺構名	位置	深さ (cm)	焼土 (輪出層位)	炭化材など	大形礫	特徴的な遺物(出土層位)
SK10	尾根遺跡	193	—	—	底面僅数	漆鉢・石皿・両面調整石器(上層直上4・5層)、図石(下層)
SK24	標高135m付近	80	小形塊(上層)	—	—	土器片多量・土製品(焼土・上層、土器類)
SK30	標高135m付近	77	散粒(上層)	—	—	小形焼石片・石皿・図石(中層直上層)、右鍔(1層)
SK31	尾根遺跡	189	—	—	上層(焼土直下)中央	小形焼石片(下)、右鍔(底面直上)、右鍔(上層)、図石(焼土付次)
SK32	標高135m付近	196	小形塊(上層)	—	上層僅数	石皿・赤銅ミニチュア土器(上層)、図石・焼石(下層)、土器片多量(全体)
SK33	標高135m付近	160	—	—	底面中央付近	スライパース(覆土)、土器片多量・調整石片(上層)
SK35	尾根遺跡	175	大形塊(上層)	—	焼土内中央	石製未成器・磨製石斧(焼土直下)
SK41	標高135m付近	112	—	—	後期直中央	両面調整石器・土器片多量(上層)、右製品(底面直上12層)
SK47	標高135m付近	88	—	—	—	—
SK53	標高135m付近	104	—	—	下層中央部右側	土器・石皿・石鍔(底面)
SK70	尾根遺跡	132	大形塊(中層)	底面に面的な炭化材	焼土上中央	—
SK72	標高135m付近	76	小形塊(上層)	—	—	—
SK77	標高135m付近	124	—	底面に炭化材	中層僅数	石鍔(中層直上4層)、石皿・MVP・磨2・石製品(覆土)
SK83	尾根遺跡	147	粒状(上層)	—	—	—
SK87	標高135m付近	73	—	底面に炭化材	底面付次やや鍔等	準円状扁平打製石器(覆土)
SK91	尾根遺跡	162	粒状(全体)	—	—	—
SK92	標高135m付近	124	小形塊(上層)	—	—	図石3・磨石(上層)、図石1・石鍔状物(下層)
SK93	尾根遺跡	157	大形塊(上層)	—	—	土器片多量・図石3・土製品4(上層)
SK101	標高135m付近	140	小形塊(上層)	—	—	スライパース(覆土)
SK107	尾根遺跡	82	—	—	—	土器片多量・図石2・石鍔(上層直上土層上面)、磨石(下層)

様に標高135mライン付近に構築されるグループ(前述以外)は、SK32(深さ196cm)やSK101(深さ140cm)が深いほかは、いずれも73～124cmと浅い傾向がある。底面に小穴が伴う例が4基あり(SK24・30・72・87)、これらは深さが73～80cmであることから、比較的浅いフラスコ状土坑に底面施設が伴う傾向が看取される。

#### 【混入物】

20基のうち16基では覆土に焼土塊・大形礫・遺物が特徴的に含まれ、ひとつの土坑に複数の要素が見られる。また、焼土塊・大形礫などが含まれないものには、底面から炭化材が出土した例が2基(SK77・87)存在する。

焼土塊は9基で確認され、定形的な出土状況を呈する。大形の焼土塊が廃棄されるものと小形の焼土塊が集中的に廃棄されるものがあるが、どちらも検出面から底面までの深さを1とすると、検出面から1/4～2/5付近の深さの土坑中央に堆積する。

大形の焼土塊が含まれる土坑は4基(SK31・35・70・93)あり、根根頂部に分布する土坑に見られる。その内3基(SK31・35・70)では焼土塊に大形礫が伴い、SK31・35では合わせて遺物も伴う。SK35出土の大形礫には被熱度が認められる。

一方、小形の焼土塊が集中的に廃棄される土坑は5基(SK24・32・72・92・101)あり、SK24やSK101で焼土塊に遺物が伴い、SK24の遺物には被熱度が認められる。他の3基も上層や中層で遺物が出土していることから、これらも焼土塊に伴っていた可能性がある。大形礫は、焼土塊に伴う例はないもののSK32・72で上～中層の壁際から出土している。

焼土塊が含まれない例についても、3基(SK30・83・91)では覆土に焼土粒が含まれる。また、焼土塊が伴わず大形礫が伴う例は5基(SK10・33・41・63・83)あり、SK10・33・63・83は底面付近中央もしくは壁際、SK41は確認面中央で出土している。

遺物は、土器や石器に加えて土製品や石製品も含まれる(SK24・32・41など)。また、完形の土器が出土した例はほとんどない。出土層位は、焼土や大形礫付近(SK24・31・32・35・41・101)もしくは底面付近(SK31・41・63)で出土する傾向があるほか、それ以外の特定の層位でまとまって出土する例(SK10・30・33・92)もある。



以下、上記の様相を踏まえフラスコ状土坑の特徴をまとめる。

フラスコ状土坑は尾根頂部付近(標高137m付近)と斜面落ち際(標高135m付近)に分布し、前者は深さ130cm以上、後者は深さ130cm以下を主体とする。ピットや溝などの底面施設は、深さ80cm以下の浅い土坑に伴う。9割のフラスコ状土坑で焼土塊・大形礫・遺物・炭化材が検出され、それぞれ特徴的な出土傾向が看取される。特に大規模な焼土塊が含まれるものは尾根頂部付近に限定的に認められ、SK93を除く3基では焼土に大形礫を伴う。

上記の混入物の出土状況を踏まえると、本遺跡の該期のフラスコ状土坑は廃絶に際し、土坑墓としての利用も含め、何らかの儀礼行為が行われたものと推定される。

#### (4) 土器埋設遺構について

建物に伴わない土器埋設遺構は5基検出した。埋設土器は4基が深鉢、1基が壺である。口縁部が残存するものはないが、削平などにより滅失した可能性もある。底部は残存するものが3例、欠失するものが2例である。有文土器が用いられる例はSR26のみである。堅穴建物跡と重複するSR17やSR18は、該期の堅穴建物跡内に土器埋設遺構が構築される例が多く見受けられることから、堅穴建物に伴う土器埋設遺構であった可能性もある。遺構の性格を示すような資料は得られていないことから、いずれも性格は特定し難い。

## 2 土器について

該期の土器は主に堅穴建物跡の覆土から出土した。廃絶に伴う一括廃棄と考えられる。器種は深鉢が主体を占めるが、鉢や壺も含まれる。深鉢の器形は、口縁部が開き、頸部が括れて胴上部が膨らむものが主流である。鉢は底部から丸みを帯びて立ち上がり、口縁部で内側に屈曲するもの(80-2)と、開いて立ち上がり口縁部でやや内湾するもの(95-2)がある。壺は、口縁部が残存する2点(88-2、118-1)は広口壺であり、体部上半で最大径となる。口縁形態は平口縁のほか、深鉢では波状口縁もあり、どちらも口唇部は平坦に面取りされるものが多い。波状口縁は4単位が多いが、3単位も僅かに認められ(94-1)、波頂部が捻りのある把手状となるもの(93-8など)が一定数存在する。有文土器は、地文が施された後に沈線でJ字状やS字状の文様が描出されるもの(67-5など)と、沈線で文様が施された後に地文が充填されるもの(89-2など)があり、両者は共存する(SI19など)。後者には縞状隆帯が多く見受けられる。縞状隆帯は沈線脇(80-1など)や波頂部、口縁内面に付される(94-1など)。地文は単節縄文が主流であるが、単軸絡条体第1類も見受けられる。いずれも条が縦方向となるように回転施文されるものが多い。縄文原体は、単節縄文はRL、単軸絡条体第1類はLが主体である。その他に条痕文が施されるものが1例ある(93-6)。底面には大多数に網代痕が認められる。これらの土器は、文様などの特徴から大木10式並行新相段階に比定される。

特筆される土器として、SI33出土の広口壺(88-2)がある。口縁部の残存率が1/3程度であるため推定ではあるが、有孔罎付土器のように、口縁部に穿孔が巡っていたものと考えられる。口縁部は無文で、体部にはLR縄文が施される。体部には横位の橋状把手が付加されていた痕跡が残る。内面には全面に赤色顔料が僅かに認められる。なお、口縁部と体部は接合せず、図上で復元している。

(岩井)



第8表 土器観察表(5)

期号	写真番号	出土地区	出土位置	解説	その他の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号	
F01	12-110	遺構内	S147	上層	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	R線脚	海番1条 垂帯上付片	R線脚1(縦)	ミガキ	灰倉地 (外) 穿孔 10ヶ	10.3	—	(8.7)	F0185	
F01	13-110	遺構内	S147	上層	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	—	横溝付垂帯 上付片	R線脚1(縦)	ミガキ	—	—	(20.0)	—	F0186	
F01	14-110	遺構内	S147	中層 下層	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	R線脚 海番1条 垂帯上付片	R線脚1(縦)	ナブ	灰倉地 (外)	(22.0)	11.1	(42.0)	F0181	
F01	1-1	遺構内	S148	層上	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	R線脚 海番1条 垂帯上付片	R線脚1(縦)	ナブ	灰倉地 (外)	—	—	(6.1)	F0188	
F02	2-111	遺構内	S148	2層	P1	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	R線脚 海番1条 垂帯上付片	R線脚1(縦)	ミガキ	—	(27.8)	—	(12.8)	F0189	
F03	3-1	遺構内	S150	層上	—	Ⅱ下b2~e	深鉢	平	坂平左渡 次	R線脚1(縦)	ナブ	灰倉地 (外)	—	—	(2.0)	F0190	
F03	5-111	遺構内	S151a	pit11	—	大木10	深鉢	平	沈殿 瓦	—	ナブ	口縁部 のみ有り	22.9	—	(32.8)	F0020	
F03	6-111	遺構内	S151a	最下層	P10	大木10	深鉢	—	L線脚	—	ナブ	赤 土色釉料付 器底	(28.9)	5.2	(5.3)	F0192	
F03	7-111	遺構内	S151a	最下層	P12	大木10	深鉢	—	L線脚1(縦)	—	ナブ	灰倉地 (外)	(9.6)	5.6	(5.8)	F0193	
F03	8-111	遺構内	S151a	層上	—	大木10	鉢	平	—	横文(ナブ) 口縁部に横溝あり	ナブ	灰倉地 (外) 赤土色 釉料付器底	9.1	4.6	6.2	F0191	
F03	9-111	遺構内	S151a	層上	—	大木10	深鉢	横紋	海番 沈殿 瓦片に伴う横溝海番 瓦 (沈殿)	—	ナブ	灰倉地 (外)	—	—	(7.7)	F0195	
F03	10-1	遺構内	S151a	層上	—	大木10	深鉢	平	L線口付加急	—	ナブ	—	—	—	(2.9)	F0196	
F03	11-111	遺構内	S151a	層上	—	大木10	深鉢	平	口唇平趾 海番 沈殿 瓦片刺突	—	ナブ	口縁部に 横溝あり	—	—	(5.3)	F0197	
F03	12-1	遺構内	S151a	層上	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	R線脚 海番1条 垂帯上付片	R線脚1(縦)	ナブ	灰倉地 (外)	—	—	(6.1)	F0198	
F04	1-111	遺構内	S151a S148	最下層 層上	P7	大木10	深鉢	平	口唇平趾 坂平左渡 次	R線脚1(赤)	ミガキ	—	29.4	—	(36.2)	F0021	
F04	4-1	遺構内	S151b	層上	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	—	L線脚1(赤)	—	ミガキ	灰倉地 (外)	—	(3.5)	—	F0191	
F05	6-111	遺構内	S152	層上	—	Ⅱ下b2~e	深鉢	平	坂平左渡 次	R線脚1(縦)	ナブ	灰倉地 (外)	(15.2)	—	(10.0)	F0199	
F05	7-1	遺構内	S152	①層	—	Ⅱ下b2~e	深鉢	平	R線脚1(赤)	—	ナブ	灰倉地 (外)	(12.2)	—	(3.9)	F0200	
F05	8-1	遺構内	S152	①層	—	Ⅱ下b2~e	深鉢	平	L線脚1(縦)	—	ミガキ	灰倉地 (外)	(15.2)	—	(4.5)	F0201	
F06	1-112	遺構内	S153	上層	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	L線脚1(赤) 垂帯上付片	R線脚1(赤)	ミガキ	灰倉地 (外)	(16.8)	—	(19.0)	F0202	
F06	2-1	遺構内	S153	最下層	P1	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	R線脚	R線脚1(縦)	ナブ	灰倉地 (外) 穿孔 10ヶ	—	—	(8.2)	F0203	
F06	3-1	遺構内	S153	上層	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	L線脚 海番1条 垂帯上付片	L線脚1(赤)	ナブ	灰倉地 (外)	—	—	(7.3)	F0204	
F06	4-112	遺構内	S153	上層	—	Ⅱ下b2	深鉢	平	R線脚6A	—	ナブ	灰倉地 (外)	—	—	(5.3)	F0205	
F06	5-1	遺構内	S153	最下層	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	口唇平趾 海番1条 垂帯上付片	R線脚1(赤)	ナブ	110-112 灰倉地 のみ	—	—	(8.7)	F0206	
F06	6-112	遺構内	S153	上層	—	Ⅱ下b2	深鉢	平	R線脚 海番1条 垂帯上付片	R線脚1(縦)	ミガキ	—	—	—	(6.6)	F0207	
F06	6-113	遺構内	S154	1層	P1	Ⅱ下a~b2	深鉢	平	L線脚	L線脚1(縦)	ミガキ	—	31.6	12.2	37.0	F0022	
F10	1-1	遺構内	S155	1層	—	Ⅱ下a~b2	深鉢	平	口唇平趾 沈殿 瓦	L線脚1(赤)	ナブ	—	—	—	(4.3)	F0208	
F10	2-1	遺構内	S155	下層	—	Ⅱ下a~b2	深鉢	—	R線脚1(赤) 沈殿 瓦	—	ナブ	—	—	—	(3.7)	F0209	
F10	3-1	遺構内	S156	下層	—	Ⅱ下a~b2	深鉢	—	海番1条 海番1条 垂帯上付片	R線脚1(赤)	ミガキ	—	—	—	(5.5)	F0210	
F11	3-1 3-2	113	遺構内	S156	1層	—	Ⅱ下b2~e	深鉢	平	坂平左渡 次	R線脚1(赤)	ミガキ	灰倉地 (外)	(19.2)	(7.2)	(17.8) (5.0)	F0211
F11	4-1	遺構内	S156	層上	—	大木10	深鉢	平	突起 沈殿 瓦(地文)	—	ナブ	—	—	—	(6.8)	F0213	
F11	5-113	遺構内	S156	層上	—	坂平左渡 次	鉢	平	L線脚	—	ナブ	灰倉地 (外)	—	—	(4.3)	F0214	
F11	6-113	遺構内	S156	層上	—	坂平左渡 次	鉢	平	沈殿 L線脚	—	ナブ	—	—	—	(3.3)	F0212	
F13	1-1	遺構内	S157	層上	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	L線口付加急	—	ナブ	灰倉地 (外)	—	—	(4.1)	F0216	
F13	2-1	遺構内	S159	坂から5 m	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	L線脚1(赤)	—	ナブ	ミガキ	—	—	(3.4)	F0223	
F13	3-111	遺構内	S159	上段	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	R線脚	R線脚1(赤)	ミガキ	—	18.9	9.8	38.0	F0023	
F13	4-111	遺構内	S159	1層	pit1	Ⅱ下a~b1	深鉢	平	口唇平趾 沈殿 瓦	R線脚1(赤)	ミガキ	—	(17.4)	—	(21.5)	F0217	
F13	5-114	遺構内	S159	1層	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	—	—	L線脚1(縦)	ナブ	灰倉地(内 外)	(17.0)	(8.0)	(29.8)	F0218	
F13	6-114	遺構内	S159	層上	—	Ⅱ下a~b1	深鉢	—	—	R線脚1(赤)	ナブ	灰倉地 (外)	—	(10.0)	(22.0)	F0219	

### 第3節 石器について

#### 1 石器群

##### (1) 遺構内からの一括出土品

竪穴建物跡では、SI22の出土品が石鏃、石匙、半円状扁平打製石器、凹石など円筒下層a式期の石器の特徴を現している。土坑ではSK111からは石鏃、石匙、緑色岩製磨製石斧が出土した。石鏃は3点の有茎尖基鏃で丁寧に加工されている。青森市石江遺跡・新町野遺跡、大館市池内遺跡の円筒下層d式期の土坑墓出土品と類似した石器の組成であり、石鏃の形状も共通する。SK15からは、石鏃・石鏃未成品と2点の磨製石斧、石匙が出土している。円筒下層b2式期以降に比定されているSK28からは基部に抉りの入った異形の石槍と石匙、凹石等が出土している。異形の石槍は形状が異なるものの青森市石江遺跡や新町野遺跡の土坑墓から出土している。円筒下層d式期の土坑墓に副葬される石器は石鏃・石槍・石匙・磨製石斧の4種類を基本とする。そのうち3種類がSK15から、2種類がSK28から出土している。そのためSK15とSK28は出土石器からみると土坑墓の可能性を指摘できる。

##### (2) 捨場出土品

石鏃・石鏃の形状、石匙の形状と光沢、半円状扁平打製石器の出土量の多さから、円筒下層a～b式期の石器が大多数を占めると考えられる。199-10については有茎尖基鏃であり、その形状の石鏃が盛行する円筒下層d式期の可能性がある。

##### (3) 遺構外出土石器

242-11・13・14の石匙、242-20～243-2の石鏃など円筒下層式期と考えられる形状のものが多  
い。242-6は有茎尖基鏃であり、円筒下層d式期の可能性がある。242-4の小型の凹基鏃や16・18の  
つまみの付いた棒状の石鏃は、青森県内では主に大木10式併行期以降にみられる（齋藤2014）。  
246-2の三角柱状の磨石は縄文時代早期～前期前葉にかけて多い。246-8の有縁石皿は縄文時代中期  
後葉以降に出現し大木10式併行期にもみられる。写真160-①は、試掘調査のトレンチ17の出土品で  
あり写真のみ掲載した。青色片岩製で北海道神居古潭峡谷産と考えられる。青森市内丸山遺跡では  
縄文時代前期段階では青色片岩製の出土は少ないが、中期以降に増加する。大木10式併行期の弘前市  
湯口長根遺跡から出土した3点の磨製石斧は、写真からみて青色片岩製の可能性がある（齋藤2004）。  
全体としては円筒下層式期のものが多く大木10式併行期のものが一定量含まれ、縄文時代早期など、  
その他の時期の石器も含まれていると考えられる。

#### 2 石器組成及び製作状況

第5表に、器種ごとの石器の出土点数を遺構内、捨場、遺構外に分けて示した。  
剥片石器の使用石材は、大多数は珪質頁岩であり、黒曜石と玉髓等もごく少数が使用されている。石鏃  
は計144点であるが、石鏃未成品は計43点と多く、石器組成を左右する点数である。また、石鏃に使用  
される珪質頁岩は、珪化が進み特に良質なものを含んでいる。石鏃未成品は、石核や剥片等と共通し通  
常程度の珪化のものを素材としている。そのため本報告書では石鏃から石鏃未成品を分離して記述した。

剥片は計4,426点であり、重量は計43,307gである。石核も計430点と多い。石織未成品の他、二次加工剥片が多く、石篋などの大型石器にも202-1のような未成品のものが含まれている。そのため遺跡内で剥片石器の製作が行われていると判断される。磨製石斧については製品と破片のみの出土である。製作の痕跡はなく、全て搬入品と考えられる。

半円状扁平打製石器は、沢部(2)遺跡の最初の報告で注目された(青森県教委1974)。今回の調査でも多数出土した。板状節理のデイスイトや安山岩が多く、器体の正裏面に軽い研磨あるいは磨れが確認できる物がある。捨場等から出土した剥離のある加工礫は未成品の可能性があり、遺跡内で加工されたものと考えられる。

捨場は特に遺物の出土量が多く、出土石器はほぼ円筒下層a・b式期に限られる。弘前市南部の、この時期の石器群を代表するものとなる。そのため捨場出土品については掲載品と非掲載品を合算した第6表とグラフを作成した。

捨場出土の定形石器では石匙が225点、石織が84点である。石匙が相対的に多く、石織が少ない点は青森市内丸山遺跡の円筒下層a式期の特徴と共通している(羽生2006)。礫石器では半円状扁平打製石器に比べ、挟入扁平磨製石器の点数が少ない。223-6のように、器表面が軽く研磨された挟入扁平磨製石器があるため、破片資料が半円状扁平打製石器に計数されている可能性がある。また、挟入扁平磨製石器の刃部は基本的には断面U字状であり、減耗や光沢が認められるものが多い(齋藤2003)。刃部が半円状扁平打製石器と同様に平坦で、ざらざらした磨面と剥離(落)痕に変化しているものは、半円状扁平打製石器への転用と考えられる。最終的な刃部形状等から半円状扁平打製石器と分類したものが多くなった可能性がある。

### 3 石材環境

本遺跡での石器製作は珪質頁岩の原産地に位置していることが基盤となっている。ピエス・エスキーユの出土点数が少ないのは、小形の原石を両極打法で割って石器素材の剥片を生産する必要性が低いことが一因と考えられる。秋田県男鹿半島の女川層は石器石材として良質な頁岩(泥岩)を産する(薬2003)が、相当する層は「弘前付近では棚内川層または大和沢層と呼ばれていて、大和沢付近の丘陵から久渡寺山のみもとにかけて分布している。小栗山神社付近の丘陵は、ほとんどこの硬い泥岩(硬質泥岩)からできて」いる(鎌田2001)とされる。本遺跡は小栗山神社付近に位置している。近隣の鷲ノ巣(3)遺跡で両面調整石器が多数報告されるなどしていたが、沢部(2)遺跡の調査により石器製作地域としての様相が、より具体的に明らかになった。両面調整石器は分析者によって定義が異なるが深浦町津山遺跡、風間浦村沢ノ黒遺跡、蓬田村山田(2)遺跡、西目屋村水上(2)遺跡など石材産地周辺の遺跡で多く出土する。石材産地から離れた遺跡の出土例としては、黒曜石であるが北海道厚真町ヲチャラセナイ遺跡(厚真町教委2013)での一括出土例がある。剥片石器集中地点が3地点あり、うち両面調整石器の出土点数は9点、15点、10点であった。黒曜石産地分析の結果は赤井川・十勝(上士幌)・置戸産である。十勝が比較的近いものの、いずれも一定以上の距離がある。近くで石材が得られない集落に、両面調整石器の形状で、まとめて搬入されていた可能性を示すと考えられる。筆者は、石器石材の産状を把握するため、数回にわたり現地踏査を行った。灰色や黒褐色の石器に対応する珪質頁岩の原石は遺跡から1km以内の稲刈沢川や天王沢などの河床で転石として採取できる(位置関係

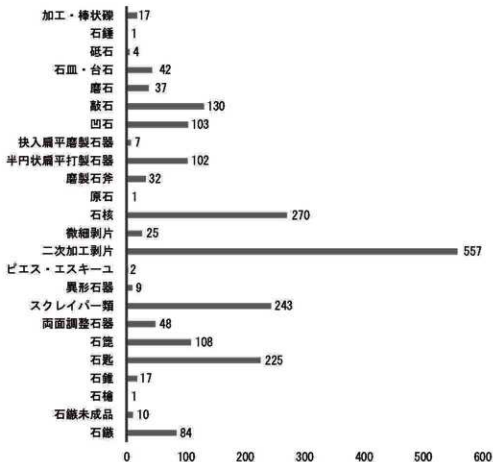
第5表 沢部(2)遺跡 石器出土数

出土地点	石礫		石錘	石鏢	石匙	両面調整石器	スクレイパー類	異形石器	ビス・エスキュー	二次加工剥片	磨削剥片	原石	原石	磨製石斧	半円状扁平打製石器	挟入扁平磨製石器	磨石	敲石	石皿・台石	砥石	石鏢	加工・棒状礫			
	未成品	成品																							
遺構内合計	61	28	6	3	100	49	21	139	7	1	262	97	3199 (28799)	94	3	19	104	3	137	70	22	42	1	3	19
捨場掲載	12		1	6	28	15	2	21	3	1			10	21	39	1	49	28	10	11	4	1	1	1	
捨場掲載外	72	10		11	197	99	48	222	6	1	567	25	3187 (16627)	290	1	11	63	6	63	102	27	31			16
遺構外掲載	7		3	4	3	4	4	2	2				3	3	4	1	6	4	2	2					
遺構外掲載外	63	6		6	91	36	17	120	2	2	311		63	7	9	2	85	87	30	20	1				4
遺跡全体	144	43	10	29	199	90	60	493	20	5	1150	122	4426 (43997)	430	4	61	269	13	201	291	91	106	6	4	40

第6表 沢部(2)遺跡 捨場出土石器組成

	石礫	石礫	石錘	石匙	石鏢	両面調整石器	スクレイパー類	異形石器	ビス・エスキュー	二次加工剥片	磨削剥片	原石	原石	磨製石斧	半円状扁平打製石器	挟入扁平磨製石器	磨石	敲石	石皿・台石	砥石	石鏢	加工・棒状礫		
捨場合計	84	10	1	17	225	108	48	243	9	2	567	25	270	1	32	102	7	103	150	37	42	4	1	17

## 捨場 石器組成



は第2章第1節の図4等参照)。沢付近の露頭の頁岩は軟質であり、ノジュールを発見できていない。しかし河床の珪質頁岩の転礫がノジュールに由来する可能性がある。淡緑色の珪質頁岩製の石核は大形品を含むだけではなく、礫皮をもつものが多い。そのため採取地点は遺跡に近い場所と考えられる。遺跡付近の大和沢川の河床に淡緑色の岩石が露頭として観察できるが、軟質である。また、軟質のものは発掘調査の時に、IVY～IVT94付近で検出された沢で転礫や割れた礫として観察されているほか、沢の左岸に営まれる集落内や捨場でも出土している。石器製作が可能な程度に珪化の進んだものは、大和沢川沿いの堤防を兼ねた道路脇で1点採取した。個体差はあるものの特徴的な色調であり、肉眼で石材の識別が概ね可能である。産出範囲及び出土遺跡の把握により、小規模石材産地の石材の動きが追える可能性がある。

淡緑色の珪質頁岩は本遺跡では報告書で図示した石器759点のうち、石鏃1点、石鏃未成品2点、石匙5点、石錐1点、石筥10点、スクレイパー類11点、両面調整石器6点、石核13点、剥片5点であった。石筥とスクレイパー類との結びつきが強いようである。

第4章第2節の黒曜石の産地推定結果で出土比率が高い木造出来島群は、岩木山の北麓から出来島付近にかけての山田野段丘に含まれる。日本海に面した海岸の他、つがる市森田地区などの切り通しで採取しやすい。本遺跡から約20数km西に離れた中村川上流の弘前市孫産童子川でも採取可能である(齋藤他2010など)。原石は比較的小形であり、製品も小形のものが多い。産地推定結果の表4に記載されたように石鏃・石鏃未成品・石匙・石槍・二次加工剥片・剥片がみられ、原石段階からの石器製作が行われている。この産地の黒曜石は球顆が入る特徴があり、そのため球顆の部分で欠損しやすい。199-11の石鏃、200-3の石匙のように欠損品が多い傾向にある。

礫石器では、半円状扁平打製石器と石皿は、主にデイサイトや安山岩の板状の礫を素材としている。板状節理のデイサイトに関しては、肉眼的には西目屋村水上(2)遺跡(青森県教委2017)で注目された相馬安山岩が多い。相馬安山岩類は西に数km離れた地点から西目屋村まで分布する。弘前市兼平には板状節理の安山岩である兼平石が分布する(山口2001)。また、凹石・蔽石・磨石の素材礫は凝灰岩・安山岩・デイサイトなどである。これらは遺跡の南の砂小瀬層と呼ばれる層の中に含まれている(第2章第1節の図4参照)。石棒と砥石、一部の蔽石・磨石の素材としては流紋岩が使用されている。周辺の石材調査の結果(齋藤2013)から久渡寺流紋岩の可能性がある。礫は九渡寺山から流れる土瀬川の上流部等で採取可能である。以上から礫石器の素材は、概ね10km以内で採取可能と考えられる。

剥片石器素材に加えて礫石器素材の入手が容易な石材環境にあることが、石器・石製品の出土量の多さに結びついていると考えられる。

(齋藤)

## 第4節 漆・アスファルト・赤色顔料関連遺物

本遺跡では漆・アスファルト関連遺物が3例出土した。以下概要を述べる。

### (1) 捨場出土アスファルト塊・アスファルト容器(口絵・第184図・写真138)

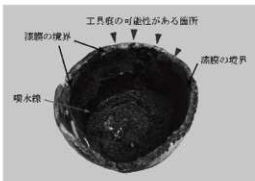
捨場ⅢJ77のⅡb層で土器(184-4)にアスファルト塊が包蔵された状態で出土した(巻頭写真)。時期は円筒下層b1～b2式期であり、アスファルト塊としては現状で青森県内最古の事例となる(杉野

森2017)。上器は口縁部を欠く深鉢で、底径6.6cm、残存高12.6cmである。内面にはアスファルトと思われる黒色物質が薄く付着し、外面には2か所の液垂れが見受けられることからアスファルト容器と考えられ、上器の上端割れ口にも付着することから、現状の形態で機能していたものと推定される。アスファルト塊の大きさは5.5cm×3.5cm×2cmである。包蔵状態は定かではないものの、アスファルト塊の片面形状が土器底面と概ね合致し、その面の土の付着が弱いことから、底面に張り付いていた可能性が高い。

### (2) SI51a出土漆液容器・赤色顔料容器(第32・103図、写真37・111)

SI51aは中期末葉(大木10式併行期)の竪穴建物跡である。漆液容器1点(103-8)と赤色顔料容器2点(103-6・7)がいずれも最下層から出土した。

漆液容器は小型の鉢で、口径9.1cm、底径4.6cm、高さ6.2cmである。上面觀と底部が楕円形を呈し、口縁部の対向する位置に焼成前の穿孔が1対設けられる。漆膜は土器内面に付着するが、口縁端部から5～10mmの高さに付着の境が認められる。付着の境は緩やかな波状となることから、土器内で漆液が攪拌された際の痕跡と推定さ



SI51a 出土 漆液容器 (103-8)

れる。口縁端部から5～10mmの範囲には、幅4mm程度の帯状の付着が数箇所認められる。攪拌に用いた棒状器具や刷毛の痕跡の可能性も想定される。底面から1cmの高さには噴水線がみられ、それより下は縮み皺が顕著である。漆膜は黒色を呈するが、膜が薄い部分は極暗褐色である。外面には口縁部に液垂れが数箇所認められ、底面にも漆膜が付着する。土器には被熱痕が認められるが、漆割製に関わる痕跡か否かは判断としない。

赤色顔料容器は2点とも底部で、103-6は上端径8.9cm、底径5.2cm、残存高5.3cm、103-7は上端径9.6cm、底径5.6cm、残存高5.8cmである。どちらも上端割れ口に顔料の付着が認められず、機能時の形態は定かではないものの、漆液容器を含めた3点の分量に斉性が認められることから現状が機能時の形状と推測される。赤色顔料はどちらも部分的に膜状を呈する。漆などの膠着材が混ざられていると考えられる。

### (3) SI65出土アスファルト塊・アスファルト付着土器(第25・120図、写真31・117)

SI65は中期末葉(大木10式併行期)の竪穴建物跡である。アスファルト塊は竪穴の南壁付近で床面に接して出土した。大きさは12cm×8cm×3cmであるが、取り上げ時に破損している(写真117参照)。アスファルト付着土器(120-6)は底部で、底径7.7cm、残存高1.0cmである。竪穴覆土5層から出土した。アスファルトは土器内面の径約7cmの不整形範囲に薄く付着する。付着範囲は土器の片側に偏ることから、土器を傾けた状態で使用された様子が窺われる。底面には被熱痕が認められ、アスファルト使用に際し熱が加えられたと推定される。

上記のとおり本遺跡では、縄文時代前期中葉にアスファルト塊、中期末葉にアスファルト塊と漆液容器・赤色顔料容器が出土している。しかしながら、アスファルトについては一部の石炭などに付着が認められるのみであり、漆関連製品については赤彩がミニチュア土器の内外面(137-13)と、広口壺の内面(88-2)に認められるのみである。

(岩井)



## 引用・参考文献

- 青森県教育委員会 1974『小栗山地区遺跡発掘調査報告書 弘前南部地区広域宮園地農道予定地内埋蔵文化財発掘調査』青森県埋蔵文化財調査報告書第11集
- 青森県教育委員会 1976『千歳(13)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第27集
- 青森県教育委員会 1979『砂沢平遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第53集
- 青森県教育委員会 1980『大平遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第52集
- 青森県教育委員会 1980『大面(1)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第55集
- 青森県教育委員会 1985『兜場遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第93集
- 青森県教育委員会 1989『衣箱(1)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第120集
- 青森県教育委員会 1993『野場(6)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第150集
- 青森県教育委員会 1997a『津山遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第221集
- 青森県教育委員会 1997b『三内丸山遺跡Ⅷ』青森県埋蔵文化財調査報告書第230集
- 青森県教育委員会 1999『棚引遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第263集
- 青森県教育委員会 2002『野尻(1)IV遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第320集
- 青森県教育委員会 2004『長久保(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第367集
- 青森県教育委員会 2006a『洞野遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書412集
- 青森県教育委員会 2006b『田代遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書413集
- 青森県教育委員会 2007『沢ノ黒遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書435集
- 青森県教育委員会 2008『石江遺跡・三内沢部(3)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書458集
- 青森県教育委員会 2009『山田(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書469集
- 青森県教育委員会 2010a『厩田(2)遺跡・厩田(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書492集
- 青森県教育委員会 2010b『山田(2)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書495集
- 青森県教育委員会 2011『山田(2)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書508集
- 青森県教育委員会 2013『神原(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書530集
- 青森県教育委員会 2014a『鬼川辺(1)遺跡・鬼川辺(2)遺跡・鬼川辺(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書541集
- 青森県教育委員会 2014b『大川添(4)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書542集
- 青森県教育委員会 2014c『大川添(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書544集
- 青森県教育委員会 2014d『青森県遺跡詳細分布調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書549集
- 青森県教育委員会 2016a『川原平(1)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書565集
- 青森県教育委員会 2016b『川原平(6)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書567集
- 青森県教育委員会 2016c『鷺ノ巣(1)遺跡 鷺ノ巣(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書571集
- 青森県教育委員会 2017a『水上(2)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書575集
- 青森県教育委員会 2017b『三内丸山遺跡44』青森県埋蔵文化財調査報告書588集
- 青森市教育委員会 2008『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』青森市埋蔵文化財調査報告書第98集
- 青森市史蹟遺跡発掘調査団 1979『史沢遺跡』
- 秋田県教育委員会 1981『国道103号線バイパス工事関係遺跡』秋田県文化財調査報告書第84集
- 秋田県教育委員会 1997『池内遺跡 遺構篇』秋田県文化財調査報告書第268集
- 秋田県教育委員会 1999『池内遺跡 遺物・資料篇』秋田県文化財調査報告書第282集
- 秋田県教育委員会 2010『狭穴Ⅱ遺跡』秋田県文化財調査報告書第460集
- 秋田県立大館鳳鳴高等学校社会部考古学班 1971『茂屋下位式土器群』
- 厚真町教育委員会2013『ツチャラセナイチャシ跡・ツチャラセナイ遺跡』
- 阿部昭典 2008『縄文時代の社会変動論』小林雄雄監修 未完成考古学叢書6 株式会社アム・プロモーション
- 石井 寛 2003『東北地方における縄石器施設を有する住居地とその評価—中期最終末期以降を対象として—』『縄文時代』第14号 縄文時代文化研究会
- 石川恵美子 1990『岩井堂洞窟における早期貝殻沈線文の系統と変遷』『秋田県立博物館研究報告第15号』
- 岩手県埋蔵文化財センター 1978『都南村湯沢遺跡(昭和52年度)』岩手県埋蔵文化財調査報告書第2集
- 江坂輝彌 1970『石神遺跡』ニュー・サイエンス社
- 大迫町教育委員会 1996『観音堂遺跡』
- 小笠原雅行 2017『第Ⅱ部第1章第3節3. 前期の土器(前期中葉~中期)』『青森県史 資料編』考古1 旧石器 縄文前期~中期
- 岡村道雄 2007『縄文型穴建物研究の方法と可能性』『奈良文化財研究所紀要2007』独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
- 小俣内裕之 2005『青森県八戸市出土の早期貝殻文土器』『縄文時代早期中葉土器群の再検討—資料集—』海峽土器編年研究会
- 小俣内裕之 2008『陸奥大木系土器(榎林式・最花式・大木10式併行土器)』『縄文土器総覧』アム・プロモーション
- 鹿角市教育委員会 1984『天戸森遺跡』鹿角市文化財調査資料26
- 鎌田耕太郎 2001『山地と丘陵の生い立ち』『新編弘前市史 通史編1(自然・原始)』



- 工藤竹久 2006 『第1部第2章第2節 青森県の弥生土器』『青森県史 資料編』考古3 弥生へ古代  
児玉作左衛門・大場利夫 1983 『函館市住吉町遺跡の発掘について』『北方文化研究報告』第8号  
財団法人北海道埋蔵文化財センター 1996 『中野B遺跡』  
財団法人北海道埋蔵文化財センター 1998 『中野B遺跡(Ⅲ)』  
財団法人北海道埋蔵文化財センター 1999 『中野B遺跡(Ⅳ)』  
齋藤 岳 2003 「三内丸山遺跡第6鉄帯地区の石器組成と快入扁平磨製石器の使用法について」『特別史跡三内丸山遺跡年報』6  
齋藤 岳 2004 「三内丸山遺跡の磨製石斧について」『特別史跡三内丸山遺跡年報』7  
齋藤 岳 2013 「弘前市大森山遺跡の環状列石について」『青森県考古学』21  
齋藤 岳 2014 「石器の変化から見た縄文時代中期末の北東北・北海道について」『研究紀要』9 青森県埋蔵文化財調査センター  
齋藤 岳・島口 天・長井雅史・金成太郎・杉原重夫2010『弘前市中村川支流の孫産童子沢に分布する黒曜石の全岩化学組成』  
『青森県立郷土館研究紀要』34  
坂本真弓 2002 「沢部型複式伊の現在—青森県内の複式伊集成から—」『海と考古学とロマソニー市川金久先生古希記念品展論文集』  
杉野麻津子 2017 「アスファルト関連資料集成 青森県」『縄文時代のアスファルト利用Ⅰ』特定非営利活動法人いちのへ文化・芸術NPO  
相馬村教育委員会 1999 『湯口長根遺跡』  
相馬村教育委員会 2002 『ノ下り山遺跡』  
高橋 潤 2005 「東北地方北部における縄文中期終末から後期初頭への編年的試験」『北奥の考古学』高橋先生遺著記念論文  
集刊行会  
茅野嘉雄 2005 「八戸市方の遺跡出土土器等から見た次切沢式・鳥木沢式・物見台式」『縄文時代早期中葉土器群の再検討—資料集—』海峽土器編年研究会  
茅野嘉雄 2008 「円筒下層式土器」『縄文土器総覧 アム・プロモーション』  
東北町教育委員会 2008 『藤久保(1)遺跡』東北町埋蔵文化財調査報告書第17集  
喜永勝也 1999 「縄文早期貝殻土器群の展開」『日本考古学協会1999年度創路大会 海峽と北の考古学 資料集Ⅰ・テーマ1: 旧石器から縄文へ』日本考古学協会1999年度創路大会実行委員会  
長尾正典 2017 「第Ⅱ部第1章第3節2. 早期の土器」『青森県史 資料編』考古1 旧石器 縄文革新期～中期  
長尾正典 2017 「第Ⅱ部第1章第3節3. 前期の土器(前期前葉)」『青森県史 資料編』考古1 旧石器 縄文革新期～中期  
陸上町教育委員会 2002 『青森県陸上町小坂橋(2)遺跡』  
藤 昭繁 2003 「東北地方の建築頁岩石材環境」『考古学ジャーナル』499  
藤 光次郎・茅野嘉雄 2018 『物原(2)遺跡出土の枝回転土器について』青森県埋蔵文化財調査センター研究紀要23号  
八戸市教育委員会 1986 『八戸市都市区区内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ(鳥木沢遺跡)』八戸市埋蔵文化財調査報告書第17集  
八戸市教育委員会 2004 『午ヶ沢(4)遺跡Ⅲ』八戸市埋蔵文化財調査報告書第104集  
羽生洋子 2006 『ジェンダー考古学から見た縄文土偶と文化的景観』『特別史跡三内丸山遺跡 年報』8  
弘前市教育委員会 1997 『弘前市内遺跡発掘調査報告書1』  
弘前市教育委員会 1998 『弘前市内遺跡発掘調査報告書2』  
弘前市教育委員会 2000a 『弘前市内遺跡発掘調査報告書4』  
弘前市教育委員会 2000b 『中野(2)・中野(1)・寺沢遺跡発掘調査報告書』  
弘前市教育委員会 2002 『中野(2)遺跡発掘調査報告書』  
弘前市教育委員会 2003 『弘前市内遺跡発掘調査報告書7』  
弘前市教育委員会 2004a 『弘前市内遺跡発掘調査報告書8』  
弘前市教育委員会 2004b 『十隈内(1)遺跡・中野(2)遺跡発掘調査報告書』  
弘前市教育委員会 2006 『若葉遺跡発掘調査報告書—社会福祉施設建設に伴う発掘調査へ—』  
弘前市教育委員会 2008 『弘前市内遺跡発掘調査報告書12』  
弘前市教育委員会 2014 『小栗山遺跡発掘調査報告書』  
弘前市教育委員会 2017 『弘前市内遺跡発掘調査報告書21』  
本間 宏 1994 「大木10式土器の考え方」『しのお考古』10号  
三宅徹也 1996 「円筒下層式」『縄文土器大観Ⅰ 革新期 早期 前期』  
森 幸彦 1996 「複式伊小考」『論集しのお考古』論集しのお考古刊行会  
山口義伸 2001 『岩木火山噴出史』『新編弘前市史 通史編1(自然原始)』35頁 弘前市企画部企画課  
領家正浩 1996a 「東北地方北部に於ける縄文時代早期前半の土器編年(上)」『史録』27号  
領家正浩 1996b 「東北地方北部に於ける縄文時代早期前半の土器編年(下)」『史録』28号  
領家正浩 1997 「住吉式土器の編年の位置」『人間・遺跡・遺物3』  
領家正浩 2006 『縄文時代早期中葉土器群の研究史』『縄文時代早期中葉土器群の再検討—資料集—』海峽土器編年研究会  
山内清男 1979 『日本先史土器の縄文』先史考古学会

第7表 ビッター一覧表(1)

路線名	建設年度	区間	区長	区長	区長	建設年度	区間	区長	区長	区長	建設年度	区間	区長	区長	区長	
SP1	115.34	18				SP93	123.98	48			SP180	134.48	26			
SP2	115.32	24				SP95	135.32	26	橋前土	1078/3	SP185	134.52	34			
SP3	115.08	14				SP96	135.08	14		1078/3	SP187	135.08	48			
SP4	114.78	8				SP97	135.64	22	橋前土	1078/3	SP188	134.52	28			
SP5	114.38	25				SP98	135.70	30	橋前土	1078/3	SP189	134.80	34			
SP11	135.08	12		1078/3		SP99	135.92	30	橋前土	1078/4	SP190	134.04	18			
SP12	135.15	15		1078/3		SP100	136.80	48	橋前土, 橋中土	1078/3~1078/4	SP191	135.62	22			
SP13	135.14	75	橋中土4	1078/3	1078/3/4	SP101	135.28	35	橋前土7, 橋中土1		SP192	135.72	30			
SP14	135.29	55	橋中土2			SP102	135.25	30	橋前土2		SP193	135.40	40			
SP15	134.80	25		1078/3		SP103	135.00	40			SP194	135.74	34			
SP16	134.94	74	橋中土1			SP104	135.25	24			SP195	135.76	16			
SP17	134.74	65				SP105	135.28	14	橋中土1		SP196	135.66	76			
SP18	134.88	28		1078/3	1078/4	SP106	134.94	18			SP197	135.62	22	橋	1078/3/4	
SP19	134.12	42	橋中土2			SP107	135.25	30			SP198	135.54	24			
SP21	134.62	18	谷石, 橋石	1078/3	1078/4	SP108	135.34	16			SP199	135.14	24	橋中土1		
SP22	134.80	92	橋前土1			SP109	135.30	22			SP200	135.58	48	橋前土1		
SP23	134.80	84	橋前土2			SP110	135.84	8			SP201	135.52	44	橋中土1		
SP24	134.52	15				SP111	135.99	10			SP202	135.64	42			
SP25	134.54	30				SP112	135.99	10			SP203	135.50	20	橋中土1		
SP26	134.52	34				SP113	133.88	12			SP204	135.50	30			
SP27	134.84	48	橋前土1			SP114	133.82	8			SP205	135.44	10			
SP28	134.84	20				SP115	134.18	20			SP206	135.84	20			
SP29	134.18	20				SP116	134.78	50	橋前土1		SP207	135.42	20			
SP30	134.52	182				SP117	134.78	78	橋前土2		SP208	135.58	42			
SP31	135.90	32	橋前土1			SP118	135.42	16			SP209	135.60	14			
SP32	134.70	210				SP119	135.42	16			SP210	135.58	20	橋中土2		
SP33	134.84	188				SP120	135.50	58			SP211	135.18	30			
SP34	134.62	14				SP121	135.48	60	橋前土2		SP212	135.22	15			
SP35	134.70	22				SP122	134.98	14	橋前土1		SP213	135.68	28			
SP36	134.68	52	橋中土1			SP123	134.92	20			SP214	135.52	38			
SP37	134.65	22				SP124	134.84	34	橋前土2		SP215	132.78	44	橋中土1		
SP38	134.88	38	石壁1, 石積			SP125	135.36	30	橋中土1		SP216	132.28	6			
SP39	134.80	20	橋前土2			SP126	135.30	12			SP217	135.28	18			
SP40	134.48	28				SP127	134.68	20			SP218	135.48	12			
SP41	134.36	30				SP128	134.54	14			SP219	135.52	30			
SP42	134.34	20				SP129	134.12	8			SP220	133.58	20			
SP43	134.10	38	橋前土1			SP130	134.46	18			SP221	124.40	38			
SP44	134.70	24				SP131	134.88	38			SP222	135.08	15			
SP45	134.58	84				SP132	135.28	8			SP223	135.32	32	橋前土3, 橋中土1	1078/3~1078/4	
SP46	134.68	52	橋中土1			SP133	135.22	22			SP224	135.58	68			
SP47	135.02	95		1078/3	1078/4	SP134	135.12	45			SP225	135.58	26			
SP48	134.65	22				SP135	134.40	24	橋中土4, 石積		SP226	135.58	26			
SP49	134.94	24	橋前土1			SP136	135.94	84			SP227	135.58	26			
SP50	134.10	10				SP137	134.96	50			SP228	135.40	32	橋前土1		
SP51	134.38	38				SP138	134.58	18			SP229	134.54	18			
SP52	134.02	20				SP139	134.64	20	橋中土2		SP230	135.44	32			
SP53	134.14	14				SP140	134.64	30	橋中土1		SP231	135.44	32			
SP54	134.24	40				SP141	134.66	22			SP232	135.40	25	橋中土2		
SP55	134.25	18	橋中土2			SP142	135.22	74			SP233	134.82	70			
SP56	134.82	12				SP143	135.24	42	橋前土1	1078/2	1078/3/4	SP234	134.84	32		
SP57	134.12	48				SP144	135.50	20			SP235	134.74	12	橋前土1		
SP58	134.20	14				SP145	135.45	8			SP236	134.78	48	橋前土1		
SP59	134.32	18				SP146	135.48	18			SP237	134.80	25			
SP60	134.36	15	橋前土2, 橋中土1			SP147	135.44	40			SP238	134.74	78			
SP61	134.48	44				SP148	135.48	10			SP239	134.80	30			
SP62	134.65	42				SP149	135.54	12			SP240	135.82	18	橋前土1		
SP63	134.08	22				SP150	134.92	22			SP241	135.30	42	橋前土4, 橋中土1	1078/2	
SP64	134.44	14	半円形直方型石積			SP151	137.00	84	橋前土2, 橋中土1		SP242	135.28	22	橋中土2		
SP65	134.60	24				SP152	136.32	20	橋前土2		SP243	135.28	22	橋前土4, 橋中土1	1078/2	
SP66	134.64	55	谷石	1078/2	1078/3/4	SP153	135.18	12			SP244	135.22	20	橋中土2		
SP67	134.64	34		1078/2		SP154	135.15	10			SP245	135.32	18			
SP68	134.64	34				SP155	135.60	28	橋中土2		SP246	135.32	18			
SP69	134.74	82				SP156	135.62	18	橋前土4		SP247	135.32	18			
SP70	134.64	30				SP157	135.70	24			SP248	135.32	84	橋中土1, A/B/C/D-E		
SP71	125.40	15				SP158	135.78	54			SP249	135.32	18			
SP72	125.36	8				SP159	134.44	30	橋中土1		SP250	135.32	18			
SP73	125.45	14				SP160	135.20	14			SP251	135.32	18			
SP74	125.40	58				SP161	135.20	10			SP252	135.22	48			
SP75	125.00	34				SP162	132.20	10			SP253	135.18	18			
SP76	125.74	15				SP163	132.20	20			SP254	135.08	38	橋前土15, 橋中土2		
SP77	125.78	45				SP164	132.10	14			SP255	135.08	38	橋前土15, 橋中土2		
SP78	125.82	15				SP165	132.24	14	橋前土1		SP256	135.08	18	橋中土1		
SP79	125.70	18				SP166	135.45	14			SP257	135.08	18	橋中土1		
SP80	125.70	18				SP167	135.45	14			SP258	135.08	18	橋中土1		
SP81	125.80	14				SP168	134.38	28			SP259	134.74	78			
SP82	125.80	14				SP169	134.44	30	橋中土1		SP260	134.74	78			
SP83	125.80	14				SP170	134.50	30	橋前土2		SP261	134.74	30	橋前土1	1078/3/4	
SP84	125.80	14				SP171	134.50	30	橋前土2		SP262	135.70	20	橋中土2	1078/3/4	
SP85	125.80	14				SP172	134.54	20	橋前土2		SP263	135.70	20	橋中土2	1078/3/4	
SP86	125.80	14				SP173	134.54	22	橋前土2		SP264	135.70	20	橋中土2	1078/3/4	
SP87	125.80	14				SP174	134.54	22	橋前土2		SP265	135.62	20	橋前土3, 橋中土1	1078/3/4	
SP88	125.80	14				SP175	134.45	24			SP266	135.52	20	橋前土3, 橋中土1	1078/3/4	
SP89	125.80	14				SP176	134.54	24			SP267	135.52	20	橋前土3, 橋中土1	1078/3/4	
SP90	125.80	14				SP177	134.50	22			SP268	135.70	20	橋中土2	1078/3/4	
SP91	125.80	14				SP178	134.35	16			SP269	135.70	20	橋中土2	1078/3/4	
SP92	125.80	14				SP179	134.35	16			SP270	135.70	20	橋中土2	1078/3/4	
SP93	125.80	14				SP180	134.62	12			SP271	135.70	20	橋中土2	1078/3/4	
SP94	125.80	14				SP181	134.54	28			SP272	135.70	20	橋中土2	1078/3/4	
SP95	125.80	14				SP182	134.45	28			SP273	135.48	24			
SP96	125.80	14				SP183	134.45	28			SP274	135.54	22			
SP97	125.80	14				SP184	134.38	18			SP275	135.68	30		1078/4/3	

第7表 ビット一覧表(2)

連番	建設年度 (開通年)	長さ (m)	渡物 (種)	注記・備考	連番	建設年度 (開通年)	長さ (m)	渡物 (種)	注記・備考	連番	建設年度 (開通年)	長さ (m)	渡物 (種)	注記・備考
SP269	135.74	24			SP365	135.60	26			SP463	135.62	26	橋中土2	
SP269	135.70	8			SP363	-	-		823C線管	SP464	137.12	38	橋中土4	10Y3/2~10Y3/3
SP270	135.60	10	橋中土1	10Y3/2~10Y3/3	SP364	135.80	30			SP463	135.60	48	旧石	
SP271	135.68	18		10Y2/3	SP365	135.82	20		10Y3/2	SP464	135.60	22		
SP272	135.92	28		10Y3/3	SP366	135.80	20			SP467	135.54	14	橋中土2	
SP273	135.62	30		10Y3/3	SP367	135.20	30	左線1		SP468	135.54	62		10Y2/3~10Y3/1
SP274	135.96	18		10Y3/3	SP368	135.32	36			SP469	135.62	22		
SP275	135.82	30		10Y3/3	SP369	135.22	22			SP463	137.16	44		
SP276	135.60	22		10Y3/2~10Y3/4	SP370	135.92	12		10Y2/3	SP461	135.62	42		
SP277	135.84	18		10Y3/3	SP371	135.84	40			SP462	137.10	22	橋中土2	
SP278	135.76	28	橋中土5, 橋中土3	10Y3/2~10Y3/3	SP374	135.90	72	橋中土4		SP464	137.04	10		
SP279	135.60	22	橋中土1	10Y3/2	SP376	135.62	38	橋中土3		SP466	137.14	50	橋中土1	10Y2/3~10Y3/3
SP280	135.40	16		10Y3/4	SP378	135.92	16		10Y3/4	SP468	137.30	36	橋中土7	
SP281	135.20	14		10Y3/4	SP379	135.78	18		10Y2/3	SP467	135.76	18		
SP282	135.42	28		10Y4/3	SP380	135.82	20		10Y3/3	SP468	135.70	32	橋中土4	
SP283	135.44	18		10Y4/3	SP381	135.88	28		10Y3/4	SP470	135.95	14		
SP284	135.64	14		10Y3/2	SP382	135.88	24		10Y3/2	SP471	134.28	48	橋中土1, 橋中土1	10Y3/3~10Y3/6
SP285	135.60	22		10Y3/4	SP383	137.42	50			SP472	135.60	22		
SP286	135.88	14		10Y4/3	SP384	137.40	26			SP473	135.68	44		
SP287	135.62	20		10Y4/3	SP385	135.48	64			SP474	135.80	20		
SP288	135.60	12		10Y4/3	SP386	135.12	20			SP475	137.24	50		
SP289	135.66	22		10Y3/4	SP387	135.20	22			SP476	135.12	14		
SP290	135.30	12			SP388	135.10	12		10Y2/2	SP478	137.12	54		
SP291	135.30	14			SP389	135.18	18	橋中土7		SP479	137.12	-		
SP293	135.32	42			SP390	135.32	42			SP480	134.26	68	橋中土7, 橋中土1	10Y3/3~10Y4/3
SP294	135.32	26	橋中土4		SP391	135.58	10			SP481	135.30	28	橋中土2	
SP295	135.32	28		10Y3/3	SP392	135.60	14			SP482	135.42	18		
SP296	135.40	42			SP393	135.80	54	橋中土1, 橋中土1		SP483	135.62	34		
SP297	135.84	20			SP394	135.80	28			SP484	135.48	18		
SP298	135.80	28	橋中土3, 旧石		SP395	-	-		823C線管	SP486	135.24	32	橋中土1	10Y3/4~10Y4/4
SP301	135.24	12			SP397	135.88	20			SP488	135.24	14		
SP302	135.82	18		10Y2/3	SP398	137.68	20			SP489	135.24	14		
SP304	135.80	10		10Y3/4	SP399	135.26	16			SP490	135.92	12		
SP305	135.32	18		10Y3/3	SP400	135.26	20			SP491	135.20	20	橋中土1	
SP306	135.66	18		10Y3/3	SP401	135.20	20			SP492	137.20	32		
SP307	135.38	18		10Y3/2	SP402	135.68	28			SP493	135.84	22	橋中土2	
SP308	135.54	14		10Y3/3	SP403	135.28	28	旧石		SP494	135.86	30	橋中土2	
SP309	135.60	14		10Y3/3	SP404	135.28	28			SP495	135.70	16		
SP310	135.50	22			SP405	135.94	74	橋中土4, 橋中土1, 旧石	10Y3/4	SP496	135.46	20	橋中土6	
SP311	135.46	28		10Y3/4	SP406	135.80	30	橋中土3, 橋中土1	10Y3/3	SP497	135.28	18		
SP312	135.90	12		10Y3/3	SP407	135.22	22	橋中土13		SP498	135.30	30		
SP313	135.60	18		10Y3/3	SP408	135.98	44			SP499	135.34	26		
SP314	135.74	14		10Y3/4	SP409	135.50	14			SP500	135.40	16		
SP315	135.30	22		10Y3/4	SP410	135.48	16			SP501	132.68	44		
SP316	135.24	24		10Y3/2	SP411	135.42	20			SP502	132.68	42	橋中土3	
SP317	135.24	24		10Y3/2	SP412	135.20	18			SP503	132.98	24		
SP318	135.92	18	橋中土2	10Y2/2~10Y3/5	SP413	135.48	34	橋中土1		SP504	123.02	24		
SP319	135.92	12		10Y2/4	SP414	135.50	12			SP505	123.04	34		
SP320	135.80	22		10Y2/3	SP415	135.60	18			SP506	122.92	30		
SP321	135.78	10		10Y3/2	SP416	135.40	20			SP507	122.76	36	橋中土2	
SP322	135.04	28		10Y3/3	SP418	135.78	74			SP508	122.82	22		
SP323	135.02	30		10Y3/3	SP417	135.24	10			SP509	125.42	38		
SP324	135.30	20		10Y3/2	SP419	135.82	60	橋中土2		SP510	135.30	20	橋中土1	
SP325	135.90	18		10Y3/2	SP420	135.82	24	橋中土3		SP511	135.26	60	橋中土7	
SP326	135.98	14		10Y3/4	SP421	135.58	24			SP512	135.26	20	橋中土4	
SP327	135.96	14		10Y3/3	SP422	135.60	32			SP513	135.30	74	橋中土2	
SP328	137.00	44		10Y2/2	SP423	135.60	32			SP514	135.30	24	橋中土2	
SP329	137.02	18		10Y3/3	SP424	135.84	26			SP515	135.14	18	橋中土1	
SP332	137.42	30	橋中土3		SP425	135.74	32			SP516	135.24	14		
SP333	135.98	36	橋中土4		SP427	135.68	28			SP517	134.80	68	橋中土1	
SP334	135.82	8			SP428	135.64	16			SP518	134.82	58	橋中土1	
SP335	135.98	28		10Y2/2	SP429	135.84	22			SP519	134.82	58	橋中土1	
SP336	137.30	36	橋中土1	10Y3/3	SP430	135.78	32			SP520	134.82	58	橋中土1	10Y3/4
SP339	135.84	14			SP431	137.12	34	橋中土1		SP521	135.42	48	橋中土6	
SP340	135.96	18			SP432	135.68	28			SP522	135.40	22		
SP341	135.10	16		10Y3/3	SP433	135.62	18			SP523	135.34	42	橋中土1	
SP342	135.90	18			SP434	135.68	68			SP524	135.32	18		
SP343	137.26	54	橋中土3		SP435	135.58	30			SP525	135.32	24		
SP344	135.80	28		10Y3/2~10Y4/4	SP436	135.70	22			SP526	135.30	16		
SP348	137.02	36	橋中土2		SP437	135.42	22	橋中土2		SP527	134.80	68	橋中土1	
SP347	135.80	14		10Y3/4	SP438	135.72	40			SP528	135.20	14		
SP348	135.62	24		10Y3/4	SP439	135.20	20			SP529	135.20	28		
SP350	137.02	54	橋中土2	10Y3/4	SP440	135.60	26			SP530	134.66	24		
SP351	137.06	48	橋中土1	10Y3/3	SP441	135.58	30			SP531	135.14	24		
SP352	135.86	54		10Y3/4	SP442	135.48	48	橋中土4	10Y2/1~10Y3/3	SP532	135.20	14		
SP353	137.24	42			SP443	135.94	40	橋中土2		SP533	135.02	14		
SP354	135.78	28			SP444	135.78	18	橋中土2		SP534	134.90	30	橋中土3	
SP355	135.86	20	橋中土2		SP445	135.78	18	橋中土2		SP535	134.94	20	橋中土3	
SP356	135.84	54	橋中土1	10Y3/3	SP446	-	-		1316p(121)C線管	SP537	134.84	24		
SP357	135.90	60		10Y3/2	SP447	135.58	58	橋中土5	10Y2/2~10Y4/6	SP538	135.04	10		
SP358	135.84	58			SP448	135.80	40			SP539	135.44	22		
SP359	135.60	48	橋中土1, 橋中土1		SP449	135.84	22			SP540	134.90	30	橋中土14, 橋中土3	
SP360	135.64	44	橋中土7		SP450	137.02	58	橋中土2, 旧石	10Y3/2	SP541	135.94	28		
SP361	135.92	24	橋中土5	10Y3/4	SP452	135.48	32	橋中土1		SP542	135.04	28		

第7表 ビッター一覧表(3)

路線名	建設年度 (開通)	延長 (m)	区間	注記・備考	路線名	建設年度 (開通)	延長 (m)	区間	注記・備考	路線名	建設年度 (開通)	延長 (m)	区間	注記・備考
SP44	134.16	15			SP433	137.20	8			SP721	136.42	40		
SP45	134.84	80			SP434	137.12	24			SP722	136.45	14		
SP46	134.84	32	橋上		SP435	138.18	13			SP723	136.52	30		
SP47	135.32	34			SP436	135.54	14			SP724	136.42	8		
SP48	121.74	32			SP437	135.84	18			SP725	136.42	20		
SP49	121.72	38			SP438	134.90	50	橋上		SP726	136.58	94		
SP50	121.80	15			SP439	135.32	22			SP727	136.52	22	石積	
SP51	121.80	28			SP440	136.24	30			SP728	136.20	10		
SP52	122.24	15			SP441	136.58	14			SP729	125.98	28		
SP53	122.30	34			SP442	135.62	18	陸上		SP730	136.15	18	橋上	
SP54	121.80	24			SP443	135.64	30			SP731	136.24	28		
SP55	121.86	25			SP444	135.68	36			SP732	134.58	24	橋上	
SP56	122.02	14			SP445	135.64	30			SP733	136.08	28		
SP57	121.84	15			SP446	134.24	28	橋上		SP734	125.02	15		
SP58	121.46	30			SP447	135.28	32		10Y8/4	SP735	136.15	18		
SP59	121.42	38			SP448	135.02	28		10Y8/4→10Y8/4	SP736	136.22	24		
SP60	121.40	24			SP449	135.16	42			SP737	136.00	22		
SP61	121.76	32			SP450	136.15	20			SP738	136.00	20		
SP62	121.44	30			SP451	135.92	22	橋上		SP739	125.82	10		
SP63	121.48	34			SP452	135.44	18			SP740	136.32	18		
SP64	121.30	34			SP453	133.34	18			SP741	136.38	10	橋上	
SP65	121.82	10			SP454	133.44	12	橋上		SP742	136.02	16	橋上	
SP66	122.24	34			SP455	135.94	22			SP743	136.00	14		
SP67	125.10	24			SP456	124.82	10			SP744	124.76	28	橋上	
SP68	134.84	44			SP457	135.68	24			SP745	136.88	8		
SP69	134.80	40			SP458	136.66	18	橋上		SP746	136.80	14		
SP70	134.82	15			SP459	136.00	10	橋上		SP747	136.84	18		
SP71	134.76	25			SP460	136.74	30	橋上		SP748	136.88	12		
SP72	134.72	44	橋上		SP461	136.86	22	橋上		SP749	137.00	15		
SP73	134.62	30	橋上		SP462	136.86	22	橋上		SP750	136.88	28		
SP74	134.58	32	橋上		SP463	136.28	18	橋上		SP751	136.96	15		
SP75	134.52	28			SP464	136.28	8	橋上		SP752	137.00	30		
SP76	134.32	32	橋上		SP465	137.38	12			SP753	136.78	18		
SP77	134.70	22			SP466	137.36	12			SP754	136.82	22		
SP78	134.62	36	橋上		SP467	137.36	10			SP755	136.82	22		
SP79	134.40	12	橋上		SP468	137.32	32			SP756	136.68	24		
SP80	134.44	25			SP469	136.54	15	橋上		SP757	136.58	15		
SP81	134.82	24			SP470	135.22	32	橋上		SP758	136.70	15		
SP82	134.78	52	橋上		SP471	133.60	75	橋上		SP759	136.70	14		
SP83	134.82	36			SP472	135.65	15	橋上		SP760	137.42	26		
SP84	134.78	28			SP473	135.60	22	橋上		SP761	137.58	84		
SP85	134.64	30			SP474	137.82	36			SP762	137.58	20		
SP86	134.82	30	橋上		SP475	137.84	38			SP763	137.60	28		
SP87	134.36	15			SP476	135.22	10	橋上		SP764	137.40	18		
SP88	134.18	15			SP477	135.58	14			SP765	136.88	28		
SP89	134.46	42			SP478	137.20	36	橋上		SP766	136.54	14		
SP90	134.40	15	橋上		SP479	135.22	24			SP767	136.42	18		
SP91	134.40	15	橋上		SP480	135.82	18			SP768	136.30	10		
SP92	134.45	42			SP481	134.96	42	橋上		SP769	136.28	12		
SP93	134.42	14			SP482	135.22	12			SP770	136.18	18		
SP94	134.26	32			SP483	136.30	36			SP771	136.15	12	橋上	
SP95	134.46	12			SP484	135.28	18			SP772	136.64	18		
SP96	134.88	18			SP485	135.68	36			SP773	136.90	10		
SP97	134.88	18			SP486	135.60	28			SP774	136.92	5		
SP98	134.88	50	橋上		SP487	136.22	15			SP775	137.60	42	橋上	
SP99	134.88	50	橋上		SP488	136.22	15			SP776	137.56	15		
SP00	134.40	48	橋上		SP489	136.32	36	橋上		SP777	137.54	15		
SP01	136.42	30	橋上		SP490	136.24	20			SP778	137.58	20		
SP02	136.48	15			SP491	136.28	20		10Y8/4	SP779	137.36	15	橋上	
SP03	136.40	14	橋上		SP492	136.18	24	橋上		SP780	136.22	30		
SP04	136.28	34			SP493	136.22	20	橋上		SP781	137.74	22		
SP05	136.45	22			SP494	136.20	24	橋上		SP782	137.80	14		
SP06	136.80	14			SP495	136.20	24	橋上		SP783	137.84	28		
SP07	136.65	10			SP496	136.46	32			SP784	136.24	28		
SP08	136.82	12			SP497	136.62	18	橋上		SP785	136.18	28		
SP09	136.08	12			SP498	136.10	20			SP786	136.18	12		
SP10	136.58	20			SP499	136.12	15			SP787	136.18	8		
SP11	136.56	24			SP500	136.12	15			SP788	136.14	16	橋上	
SP12	136.25	28	橋上		SP501	136.55	18			SP789	136.14	24		
SP13	136.88	32	橋上		SP502	136.62	18			SP790	136.32	18		
SP14	136.88	32	橋上		SP503	136.90	36			SP791	136.30	18		
SP15	134.08	22	橋上		SP504	134.76	20			SP792	136.30	18		
SP16	136.24	20			SP505	135.80	22	橋上		SP793	136.28	22		
SP17	136.62	15			SP506	136.18	18		10Y8/3	SP794	136.20	22		
SP18	136.74	12			SP507	136.65	20	橋上		SP795	136.20	22		
SP19	136.22	42	橋上		SP508	136.18	18		10Y8/3	SP796	136.22	30		
SP20	135.68	28	橋上		SP509	136.20	10	橋上		SP797	136.54	20		
SP21	135.88	20			SP510	136.60	18			SP798	136.82	22		
SP22	136.24	30	橋上		SP511	136.28	18			SP799	137.08	10		
SP23	136.22	28	橋上		SP512	136.36	12			SP800	137.08	28		
SP24	137.02	30	橋上		SP513	136.45	28			SP801	137.22	12		
SP25	136.18	28			SP514	136.38	18			SP802	137.08	28		
SP26	136.74	18			SP515	136.42	15	橋上		SP803	137.15	18		
SP27	136.52	8			SP516	136.08	14			SP804	137.15	12	橋上	
SP28	136.82	10			SP517	136.00	10			SP805	136.24	25	橋上	
SP29	136.18	28			SP518	136.24	24	橋上		SP806	137.10	28		
SP30	136.82	14			SP519	136.08	15			SP807	137.20	48		
SP31	137.04	14			SP520	136.42	10			SP808	137.10	28		
SP32	137.24	14	橋上											

第7表 ビット一覧表(4)

遺番	埋藏層 (深さ) (cm)	遺物 (注)	注記・備考	遺番	埋藏層 (深さ) (cm)	遺物 (注)	注記・備考	遺番	埋藏層 (深さ) (cm)	遺物 (注)	注記・備考
SP899	136.66	26		SP901	136.93	16		SP960	135.44	20	縄土1
SP900	136.99	22		SP902	136.46	22		SP991	134.86	24	縄土5, 石製1
SP901	136.99	25		SP903	136.46	8		SP992	134.89	14	
SP902	136.18	18		SP904	136.24	14		SP993	134.84	20	
SP903	137.34	30		SP905	135.10	18		SP994	135.50	16	縄土5
SP904	137.32	34		SP906	135.22	16		SP995	135.54	18	
SP905	137.40	24		SP907	136.32	14	縄土1	SP996	135.56	18	
SP906	137.36	24		SP908	135.46	8		SP997	135.50	24	
SP907	137.70	30		SP909	135.70	12		SP998	135.52	32	
SP908	137.78	24	縄土1	SP910	135.88	12	縄土1	SP999	135.62	18	
SP909	137.76	18		SP911	135.64	14	縄土1	SP1000	135.56	26	
SP910	137.76	26		SP912	135.54	16		SP1001	135.50	24	縄土7, 磁石1
SP911	137.80	28	縄土3	SP913	135.28	16		SP1002	134.96	18	
SP912	137.78	18		SP914	135.80	22		SP1003	134.68	22	
SP913	137.40	14		SP915	136.66	22		SP1004	134.64	36	
SP914	136.42	18		SP916	135.82	20		SP1005	134.52	30	縄土5, 3/8P- 製1
SP915	136.94	32		SP917	135.54	16	縄土5	SP1006	134.48	22	
SP916	137.20	32		SP918	135.64	12		SP1007	134.72	12	
SP917	137.58	22		SP919	135.80	8		SP1008	134.74	12	
SP918	137.62	18		SP920	136.24	16		SP1009	134.74	16	
SP919	137.64	18		SP921	136.02	18		SP1010	134.64	34	縄土15
SP920	137.66	18		SP922	137.24	18		SP1011	134.44	22	
SP921	137.66	10		SP923	137.24	18		SP1012	134.24	26	縄土1
SP922	137.66	12		SP924	137.22	24		SP1013	134.48	32	
SP923	137.72	18		SP925	136.22	18		SP1014	134.72	18	
SP924	137.66	16		SP926	136.22	6		SP1015	134.68	18	
SP925	137.64	20		SP927	136.24	18		SP1016	134.78	14	
SP926	137.64	18		SP928	136.24	14		SP1017	134.78	18	
SP927	137.60	14		SP929	136.20	20		SP1018	134.78	18	縄土3
SP928	137.56	12		SP930	136.14	14		SP1019	134.78	18	縄土5
SP929	136.92	28		SP931	136.10	12		SP1020	134.78	26	縄土2
SP930	137.56	12	縄土3	SP932	136.12	12		SP1021	134.68	38	縄土3, 縄土5
SP931	137.52	18		SP933	136.04	8		SP1022	134.82	38	縄土5
SP932	137.54	8		SP934	136.02	10		SP1023	134.84	36	縄土7
SP933	137.40	8	縄土3	SP935	136.00	10		SP1024	134.68	20	
SP934	137.40	8		SP936	135.98	18		SP1025	134.68	20	縄土2
SP935	137.28	24		SP937	136.04	10		SP1026	134.30	18	縄土2
SP936	137.28	20		SP938	136.12	14		SP1027	134.30	18	
SP937	137.20	24		SP939	136.10	8		SP1028	134.72	14	
SP938	137.18	28		SP940	137.28	26		SP1029	134.98	38	縄土4
SP939	137.20	18		SP941	137.36	72		SP1030	134.64	16	
SP940	137.22	16		SP942	136.02	22		SP1031	134.76	30	
SP941	137.18	24		SP943	136.02	24	縄土3	SP1032	134.34	22	
SP942	137.18	24		SP944	135.94	50	縄土2	SP1033	134.74	14	縄土1, 縄土2
SP943	137.16	20		SP945	135.82	24		SP1034	134.72	22	
SP944	137.12	14		SP946	136.16	18		SP1035	134.92	32	
SP945	137.16	30		SP947	135.64	8		SP1036	134.94	30	
SP946	137.08	30		SP948	135.90	18		SP1037	134.78	24	
SP947	137.06	30		SP949	135.24	10		SP1038	134.78	34	縄土1, 縄土4
SP948	136.94	34		SP950	135.20	30		SP1039	134.78	34	縄土1, 縄土4
SP949	136.94	18		SP951	134.80	18		SP1040	134.78	34	縄土1, 縄土4
SP950	136.88	10		SP952	134.88	26	縄土3	SP1041	134.80	16	縄土4
SP951	137.00	14		SP953	134.88	32		SP1042	134.76	44	
SP952	137.00	18		SP954	134.88	12	磁石	SP1043	134.40	46	縄土1
SP953	136.98	10		SP955	134.80	24		SP1044	134.52	24	
SP954	136.94	14		SP956	134.82	28		SP1045	134.52	24	
SP955	136.88	20		SP957	134.84	30	縄土4	SP1046	135.18	18	縄土1
SP956	137.40	12		SP958	134.86	24		SP1047	135.18	20	
SP957	137.40	14		SP959	134.92	20		SP1048	135.20	22	
SP958	137.40	12		SP960	134.82	36		SP1049	135.24	38	
SP959	137.44	14		SP961	134.94	24		SP1050	135.21	34	石製1
SP960	137.40	36		SP962	135.06	12		SP1051	135.02	20	
SP961	137.44	12		SP963	135.18	18		SP1052	134.72	44	縄土1
SP962	137.10	28		SP964	135.22	20					
SP963	137.20	12		SP965	135.84	12					
SP964	135.92	36		SP966	135.82	12					
SP965	136.82	14		SP967	135.80	10					
SP966	136.76	18		SP968	135.38	24					
SP967	136.66	8		SP969	134.28	16	縄土1				
SP968	136.62	12		SP970	134.88	38	縄土2				
SP969	136.76	22		SP971	134.98	40					
SP970	136.76	8		SP972	134.84	22					
SP971	136.70	18		SP973	135.36	36					
SP972	136.60	28		SP974	134.82	30					
SP973	136.60	28		SP975	134.84	38					
SP974	136.50	28		SP976	134.80	8					
SP975	136.48	20		SP977	134.80	12					
SP976	136.52	8		SP978	134.84	20					
SP977	136.40	12		SP979	134.78	44	縄土5				
SP978	136.50	20		SP980	134.70	30	縄土3				
SP979	136.48	10		SP981	134.72	10					
SP980	136.28	8		SP982	134.70	10					
SP981	136.12	8		SP983	134.74	24	縄土3				
SP982	136.06	8		SP984	134.72	6					
SP983	136.00	18		SP985	134.82	12	縄土1				
SP984	136.00	4		SP986	134.82	12					
SP985	135.98	14		SP987	134.64	16	縄土1				
SP986	136.20	10		SP988	134.68	22					

第8表 土器観察表(1)

図号	番号	交差箇所	出土層位	出土位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口縁部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号
61	1	—	遺構内	S11	覆土	—	円下a~ b1	深鉢	—	ほぼ 隆帯1条 隆帯上円形煎蓋	不明	ナゲ	—	—	—	(3.9)	F0048
61	3	—	遺構内	S13	1層	—	円下a~ b1	深鉢	平 口唇 円形煎蓋	煎蓋煎鉢	—	ナゲ	—	—	—	(3.8)	F0049
61	6	—	遺構内	S14	上層	—	円下a~ b1	深鉢	—	—	RL(横)	ナゲ	—	—	—	(3.5)	F0050
61	7	—	遺構内	S15	1層	—	円下a~ b1	深鉢	—	—	L結部	ナゲ	煎化物 (外)	—	—	(5.2)	F0051
61	8	—	遺構内	S16	3層	ベルト	円下a~ b1	深鉢	—	—	L結部	ナゲ	—	—	—	(5.2)	F0052
61	9	96	遺構内	S16 前A95	覆土 煎蓋	—	円下b1~ b2	深鉢	—	—	L煎蓋1(縦) L煎蓋1(横)	ナゲ	—	—	7.7	(20.2)	F0051
61	10	96	遺構内	S16 前A95	覆土 煎蓋	—	円下a~ b1	深鉢	—	—	L.L(6段多条 煎)	ナゲ	煎化物 (外)	—	—	(12.4)	F0052
61	11	—	遺構内	S16	1層	F16	円下a~ b1	深鉢	—	—	RLR(横)	ナゲ	煎化物 (外)	—	—	(7.2)	F0054
62	1	96	遺構内	S16	1層	F2, 3, 6, 7, 10, 12 →19	円下a~ b1	深鉢	平	L結部 隆帯2条 隆帯上と隆帯煎蓋 に付注	L結部とRLR (煎)を交互に 煎文	ミガキ	煎前下平 に焼孔 (2箇一線)	57.2	—	(69.1)	F0047
63	2	—	遺構内	S17	2層	東北ベルト	円下a~ b1	深鉢	平	RLR(横) 隆帯1条 隆帯上RLR押圧	RLR(横)	ナゲ	煎化物 (外)	—	—	(10.0)	F0055
63	4	—	遺構内	S18	1層	南東ベルト	円下a~ b1	深鉢	平	LR(煎)	—	ナゲ	煎化物 (外)	—	—	(6.6)	F0057
63	5	—	遺構内	S18	2層	東北ベルト	円下a~ b1	深鉢	—	—	L煎蓋1(横)	—	ミガキ	—	—	(6.2)	F0058
63	6	—	遺構内	S19	1層上層	—	円下a~ b1	深鉢	平	結部1羽状か 隆帯1 条 隆帯上付注	—	ナゲ	—	—	—	(7.2)	F0059
64	1	—	遺構内	S111	覆土	南	円下b1~ b2	深鉢	低平な煎蓋 状況	L結部	—	ミガキ	—	—	—	(5.9)	F0056
64	2	—	遺構内	S111	覆土	南	円下b1~ b2	深鉢	低平な煎蓋 状況	L結部	—	ナゲ	煎化物 (外)	—	—	(3.3)	F0057
64	6	—	遺構内	S112	3層	—	円下b1~ b2	深鉢	—	—	LR煎蓋1(煎)	ナゲ	煎化物 (外)	—	—	(5.2)	F0064
64	7	—	遺構内	S112	覆土	—	円下b1~ b2	深鉢	—	—	R煎蓋1(煎)	ナゲ	煎化物 (外)	—	—	(5.7)	F0055
64	9	—	遺構内	S113	覆土	南	円下b2	深鉢	平	煎蓋1羽状か 隆帯1 条 隆帯上付注	—	ナゲ	—	—	—	(4.6)	F0051
64	10	97	遺構内	S113	覆土	南	円下b2	深鉢	平	RL(横)後にR押圧 (煎位4以上)	—	ミガキ	—	—	—	(5.9)	F0052
64	12	—	遺構内	S114	覆土	—	円下a~ b1	深鉢	(4層位)	—	—	ナゲ	煎化物 (外)	—	—	(4.9)	F0058
64	13	97	遺構内	S115	覆土	P1	円下a~ b1	深鉢	煎文(4層位) 口唇付注	L結部 RL(横) 隆帯1条 隆帯上付注	RL(横)	ミガキ	煎蓋煎代 底	12.5	—	(14.5)	F0053
65	1	97	遺構内	S116	2~6層	F8	大木10	深鉢	平	RL(横)	—	ナゲ	煎化物(内 外)	(14.5)	(7.6)	(16.6)	F0073
65	2	97	遺構内	S116	2~6層	F9	大木10	深鉢	煎文(4層位) 口唇平煎	RL(横)	—	口縁部に 隆帯 ナゲ	煎化物(内 外)	(16.0)	—	(9.9)	F0076
65	3	97	遺構内	S116	2~6層	F9	大木10	深鉢	平 口唇平煎	煎蓋	赤煮	—	—	(10.4)	(6.2)	(12.5)	F0078
65	4	97	遺構内	S116	2~6層 焼土上面	F10 F13	大木10	深鉢	—	沈煎 沈煎に伴う煎状隆帯 L煎蓋1 (沈煎)	—	ミガキ	—	(22.7)	—	(5.7)	F0079
65	5	97	遺構内	S116	2~6層	P1	大木10	深鉢	—	沈煎 RL(沈煎, 煎蓋)	—	ミガキ	煎化物(内 外)	—	—	(12.9)	F0074
65	6	97	遺構内	S116	2~6層	P7	大木10	深鉢	—	沈煎 L(地文, 横)	—	ナゲ	—	—	—	(26.5)	F0077
65	7	97	遺構内	S116	2~6層	P7	大木10	煎	—	煎状隆帯 沈煎 RL(煎)	—	ナゲ	煎蓋煎代	—	9.0	(9.5)	F0075
65	1	97	遺構内	S116	2~6層 2層	F4, 9	大木10	深鉢	—	RL(煎)	—	ミガキ	煎蓋煎代 底	—	8.9	(13.7)	F0081
65	2	97	遺構内	S116	2~6層	F6	大木10	深鉢	—	RL(煎)	—	ナゲ	煎蓋煎代	—	7.7	(11.3)	F0082
65	9	—	遺構内	S117	覆土	—	円下b2~ c	深鉢	平	結部1羽状	—	ミガキ	煎化物 (外)	—	—	(5.1)	F0059
67	1	—	遺構内	S118	1層	—	大木10	深鉢	平 口唇平煎	沈煎 RL(煎)	—	ナゲ	—	—	—	(5.1)	F0070
67	2	—	遺構内	S118	2層	—	大木10	深鉢	平 口唇平煎	沈煎 RL(横)	—	ミガキ	煎化物(内 外)	—	—	(5.2)	F0072
67	4	—	遺構内	S119	南底	F6	大木10	深鉢	平 口唇平煎	沈煎 煎突光煮	—	ナゲ	—	—	—	(9.8)	F0083
67	5	99	遺構内	S119 前A93	南底 IV層	F6	大木10	深鉢	低平な煎蓋 状況	沈煎 RL(地文, 縦)	—	ミガキ	—	22.3	—	(31.5)	F0094
67	6	99	遺構内	S119	3層	F9	大木10	深鉢	平	沈煎 RL(地文)	—	ミガキ	煎化物 (外)	(39.4)	—	(26.8)	F0083
68	1	99	遺構内	S119	南底 4層 1層	F6 F7	大木10	深鉢	煎蓋 煎蓋部捺 りのある 沈煎平煎	沈煎 L煎蓋1(沈煎, 煎蓋)	—	口縁部に 隆帯 ミガキ	煎化物 (外)	(44.8)	—	(36.1)	F0099
68	2	99	遺構内	S119	p1:18	—	大木10	深鉢	—	LR(横)	—	ミガキ	—	—	—	(12.6)	F0085
68	3	99	遺構内	S119	1層	—	大木10	深鉢	—	沈煎 RL(横)	—	ミガキ	煎化物 (外)	—	—	(4.5)	F0087
68	4-1 4-2	99	遺構内	S119 前A93	覆土 煎蓋	—	円下a~ b1	深鉢	—	煎蓋1(合煎, 横) 隆帯上 隆帯上合煎押圧	煎蓋1(合煎, 煎)	ミガキ	煎化物 (外)	—	—	(12.5) (28.0)	F0089
68	1	99	遺構内	S119 前A93	3層 覆土	F2~6	大木10	深鉢	低平な煎蓋 状況	沈煎 RL(地文, 縦)	—	ミガキ	—	26.9	(13.5)	54.5	F0095



第8表 土器観察表(2)

図号	層号	実測寸法	器土電位	器土位置	層位	その他注記	時期	器種	口縁形状	口頸部	胴部	内面	その他	口径(cm)	胴径(cm)	高さ(cm)	整理番号	
69	2	—	遺構内	S19	覆土	—	後～晩	鉢	平口唇平直	ナブ	—	ナブ	—	(14.0)	—	(3.7)	P0085	
70	1	—	遺構内	S19	2～3層	—	円下a～b1	陶鉢	平	R線部 隆帯1条 隆帯上肩突	R線部	ミガキ	—	(11.4)	—	(7.3)	P0091	
70	4	100	遺構内	S121	伊土土層	—	後後～晩前	陶鉢	平口唇平直	丸(横)	—	ナブ ミガキ	焼化物(内 外) 底部 網文様か	(17.2)	(8.4)	22.6	P0092	
70	6	—	遺構内	S121	覆土1	下位	後後～晩前	鉢	—	丸(横)	—	ミガキケ ズリ	—	—	—	(14.4)	P0094	
70	6	—	遺構内	S121	覆土	西	大木10	陶鉢	底状	花線	—	ナブ	—	—	—	(4.4)	P0093	
71	1	—	遺構内	S122	床面	ハ区	円下a～b1	陶鉢	平口唇折目	L線部凹か	—	ナブ	—	—	—	(3.6)	P0097	
71	2	100	遺構内	S122	床面	ハ区	円下a～b1	陶鉢	—	L線部 丸R押圧1条	L線部1(縦)	ナブ	焼化物 (内)	—	—	(16.0)	P0101	
71	3	100	遺構内	S122	床面	ハ区	円下a	陶鉢	平口唇折目	R線部 隆帯1条 隆帯上肩突と丸R (横文)	丸R	ミガキ	—	17.3	—	(18.0)	P0096	
71	4	100	遺構内	S122	7層上面	ハ区	円下a～b1	陶鉢	平	R線部 丸R(横) 隆帯上肩突 丸R(横)	R線部 丸R(横)	ミガキ	—	(40.0)	—	(36.0)	P0104	
71	6	—	遺構内	S122	3層上面	—	円下a～b1	陶鉢	平	L線部1条 L線部 隆帯1条 隆帯上肩 突 隆帯1条 隆帯上 肩突	L線部 丸R(横) 丸 R(横)	ミガキ	—	(31.0)	—	(19.2)	P0096	
71	6	—	遺構内	S122	3層上面	ロ区西	円下a	陶鉢	—	—	竹管状穴(接 部転文か)	ミガキ	—	—	—	(5.1)	P0098	
72	1	100	遺構内	S122	3～5層	ロ区	円下a	陶鉢	平	R線部 隆帯1条 隆帯上肩突	R線部	ミガキ	—	(20.0)	—	(19.7)	P0109	
72	2	100	遺構内	S122	2層	ハ区西	円下a～b1	陶鉢	平	R線部 隆帯2条 隆帯上肩突 隆帯1条 隆帯1押 圧	R線部	ナブ	—	(31.0)	—	(12.8)	P0100	
72	3	100	遺構内	S122	取層	ハ区 北ベ ルト	円下a～b1	陶鉢	平	R線部1か(横) R押 圧か	L(縦)	ミガキ	蜂輪孔(2 層一組)	(17.4)	8.8	25.0	P0097	
72	4	100	遺構内	S122	取層	ニ区西	円下a	陶鉢	平	R線部 隆帯1条 隆帯上肩突	R線部 丸R(横)	ミガキ	—	41.0	—	(31.8)	P0019	
73	1	101	遺構内	S122	取層	ロ区西	円下a～b1	陶鉢	平	接部転文か 隆帯1 条 隆帯上肩突	不明印転文 丸R線部(縦)	ナブ	焼化物 (内)	(18.4)	—	(17.3)	P0102	
73	2-1-2-2	101	遺構内	S122	取層 3層上面 器目S75	イ区東	円下a～b1	陶鉢	平	R線部 隆帯1条 隆帯上肩突	R線部	ナブ	焼化物 (内)	(66.4)	—	(12.7 28.2)	P010 -1	
74	1	101	遺構内	S122	取層	ハ区東	円下b1	陶鉢	平	R線部 隆帯1条 隆帯上肩突 隆帯1条 隆帯上 肩突	R線部 L線部1(縦)	ナブ ミ ガキ	焼化物 (内) 器 目S75 器目S76	31.9	11.4	80.9	P0111	
74	2	101	遺構内	S122	取層	ハ区西	円下b1	陶鉢	—	R線部 隆帯1条 隆帯上肩突	L線部1(縦)	ミガキ	焼化物 (内)	—	—	(23.6)	P0107	
74	3	101	遺構内	S122	取層	ロ区西	円下b1	陶鉢	平	R線部 隆帯1条 隆帯上肩突 隆帯1条 隆帯上 肩突	L線部1(縦)	ナブ	—	(21.8)	—	(15.6)	P0106	
74	4	101	遺構内	S122	取層	ハ区	円下b1	陶鉢	平	器目か 隆帯1条 隆帯上肩突 隆帯1条	丸(横)	ナブ	焼化物(内 外)	(19.2)	—	(27.2)	P0096	
76	1	101	遺構内	S122	取層	ニ区西	円下b1	陶鉢	平	R線部 隆帯1条 隆 帯上肩突R押圧	R線部1 底部付 凹にL線部凹か	ナブ	—	(14.6)	9.5	(23.2)	P0098	
76	2	101	遺構内	S122	取層	ハ区	円下b1	陶鉢	平	丸R(横) 隆帯1条 隆帯上肩突	丸R(横) R線部 1(縦)	ナブ	—	26.9	10.8	(50.7)	P0109	
76	3	101	遺構内	S122 器目S75	取層 2～3層	ロ区西	円下b1	陶鉢	平	花線1条 L線部 底 文 隆帯1条 隆帯上 肩突 隆帯1条 隆帯上 肩突	L線部 丸R(横) 丸R(横)にL線部 1条	ミガキ	底部付凹 に用圧	21.9	12.2	37.6	P0011	
76	4	101	遺構内	S122	取層	ハ区西	円下b1～b2	陶鉢	—	—	L線部1(縦)	ナブ	焼化物 (内)	(10.5)	(7.2)	(14.7)	P0106	
76	1	101	遺構内	S122 器目S74	取層 黒色	ニ区西	円下b1～b2	陶鉢	—	—	R線部1(縦)	ナブ	底部1条 隆帯1 条	—	9.5	(17.2)	P0099	
76	2	101	遺構内	S122	取層	ハ区西	円下a～b2	陶鉢	—	—	帯面網文様	ナブ	焼化物 (内)	(15.9)	13.8	(4.7)	P0100	
80	1	103	遺構内	S123	床面	P2	大木10	陶鉢	底状(4層 位)	花線 沈帯に伴う蜂輪状隆帯 L線部1 (元突、黒色)	口縁部に 隆帯1 ミガキ	—	—	23.8	—	(22.1)	P0112	
80	2	103	遺構内	S123	床面	P1	大木10	鉢	—	—	ミガキ	—	帯面網文 様	(19.5)	8.0	(10.8)	P0113	
80	3	103	遺構内	S123	床面	P6	大木10	陶鉢	—	—	R線部1(縦)	ミガキ	底部網文様	—	11.8	8.2	P0114	
81	4	103	遺構内	S126	覆土	—	円下2～c	陶鉢	平	L線部1押圧3条 隆帯1条 隆帯上L 線部1押圧	—	ミガキ	—	—	—	(4.7)	P0115	
81	5	—	遺構内	S126	覆土	—	円下a	陶鉢	平口唇折目	丸R(横) 隆帯1条 隆帯上肩突	—	ミガキ	焼化物 (内)	(22.6)	—	(7.8)	P0116	
81	6	—	遺構内	S126	覆土	—	円下2～c	陶鉢	—	—	—	ミガキ	底部R押圧	—	(7.4)	(4.0)	P0118	
81	7	—	遺構内	S126	pit1	—	円下a	陶鉢	平口唇折目	押圧	—	ミガキ	—	—	—	(3.6)	P0117	
81	8	—	遺構内	S127	—	—	円下2～c	陶鉢	—	丸R	—	ミガキ	—	—	—	(4.4)	P0119	
82	6	—	遺構内	S128	伊土面	—	大木10～ 後部	不明	—	—	—	不明	帯面網文 様により劣 化	—	—	—	(3.1)	P0120
82	7	—	遺構内	S128	pit1	—	大木10	陶鉢	—	蜂輪状隆帯 帯面網文	—	—	—	—	—	—	(5.6)	P0121
82	12	—	遺構内	S129	覆土	—	円下a～b1	陶鉢	—	—	R線部	ミガキ	—	—	—	—	(5.8)	P0122



第8表 土器観察表(3)

図号	番号	区画番号	出土層位	出土位置	層位	その他の注記	時期	器種	口縁形態	口部部	胎部	内面	その他	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号	
83	1	—	遺構内	S100	埋土	—	円下a~b1	線鉢	平口唇外折	口と口の取付の合部 隆帯1条 隆帯上	口と口の取付の合部	ミガキ	—	—	—	(6.5)	P0123	
83	2	—	遺構内	S100	—	—	円下a~b1	線鉢	平	L1隆帯1	—	ミガキ	—	—	—	(6.5)	P0125	
83	3	104	遺構内	S100	埋土	—	大淵B1	鉢	—	横位化器間に短沈隆帯	—	ミガキ	灰化物(水)	—	—	(4.3)	P0124	
83	6	104	遺構内	S101	埋土	—	後初	線鉢	平口唇平坦	L脚圧	—	ミガキ	—	—	—	(3.3)	P0126	
83	7	—	遺構内	S101	埋土	—	大木10~後初	線鉢	平	—	—	ミガキ	—	—	—	(3.3)	P0127	
83	8	—	遺構内	S101	埋土	—	大木10	線鉢	平口唇平坦	—	L1隆帯1(斜)	ミガキ	—	—	—	(10.9)	P0128	
83	9	104	遺構内	S102	何部上面伊勢内	F16, I7 P16	大木10	線鉢	平	沈隆 沈隆に伴う隆状隆帯 RL(光沢)	ナゲ ミガキ	—	灰化物(内外面) 磁器細片	(25.3)	14.0	(56.0)	P0137	
83	10	104	遺構内	S102 直1, 直2, 直3, 直4, 直5	床底	P23	大木10	線鉢	平口唇外折	沈隆 L1隆帯1(縦)	—	口縁部に隆状隆帯 ナゲ	—	—	(11.1)	P0429		
84	1	104	遺構内	S102	床底	P8	大木10	線鉢	—	RL(斜)	—	ミガキ ナゲ	磁器細片(水)	(17.2)	8.8	26.1	P0012	
84	2	—	遺構内	S102	伊上面	—	大木10~後初	線鉢	波状口唇平坦	沈隆	—	ナゲ	—	—	(9.0)	P0143		
84	3	—	遺構内	S102	中層	—	大木10	線鉢	波状	磁器磨滅顯著	—	口縁部に隆帯 ナゲ	—	—	(6.6)	P0135		
84	4-1 4-2	—	遺構内	S102	上層	—	大木10~後初	線鉢	波状口唇平坦・波状口唇平坦	ナゲ	—	ミガキ	—	—	(1.4) (3.7)	P0141-1		
84	5	—	遺構内	S102	上層	—	大木10~後初	線鉢	波状	L1隆帯1(斜)	—	ナゲ	—	—	(11.0)	P0144		
84	6	104	遺構内	S102	上層中層	P12	大木10	線鉢	波状(4層位)口唇平坦・波状口唇平坦	沈隆 沈隆に伴う隆状隆帯 RL(光沢)	—	口縁部に隆状隆帯 ナゲ	—	—	(56.6)	P0133		
84	7	104	遺構内	S102	1層	P22	円下a~b2	線鉢	平	R1脚圧	L1隆帯1(縦)	ナゲ	灰化物(水)	13.0	—	(10.8)	P0136	
84	8	104	遺構内	S102	埋土	—	大木10	線鉢	波状(4層位)口唇平坦	波状部に突起を伴うボタン状貼付 沈隆 RL(水)	—	口縁部に隆帯 ナゲ	—	—	(6.5)	P0134		
85	1	104	遺構内	S102 直1, 直2, 直3	上層	P11	大木10	線鉢	平口唇外折	沈隆 RL(水)	—	ナゲ	灰化物(水)	36.2	—	80.1	P0145	
88	1	106	遺構内	S100 直~IV層	直1	P1	大木10	線鉢	磁器平立波状(4層位)	沈隆 RL(上半光澤, 下半は地文, 隆帯, 斜)	—	ミガキ	—	—	(24.4)	P0013		
88	2	106	遺構内	S100	1層	P1	大木10	波口	磁器平立波状	穿孔孔	L1(隆) 隆状把手(水)	ナゲ	内面黄色顔料付着	(16.4)	7.0	(18.3)	P0129	
88	3	—	遺構内	S100	床底	—	大木10	線鉢	平口唇平坦	ナゲ	—	ナゲ	—	—	(2.8)	P0130		
88	4	—	遺構内	S100	埋土	—	大木10	線鉢	平口唇平坦折返口縁	ナゲ	—	ナゲ	—	—	(3.3)	P0131		
88	5	—	遺構内	S100	埋土	—	大木10	線鉢	平口唇平坦	沈隆	—	ミガキ	—	—	(6.0)	P0132		
89	1	—	遺構内	S106	8層	—	大木10	線鉢	平口唇平坦	沈隆 RL(水)	—	ミガキ	灰化物(水)	(18.2)	—	(4.3)	P0149	
89	2	106	遺構内	S106 埋土伊内埋土土層	埋土	P2	大木10	線鉢	磁器平立波状(4層位)	沈隆 RL(水)	—	波状隆帯 ミガキ	—	—	36.3	15.5	63.9	P0045
90	1	106	遺構内	S106 直1, 直2, 直3, 直4, 直5, 直6, 直7, 直8, 直9, 直10	直1	—	大木10	線鉢	—	沈隆 RL(水, 斜)	—	ミガキ	灰化物(水)	—	—	(24.0)	P0147	
90	2	106	遺構内	S109	10層	—	大木10	線鉢	波状	沈隆 L1隆帯1(光沢)	—	波状隆帯下にて隆状隆帯 ミガキ	—	—	(9.9)	P0148		
91	4	—	遺構内	S106	埋土	—	後初	線鉢	波状 波状隆帯に波目	隆帯 隆帯上L脚圧 ボタン状貼付	—	ナゲ	—	—	(4.0)	P0129		
91	5	—	遺構内	S106	埋土	—	後初	線鉢	波状 波状隆帯に波目	隆帯1条 隆帯上L脚圧 ボタン状貼付 L	—	ナゲ	灰化物(内外面)	—	—	(4.7)	P0154	
91	6	—	遺構内	S106	埋土	—	後初	線鉢	波状 波状隆帯に波目	ボタン状貼付 貼付上突起 鈍脚圧(原形不明)	—	ナゲ	灰化物(水)	—	—	(3.3)	P0153	
91	7	—	遺構内	S106	埋土	—	後初	線鉢	—	L1隆帯1 隆帯 隆帯上脚目	—	ナゲ	—	—	(2.9)	P0140		
91	8	—	遺構内	S106	埋土	—	大木10	線鉢	波状 波状隆帯隆帯のゆるい折平状	隆帯貼付	—	ミガキ	—	—	(4.6)	P0155		
91	9	—	遺構内	S106	埋土	—	大木10	線鉢	波状	沈隆 突起 L(水)	—	口縁部に隆帯 ミガキ	—	—	(7.4)	P0150		
90	8	107	遺構内	S108	2層上面1~2層	P1	大木10	線鉢	磁器平立波状	L(横)	—	ミガキ	—	—	(28.2)	(22.6)	P0157	
90	4	—	遺構内	S109	10層	—	大木10	線鉢	—	沈隆 RL(水, 斜)	—	ナゲ	—	—	(10.8)	P0158		
90	6	106	遺構内	S140	2層	P11	大木10	線鉢	平	赤灰文	—	ナゲ	灰化物(水)	(21.0)	—	(15.1)	P0164	
90	7	—	遺構内	S140	下層	—	大木10	線鉢	波状	波状下部に隆状隆帯 沈隆	—	口縁部に隆状隆帯 ミガキ	—	—	(7.5)	P0165		

第8表 土器観察表(4)

図号	番号	実高 番号	出土 地区	土器 位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号
90	8	100	遺構内	S140	—	P17	大木10	深鉢	底面底縁の各所に 波状隆起	隆帯 沈線 肩突とRL(完成)	ナブ	穿孔1か所	—	—	(10.4)	F0166	
90	9	100	遺構内	S140 G66 G166	上、下層 IV層	—	後部	深鉢	平口等平直	沈線 肩突	ミガキ	—	12.0	—	(12.2)	F0165	
90	10	—	遺構内	S140	2層	P10	大木10	深鉢	—	沈線 RL(地文)	ナブ	—	—	—	(7.9)	F0427	
94	1	100	遺構内	S140	2層	P7	大木10	深鉢	波状(4単位)	底面下部に波状隆帯 沈線 RL(完成)	口縁部に隆帯	炭化物(P)	(25.2)	—	(24.8)	F0167	
94	2	100	遺構内	S140	—	—	大木10	深鉢	波状(4単位)	沈線 R線筋1(完成、磨面) 隆帯隆帯	底面隆帯の隆帯ミガキナブ	底面網付度	(22.3)	9.5	33.5	F0014	
94	3	100	遺構内	S140	—	P17	大木10	深鉢	—	R線筋1(磨)	ミガキ	—	—	9.8	22.5	F0159	
94	4	100	遺構内	S140	上層 1~2層	P16	大木10	深鉢か	—	RL(磨)	ナブ	底面網付度	—	10.7	(13.6)	F0169	
96	1	100	遺構内	S140	—	P16	大木10	深鉢か	—	RL(磨、肩)	ナブ	底面網付度	—	(12.0)	(10.2)	F0161	
96	2	100	遺構内	S140	—	P16	大木10~ 後部	鉢	正 口唇部、 部分的に 外折状	RL(磨)	ミガキ	底面網付度	(18.0)	(8.6)	11.5	F0162	
96	3	100	遺構内	S140	3~4層	—	大木10	深鉢か	—	RL(磨)	ナブ	底面網付度	—	6.7	(4.2)	F0426	
96	1	107	遺構内	S141	埋土	—	円下b2~ c	深鉢	平	赤褐色(磨)	赤褐色(文)	ミガキ	—	(16.4)	9.0	18.5	F0015
96	2	107	遺構内	S141	埋土	—	円下b2~ c	深鉢	底平な波状	口と底面正(口縁部と底面に波状隆帯、底面に1~2cm一筋) 結束1羽状	結束1羽状 R線筋1(磨)	ミガキ	—	(12.5)	—	(15.1)	F0018
96	3	—	遺構内	S141	埋土	—	円下a~ b1	深鉢	平	R線筋 隆帯1条 隆帯上折直	R線筋(磨)	ナブ	—	—	(9.3)	F0168	
97	1	100	遺構内	S145	II層	距177	円下b2	深鉢	底平な波状(4単位)	口縁部(縁部に8条、縁部に3条一筋 R線筋1条、隆帯再折直) 閉直	R線筋1(磨)	ナブ	20.5	—	(41.0)	F0017	
97	2	100	遺構内	S145	I層	—	円下b2	深鉢	底平な波状	結束1羽状 低い隆帯1条 隆帯上折直 隆帯再折直	結束1羽状 L線筋1(磨)	ナブ	(27.6)	—	(16.5)	F0170	
97	3	100	遺構内	S145	II層	距177	円下a~ b1	深鉢	平	R線筋 底~隆帯1条 隆帯上折直 隆帯再折直	R線筋 R線筋1(磨)	ミガキ	隆帯口立 縁一筋	22.8	—	(28.5)	F0018
97	4	100	遺構内	S145	II層	—	円下a~ b1	深鉢	平	R線筋 隆帯1条 隆帯上折直	R線筋か	ミガキ	—	—	(20.2)	F0173	
97	5	100	遺構内	S145	埋土	—	円下b1~ b2	深鉢	—	—	R線筋1(磨)	ナブ	—	8.6	(12.1)	F0174	
97	6	—	遺構内	S145	埋土	—	大木10	深鉢	底面底縁平直	ナブ	ナブ	ナブ	—	—	(5.9)	F0171	
98	8	—	遺構内	S144	1~2層	—	円下a~ b1	深鉢	平	R線筋	R線筋1(磨)	ナブ	—	—	(4.7)	F0175	
98	9	—	遺構内	S144	1~2層	—	円下a~ b1	深鉢	平	RLR折直 隆帯 隆帯上折直	—	ナブ	—	—	(4.9)	F0176	
99	1	100	遺構内	S145a	埋設土器	P9	大木10	深鉢	平	RL(肩) 部分的にケズラ・ナブ	ミガキ ケズラ ナブ	底面打ち 欠き	(23.2)	—	(26.0)	F0019	
99	2	—	遺構内	S145a	埋土	—	大木10	深鉢	波状	沈線 隆帯隆帯	ミガキ	—	—	—	(2.4)	F0178	
99	3	—	遺構内	S145a	I層	—	大木10	深鉢	波状	ミガキ	口縁部に隆帯 底面に波状隆帯 ミガキ	—	—	—	(5.6)	F0181	
99	4	—	遺構内	S145a	I層	—	大木10	深鉢	—	沈線 肩突 RL(完成)	ナブ	—	—	—	(6.1)	F0182	
99	5	100	遺構内	S145a	埋土	—	大木10	深鉢	—	RL(磨)	ナブ	底面網付度 90~7と同一層位か	—	(14.0)	(5.4)	F0180	
99	6	100	遺構内	S145a	埋土	—	円下a~ b1	深鉢	平	R線筋1(磨)	—	ナブ	穿孔1か所	(14.6)	—	(9.9)	F0179
99	7	100	遺構内	S145a	I層	P1	大木10	深鉢	平口等平直	沈線 RL(地文)	ナブ	—	—	27.1	—	(28.1)	F0183
101	1	—	遺構内	S145b	埋土	—	円下b1~ b2	深鉢	平	R線筋 底~隆帯1条 隆帯上折直	RL(磨)	凹凸磨面	炭化物(P)	—	—	(9.0)	F0431
101	2	—	遺構内	S145b	埋土	—	円下b1~ b2	深鉢	平	口縁部 隆帯1条 隆帯上折直	L線筋1(磨)	ナブ	炭化物(P)	—	—	(6.9)	F0432
101	3	—	遺構内	S145b	埋土	—	円下b1~ b2	深鉢	平	R線筋	—	ナブ	炭化物(P)	—	—	(6.8)	F0433
101	4	—	遺構内	S145b	埋土	—	円下b1~ b2	深鉢	平	L線筋1折直	—	ナブ	炭化物(P)	—	—	(2.9)	F0434
101	10	—	遺構内	S146	埋土	—	円下b1~ b2	深鉢	底平な波状	RL線筋1(磨)	—	ナブ	—	—	—	(4.7)	F0177
101	11	—	遺構内	S147	2層	—	円下a~ b1	深鉢	底平な波状	R線筋1(磨) 隆帯1条 隆帯上折直	—	ナブ	—	—	—	(8.9)	F0187

第8表 土器観察表(5)

図号	番号	実測位置	出土地区	出土位置	層位	その他の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	底部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理番号
101	12	110	遺構内	S147	上層	—	円下a~b1	深鉢	平	R3輪部 隆帯1条 隆帯上附正	L1R単部1(縦)	ミガキ	灰化跡(外) 穿孔	10.3	—	(8.7)	F0185	
101	19	110	遺構内	S147	上層	—	円下a~b1	深鉢	—	隆帯1条 隆帯上附正	R2単部1(縦)	ミガキ	—	—	(20.0)	—	F0186	
101	14	110	遺構内	S147	中層下層	—	円下a~b1	深鉢	平	R2輪部 隆帯1条 隆帯上附正	R2単部1(縦)	ナツ	灰化跡(外)	(22.0)	11.1	(42.0)	F0184	
100	1	—	遺構内	S148	厚土	—	円下a~b1	深鉢	平 口縁部凸	L1R単部1(横)	—	ナツ	灰化跡(外)	—	—	(6.1)	F0188	
100	2	111	遺構内	S148	2層	F1	円下a~b1	深鉢	平 口縁部凸	R2輪部 隆帯1条 隆帯上附正	—	ミガキ	—	(27.8)	—	(12.8)	F0189	
100	3	—	遺構内	S150	厚土	—	円下b2~c	深鉢	—	R1(横)	—	ナツ	灰化跡(外)	—	—	(2.0)	F0190	
100	5	111	遺構内	S151a	pit11	—	大木10	深鉢	平	沈殿 R1R	—	ナツ	口縁部のみ著り	22.0	—	(22.8)	F0020	
100	6	111	遺構内	S151a	基下層	F10	大木10	深鉢	—	L1R(縦)	—	ナツ	赤色顔料付着	(8.0)	5.2	(6.3)	F0192	
100	7	111	遺構内	S151a	基下層	F12	大木10	深鉢	—	L1R単部1(縦)	—	ミガキ	底面凹窪(ナツ) 赤色顔料付着	(9.0)	5.6	(6.8)	F0193	
100	8	111	遺構内	S151a	厚土	—	大木10	鉢	平	—	—	ナツ	底面凹窪(ナツ) 赤色顔料付着	9.1	4.6	6.2	F0194	
100	9	111	遺構内	S151a	厚土	—	大木10	深鉢	波状	隆帯 沈殿 沈殿に伴う隆状隆帯 R1(沈殿)	—	ナツ	灰化跡(外)	—	—	(7.7)	F0195	
100	10	—	遺構内	S151a	厚土	—	大木10	深鉢	平	L1RにL付加条	—	ナツ	—	—	—	(2.0)	F0196	
100	11	111	遺構内	S151a	厚土	—	大木10	深鉢	平 口縁部凸	隆帯 沈殿 円形凹窪	—	ナツ	口縁部に隆帯 円形凹窪	—	—	(6.6)	F0197	
100	12	—	遺構内	S151a	厚土	—	円下a~b1	深鉢	平 口縁部凸	R1輪部 隆帯1条 隆帯上附正 隆帯両輪部正	—	ナツ	灰化跡(外)	—	—	(6.1)	F0198	
104	1	111	遺構内	S151a S149	基下層 厚土	F7	大木10	深鉢	—	沈殿 R1(横)	—	ミガキ	—	29.4	—	(36.2)	F0021	
106	4	—	遺構内	S151b	厚土	—	円下a~b1	深鉢	—	L1R単部1(横)	—	ミガキ	灰化跡(外)	—	(3.6)	(7.1)	F0191	
106	6	111	遺構内	S152	厚土	—	円下b2~c	深鉢	—	結帯1羽状後に沈殿5条	R1L(横)	ナツ	—	(15.2)	—	(10.0)	F0199	
106	7	—	遺構内	S152	凸層	—	円下b2~c	深鉢	平	R1L単部か	—	ナツ	灰化跡(外)	(12.2)	—	(3.9)	F0200	
106	8	—	遺構内	S152	凸層	—	円下b2~c	深鉢	平	L1R単部1(縦)	—	ミガキ	灰化跡(外)	(15.2)	—	(4.6)	F0201	
106	1	112	遺構内	S153	上層	—	円下a~b1	深鉢	平	R2輪部 隆帯1条 隆帯上附正	R1L(斜)	ナツ	灰化跡(外)	(16.8)	—	(19.0)	F0202	
106	2	—	遺構内	S153	基下層	F1	円下a~b1	深鉢	平	R2輪部	L1R単部1(縦)	ナツ	灰化跡(外) 穿孔	—	—	(8.2)	F0203	
106	3	—	遺構内	S153	上層	—	円下a~b1	深鉢	平	L1R(斜) 隆帯1条 隆帯上附正	L2輪部か	ナツ	灰化跡(外)	—	—	(7.3)	F0204	
106	4	112	遺構内	S153	上層	—	円下b2	深鉢	平	R1R単部6A	—	ナツ	灰化跡(外)	—	—	(5.3)	F0206	
106	5	—	遺構内	S153	基下層	—	円下a~b1	深鉢	平 口縁:凸 目	R2輪部 隆帯1条 隆帯上と隆帯両輪部に附正	R2輪部	ナツ	116-4と同様か	—	—	(8.7)	F0206	
106	6	112	遺構内	S153	上層	—	円下b2	深鉢	—	L1R(斜) 隆帯1条 隆帯上と隆帯両輪部に付波状突起	R2単部1(縦)	ミガキ	—	—	—	(6.6)	F0207	
106	6	113	遺構内	S154	1層	F1	円下a~b1	深鉢	平	L2輪部	L1R単部1(縦)	ミガキ	—	31.6	12.2	57.0	F0022	
110	1	—	遺構内	S155	1層	—	円下a~b2	深鉢	平 口縁付管状突起	L1R付 R2輪部	—	ナツ	—	—	—	(4.6)	F0208	
110	2	—	遺構内	S155	下層	—	円下a~b2	深鉢	—	R2単部1R付正 沈殿 R1	—	ナツ	—	—	—	(3.7)	F0209	
110	3	—	遺構内	S155	下層	—	円下a~b2	深鉢	—	隆帯1条 隆帯上と隆帯1付正	R1R	ミガキ	—	—	—	(5.6)	F0210	
111	2-1 2-2	113	遺構内	S156	1層	—	円下b2~c	深鉢	平	結帯1羽状 隆帯1条 隆帯上とR1R単部1	結帯1羽状 L1R単部1(縦)	ミガキ	灰化跡(外)	(19.2)	(7.2)	(17.8) (3.0)	F0211	
111	4	—	遺構内	S156	厚土	—	大木10	深鉢	平 突起	沈殿 R1(横)	—	ナツ	—	—	—	(6.8)	F0213	
111	5	113	遺構内	S156	厚土	—	請求-残部	深鉢	平 口縁部凸	L1R(横)	—	ナツ	灰化跡(外)	—	—	(4.3)	F0214	
111	6	113	遺構内	S156	厚土	—	請求-残部	鉢	—	沈殿 L1R(横)	—	ナツ	—	—	—	(3.6)	F0212	
113	1	—	遺構内	S157	厚土	—	円下a~b1	深鉢	平	L1R(付加条, 横)	—	ナツ	灰化跡(外)	—	—	(4.1)	F0216	
113	2	—	遺構内	S159	床から5cm	—	円下a~b1	深鉢	平	L1R単部1(横)	—	ナツ	灰化跡(外)	—	—	(3.4)	F0223	
113	3	114	遺構内	S159	上段	—	円下a~b1	深鉢	平	R2輪部	R2輪部 R2単部1(横, 斜)	ミガキ	—	18.9	9.8	38.0	F0023	
113	4	114	遺構内	S159	1層	pit1	深鉢	平 口縁付管状突起	—	R1L(横, 斜)	—	ミガキ	—	(17.4)	—	(21.5)	F0217	
113	5	114	遺構内	S159	1層	—	円下a~b1	深鉢	—	—	L1R単部1(縦)	ナツ	灰化跡(内)	(17.0)	(8.0)	(29.8)	F0218	
113	6	114	遺構内	S159	厚土	—	円下a~b1	深鉢	—	—	R2輪部	ナツ	灰化跡(外)	—	(10.8)	(22.0)	F0219	

第8表 土器観察表(6)

図号	番号	実測番号	出土 地区	出土 位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号
113	7	114	遺構内	S109	1層	—	円下a~ b1	陶鉢	—	—	L単結1	ナブ	炭化物 (%)	—	—	(14.9)	F0029
114	1	114	遺構内	S109 副坑76	1層	—	円下a~ b1	陶鉢	平 口縁平坦	L(脚) 隆帯1条 隆帯上段庄	R単結 L(脚)	ミガキ	—	40.8	(18.0)	(60.0)	F0458
114	2	—	遺構内	S109	1層	pit4	大木10	陶鉢	平 口縁平坦	ナブ	—	ナブ	—	—	—	(7.6)	F0022
114	3	—	遺構内	S109	1層	—	大木10	陶鉢	平	沈積 RL(完境)	—	ミガキ	—	—	—	(8.8)	F0021
115	8	—	遺構内	S100	床土上~ 10cm 3層	—	円下a~ b1	陶鉢	平 口縁凹目	R単結 L(脚)隆帯1条 隆帯上段庄	L単結1(脚)	ナブ ミガキ	—	—	—	(6.5)	F0026
115	9	—	遺構内	S100	3層	—	大木10	陶鉢	平 口縁平坦	RL(脚)	—	ナブ	—	—	—	(2.6)	F0025
115	10	115	遺構内	S100	埋土	—	後部	陶鉢	—	L(脚)庄 隆帯1条 隆帯上段目	—	ミガキ	炭化物 (%)	—	—	(4.0)	F0024
116	2	—	遺構内	S101	埋土	—	円下b1~ b2	陶鉢	平	R単結1(脚, 斜)	—	ナブ ミガキ	炭化物 (%)	—	—	(6.5)	F0027
116	3	—	遺構内	S101	埋土	—	円下b1~ b2	陶鉢	平	R(脚)	—	ナブ	—	—	—	(6.6)	F0028
116	4	—	遺構内	S101	埋土	—	円下b1~ b2	陶鉢	平	削突	R単結	ナブ	106-gと同 一様体か	—	—	(8.8)	F0029
117	1	—	遺構内	S102	埋土	—	円下a~ b1	陶鉢	—	R単結1(脚)	—	ミガキ	—	—	—	(4.6)	F0020
117	3	—	遺構内	S103	1層	—	円下a~ b1	陶鉢	平	R単結 隆帯1条 隆帯上段庄	R単結	ミガキ	—	—	—	(5.2)	F0031
117	6	—	遺構内	S104	上面	—	円下b1~ b2	陶鉢	平	R単結1(脚) 隆帯1条 隆帯上段庄	—	ナブ	—	—	—	(3.9)	F0032
117	7	115	遺構内	S104	上面	—	円下b1~ b2	陶鉢	—	—	L単結1後ナブ	ナブ	炭化物 (%) 底面 上段庄	—	9.9	(8.9)	F0033
117	9	115	遺構内	S106	埋設土器	—	大木10	陶鉢か	—	RL(脚)	—	ナブ	底面凹目	—	15.8	(15.0)	F0034
118	1	116	遺構内	S105	pit29	—	大木10	甕	—	雉文(ミガキ)	—	ミガキ ナブ	底面凹目	(16.9)	11.3	35.2	F0058
118	2	116	遺構内	S105	6層 20層 下層	P2, 4, 5, 7	大木10	陶鉢	—	—	沈積 RL(完境) 削突	ミガキ	—	—	—	(20.8)	F0054
119	1	115	遺構内	S106 下層 副坑76	下層 埋土 目層	P1	大木10	陶鉢	—	—	L(脚)	ミガキ ナブ	底面凹目	—	16.0	(43.1)	F0055
119	2	115	遺構内	S106 下層 副坑76	下層 埋土 目層	P2	大木10	甕か	—	—	沈積 RL(完境)	ナブ	—	—	—	(22.7)	F0056
120	1	115	遺構内	S106	下層	P3	大木10	陶鉢	平	RL(脚)	—	ミガキ	—	25.0	—	(20.0)	F0056
120	2	117	遺構内	S106	6層 下層	P3	大木10	陶鉢	—	RL(脚)	—	ミガキ	底面凹目	—	11.8	(26.1)	F0057
120	3	117	遺構内	S106	下層	P4	大木10	底部	—	L(脚, 斜)	—	ナブ	底面凸状	—	7.3	(8.0)	F0058
120	4	117	遺構内	S106	7層 20層 6層 25層	F4 F7	大木10	陶鉢	—	L(脚)	—	ナブ ミガキ	炭化物(内 外)	(33.6)	—	(24.6)	F0059
120	5	—	遺構内	S106	8層	—	大木10	陶鉢か	平	沈積 RL(完境)	—	ミガキ	—	—	—	(5.1)	F0040
120	6	117	遺構内	S106	6層	—	大木10~ 後部	底部	—	RL(脚)	—	ミガキ 内面黒色 付事柄 (アスファ ルト)	底面凹目	—	7.7	(4.0)	F0059
121	1	117	遺構内	S106 S136	4層 上層	—	円下a~ b1	小径杯 口縁に付 削突	R単結	R単結1(脚)	ナブ	炭化物 (%)	(13.8)	—	(8.1)	F0027	
121	2	—	遺構内	S106	4層	—	後部	陶鉢	平 口縁平坦	隆帯1条 隆帯上段	ミガキ	ミガキ	—	—	—	(4.0)	F0041
121	3	117	遺構内	S106	4層	—	後部	陶鉢	—	L(脚)庄 L(脚)文	—	ナブ	—	—	—	(4.1)	F0042
121	4	—	遺構内	S106	4層	—	後部	陶鉢	—	隆帯1条 隆帯上段目 隆帯に付って L(脚)庄 L(脚)	—	ナブ	—	—	(3.4)	F0043	
122	5	118	遺構内	S106	4層	P4	円下a~ b1	陶鉢	平	技術転文か	L単結1(脚)	ミガキ	—	(19.5)	—	(20.6)	F0050
122	6	118	遺構内	S106	4層	P4	円下a~ b1	陶鉢	平	R単結	RL(脚)	ナブ	—	(18.0)	—	(12.4)	F0050
122	7	118	遺構内	S106	4層	P1	円下a~ b1	陶鉢	平	L単結(脚)	LLR(脚)	ナブ	炭化物 (%)	(20.6)	—	(14.8)	F0053
122	8	118	遺構内	S106 副坑77	4層 埋土 目層	P2	円下a~ b1	陶鉢	—	L(脚)庄 隆帯	R単結1(脚)	ミガキ	—	—	9.7	(22.7)	F0059
123	1	118	遺構内	S106	2層	F9	円下a~ b1	陶鉢	平	RL(脚)	R単結1(脚)	ミガキ	—	(19.2)	12.0	29.4	F0051
123	2	118	遺構内	S106	2層	F7	円下a~ b1	陶鉢	—	RL(脚)	—	ナブ	炭化物 (%)	—	—	(21.2)	F0049
123	3	118	遺構内	S106	2層	F7	円下a~ b1	陶鉢	平 口縁凹目	L単結	—	ナブ	炭化物(内 外) 底面L 単結	20.5	10.3	21.7	F0044
123	4	118	遺構内	S106	1層	F5	円下a~ b1	陶鉢	平 口縁L単 結	R単結 隆帯1条 隆 帯上段庄(削突)	R単結 L単結1(脚)	L単結1 (脚) ミガキ	底面下層 に隆帯付 口縁一紐 一回は実 裏面	26.0	13.0	36.0	F0052
124	1	118	遺構内	S106	1層	F6	円下a~ b1	陶鉢	平	LLR(脚, 斜)	R単結6か	ミガキ	炭化物 (%)	(26.0)	—	(20.2)	F0052

第8表 土器観察表(7)

図号	番号	出土地区	出土位置	層位	その他の注記	時期	器種	口縁形態	口部	胴部	頸部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理番号
104	7	遺構内	S167	厚土	—	円下bE	深鉢	—	R単線6A	R単線1(縦)	—	ミガキ	—	—	—	(5.8)	P0254
104	9	遺構内	S168	厚土	—	円下bE	深鉢	—	—	LR	R単線1(縦)	ナブ	—	—	—	(7.0)	P0255
105	1	遺構内	S169	遺構内土灰	■166	大木10	深鉢	—	—	—	—	ナブ	—	—	—	(7.0)	P0256
105	2	遺構内	S170	厚土	—	円下b1~b2	深鉢	—	隆帯1条隆帯上圧圧	LR(横)	—	ミガキ	炭化物(外)	—	—	(3.7)	P0257
105	3	遺構内	S171	厚土	—	円下b1~b2	深鉢	—	—	LR単線1(横)	—	ミガキ	—	—	—	(6.3)	P0258
105	6	遺構内	S172	厚土	—	大木10	破砕口縁平埴	—	沈線	ナブ	—	ナブ	—	—	—	(6.3)	P0260
105	7	遺構内	S172	厚土	—	大木10	破砕口縁平埴	—	沈線 LR(充満)	—	—	ミガキ	—	—	—	(3.3)	P0263
105	8	遺構内	S172	厚土	—	円下b1~b2	深鉢	平	LR 沈線	—	—	ナブ	—	—	—	(6.2)	P0259
105	9	遺構内	S172	厚土	—	円下b1~b2	深鉢	—	—	平線行管状突起(取付断文)	—	ナブ	—	—	—	(4.4)	P0261
105	10	遺構内	S172	厚土	—	円下b1~b2	深鉢	平	条状文	—	—	ナブ	炭化物(外)	—	—	(3.4)	P0262
105	11	遺構内	S172	9層	—	円下b1~b2	深鉢	平	R結節	—	—	ナブ	炭化物(外)	—	—	(4.0)	P0264
107	1	119	遺構内	S173	下層	—	円下a~b	深鉢	低字文状	R単線1(横)	R単線1(縦)	ミガキ	炭化物(外)	(11.4)	6.2	16.4	P0303
107	2-1	119	遺構内	S173	下層	—	円下a~b1	深鉢	平	L結節 隆帯1条隆帯上圧圧	L結節 L単線1(縦)	ミガキ	—	(44.0)	(11.2)	(26.7)(8.1)	P0265
107	3	119	遺構内	S173	2~3層	—	円下a~b1	深鉢	平	R結節	LR(縦) R結節	ミガキナブ	—	18.0	11.5	34	P0266
107	4	遺構内	S173	下層	—	円下a~b1	深鉢	平	L単線1(縦)	—	—	ナブ	—	—	—	(6.0)	P0267
107	5	遺構内	S173	下層	—	円下a~b1	深鉢	平	口縁節目	L結節	—	ナブ	—	—	—	(5.6)	P0268
107	6	遺構内	S173	下層	—	円下a~b1	深鉢	平	R結節	—	前々段附加条	ナブ	—	—	—	(10.1)	P0269
109	1	遺構内	S81	p113	—	大木10	破砕炭化物粒のりのある肥字状	—	ミガキ	—	—	ナブ	—	—	—	(1.6)	P0270
109	2	遺構内	S81	p114	—	大木10	破砕	炭化物	—	—	—	口縁部に隆帯・肩隆帯	—	—	—	(5.8)	P0280
109	3	120	遺構内	S82	p114	—	大木10~後切	深鉢	—	LR(斜)	—	ミガキ	炭化物(外)	(12.8)	(16.0)	—	P0411
109	4	遺構内	S82	p112	—	大木10~後切	深鉢	平	LR押圧	—	—	花文(上より不明)	—	—	—	(3.1)	P0344
109	5	遺構内	S82	p113	F2	大木10~後切	深鉢	平	—	LR(斜)	—	ナブ	炭化物(外)	—	11.4	(6.8)	P0418
106	6	120	遺構内	SK3	12層	F4	円下bE	深鉢	平	R単線1(横)	R単線1(縦)	ミガキ	—	(13.9)	7.1	17.8	P0305
109	7	120	遺構内	SK3	12層	F2	円下bE	深鉢	平	R単線1(横, 肩)隆帯1条隆帯上L単線1(横)とL単線1(縦)	R単線1(縦)	ミガキナブ	—	17.6	(10.0)	23.2	P0306
130	1	120	遺構内	SK3	12層	F3	円下bE	深鉢	平	LR単線1(横, 縦)隆帯1条隆帯上LR単線1	LR単線1(縦)	ナブ	120-2と同一體	17.9	—	(26.5)	P0307
130	2	遺構内	SK3	12層	F2	円下bE	深鉢	平	—	—	—	ナブ	120-1と同一體	—	(11.0)	(7.7)	P0321
130	3	120	遺構内	SK3	1層	F1	円下b1~b2	深鉢	平	R単線5(横)	R単線1(縦)	ミガキ	—	12.0	6.6	15.6	P0304
130	4	120	遺構内	SK3	1層	—	円下b1	深鉢	平	LR押圧(横1条, 縦2条一筋) L単線5沈線2条	R単線1(縦)	ナブ	—	(18.0)	—	(14.8)	P0270
130	5	120	遺構内	SK3	1層	—	円下a~b1	深鉢	—	—	—	ミガキ	平線行管状突起(取付断文)	—	(6.1)	—	P0273
131	1	遺構内	SK5	厚土	—	後切	深鉢	破砕	沈線	—	—	ナブ	—	—	—	(2.3)	P0274
131	2	遺構内	SK9	厚土	—	大木10	深鉢	平	口縁平埴	沈線 LR(地文)	—	ミガキ	—	—	—	(5.1)	P0275
131	3	遺構内	SK10	上層黒色土	—	大木10	深鉢	—	—	沈線 LR(充満)	—	ミガキ	—	—	—	(5.0)	P0276
131	4	遺構内	SK10	4層	—	大木10	蓋か	平	ナブ	—	—	ナブ	—	—	—	(2.5)	P0277
131	5-1	120	遺構内	SK10	5層	—	大木10	深鉢	—	LR(大端Rの隅で結節, 縦)	—	ナブ	炭化物(外)	—	11.9	(3.1)	P0278
132	5	遺構内	SK12	上面	—	大木10	深鉢	—	—	—	—	ナブ	炭化物(外)	—	—	(4.2)	P0281
132	6	遺構内	SK16	1層	F6	大木10	破砕炭化物粒のりのある肥字状	—	ナブ	—	—	ナブ	—	—	—	(2.6)	P0282
132	11	遺構内	SK17	底面	—	大木10	深鉢	—	—	LR(斜)	—	ナブ	—	—	—	(2.9)	P0285
132	12	遺構内	SK18	下層	—	円下a~b2	深鉢	平	口縁平埴	不明	—	ナブ	—	—	—	(3.1)	P0286
133	5	121	遺構内	SK21	10層上面	F12, 13	円下b1~b2	深鉢	—	L結節か隆帯	R単線1(縦)	ナブ	—	10.0	—	(26.3)(4.8)	P0291
134	8	遺構内	SK23	厚土	—	円下b1~b2	深鉢	—	—	LR(横)	—	ミガキ	—	—	—	(6.9)	P0288

第8表 土器観察表(8)

図号	番号	実測番号	出土状況	出土位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号			
135	1	—	遺構内	SK24	1層	—	後初	滑鉢	—	輪帯1条 隆帯上列突 側突	ナズ	—	—	—	—	(3.3)	F0039			
135	2	—	遺構内	SK24	1層	—	大木10	底皿	—	—	ナズ	ナズ	底面削付	—	14.6	(2.5)	F0090			
135	4	121	遺構内	SK25	中層	P2	円下b <sub>1</sub> ~ c	滑鉢	—	上平縁 次(4条) 隆帯	結実1羽状 R 帯1(縦)	ミガキ	—	20.2	10.6	(43.5)	F0098			
135	5	121	遺構内	SK25	中層	P1	円下b <sub>2</sub> ~ e	滑鉢	—	上平縁 次(4条) 隆帯	上平縁の縁部1 (横) 丸押圧(5条 一組 縦文)	結実1羽状 R 帯1(縦、底部2 横) 隆帯文	ミガキ	(20.4)	11.3	28.6	F0099			
135	1	—	遺構内	SK26	厚土	—	円下a <sub>1</sub> ~ b1	滑鉢	—	沈線 隆帯1条 隆帯上列突	R縁部 L帯部1 (縦)	ミガキ	—	—	—	(6.8)	F0092			
135	2	—	遺構内	SK26	—	—	円下a <sub>1</sub> ~ b1	滑鉢	平	上平縁1(横) 隆帯 1条 隆帯上列突	—	ミガキ	炭化物 (%)	—	—	—	(4.0)	F0093		
135	4	—	遺構内	SK27	厚土	—	大木10	滑鉢	—	丸(横)	—	ナズ	—	—	—	—	(6.9)	F0094		
135	5	—	遺構内	SK28	厚土	—	大木10	滑鉢	平 口唇平延	丸(横)	—	ナズ	—	—	—	—	(2.6)	F0096		
135	6	122	遺構内	SK28	—	—	円下b <sub>1</sub> ~ b2	滑鉢	—	—	R帯部1(縦)	ミガキ	—	—	(9.0)	(4.8)	F0404			
135	7	122	遺構内	SK28	—	—	円下D2	滑鉢	—	—	R多條(縦)	ミガキ	—	—	(11.0)	(11.4)	F0405			
135	12	—	遺構内	SK30	4層	—	大木10	滑鉢	—	—	R1帯部1(縦)	ナズ	—	—	—	—	(4.5)	F0097		
137	1	122	遺構内	SK31	1層	—	後初	滑鉢	平 口唇平延	隆帯1条 隆帯上列目	—	ミガキ	—	—	—	—	(2.5)	F0098		
137	2	—	遺構内	SK31	1層	—	大木10	滑鉢	底状	ナズ	ナズ	ナズ	—	—	—	—	(3.2)	F0099		
137	3	122	遺構内	SK31	5層 1層	P1	大木10	滑鉢	—	LR(縦、斜)	—	ミガキ	—	—	—	—	19.5	F0090		
137	7	122	遺構内	SK32	中層	—	後初	滑鉢	—	ナズ	ナズ	ミガキ	—	—	—	—	(10.5)	(4.5)	F0051	
137	8	—	遺構内	SK32	中層 下層	—	後初	滑鉢	平 口唇平延	R1押圧1条 R1(縦)	—	ミガキ	—	—	—	—	(7.7)	F0093		
137	9	—	遺構内	SK32	中層	—	後初	皿	—	沈線	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(4.4)	F0092	
138	1	122	遺構内	SK33	厚土	—	大木10~ 後初	滑鉢	—	側突 隆帯 沈線 R1(充満)	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(4.0)	F0097	
138	2	—	遺構内	SK33	厚土	—	大木10	滑鉢	—	沈線 L帯部1(充満)	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(10.1)	F0098	
138	3	—	遺構内	SK33	縦断面	P1	大木10	滑鉢	平 口唇平延	沈線 R1(地文)	ナズ	ミガキ	—	—	—	—	—	(5.0)	F0099	
138	4	—	遺構内	SK33	縦断面	P1	大木10	滑鉢	平 口唇平延	沈線 L帯部1(充満)	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(5.0)	F0010	
138	7	122	遺構内	SK36	中層	—	大木10	皿	—	横状把手	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(4.0)	F0011	
138	8	—	遺構内	SK36	上層 彩色土	—	大木10	滑鉢	平	沈線 R1(地文、縦)	ナズ	ミガキ	—	—	—	—	—	(4.7)	F0012	
138	9	—	遺構内	SK36	横土下層	—	大木10	滑鉢	平 口唇平延	ミガキ	ナズ	ミガキ	—	—	—	—	—	(4.7)	F0013	
138	10	—	遺構内	SK36	中層	—	大木10	滑鉢	平	R1(横)	ナズ	ミガキ	—	—	—	—	—	(3.4)	F0014	
138	13	—	遺構内	SK36	厚土	—	大木10	滑鉢	底状	ナズ	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(3.0)	F0015	
138	14	—	遺構内	SK36	厚土	—	円下a <sub>1</sub> ~ b2	滑鉢	—	—	R帯部1(縦)	ミガキ	—	—	—	—	—	(4.0)	F0016	
138	16	—	遺構内	SK37	2層	—	円下a <sub>1</sub> ~ b2	滑鉢	平	結実1羽状	—	ナズ	—	—	—	—	—	(2.8)	F0017	
138	17	—	遺構内	SK38	厚土	—	大木10	滑鉢	—	沈線 L帯部1(縦)	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(6.4)	F0018	
138	18	—	遺構内	SK41	1層	P2	大木10	滑鉢	—	沈線 R1(地文)	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(4.8)	F0021	
138	19	—	遺構内	SK41	1層	P4	大木10	滑鉢	平 口唇平延	R1(縦)	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(6.5)	F0022	
138	20	—	遺構内	SK41	1層	P1	大木10	滑鉢	—	沈線 L帯部1(充満)	ナズ ケズリ	ナズ	—	—	—	—	—	(8.6)	F0023	
138	21	—	遺構内	SK42	厚土	—	大木10	滑鉢	—	沈線	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(3.2)	F0024	
138	24	—	遺構内	SK45	上層	—	円下b <sub>2</sub> ~ c	滑鉢	上平縁 次(4条) 隆帯	結実1羽状 隆帯無縁	—	ミガキ ナズ	—	(12.0)	—	—	—	(6.8)	F0025	
138	26	—	遺構内	SK45	厚土	—	大木10	滑鉢	平 口唇平延	LR(横)	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(6.2)	F0027	
139	1	—	遺構内	SK47	厚土	—	大木10	滑鉢	—	沈線 LRか(充満)	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(4.5)	F0030	
139	2	—	遺構内	SK48	下層	—	円下a <sub>1</sub> ~ b1	滑鉢	平	R縁部	—	ミガキ	—	—	—	—	—	(5.9)	F0051	
139	3	—	遺構内	SK48	下層	—	円下a <sub>1</sub> ~ b1	滑鉢	平	R縁部	—	ナズ ミガキ	炭化物 (%) 穿孔 10~15	—	—	—	—	—	(3.2)	F0032
139	4	—	遺構内	SK48	下層	—	円下a <sub>1</sub> ~ b1	滑鉢	—	—	L帯部1(縦)	ナズ ミガキ	炭化物 (%)	—	—	—	—	(9.0)	F0033	
139	7	—	遺構内	SK49	厚土	—	大木10	滑鉢	—	R1(縦)	ナズ	ナズ	—	—	—	—	—	(19.0)	(5.0)	F0034
139	8	—	遺構内	SK50	厚土	—	大木10	滑鉢	—	沈線 R1(地文、横)	ナズ	ミガキ	—	—	—	—	—	(4.7)	F0035	
139	9	—	遺構内	SK52	11層	—	円下a <sub>1</sub> ~ b1	滑鉢	平	R縁部	—	ミガキ	—	—	—	—	—	(3.7)	F0036	
139	11	123	遺構内	SK54	8層上面	P6	円下b <sub>2</sub> ~ e	滑鉢	平	上平縁 次(4条) 隆帯	結実1羽状 隆帯1条 R1押圧	ミガキ	—	(19.5)	—	—	—	(32.2)	F0040	



第8表 土器観察表(9)

図号	番号	出土地区	出土位置	層位	その他の注記	時期	器種	口縁形状	口頸部	腹部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理番号
139	12	123	遺構内 SK54	8層上面	F4	円下b2~c	陶片	平	L3/L4内区(口縁部) 1条、腹部(中央部) 1条	結帯110枚 L1単筋1(縦)	ミガキ		20.5	10.8	39.8	F0042
140	1	123	遺構内 SK54	4層下層	F3	円下b1~c	陶片	平	結帯110枚 隆帯1条 隆帯上L3/L4内区	結帯110枚 L1単筋1(縦)	ミガキ		22.6	10.3	36.7	F0041
140	5	—	遺構内 SK55	1層	—	大木10	陶片	—	L3(縦)	—	ナブ		—	—	(4.3)	F0037
140	6	—	遺構内 SK57	1層	—	円下a~b	陶片	—	—	R単筋1(縦)	ナブ		—	—	(2.7)	F0038
140	7	—	遺構内 SK59	塚土	—	大木10	陶片	—	沈泉	—	ナブ		—	—	(3.7)	F0040
141	1	—	遺構内 SK63	床底	—	大木10	陶片	平	L3(斜)	—	ナブ		—	—	(4.3)	F0041
141	2	123	遺構内 SK63	床底 中層下層	F1~6	大木10	陶片	平	ミガキ	—	ナブ		24.0	—	(46.0)	F0042
141	5	—	遺構内 SK64	塚土	—	円下a~b2	陶片	—	—	単筋竹管状突起(横筋彫文か)	ミガキ		—	—	(3.9)	F0043
141	6	—	遺構内 SK67	3層	—	円下a~b1	陶片	—	隆帯1条 隆帯1条目	L3結帯	ナブ		—	—	(6.8)	F0046
141	7	—	遺構内 SK70	塚土	—	榎林	陶片	波状	口縁部沈帯 腹腰部に沈帯(腹腰部下注文)	—	単筋彫文のため不明		—	—	(9.1)	F0048
141	8	—	遺構内 SK71	塚土	—	円下b1~b2	陶片	—	—	R単筋1(縦)	ミガキ	炭化物(外)	—	—	(5.0)	F0049
142	1	—	遺構内 SK72	4層	—	円下a~b1	陶片	—	L3(縦)	—	ナブ		—	—	(4.0)	F0050
142	2	—	遺構内 SK72	塚土	—	大木10	陶片	—	R単筋1	—	ナブ		—	—	(4.4)	F0051
142	8	—	遺構内 SK76	塚土	—	円下b1~b2	陶片	—	—	L3(縦)	ミガキ		—	—	(3.1)	F0054
142	13	—	遺構内 SK77	床10cm上	—	大木10	陶片	波状	帯面磨製	—	口縁部に隆帯 腹腰部		—	—	(3.2)	F0055
143	1	124	遺構内 SK79	14層上面	F1	円下b2	陶片	平	帯面磨製 帯面磨製 隆帯のたけの筋彫文、結帯1条、隆帯上何箇所か隆帯同筋花飾か	帯面磨製 隆帯のたけの筋彫文のため不明	ナブ		20.6	—	(28.0)	F0058
144	1	—	遺構内 SK30	塚土	—	大木10	陶片	—	沈泉 L3(地文)	—	ナブ	炭化物(外)	—	—	(8.9)	F0059
144	4	—	遺構内 SK31	塚土	—	大木10	陶片	—	沈泉 L3(充塞)	—	ナブ		—	—	(2.9)	F0060
144	7	—	遺構内 SK32	6層	—	円下b1~b2	陶片	平	L1単筋5(縦)	—	ミガキ		—	—	(4.1)	F0061
144	8	—	遺構内 SK32	11層	—	円下b1~b2	陶片	平	L3内区	—	ナブ		—	—	(4.0)	F0062
144	12	—	遺構内 SK33	塚土	—	大木10	陶片	平	口唇平直	L3(横)	ナブ		—	—	(2.7)	F0063
144	14	—	遺構内 SK34	中層	—	円下b1~b2	陶片	—	—	L1単筋1(縦)	ミガキ	炭化物(外)	—	—	(5.2)	F0064
145	1	—	遺構内 SK35	下層	—	円下a~b2	陶片	平	L3(横)	—	ミガキ		—	—	(2.4)	F0065
145	4	124	遺構内 SK37	上層時褐色土	—	大木10	陶片	平	沈泉 L3(斜)	—	ミガキ	炭化物(外)	—	—	(10.5)	F0066
145	5	—	遺構内 SK37	塚土	—	大木10	底部	—	L3(斜)	—	ミガキ	炭化物(内)	10.0	—	(1.9)	F0067
145	6	—	遺構内 SK38	塚土	—	大木10	陶片	—	L3(斜)	—	ナブ	炭化物(外)	—	—	(10.8)	F0068
145	7	105	遺構内 SK39	下層	F1	円下b2~c	陶片	波状	L3内区(口縁部)に筋彫文、結帯1条、結帯1条(筋以上) L3(横)、隆帯1条 隆帯上L3/L4内区	R多筋(縦) L1単筋1(縦)	ミガキ		23.2	—	(38.2)	F0071
145	8	125	遺構内 SK39	下層c~6層	—	円下a~c	陶片	平	L3結帯 帯面磨製 隆帯	—	ナブ		18.9	—	(9.9)	F0070
146	3	125	遺構内 SK31	13~c20層	—	円上d	陶片	平	突起3条 隆帯	口縁部に隆帯付 隆帯上に隆帯 沈泉 隆帯 L3(地文)	ミガキ		12.0	—	(5.8)	F0072
146	4	—	遺構内 SK91	上層	—	大木10	陶片	—	沈泉 L3(充塞)	—	ナブ	炭化物(外)	—	—	(6.2)	F0073
146	5	—	遺構内 SK91	上層	—	大木10	陶片	—	L3	—	ナブ	炭化物(外)	—	—	(9.4)	F0074
147	1	—	遺構内 SK92	上層	—	大木10	陶片	平	沈泉 L3(地文)	—	ナブ	炭化物(外)	—	—	(4.7)	F0075
147	2	—	遺構内 SK92	上層	—	大木10	陶片	—	沈泉 L3(充塞)	—	ミガキ	炭化物(外)	—	—	(4.0)	F0077
147	3	—	遺構内 SK92	中層	—	大木10	陶片	帯状 腹腰部隆起のある把手状	ナブ	—	ナブ		—	—	(4.5)	F0081
147	4	—	遺構内 SK92	上層	—	大木10	陶片	—	沈泉 L3(地文)	—	ナブ	炭化物(外)	—	—	(6.5)	F0079
147	5	—	遺構内 SK92	上層	—	大木10	陶片	帯状 腹腰部隆起のある把手状	口縁部下に結帯隆帯1条 隆帯上竹管状突起	—	口縁部に隆帯 ナブ		—	—	(4.6)	F0076
147	6	—	遺構内 SK92	上層 前面	—	後初	陶片	—	隆帯 L3(縦)	—	ナブ	炭化物(内)	—	—	(13.0)	F0080
147	13	—	遺構内 SK92	2層	—	大木10	陶片	平	口唇平直	L3(縦多条)	ミガキ	炭化物(内外)	—	—	(5.6)	F0082
147	14	—	遺構内 SK93	2層	—	大木10	陶片	平	L3(縦)	—	ナブ		—	—	(5.4)	F0083
147	15	—	遺構内 SK93	2層	—	円下b1~b2	陶片	平	L3単筋1(横、斜)	—	ナブ		—	—	(6.5)	F0084



第8表 土器観察表(10)

図号	番号	実測番号	出土施設	出土位置	層位	その他注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号	
147	16	125	遺構内	SK30	3~6層 4~10層 13層	—	円下b1~ b2	陶鉢	—	—	L.単結1(縦)	ナブ ミガキ	—	—	—	(10.8)	F0085	
147	18	—	遺構内	SK34	中層	—	円下a~ b	陶鉢	—	—	断面磨滅	ミガキ	—	—	—	(6.4)	F0086	
147	19	—	遺構内	SK36	下層	—	円下a~ b	陶鉢	—	—	R.単結1(斜)か	ミガキ	—	(19.8)	(2.4)	—	F0087	
147	20	—	遺構内	SK37	埋土	—	円下a~ b	陶鉢	—	—	R.結田	ナブ	—	—	(3.0)	—	F0088	
147	21	—	遺構内	SK39	下層	—	円下a~ b	陶鉢	—	—	L.単結1か(縦) 断面磨滅	ナブ	—	(19.0)	(4.0)	—	F0089	
148	1	—	遺構内	SK109	下層	—	円下a~ b	陶鉢	—	R.結田 隆帯1条 隆帯上指圧	R.結田	ナブ	—	—	(6.1)	—	F0090	
148	5	—	遺構内	SK101	2層	—	後初	陶鉢	—	隆帯1条 隆帯上指圧	—	ナブ	—	—	(3.8)	—	F0091	
148	6	125	遺構内	SK101	2層	—	大木10	鉢	平	断面磨滅	断面磨滅	断面磨滅	断面磨滅	(22.0)	(8.8)	(11.3)	F0092	
148	13	—	遺構内	SK103	下層	—	円下a~ c	陶鉢	—	—	断面磨滅	ナブ	—	—	(4.2)	—	F0093	
149	1	125	遺構内	SK104	1層	—	後~晩	陶鉢	—	RL(斜)	—	ナブ	灰化物 (%)	(7.0)	(11.6)	—	F0094	
149	2	125	遺構内	SK105	上層 2層	P1	円下b2~ b3	陶鉢	平	結実1羽状 口縁部中央	—	ミガキ	—	(19.4)	—	(5.8)	F0096	
149	3	125	遺構内	SK106	下層	P2	円下b2~ b3	陶鉢	平	結実1羽状 隆帯1条 隆帯上指圧羽状の 中央	結実1羽状 L.単結1(縦)	ミガキ	—	(17.0)	—	(21.6)	F0096	
149	4-1 4-2	125	遺構内	SK106	下層	P4	円下b2~ b3	陶鉢	平 口唇平皿	結実1羽状	—	ナブ	—	29.4	11.6	(4.9) (3.2)	F0097	
149	9	—	遺構内	SK107	上層	—	大木10	陶鉢	—	—	ナブ	ミガキ	—	—	(3.7)	F0098		
150	1	—	遺構内	SK108	上層	—	円下a~ b	陶鉢	—	—	R.結田	ミガキ	灰化物 (%)	—	—	(4.3)	F0099	
150	2	—	遺構内	SK109	6層	—	円下a~ b	陶鉢	平	L.単結1(斜)か 断面磨滅	—	ナブ	—	—	(4.4)	F0400		
150	3	—	遺構内	SK110a	10層	—	円下b2~ c	陶鉢	—	—	結実1羽状	—	ミガキ	—	—	(3.9)	F0401	
150	4	—	遺構内	SK110a	中層(埋 埋土色層)	—	円下a~ b1	陶鉢	—	—	隆帯1条 隆帯上指圧	—	ナブ	—	—	(3.0)	F0402	
150	16	—	遺構内	SK112	上層	—	大木10	陶鉢	平	沈線 RL(沈線)	—	ナブ	—	—	(5.2)	F0422		
151	1	125	遺構内	SK16	田層	北側	円下a~ b	陶鉢	平	L.結田 隆帯2条 隆帯上と隆帯間に 指圧	L.結田とRL (斜)交互	ミガキ	断面下層 に磨蝕孔 (5層~6層)	(35.0)	—	(35.0)	F0043	
151	2-1 2-2	127	遺構内	SR2	埋設土器	—	円下a~ b1	陶鉢	—	—	L.単結1(縦, 横)	ミガキ	—	14.9	(10.0) (3.2)	—	F0408 -1	
151	3-1 3-2	127	遺構内	SR6	埋設土器	—	円下b1~ b2	陶鉢	平 口唇平皿	RL(横)	R.単結1(縦)	ナブ	—	(24.8)	(19.8)	(18.2) (3.0)	—	F0406
151	4	—	遺構内	SR11	—	—	円下a~ b1	陶鉢	—	—	R.結田	ナブ	—	(12.0)	(4.3)	—	F0409	
152	1	127	遺構内	SR10	埋設土器	—	大木10	陶鉢	—	—	L.単結1(縦)	ナブ	—	(12.4)	(26.8)	—	F0408	
152	2	127	遺構内	SR12	埋設土器	P4	大木10	陶鉢	—	—	RL(斜)	ミガキ	灰化物 (%)	11.9	(26.6)	—	F0419	
152	4	—	遺構内	SR17	埋設土器	外側	大木10	陶鉢	平 口唇平皿	—	RL(斜)	ナブ	—	(16.8)	—	(3.5)	F0414	
152	5	127	遺構内	SR17	埋設土器	内側	大木10	陶鉢	—	—	L.単結1(縦)	ミガキ	灰化物 (%) 底面 磨滅	(7.2)	(17.0)	—	F0413	
152	6	—	遺構内	SR18	—	—	大木10	陶鉢	平 口唇平皿	—	L.単結1(斜)	ミガキ	—	—	(2.8)	—	F0415	
152	7	127	遺構内	SR18	埋設土器	—	大木10	皿	—	—	RL(斜)	断面磨滅	—	4.6	(14.6)	—	F0044	
152	8	127	遺構内	SR19	埋設土器	—	円下b1~ b2	陶鉢	—	—	R.単結1(縦)	ミガキ	—	(8.4)	(6.8)	—	F0418	
153	1	127	遺構内	SR22	埋設土器	—	大木10	陶鉢	—	—	LR(斜)	ナブ	灰化物 (%)	—	—	(25.2)	F0419	
153	2	127	遺構内	SR24 扉F76	埋土 口唇IV層	—	円下a	陶鉢	平 口唇平皿	—	LR(横)	ミガキ	灰化物(内 外)	(15.0)	(13.7) (15.2)	—	F0420	
153	3-1 3-2	—	遺構内	SR25	—	—	円下a~ b2	陶鉢	—	—	断面磨滅磨蝕	ナブ	—	(19.8)	(5.8) (11.2)	—	F0021	
153	4	125	遺構内	SR27	埋設土器	—	円下b2	陶鉢	—	—	結実1羽状 隆帯2条 隆帯間と両脇に指 圧	結実1羽状 L.単結1	ミガキ	17.6	9.6	38.4	—	F0082
154	1	125	遺構内	SR26 扉F76 扉F75	埋土 I, IV層 IV層	—	大木10	陶鉢	—	—	沈線 RL(地文, 斜)	ミガキ	—	—	(26.0)	—	F0045	
156	1-1 1-2	123	遺構内	SP223 扉L59	埋土 IV層	—	大木10	陶鉢	平 口唇内側	—	RL(縦)	ナブ	灰化物(内 外)	(30.0)	—	(27.2) (17.6)	—	F0425- 1
156	2	—	遺構内	SP223 扉L59	I, IV層	—	大木10	陶鉢	—	—	沈線 RL(地文, 縦)	ナブ	灰化物 (%) 底面 磨滅	10.2	(17.9)	—	F0425- 3・5	
157	7	—	遺構内	SP465 扉G66	埋土 I, III, V層	—	大木10	陶鉢	断面磨 蝕部立 部立	折突 沈線	—	ナブ 穿孔	灰化物 (%)	幅 (8.0)	高さ (2.7)	長さ (6.1)	F0430	
158	9	—	遺構内	SP1045	埋土	P1	大木10	陶鉢	—	—	RL(斜)	ナブ ミガキ	灰化物 (%)	—	—	(6.7)	F0407	
162	1-1 1-2	130	埴輪	扉B76	I	—	円下a~ b1	陶鉢	—	—	爪形磨蝕(枝形筋文 小) 隆帯1条 隆帯 上両部磨蝕	爪形磨蝕(枝形 筋文小)	ナブ	—	—	(3.8)	F1177	
162	2	130	埴輪	扉B76	I~II	—	円下b1	陶鉢	平	爪形磨蝕 L.単結1 (縦) 隆帯 隆帯上 指圧	L.単結1(縦, 横)	ナブ	灰化物 (%) 隆帯 磨蝕部中央 にL.単結1 (縦)	(30.0)	—	(10.6)	F1181	

第8表 土器観察表(11)

図号	実測番号	出土地区	出土位置	層位	その他の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号	
302	3	130	検砂 面177	Ⅱ	—	円下a～b1	深鉢	平	R1黒締1(横) 隆帯1条	R1黒締1(横)	ミガキ		15.4	(10.6)	22.7	F1058	
302	4	130	検砂 面178	Ⅱ	—	円下a～b1	深鉢	低平な破片	L1R黒締1(斜)	L1R黒締1(斜)	ナツ	炭化物(内)	10.6	—	(18.3)	F1149	
302	5	130	検砂 面177	Ⅱ B b	—	円下a～b1	深鉢	平	L1R黒締1 隆帯1条 隆帯上附圧	L1R黒締1(斜)	ナツ		38.0	—	(21.9)	F1138	
303	1	130	検砂 面K76	Ⅱ	—	円下a～b1	深鉢	平	口唇LLRのみ	LLR(横)	ナツ		(22.4)	—	(14.8)	F1167	
303	2	130	検砂 面L76	Ⅱ I～II	—	円下b1～b2	深鉢	平	R1黒締1 赤皮文 隆帯1条 隆帯上赤皮文	赤皮文	ナツ	炭化物(内)	(16.0)	—	(7.9)	F1184	
303	3	130	検砂 面K79	Ⅱ B b	—	円下b2	深鉢	平	R1黒締1 隆帯1条 隆帯上付突状突起 隆帯突起部	多條	ナツ		(24.4)	—	(20.0)	F1067	
303	4	130	検砂 面O76	Ⅱ I 面b	—	円下a～b1	深鉢	平	R1黒締1(輪縁LR)	L1R黒締1(縦)	ミガキ		(20.2)	(9.4)	(23.9)	F1007	
303	5	—	検砂 面O77	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	平	L1黒締1 低い隆帯部	RL(横)	ミガキ		(19.4)	—	(38.0)	F1007	
304	1	130	検砂 面O78	Ⅱ	—	円下a～b1	深鉢	平	L1R押圧(口縁隆帯部と胴部にも1条) R1黒締1	R1黒締1(縦)	ナツ	穿孔か所	16.7	—	(14.3)	F1056	
304	2	130	検砂 面O78	Ⅱ	—	円下b1	深鉢	平	R1黒締1 隆帯1条	L1黒締1(縦)	ミガキ		16.0	—	(25.8)	F1054	
304	3	130	検砂 面O78	Ⅱ	—	円下b1～b2	深鉢	平	R1黒締1 隆帯1条 隆帯上R1黒締押圧か	R1黒締1(縦)	ナツ	口縁下に横溝状突起あり	10.0	—	9.7	F1093	
304	4	130	検砂 面O78	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	平	L1R押圧(口 R1黒締1) 隆帯1条 隆帯上R1黒締1押圧か(横)	R1黒締1(縦)	ナツ	炭化物(内)	(14.4)	—	(9.3)	F1094	
304	5	130	検砂 面O78	Ⅱ	—	円下a～b1	深鉢	低平な破片	LR(横)	LR(横)	ナツ	炭化物(内) 2層の隆帯部 隆帯部にも所	24.2	—	(17.1)	F1089	
304	6	130	検砂 面O78	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	平	口唇R1黒締1 R1黒締1	R1黒締1	ナツ		(28.0)	—	(22.0)	F1197	
305	1	130	検砂 面O79	Ⅱ	—	円下b1～b2	深鉢	平	口唇列目	R1黒締1 隆帯1条 隆帯上附圧	—	ナツ	炭化物(内)	19.0	—	(7.3)	F1188
306	2	131	検砂 面P78	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	平	R1黒締1 一部起縁(首の) 隆帯1条 隆帯上L1-R1附圧	R1黒締1(縦)	ミガキ		14.3	—	(26.5)	F1014	
306	3	131	検砂 面Q76	Ⅱ	—	円下a～b1	深鉢	平	口唇削突	R1黒締1(斜) R1黒締1(一)	ミガキ		21.8	—	(20.4)	F1066	
306	4	131	検砂 面Q79	Ⅱ	—	円下b1	深鉢	平	R1黒締1 隆帯1条 隆帯上附圧	R1黒締1(斜)	ナツ	炭化物(内)	30.2	—	(18.9)	F1098	
306	5	131	検砂 面J76	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	平	R1黒締1(斜) R1黒締1 隆帯1条	R1黒締1(横)	ミガキ	炭化物(内)	(17.0)	—	(9.0)	F1182	
306	6	131	検砂 面J77	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	低平な破片	R1黒締6A	R1黒締1(縦)	ナツ	ミガキ	—	—	(12.1)	F1166	
306	7	131	検砂 面U77	Ⅱ	—	円下b1～b2	深鉢	平	R1黒締1(縦) 低い隆帯1条	R1黒締1(縦)	ナツ		18.0	—	(7.4)	F1173	
306	8	—	検砂 面U77	Ⅱ	—	円下b1～b2	深鉢	平	R1黒締1(縦、横) 隆帯1条	—	ナツ		(14.4)	—	(8.2)	F1164	
306	9	131	検砂 面U77	Ⅱ	—	円下b1～b2	深鉢	平	R1黒締1(横)	R1黒締1(縦)	ナツ		—	—	(7.0)	F1174	
306	1	131	検砂 面U77	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	平	口唇R1黒締1	R1黒締1(胴部) R1黒締1(胴部 底、底面角)	ナツ		(32.0)	14.0	(48.1)	F1146	
306	2	131	検砂 面U78	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	平	R1黒締1 低い隆帯1条 隆帯上附圧	R1黒締1 多條 (横皮文存在不明)	ミガキ		(18.6)	—	(16.5)	F1009	
306	3	131	検砂 面U78	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	平	L1R押圧(口縁隆帯部にも) R1黒締6(横) に1条 R1黒締6(横) に1条 R1黒締1の隆帯状突起 R1黒締1の隆帯状突起 低い隆帯1条 隆帯上付突状突起とR1黒締1	R1黒締1 多條	ミガキ		(16.8)	—	(17.5)	F1098	
306	4	—	検砂 面U78	Ⅱ	—	円下b1～b2	深鉢	低平な破片(底面部二山状)	LR(横)	—	ナツ		—	—	(4.4)	F1170	
306	5	131	検砂 面V77	Ⅱ	—	円下b2～c	深鉢	低平な破片	R1R押圧(2～3層一層、層状) R1R押圧(横皮文あり)	—	ナツ		—	—	(6.8)	F1133	
306	6	131	検砂 面V78	Ⅱ	—	円下b2	深鉢	平	R1黒締1 隆帯1条 隆帯上付突状突起	R1黒締1 R1黒締1	ミガキ		13.2	—	(18.2)	F1016	
307	1	131	検砂 面R77	Ⅱ a'	—	円下a～b1	深鉢	平	R2(横) 隆帯1条 隆帯上附圧	LLR(斜)	ナツ		33.2	—	(22.0)	F1137	
307	2	131	検砂 面I77	Ⅱ a'	—	円下a～b1	深鉢	平	L1黒締1	LR(斜)	ナツ	穿孔か所	18.0	—	(14.8)	F1061	
307	3	132	検砂 面I77	Ⅱ a'	—	円下b1	深鉢	平	R1黒締1 隆帯1条 隆帯上付突状突起 R1黒締1	R1黒締1(縦)	ミガキ	底面付近に穿孔	(17.0)	—	(32.8)	F1078	
307	4	131	検砂 面I77	Ⅱ a'	—	円下a～b1	深鉢	平	口唇附圧	R1黒締1とR1黒締1(胴部) 隆帯1条 隆帯上付突状突起	ミガキ	2層一層の隆帯部か所	(27.7)	13.5	(25.5)	F1162	
308	1	132	検砂 面I78	Ⅱ a'	—	円下a～b1	深鉢	平か	RLA(横)	RLA(横)	ミガキ		(19.8)	10.4	28.1	F1061	

第8表 土器観察表(12)

図番	番号	実測番号	出土地区	土器位置	層位	その他注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	整理番号	
168	2	132	雑持	第178 第K78	II a	—	円下a~ b1	深鉢	平	L縁部	L縁部1(縦) L縁部	ミガキ ナブ	2層一組の 横穿孔1カ所	20.7	10.5	31.0	P1008	
168	3	132	雑持	第178 第K78	II a II a-b	—	円下1~ b2	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横)の七枚 線(電子が、低い横 穿孔1条、隆帯同基文 部)	L縁部1(縦)	ミガキ	27.0	—	(13.4)	P1196	
168	4	132	雑持	第K77	II a	—	円下a~ b1	深鉢	平	L縁部	R縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	R縁部1(縦)	ナブ ミガキ	28.0	—	(24.9)	P1154	
168	5	132	雑持	第K78	II a	—	円下b2	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	R多縁	ミガキ	21.8	—	(18.5)	P1066	
169	1	132	雑持	第K78	II a	—	円下b3	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 低い横 穿孔1条、隆帯同基文 部	L縁部1(縦)	ミガキ	15.4	—	(13.7)	P1101	
169	2	132	雑持	第K78	II a	—	円下b2	深鉢	底状(横 切)	L縁部	R縁部1(縦)	ナブ	19.6	—	(16.4)	P1066		
169	3	132	雑持	第L78	II a II	—	円下b2	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	L縁部1(縦)	ナブ	30.4	—	(18.1)	P1073	
169	4	132	雑持	第L77	II a	—	円下b1	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	—	ナブ	16.0	—	(4.1)	P1192	
169	5	132	雑持	第L77	II a	—	円下a~ b1	深鉢	平	L縁部	L縁部	ナブ	炭化物(内 外)	21.0	—	(28.5)	P1028	
169	6	132	雑持	第L77	II a	—	円下b1~ b2	深鉢	平	結束1羽状	L縁部1(縦)	ミガキ	17.5 (6.8)	29.2	—	P1090		
169	7	132	雑持	第L77	II a	—	円下b1~ b2	深鉢	—	—	—	ナブ	穿孔1カ所	—	—	(4.3)	P1171	
170	1	132	雑持	第L78	II a	—	円下b1~ b2	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯同基文 部	R縁部1(縦)	ミガキ	(24.6)	—	(22.8)	P1016	
170	2	133	雑持	第K77	II a	—	円下b2	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	R縁部1(縦)	ミガキ	11.7	—	(10.7)	P1136	
170	3	133	雑持	第K77	II a	—	円下b1	深鉢	底状	L縁部	R縁部1(縦)	ミガキ	11.6	—	(20.9)	P1159		
170	4	133	雑持	第K77	II a	P1	円下a~ b1	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	L縁部1(縦) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	ミガキ	26.3 (11.5)	41.6	—	P1074	
170	5	133	雑持	第K78	II a	—	円下b2	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	R縁部1(縦)	ミガキ	15.5	—	(18.8)	P1018	
171	1	133	雑持	第K78	II a	—	円下b1	深鉢	平	L縁部	R縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	R縁部1(縦)後 にL縁部	ミガキ	32.7	—	(26.6)	P1002	
171	2	133	雑持	第K78	II a	—	円下b2	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	R縁部1(縦)	ナブ ミガキ	(14.0)	—	(8.2)	P1168	
171	3	133	雑持	第K77	II a	—	円下b1d	深鉢	不明	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	L縁部1(縦)	ナブ	15.0	—	(16.5)	P1106	
171	4	133	雑持	第K77	II a	—	円下b1	深鉢	平	R縁部	R縁部1条	R縁部 R/L(横)	ミガキ	(16.8)	(9.3)	28.7	P1156	
171	5	133	雑持	第K78	II a II b	—	円下b1	深鉢	平	口縁部環状隆帯	隆帯1条	R多縁か	ナブ	31.0	—	(14.4)	P1123	
172	1	133	雑持	第K78	II a II b	—	円下b1	深鉢	—	—	R縁部か、隆帯1条 隆帯上押注	L縁部1(縦)	ナブ	—	—	(33.3)	P1091	
172	2	133	雑持	第K78	II a II a-b	—	円下b2	深鉢	底状(口縁 部) 口縁 縁部	R縁部	L縁部1(横)	R縁部1(縦)	ミガキ	(16.0)	7.7	20.2	P1067	
172	3	133	雑持	第K78	II a	—	円下b2	深鉢	平	結束1羽状 隆帯1条、隆帯上と 同様にL縁部	結束1羽状 R多縁	ミガキ	2層一組の 横穿孔1カ所	(24.2)	12.5	(22.4) (5.2)	P1017	
172	4	134	雑持	第M- 第N78	II a II b	—	円下b2	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	R縁部1(縦) 底 部付凸部	ナブ	18.3	9.4	25.0	P1012	
173	1	134	雑持	第L78	II a' II b	—	円下a~ b1	深鉢	平	L縁部	R縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	R縁部1(縦) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	ミガキ	30.4	—	(28.5)	P1001	
173	2	134	雑持	第K78	II a' II b	—	円下b2	深鉢	平	結束1羽状 隆帯1条、隆帯上と 同様にL縁部	結束1羽状	ナブ	13.0	—	(8.5)	P1147		
174	1	134	雑持	第L77	II b	—	円下a	深鉢	平	L縁部	R縁部1(横)	ナブ	炭化物 (内) 2層 一組の横 穿孔1カ所	(25.8)	—	(15.0)	P1052	
174	2	134	雑持	第L77	II b II	—	円下a	深鉢	平	口縁部目	縁部か	L縁部1(縦)	ナブ	炭化物(内 外) 環状 凸部付凸部	13.0	—	(12.0)	P1119
174	3	134	雑持	第L77	II b	—	円下a	深鉢	平	L縁部	L縁部1(縦)	ナブ	炭化物 (内)	20.6	—	(23.7)	P1144	
174	4	134	雑持	第L77	II b	—	円下a	深鉢	平	L縁部	L縁部1(横)か	ナブ	炭化物(内 外) 外面 の底文部 部分的	15.0	—	(9.8)	P1168	
174	5	134	雑持	第L77	II b II	—	円下a	深鉢	平	L縁部	R縁部1(横) 隆帯1 条、隆帯上L縁部1 押注(約)	ナブ ミガキ	34.0	—	(17.6)	P1047		

第8表 土器観察表(13)

図号	実測番号	出土地状	出土位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	肩部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号	
174	6 134	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	R輪凹	R輪凹 LR(底部付近)	ミガキ	底面LR		14.7	8.2	24.9	F1082	
175	1 134	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	R車輪1(側)	R車輪1(側)	ミガキ	灰化層(内 外) 穿孔1 小断		13.8	—	(17.3)	F1141	
175	2 134	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	低平な破 片	R車輪1(側)	R車輪1(側, 脚)	ナツ	灰化層(内 外) 底面 びす		9.8	6.6	13.8	F1142	
175	3 134	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	F1	Ⅱ下b1	破片(4等 位小)		LR車輪1(脚, 側) 輪帯1条 輪帯上附注	LR車輪1(脚)	ミガキ	2層一組の 輪帯孔小断 底面上げ		14.1	8.0	26.0	F1021	
175	4 134	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	RLR(脚)	RLR(脚)	ナツ	灰化層 (内)		21.0	—	(16.6)	F1104	
175	6 135	検砂	Ⅲ178	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	破片(4等 位) 口縁部目	R輪凹	R輪凹	ナツ		(12.4)	8.2	16.2	F1060	
175	6 136	検砂	Ⅲ178	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	LR輪凹 輪帯1条 輪帯上附注	LR輪凹	ナツ		(16.8)	—	(11.4)	F1096		
176	7 136	検砂	Ⅲ178	Ⅱb Ⅱa	—	Ⅱ下a	深鉢	平	R車輪1(脚) LR輪凹	R車輪1(脚)	ナツ		20.6	10.4	26.4	F1003		
176	1 135	検砂	Ⅲ178	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	LR輪凹 輪帯1条 輪帯上附注	LR輪凹 LR車輪 1(脚, 側, 底面 風上)	ミガキ	底面LR車 輪1		26.4	11.3	37.6	F1006	
176	2 135	検砂	Ⅲ178	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	R輪凹 輪帯1条 輪帯上附注	R輪凹 RLR(脚)	ナツ		18.4	—	(11.8)	F1027		
176	3 135	検砂	Ⅲ178	Ⅱb	—	Ⅱ下b1	深鉢	平	R輪凹 輪帯1条 輪 帯上附注 LR車輪1脚注	R車輪1(脚, 一 部破)	ミガキ		(16.2)	—	(22.5)	F1064		
176	4 135	検砂	Ⅲ178	Ⅱb Ⅱa	—	Ⅱ下a	深鉢	平	LR輪凹 輪帯1条 輪帯上附注	LR車輪1(脚)	ミガキ		(16.1)	—	(20.8)	F1079		
176	5 135	検砂	Ⅲ178	Ⅱb Ⅱa	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	R車輪1(脚)	R車輪1(脚, 脚)	ミガキ ナツ	底面R車 輪1		16.2	9.2	22.0	F1066	
177	1 135	検砂	Ⅲ178	Ⅱb Ⅱa	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	LR車輪1(脚)	LR車輪1(脚)	ナツ	灰化層(内 外)	(18.4)	(11.0)	26.8	F1071		
177	2 135	検砂	Ⅲ178	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	LR(脚)	RLR(脚)	ナツ	穿孔小断		19.0	—	(11.6)	F1195	
177	3 135	検砂	Ⅲ178	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	口縁部目	RLR(脚) 輪帯1条	RLR(脚)	ナツ		30.0	14.0	(60.9)	F1087	
178	1 136	検砂	Ⅲ176	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	口縁部形 剥落	R輪凹 輪帯1条 輪帯上附注	R輪凹	ミガキ	底面 R輪凹 内面下平 2層一組の 輪帯孔1 小断		37.2	17.6	56.0	F1004
178	2 136	検砂	Ⅲ176	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	R輪凹	R輪凹	ミガキ ナツ		(22.5)	10.6	27.1	F1044		
179	1 136	検砂	Ⅲ176	Ⅱb Ⅱ	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	破片	R輪凹	LR車輪1(脚)	ミガキ		16.7	8.6	20.0	F1069		
179	2 136	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	F2	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	口縁部注	R輪凹(脚)	LR車輪1(脚)	ミガキ	穿孔1	(25.0)	11.8	30.2	F1085	
179	3 136	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	F2	Ⅱ下a	深鉢	平	R輪凹(脚) R輪凹 輪帯1条 輪帯上附注	R輪凹 R車輪脚注	ミガキ		34.1	—	(26.4)	F1000		
180	1 137	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	R輪凹 輪帯1条 輪 帯上附注	R車輪1(脚, 輪 帯下部小断)	ナツ	灰化層 (内)	50.2	—	(29.0)	F1143		
180	2 136	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	口縁部注	R輪凹 輪帯1条 輪 帯上附注	R輪凹(脚) LR車輪1(脚)	ミガキ		32.6	14.5	38.4	F1076	
181	1 137	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a	深鉢	平	口縁部目	R輪凹 輪帯1条 輪 帯上附注 R車輪1 脚注	R車輪1(脚) R車輪1(脚)	ミガキ		(54.0)	—	(44.2)	F1155	
182	1 137	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	F1	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	LR輪凹 輪帯	LR輪凹 LR車輪 1(脚, 脚)	ミガキ ナツ	2層一組の 輪帯孔小断 底面穿孔 1小断	(20.4)	(11.8)	30.1	F1006		
182	2 137	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	2本の溝によるR輪 凹 輪帯1条 輪帯 上附注	LR(脚)	ナツ	灰化層 (内)	18.2	—	(16.5)	F1020		
182	3 137	検砂	Ⅲ177 Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	破片(4等 位小)	R輪凹 輪帯1条 輪帯上附注	R輪凹 R車輪1(脚) LR車輪1(脚)	ミガキ		22.2	10.2	41.3	F1160		
182	4 137	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	LR(脚)	LR(脚)	ナツ		11.8	—	(7.6)	F1034		
182	5 137	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	LR(脚)	LR(脚)	ナツ	灰化層(内 外) 2層一 組の輪帯 孔1小断	16.6	10.0	(26.7)	F1121		
183	1 137	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	F2	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	RLR(脚)	RLR(脚)	ナツ ミガキ	灰化層 (内)	(14.0)	—	(10.7)	F1161		
183	2 137	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	F2	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	RLR(脚)	RLR(脚)	ナツ	灰化層 (内) 底面 1脚注	14.8	12.0	28.9	F1146		
183	3 137	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	RLR(脚)	RLR(脚)	ミガキ	穿孔1	(21.9)	12.5	32.8	F1068		
183	4 138	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	LR(脚)	LR(脚)	ナツ ミガキ	灰化層(内 外)	(16.8)	(8.8)	28.4	F1062		
183	6 138	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	LR(脚)	LR(脚)	ナツ ミガキ	灰化層 (内)	13.0	—	(16.4)	F1070		
184	1 138	検砂	Ⅲ177	Ⅱb Ⅱ	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	R車輪1(脚)	R車輪1(脚) 胴 部中央に灰化層	ミガキ		19.6	11.4	30.2	F1009		
184	2 138	検砂	Ⅲ177	Ⅱb	—	Ⅱ下a~ b1	深鉢	平	低平な破 片(4等位) 底面形剥 落注 R車輪1 脚注	R車輪1(脚)	R車輪1(脚)	ミガキ	灰化層(内 外) 穿孔1 小断	17.2	—	(20.7)	F1065	

第8表 土器観察表(14)

図号	番号	実測番号	出土 地区	出土 位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号	
184	3	138	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	L1単線1(縦)	L1単線2(縦)	ナブ	灰化物 (劣)	20.8	—	(7.2)	F1188	
184	4	138	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1~ b2	深鉢	—	—	L1単線1(縦)	ナブ	アスファ ルト付着 (内面全面) 上縁口 外縁部破 れ穴 ア スファル ト塊付着 器蓋L1単 線1	—	6.6	(12.6)	F1315	
184	5	138	梅郷	Ⅱ77 Ⅱ77	Ⅱ b Ⅱ a	—	円下a~ b1	深鉢	平	R1単線1(縦) 隆帯1 条 隆帯同輪化線 隆帯上L1単線1(縦)	R1単線1(縦)	ミガキ	—	16.5	9.5	27.0	F1029	
184	6	138	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	L1押出2条 LR (横)	L1押出2条 LR (横)	ミガキ	—	12.5	—	(20.3)	F1083	
185	1	138	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	大木10	深鉢	平	化線 RL(横文)	—	ナブ ミガキ	灰化物 (劣) 底面 磨光	(20.8)	8.0	(18.2) (2.8)	F1086	
185	2	138	梅郷	Ⅱ78	Ⅱ b Ⅱ a	—	円下b2	深鉢	平	底平立波 穴付(4個 化)	R1単線2 隆帯1条 隆帯上L1押注	R1単線1(縦)	ミガキ	21.8	—	(16.3)	F1092	
185	3	138	梅郷	Ⅱ78	Ⅱ b Ⅱ a	—	円下b2	深鉢	平	L1(横) 内縁(口縁 縁部と隆帯間に 各1条) 底L1隆帯1 条 隆帯上と内縁に 折れ	LR(横)	ナブ ミガキ	灰化物 (劣)	18.6	—	(12.6)	F1096	
185	4	138	梅郷	Ⅱ78	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	底平立波 穴	L1単線1(縦)	L1単線1(縦)	ナブ	灰化物(内 劣)	(18.0)	—	(14.3)	F1134
185	5	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	LR縁部	LR縁部	ミガキ	—	(25.8)	11.3	34.0	F1041	
186	1	138	梅郷	Ⅱ76	Ⅱ b Ⅱ	—	円下a~ b1	深鉢	平	R1単線1(横) R1単 線1押注 隆帯1条 隆 帯上押注	R1単線1(縦)	ミガキ	—	(36.2)	13.3	(56.0)	F1187	
186	2	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	R縁部	R1単線1(縦)	ナブ	—	11.9	7.4	16.9	F1118	
186	3	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	L縁部	L1単線1(縦)	ナブ	—	20.0	—	(11.1)	F1128	
186	4	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	R縁部 隆帯1条 隆 帯上L1単線1 押注	R1単線1(縦) 隆 帯1条 L縁部	ナブ	灰化物 (劣)	12.0	—	(16.4)	F1117	
186	5	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	R縁部 隆帯1条 隆 帯上L1単線1 押注	RLR(斜)	ナブ	灰化物 (劣)	16.6	—	(7.8)	F1125	
187	1	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	L縁部 隆帯1条 隆 帯上L1単線1 押注	R1単線1(縦) とL 縁部交互	ナブ	灰化物(内 劣) 穿孔 1か所	28.5	—	(28.6)	F1140	
187	2	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	RLR(横) 隆帯1条 隆帯上押注	R縁部 RLR(横)	ミガキ	—	33.5	—	(26.6)	F1046	
187	3	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	二山一 線の成 状(2 個化) 底 面磨光	R縁部 とL1単線1 (縦)交互	ミガキ	—	19.1	—	(32.0)	F1043	
187	4	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	L縁部 隆帯1条 隆 帯上L1単線1押注	L縁部 とL1単線1 (縦)交互	ミガキ	—	16.4	8.9	30.6	F1019	
188	1- 1- 2	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	L1単線1(縦) 隆帯1 条 隆帯上L1単線1 押注(劣)	L1単線1(縦)	ナブ	—	13.0	—	(14.5) (5.6)	F1148	
188	2	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	R縁部交互にR1単線 1条 隆帯1条 隆帯 上L1単線1押注 隆 帯上L1単線1押注 隆帯下折れ底面	R縁部 とR1単線1 (縦)交互	ナブ	—	(32.0)	—	(22.5)	F1112	
188	3	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	R1単線1(縦) 隆帯1 条 隆帯上押注	R1単線1(縦)	ミガキ	—	14.9	—	(27.1)	F1023	
188	4	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	RLR(横) 隆帯1条 隆帯上L1	RLR(斜, 縦)	ナブ	灰化物(内 劣)	20.0	—	(26.4)	F1129	
189	1	139	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b2	深鉢	平	R縁部交互に化線(L 化) 隆帯1条 隆帯 上L1単線1 押注	R1単線1(縦)	ナブ	灰化物(内 劣)	(18.8)	—	(32.4)	F1114	
189	2	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	底平立波 穴(4個 化)	RL(横)	RL(横)	ナブ	灰化物 (劣) 底面 磨光 隆 帯上L1単 線1か所	(17.8)	—	(16.4)	F1098
189	3	140	梅郷	Ⅱ78	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	L1単線1押出2条 隆帯1条 隆帯上押注	LR1単線1(縦)	ナブ	—	17.0	—	(7.0)	F1172	
190	1	140	梅郷	Ⅱ78	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	RL縁部 隆帯 隆帯 上L1単線1 隆帯同輪化線	L1縁部 とR1単線1 (縦)交互	ナブ	—	20.8	—	(13.1) (3.0)	F1100	
190	2	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	L1縁部	RLR(横)	ナブ ミガキ	—	(25.0)	—	(23.0)	F1086	
190	3	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	R縁部 隆帯1条 隆 帯上L1単線1押注	L1単線1(縦)	ナブ	—	(18.3)	—	(16.1)	F1029	
190	4	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	L縁部 隆帯1条 隆 帯上L1単線1 押注	L1単線1(縦)	ミガキ	灰化物 (劣)	16.8	—	(27.8)	F1031	
190	5	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	L縁部 隆帯1条 隆 帯上L1単線1 押注	L縁部 RLR(斜)	ナブ	灰化物 (劣)	18.5	—	(12.6) (4.4)	F1045	
191	1	141	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b Ⅱ a	—	円下a~ b1	深鉢	平	R縁部(縁部のみ) 隆帯1条 隆帯上L1 単線1	R1単線1(縦)	ミガキ	—	(18.7)	—	(22.7)	F1161	
191	2	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下b1	深鉢	平	L縁部 隆帯1条 隆 帯上L1単線1 押注	R縁部 L1単線1(縦)	ナブ	灰化物 (劣)	(23.6)	—	(16.8)	F1194	
191	3	140	梅郷	Ⅱ77	Ⅱ b	—	円下a~ b1	深鉢	平	L縁部 隆帯1条 隆 帯上押注	L縁部 RLR(横)	ナブ ミガキ	灰化物 (劣)	(18.0)	—	(14.6)	F1193	

第8表 土器観察表(15)

図号	番号	出土地状	出土位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口部形	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号	
191	4	140	検砂	ⅡL77	Ⅱb	—	円下b1	検砂	平	L:編目 低い編目1条 隆帯上と同様に爪形突起	R:編目 R:編目1(縦)	ミガキ	溝一筋の輪線乳か所	17.7	10.4	52.3	F1075
191	5	140	検砂	ⅡL77	Ⅱb	F1	円下b1	検砂	平	L:編目 隆帯1条 隆帯上と同様に爪形突起	R:編目とL:編目1(縦)交互	ミガキ		30.0	—	(25.7)	F1124
192	1	141	検砂	ⅡL77	Ⅱb	—	円下b1	検砂	平	L:編目に花線(大腕りの帯状突起) 隆帯1条 隆帯上と同様に爪形突起	R:編目 沈線1条 R:編目とL:編目交互	ミガキ		18.2	—	(19.4)	F1046
192	2	140	検砂	ⅡL77	Ⅱb	—	円下b1	検砂	平	L:編目 隆帯1条 隆帯上L:編目	輪線か	ナブ	炭化物(外)	14.0	—	(8.6)	F1189
192	3	140	検砂	ⅡL77	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	L:編目 隆帯1条 隆帯上L:編目	L:編目1(縦)か	ナブ		13.0	—	(8.5)	F1190
192	4	141	検砂	ⅡL78	Ⅱb	—	円下b1	検砂	平	R:編目 隆帯1条 隆帯上L:編目	R:編目とL:編目1(縦)交互	ナブ		12.2	(8.4)	(20.2)	F1025
192	5	141	検砂	ⅡL78	Ⅱb	—	円下b1	検砂	平	R:編目 低い隆帯2条 隆帯上突起(突目) 隆帯突起に不明な溝	R:編目 R:編目1(縦)とR:編目5交互	ミガキ		17.1	—	(31.3)	F1013
192	6	141	検砂	ⅡL78	Ⅱb	—	円下b2	検砂	低平な波状(4単位)	L:編目 隆帯1条 隆帯上突起	R:編目1(縦)	ナブ ミガキ	炭化物(内) 外) 溝一筋の輪線乳10cm突起上突起(突起) 輪線乳か	25.0	12.4	(37.5)	F1110
193	1	141	検砂	ⅡL78	Ⅱb	—	円下b2	検砂	低平な波状(4単位)	L:編目 隆帯1条 隆帯上突起	R:編目1(縦)	ミガキ		20.4	—	(37.8)	F1011
193	2	141	検砂	ⅡL77	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	R:編目(横) 隆帯1条 隆帯上R:編目1とL:編目	R:編目1(縦)	ミガキ	溝一筋の輪線乳か所	(19.1)	9.4	57.2	F1010
193	3	—	検砂	ⅡL78	Ⅱb	—	円下b1	検砂	平	R:編目 隆帯1条 隆帯上R:編目	R:編目1(縦)とR:編目交互	ミガキ		18.0	—	(21.3)	F1063
193	4	—	検砂	ⅡL79	Ⅱb	—	円下b2	検砂	平	L:編目 隆帯1条 隆帯上L:編目	R:編目1(縦)	ミガキ	炭化物(外)	18.2	—	(17.4)	F1191
194	1	141	検砂	ⅡL79	Ⅱb	—	円下b2～c	検砂	平	L:R:編目 隆帯1条 隆帯上L:編目(部位2条一筋)	—	ミガキ		18.4	—	(8.4)	F1187
194	2	141	検砂	ⅡL79	Ⅱb	—	円下b2	検砂	平	R:編目2 花線2条 隆帯上R:編目	R:編目1(縦) 隆帯下部一筋	ミガキ		24.5	—	(36.2)	F1007
194	3	142	検砂	ⅡL76	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	L:編目 水筒状突起	R:編目	ナブ	突起1	13.0	7.7	(24.0)	F1061
194	4	142	検砂	ⅡL76	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	R:編目 隆帯1条 隆帯上R:編目1突起(横)	R:編目1(縦)とR:編目交互	ナブ	炭化物(外)	19.0	—	(21.0)	F1106
194	5	142	検砂	ⅡL76	Ⅱb	—	円下b1	検砂	平	R:編目1(横) 隆帯1条 隆帯上突起	R:編目1(縦)	ナブ		20.4	—	(25.0)	F1130
196	1	142	検砂	ⅡL78	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	R:編目(横) 隆帯1条 隆帯上L:編目	L:編目 L:編目1(横)	ミガキ		30.7	(14.0)	(47.0)	F1048
196	2	142	検砂	ⅡL78	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	L:R:編目(横) 隆帯1条 隆帯上突起	L:編目1(横)	ミガキ		29.8	—	(26.4)	F1131
196	1	142	検砂	ⅡL77	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	R:編目(2部層の結合) 隆帯1条 隆帯上R:編目(2部層の結合)	R:編目(2部層の結合)とL:編目1(縦)交互	ミガキ		18.3	9.7	25.8	F1077
196	2	142	検砂	ⅡL76	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	R:編目 隆帯1条 隆帯上突起	R:編目	ミガキ		24.4	—	(12.3)	F1128
196	3	142	検砂	ⅡL76	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	L:編目 隆帯1条	R:編目1(縦)	ナブ ミガキ		24.0	—	(19.3)	F1136
196	4	142	検砂	ⅡL76	Ⅱb	—	円下b1	検砂	平	L:編目 低い隆帯1条 隆帯上突起	L:編目 L:編目1(横)	ミガキ		16.5	—	(20.0)	F1066
196	5	—	検砂	ⅡL76	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	L:編目 隆帯1条 隆帯上突起	L:編目	ナブ	炭化物(外)	—	—	(5.8)	F1176
196	6	142	検砂	ⅡL76	Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	L:編目 隆帯1条 隆帯上突起	LR(横, 斜)	ミガキ		29.7	—	(36.7)	F1104
197	1	143	検砂	ⅡL76	Ⅱb	—	円下a～b1D	検砂	平	LR(横)後に付管状突起1条と爪形突起1条	LR(横)	ミガキ	炭化物(外)	32.0	—	(22.2)	F1060
197	2	143	検砂	ⅡS79	Ⅱ～Ⅲ	—	円下b2	検砂	低平な波状(2単位)	L:編目 隆帯1条 隆帯上R:編目1後にL:編目	R:編目1(縦)	ミガキ		15.0	—	(12.1)	F1102
197	3	143	検砂	ⅡL79	Ⅲ	—	円下b2	検砂	低平な波状	隆帯1筋状 低い隆帯1条 隆帯上突起	R:編目1(横)	ナブ ミガキ		23.6	—	(14.2)	F1069
197	4	—	検砂	ⅡL76	Ⅲ	—	円下b1D	検砂	—	—	L:編目1	ナブ		—	8.0	(4.7)	F1179
197	5	—	検砂	ⅡL76	Ⅲ	—	円下a～b1	検砂	平	L:編目 隆帯1条 隆帯上突起	L:編目(横)	ナブ		18.0	—	(5.5)	F1169
197	6	143	検砂	ⅡL74	Ⅲ～IV Ⅱb	—	円下a～b1	検砂	平	L:編目 隆帯1条 隆帯上L:編目	LR(横)	ナブ		18.0	(9.4)	(31.3)	F1033
197	7	143	検砂	ⅡL76	Ⅲ～IV	—	円下b2	検砂	平	L:編目(口縁部) 隆帯1条 隆帯上突起	L:編目1(縦)	ナブ ミガキ	炭化物(外)	15.0	—	(18.6)	F1122
198	1	143	検砂	ⅡL76	トレンダ	—	円下a～b1	検砂	平	口縁部突起か 隆帯1条 隆帯上突起	—	ミガキ		12.0	—	(6.8)	F1183



第8表 土器観察表(16)

図号	番号	出土 系図	出土 位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号	
195	2	143	梅巻	ⅡB77	覆瓦	—	円下a～ b1	深鉢	平	L編組	L編組 胴中央部 に凹凸線	ナズ	17.0	6.9	25.6	F1022	
196	3	143	梅巻	ⅡB77	覆瓦	—	円下a～ b1	深鉢	平	L編組磨正	L編組(縦)	ナズ	熱化物 (%)	(19.0)	(19.0)	(28.6)	F1113
196	4	143	梅巻	ⅡB77	覆瓦	—	円下a～ b1	深鉢	平	R編組6 隆帯1条	R編組1(縦)	ナズ	熱化物 (%)	(23.6)	—	(14.5)	F1059
196	5	143	梅巻	ⅡB77	覆瓦	—	円下b1	深鉢	平	R編組 凹い隆帯1 条 隆帯上下両側に 肩稜あり	R編組 L編組1 (縦)	ミガキ	輪郭孔に 紐一筋か 前	13.9	—	(12.2)	F1160
236	2	156	遠浅外	Ⅱ076 S166 Ⅱ076	Ⅱ・Ⅲ 下・中層	—	—	深鉢	—	具腰線B(縦)後上 側凹	具腰線押引B (多条一筋 縦) 具腰線C (5条一筋 縦)	ナズ ミガキ	(26.2)	—	(13.1)	F1239	
236	2-1	156	遠浅外	Ⅱ068	Ⅲ	—	—	深鉢	波状	具腰線B(縦)	具腰線押引A (多条一筋 縦)	ナズ	(23.4)	—	(6.8)	F1232	
236	2-2	156	遠浅外	S118	1層	—	—	深鉢	波状か	具腰線B(縦) 側突B	具腰線押引A (多条一筋 縦)	ナズ	—	—	(7.7)	F0071	
236	2-3	156	遠浅外	Ⅱ068	I Ⅲ	—	—	深鉢	—	—	具腰線押引A, B (7条)	ナズ	熱化物 (%)	—	(9.1)	F1198	
236	4	156	遠浅外	Ⅱ066	Ⅲ～V	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線A(縦) 側突A	具腰線A(縦) 具腰線押引B(4 ～6条一筋 縦)	強い具腰 線	—	—	(7.7)	F1237	
236	6	156	遠浅外	SX10	S	—	—	深鉢	平か 口唇平直	具腰線B(縦) 側突B	具腰線押引B(3 ～6条一筋 縦)	ミガキ	熱化物(内 外)	—	(4.8)	F1228	
236	6	156	遠浅外	ⅡB70	Ⅱb, Ⅲ	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線B(縦, 前)	具腰線(多条一 筋 縦)	ミガキ	熱化物(内 外)	—	(4.7)	F1250	
236	7	156	遠浅外	S132	Ⅲ底	—	—	深鉢	波状	具腰線B(縦)突起 側突A(肩稜無 波状)	具腰線C(2～3条 一筋 横位波状)	ナズ	熱化物 (%)	—	(7.0)	F0142	
236	8	156	遠浅外	Ⅱ078	Ⅲ	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線A 側突A	具腰線押引A(3 ～4～6条一筋 横位 波状)	ミガキ ナズ	—	—	(5.9)	F1214	
236	9	156	遠浅外	ⅡB88	Ⅳ	—	—	深鉢	—	具腰線B(縦)	具腰線(4条一筋 横位波状) 具 腰線C(1)	ミガキ	—	—	(3.9)	F1290	
236	10	156	遠浅外	S136	Ⅲ土	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線B(縦)	具腰線B(縦)波 状	強い具腰 線	熱化物 (%)	—	(3.9)	F0152	
236	11	156	遠浅外	ⅡB70	Ⅲ	—	—	深鉢	口唇平直	具腰線B(縦)	具腰線B(縦)波 状	具腰線	熱化物 (%)	—	(5.0)	F1212	
236	12	156	遠浅外	Ⅱ068	I	—	—	深鉢	波状(表面 へ突起) 口唇平直	具腰線B(縦) 側突B	—	具腰線	—	—	(4.2)	F1206	
236	13-1	156	遠浅外	Ⅱ078	Ⅲ	—	—	深鉢	波状 口唇部分 的に平直	具腰線B(縦)	具腰線押引A (多条一筋 縦)	具腰線	熱化物(内 外)	—	(4.8)	F1247	
236	13-2	156	遠浅外	Ⅱ177	Ⅲ	—	—	深鉢	波状(表面 へ突起) 口唇部分 的に平直	具腰線B(縦) 側突B	具腰線押引A (多条一筋 縦) 具腰線C (5条一筋 縦)	具腰線	熱化物 (%)	(24.2)	(9.0)	F1229	
236	14-1	156	遠浅外	Ⅱ076 Ⅱ076	Ⅲ Ⅲ	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線B(縦, 前)	具腰線B(前) 具腰線押引A(3 ～4～6条一筋 縦)	強い具腰 線	—	—	(16.0)	F1221	
236	14-2	156	遠浅外	Ⅱ077	Ⅲ～Ⅳ	—	—	深鉢	波状	具腰線A(縦, 前)	具腰線A(前) 強い具腰線 押引A(4～5条一筋 縦)	具腰線	熱化物 (%)	—	(7.0)	F1226	
236	15	156	遠浅外	Ⅱ579	Ⅲ～Ⅳ	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線B(縦)	具腰線(5条一筋 縦, 前)	具腰線	熱化物(内 外)	—	(5.2)	F1242	
236	16	156	遠浅外	S132	Ⅲ北ベル ト土層	—	—	深鉢	—	具腰線B(縦)	具腰線C(3～4条 一筋 横位波状) 側突A(横位 波状)	ナズ	熱化物 (%)	—	(6.7)	F1261	
236	17	156	遠浅外	ⅡB76	Ⅲ～Ⅳ	—	—	深鉢	口唇平直	具腰線B(縦)	—	強い具腰 線	—	—	(3.8)	F1213	
236	18	156	遠浅外	ⅡL79	Ⅲ	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線B(縦)	無文	ミガキ	熱化物 (%)	—	(3.8)	F1206	
236	19	156	遠浅外	ⅡB78	Ⅲ土	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線B(縦) 側突A	—	ナズ ミガキ	—	—	(3.4)	F1258	
236	20-1	156	遠浅外	ⅡL79	Ⅲ	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線押引B(4～5 条一筋 縦) 具腰 線C(前)	具腰線B(縦)	強い具腰 線	—	—	(4.7)	F1264	
236	20-2	156	遠浅外	Ⅱ264	Ⅲ	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線押引B(前) 具腰線B(前)	具腰線B(縦)	強い具腰 線	—	—	(3.8)	F1280	
236	21	156	遠浅外	Ⅱ076	Ⅲ	—	—	深鉢	波状(表 面へ突起) 口唇平直	具腰線B(前) 具腰線押引A (側突A)	全帯(2～3条一 筋 横位波状)	ナズ	—	—	(5.1)	F1200	
236	22	156	遠浅外	S143	Ⅲ土	—	—	深鉢	波状 口唇平直	具腰線B(縦)波状 側突A 側突B(前)	—	ナズ	—	—	(3.6)	F0172	
236	23	156	遠浅外	Ⅱ066	Ⅲ土	—	—	深鉢	—	—	具腰線A(7段) 結合部に突起B	—	熱化物(内 外)	—	(6.4)	F1266	
236	24	156	遠浅外	Ⅱ266	Ⅲ Ⅳ	—	—	深鉢	波状 口唇平直 波状	具腰線A(縦) 側突A 側突B 側突C	無文	ミガキ	—	—	(5.1)	F1204	
236	25	156	遠浅外	ⅡB70	Ⅲ～Ⅳ	—	—	深鉢	波状 口唇平直	側位波線 波線に 面二分して側突 B(前) 具腰線 平円状	具腰線押引A (横)	ナズ	熱化物(内 外)	—	(3.9)	F1238	

第8表 土器観察表(17)

図号	番号	出土状況	出土位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口部部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号	
236	26	遺構外	ⅡK76	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	口縁斜化 沈線か	削いた工具による花 輪4条、具線緑B(多 量)部分的に沈線 に変わる	無文	ナブ	炭化物 (外)	—	—	(7.6)	F1207	
236	27	遺構外	ⅡM75 ⅡM75	Ⅱb	—	早期 中葉	深鉢	沈線か 口縁平直	横位沈線5条 沈線 間に具線緑A(薄) 刺突A	—	ナブ	炭化物 (外)	—	—	(3.2)	F1228	
236	28	遺構外	ⅡG77	Ⅱb	—	早期 中葉	深鉢	沈線か 口縁平直	横位沈線4～5条 沈 線間に具線緑B (薄) 刺突A	濃い赤褐色	具赤褐色	—	—	—	(5.6)	F1246	
236	29	遺構外	ⅡF64	Ⅳ	—	早期 中葉	深鉢	沈線か 口縁平直	横位沈線2条 沈線 間に具線緑B(薄) 刺突A	赤褐色か	ナブ	—	—	—	(3.9)	F1256	
237	1	167	遺構外	ⅡH66	Ⅱ～V	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁平直	横位沈線2条 沈線 間に具線緑B(薄)	—	ナブ	炭化物(内 外)	—	—	(3.7)	F1202
237	2-1	167	遺構外	ⅡU76 ⅡU74	Ⅱ乱L	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁押圧	横位沈線2条 沈線 間に具線緑B(薄)	ナブ	炭化物(内 外)	—	—	(6.1)	F1206	
237	2-2	167	遺構外	ⅡU76	I	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁押圧	横位沈線2条 沈線 間に具線緑B(薄)	ナブ	炭化物(内 外)	—	—	(4.7)	F1249	
237	3	167	遺構外	S16	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	平か 口縁平直	横位沈線1条 具 線緑B(2羽状)	—	ナブ	—	—	(3.0)	F0066	
237	4	167	遺構外	ⅡS77	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	沈線か 口縁平直	具線緑A(羽状) 横位沈線(S形の上 下端と中かにも1条) 具線緑押引A(薄)	—	ナブ	—	—	(3.3)	F1226	
237	5	167	遺構外	ⅡH77	Ⅱa	—	早期 中葉	深鉢	沈線か 口縁平直	具線緑A(羽状) 横位沈線2条 沈 線間に具線緑A	具線緑押引A	ミガキ	—	—	(3.4)	F1234	
237	6	167	遺構外	ⅡF76	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	沈線	具線緑A(薄) 横位 沈線1条 沈線下に 刺突A	具線緑押引A (薄)	ミガキ ナブ	炭化物 (外)	—	(4.3)	F1217	
237	7	167	遺構外	ⅡI77	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	口縁平直	横位沈線2条 刺突A	—	ミガキ	—	—	(3.4)	F1220	
237	8	167	遺構外	S132	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	—	横位沈線4条 刺突A羽2条(薄)	—	ナブ	—	—	(2.9)	F1215	
237	9	167	遺構外	ⅡK68	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	口縁平直	刺突A 濃い沈線	—	ナブ	—	—	(3.0)	F1209	
237	10	—	遺構外	ⅡK77	Ⅱ～Ⅲ	—	早期 中葉	深鉢	口縁平直	刺突B羽 沈線(細 羽状、斜化)	赤褐色か	ナブ	炭化物 (外)	—	(3.8)	F1271	
237	11	—	遺構外	SK46	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁平直	横位沈線1条 具 線緑押引A(2～3条 ～1条) 刺突A	—	ナブ	—	—	(4.1)	F0328	
237	12-1	167	遺構外	ⅡF77 ⅡK76	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁平直	横位沈線2条 (刺突A)	具線緑押引A (薄)	ナブ ミガキ	炭化物 (外)	—	—	(6.1)	F1203
237	12-2	167	遺構外	ⅡF77	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	—	—	具線緑押引A (薄)	ナブ ミガキ	—	—	(6.3)	F1201	
237	13	167	遺構外	ⅡK76 ⅡU74 ⅡU77	Ⅱ～Ⅲ 暗褐色 Ⅱ～Ⅲ	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁平直	具赤褐色(2～3条一 組) 刺突A	具赤褐色 具線緑押引B (多量条一組)	具赤褐色	炭化物 (外)	—	(5.5)	F1248	
237	14	167	遺構外	ⅡS79 ⅡQ75	Ⅱ～Ⅳ Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁平直	具線緑押引B(多量 条一組) 刺突A	具赤褐色 具線緑押引B (多量条一組)	具赤褐色	炭化物 (外)	—	(5.4)	F1216	
237	15	167	遺構外	ⅡG66	V	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁平直	具線緑押引A(多量 条一組) 刺突A	無文	具赤褐色 炭化物 (外)	—	—	(5.8)	F1219	
237	16	167	遺構外	ⅡM76	Ⅱ～Ⅲ	—	早期 中葉	深鉢	沈線か 口縁平直	具赤褐色(部分的に具 線緑押引A 多量条 一組) 刺突B	無文	ミガキ	—	—	(5.7)	F1246	
237	17	167	遺構外	ⅡM77	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁平直	具線緑押引B	—	具赤褐色	—	—	(3.8)	F1211	
237	18	167	遺構外	ⅡE66	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	沈線	具線緑押引A(3～5 条一組、羽状)	具線緑押引A(3 ～6条一組、薄)	ナブ	—	—	(6.4)	F1236	
237	19	167	遺構外	SI41	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁平直	具赤褐色(多量条一組 薄)	具線緑押引A (多量条一組)	ナブ	—	—	(5.9)	F0169	
237	20	167	遺構外	ⅡI77	Ⅱa	—	早期 中葉	深鉢	沈線 口縁平直	具線緑押引A(横位 沈線多量条一組) 刺突A	無文か	ミガキ 炭化物 (内)	—	—	(5.9)	F1253	
237	21-1	167	遺構外	ⅡU76	I	—	早期 中葉	深鉢	沈線(横 溝部)小突 起)口縁 平直	具線緑押引A(多量 条一組、薄) 刺突A	—	具赤褐色	—	—	(3.8)	F1227	
237	21-2	167	遺構外	ⅡU76	Ⅳ	—	早期 中葉	深鉢	沈線(横 溝部)小突 起)口縁 平直	具線緑押引A(多量 条一組、薄) 刺突A	—	具赤褐色	—	—	(3.7)	F1257	
237	22	167	遺構外	ⅡI77	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	口縁平直	具線緑押引A(3～5 条一組、薄)	無文	ナブ ミガキ	—	—	(5.4)	F1218	
237	23	167	遺構外	ⅡM76	Ⅱ～Ⅳ	—	早期 中葉	深鉢	沈線か 口縁平直	具線緑押引A(多量 条一組、薄)	無文	ナブ	炭化物(内 外)	—	(6.4)	F1223	
237	24	167	遺構外	ⅡK77	Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	沈線か 口縁平直	具線緑押引A(多 量条一組) 刺突A	—	ミガキ	—	—	(3.4)	F1259	
237	25	167	遺構外	ⅡH66	Ⅱ～V	—	早期 中葉	深鉢	—	具線緑押引A(2～3 条一組、薄)	—	ナブ	—	—	(4.2)	F1199	
237	26	167	遺構外	ⅡK76	Ⅱb	—	早期 中葉	深鉢	沈線	具赤褐色(多量条一組 薄) 具線緑押引A (多量条一組、薄)	具赤褐色	炭化物(内 外)	—	—	(3.8)	F1282	
237	27-1	167	遺構外	ⅡU76	I～Ⅱ	—	早期 中葉	深鉢	不安定な 沈線)口 縁前斜 化	具線緑押引B(3～4 条一組)	—	ナブ	—	—	(6.7)	F1243	

第8表 土器観察表(18)

図号	番号	実測番号	出土 地区	出土 位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号
237	27-2	157	遺構外	ⅧU76	Ⅱ	—	早期 中期	陶鉢	半球面立 底状か 口縁外側	具肩線跡(3～4 条一組)	—	ナブ	—	—	—	(5.4)	F1244
237	28	157	遺構外	ⅧU76	Ⅱ・Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	底状(底 面部分) 口縁平直	具肩線(2～4条一 組)	—	ミガキ	—	—	—	(5.6)	F1222
237	29	157	遺構外	ⅧR76 ⅧR77	Ⅳ	—	早期 中期	陶鉢	平	具肩線(2～4条一組 持ち上げ)	—	具肩線	焼化物(内 外)	(18.0)	—	(6.8)	F1233
237	30-1	157	遺構外	ⅧY79	Ⅱ～Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	小波状	具肩線(6条一組)	—	ナブ	焼化物 (内)	—	—	(6.8)	F1239
237	30-2	157	遺構外	S166	Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	小波状	具肩線(3～4条一 組)	—	ナブ	焼化物 (内)	—	—	(5.2)	F0215
237	31	157	遺構外	ⅧP76	Ⅱ～Ⅳ	—	早期 中期	陶鉢	底状 口縁平直	具肩線(4～6条一組 底状)	—	ナブ	—	—	—	(6.2)	F1210
237	32	157	遺構外	ⅧT74	Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	底状	具肩線(2～4条 部 分的に押し)	—	ナブ	穿孔(1箇所 焼化物(内 外))	—	—	(5.4)	F1255
237	33	157	遺構外	不明	不明	不明	早期 中期	陶鉢	—	具肩線(4～6条一 組)	—	具肩線	焼化物(外)	—	—	(6.0)	F1241
237	34	157	遺構外	SX32	Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	—	—	条痕文	ナブ	焼化物(内)	—	—	(4.1)	F0094
237	35	157	遺構外	SX16	2層	—	早期 中期	陶鉢	—	—	—	ナブ	焼化物(5) 237-36-37 2層一か	—	—	(4.0)	F0024
237	36	157	遺構外	SX16	2層上面	—	早期 中期	陶鉢	—	—	強い具肩線(2～ 3条一組)	ナブ	焼化物(5) 237-35-37と同 一か	—	—	(4.2)	F0023
237	37	157	遺構外	S19	1層上面	—	早期 中期	陶鉢	—	—	強い具肩線(椅子 状 2～3条一組)	ナブ	焼化物(5) 237-35-38と同 一か	—	—	(5.6)	F0069
237	38	157	遺構外	ⅧO78	Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	口縁平直	化層に付いた 具肩線5 条痕A	—	ナブ	—	—	—	(4.9)	F1251
237	39-1	157	遺構外	ⅧE66	Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	平か	化層 花柄に付いた 具肩線A 化層下面 内に具肩線A 約2条A	—	具肩線	—	—	—	(5.4)	F1254
237	39-2	157	遺構外	SX32	中層ブ ロック土 入土	—	早期 中期	陶鉢	—	—	具肩線A 強化 化層(化層間に 具肩線A) 条 痕A 条痕上肩線 A	具肩線	—	—	—	(4.2)	F0006
237	40	157	遺構外	Ⅷ90	Ⅱ～Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	小波状	矢羽状短化線	—	具肩線	—	—	—	(5.8)	F1249
237	41	157	遺構外	Ⅷ96	Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	口唇凹目	矢羽状短化線	—	具肩線	—	—	—	(3.9)	F1200
237	42	—	遺構外	S122	Ⅲ層	二区東	早期 中期	陶鉢	底状 條 痕の幅等 粘付	前面部下に短化線 具肩線5 条痕 A 条痕下付 化層変異(焼化土)	—	ナブ	—	—	—	(5.7)	F0099
237	43	157	遺構外	S113	Ⅲ	南	早期 中期	陶鉢	—	—	具肩線A(條)	ナブ	条痕	—	—	(5.1)	F0003
237	44	157	遺構外	ⅧU76	Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	—	—	具肩線(條)	具肩線	—	—	—	(4.5)	F1197
237	45	157	遺構外	ⅧE66	Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	—	—	條文	ナブ	条痕	—	(0.8)	(4.5)	F1206
237	46	—	遺構外	SX44	Ⅲ	—	早期 中期	陶鉢	—	—	ナブ	ナブ	条痕	—	—	(4.3)	F0028
238	1-1	158	遺構外	ⅧK77	I～Ⅱ	—	早期 中期	陶鉢	—	—	L編目 線刺状 織文か	ナブ	穿孔1	—	—	(6.3)	F1268
238	1-2	158	遺構外	ⅧK77	I～Ⅱ	—	早期 中期	陶鉢	—	—	L編目	ナブ	—	—	5.0	(2.4)	F1268- 2
238	2	158	遺構外	ⅧC63	Ⅲ	—	前期 前期	陶鉢	平	へら状工具による 流紋状条痕 強化土層	—	ミガキ	—	—	—	(5.2)	F1272
238	3	158	遺構外	ⅧC67	Ⅲ	—	前期 前期	陶鉢	—	へら状工具による 流紋状条痕 強化土 層 コンクリート文 L編目	—	ナブ	—	—	—	(5.2)	F1175
238	4	—	遺構外	SX23	Ⅲ	—	前期 前期	陶鉢	平 口縁平直	半條竹管状工具に よる条痕	—	ナブ	—	—	—	(2.5)	F0026
238	5	158	遺構外	ⅧE63	Ⅲ	—	前期 前期	陶鉢	平 口縁平直	半條竹管状工具に よる条痕	—	ナブ	—	—	—	(3.9)	F1178
238	6	158	遺構外	ⅧP76	Ⅱ	—	円下a～ b1	陶鉢	平	棒・竹管状工具に よる条痕(材部 文か)	RL(條)	ナブ	—	—	—	(4.9)	F1207
238	8	158	遺構外	ⅧG68	I	—	前期 前期	陶鉢	—	—	—	ミガキ	近帯へら 状工具に よる同心 円状の流 紋状条痕	—	—	—	F1269
238	9	158	遺構外	ⅧL77	Ⅱ	—	前期 前期	陶鉢	底状	流紋押し文	RL(條)	ミガキ	—	—	—	(7.0)	F1270
238	10	158	遺構外	ⅧO75	Ⅳ	—	円下b1	陶鉢	底状か	L編目 條帯	L編目 L編目 L(條、底部直上)	ミガキ	焼化物 (内)	15.2	5.4	(25.2)	F1072
238	11	158	遺構外	ⅧO73	風刺木内	F1	円下c～ d1	陶鉢	底平な底 状(4条 強化)	L編目(強化土 底層部下に強化土 一組)	L編目1(條)と 編目135交互	ナブ	焼化物(内 外)	19.6	—	(25.0)	F1127
238	12	158	遺構外	SX74	Ⅲ	F1	円下a～ b1	陶鉢	平	RL(條)	RL(條)	ミガキ	焼化物 (内)	(14.2)	(5.8)	(5.2) (5.4)	F0053
238	13	—	遺構外	ⅧF67	—	—	円下b1	陶鉢	—	編目1条 編目上L 編目1押し(条)	L編目1(條)	ナブ	条痕跡L1 上面	—	—	(10.0)	F1202

第8表 土器観察表(19)

図号	番号	実測地区	出土位置	層位	その他の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理番号	
228	14	—	遺構外 SK73	礫土	—	円下1~b	深鉢	—	—	L軸短 L単線1	ナブ	炭化物(外)	—	—	(6.0)	F1052	
228	15	158	遺構外 SK68	Ⅲ	—	円下a	深鉢	—	—	竹管状夾炭(経回紋文)	ナブ	—	—	—	(4.0)	F1304	
228	16	158	遺構外 SK67	Ⅲ	—	円下a	深鉢	—	—	竹管状夾炭(経回紋文)	ナブ	—	—	10.2	(4.7)	F1303	
229	1	—	遺構外 SK77	Ⅲ	—	大木10	深鉢	平口唇外折	沈線 L単線1(地文)	ナブ	炭化物(外)	29.6	—	—	(30.1)	F1198	
229	2	158	遺構外 SK66	I	—	大木10	深鉢	平口唇面取	沈線 L(磨研, 充満)	ナブ	炭化物(外)	16.3	—	—	(16.1)	F1153	
229	3	—	遺構外 SK67	Ⅲ	—	大木10	深鉢	平口唇面取	沈線 L(磨研, 充満)	ナブ	炭化物(外)	—	—	—	(16.2)	F1316	
229	4	158	遺構外 SK68	Ⅲ	—	大木10	深鉢	炭化(4單位)口唇平取底面取沈線	沈線 L(磨研, 充満)	ナブ	炭化物(内面)底面取	12.8	6.0	15.8	—	F1120	
229	5	—	遺構外 SK67	Ⅲ	—	大木10	深鉢	炭化(4單位)口唇平取底面取沈線	明炭	ナブ	—	幅(2.7)	厚さ(1.5)	高さ(2.0)	—	F1163	
229	6	158	遺構外 SK77	Ⅲ	—	大木10	深鉢	平口唇平取	沈線 沈線に伴う磨研隆帯 L単線1(充満) 明炭(磨研隆帯, 充満) 磨研隆帯(充満)	ナブ	炭化物(外)	32.2	—	—	(28.7)	F1111	
229	7	158	遺構外 SK75	暗褐色	—	大木10	深鉢	—	—	ボロン夾炭結片付土へツテ工具による磨研	ナブ	—	—	—	(2.7)	F1273	
240	1	159	遺構外 SK77	Ⅲ	—	大木10	深鉢	平口唇平取	沈線 L単線1(地文 縦)	ナブ	—	—	—	—	(22.9)	F1199	
240	2	159	遺構外 SK68	IV	F1	大木10	深鉢	平	L(縦)	ミガキ	—	—	—	—	(24.0)	F1139	
240	3	159	遺構外 SK68	Ⅲ	F1	大木10	深鉢	平	沈線 L(地文 縦)	ナブ	—	—	—	—	(27.4)	F1158	
240	4	159	遺構外 SK73	Ⅲ~IV	—	大木10	深鉢	不明	L単線1(縦)	ナブ ミガキ	—	—	—	—	(31.2)	F1052	
240	5	159	遺構外 SK70	Ⅲ上部	F1	大木10	深鉢	平	L単線1(縦)	ナブ	—	—	—	—	(19.2)	F1115	
241	1	159	遺構外 SK71	Ⅲ	—	大木10	深鉢	平	L(縦)	ミガキ	炭化物(内面)	—	—	—	(11.2)	F1193	
241	2	—	遺構外 SK66	Ⅲ	—	大木10	深鉢	—	L単線1(縦)	ナブ	底面取	—	—	—	(9.0) (22.1)	F1186	
241	3	159	遺構外 SK76	Ⅲ	F1	後期弥生	深鉢	平口唇平取	沈線 把手推定か所 把手に穿孔	ナブ	炭化物(外)底面取	—	—	—	—	(18.2)	F1116
241	4	159	遺構外 SK76	Ⅲ	—	後期弥生	深鉢	—	ナブ	ナブ	底面につつま刺痕	—	—	—	(2.1)	F1301	
241	5	159	遺構外 SK73	Ⅲ	—	弥生中期	深鉢	—	—	沈線文 両点文 ミガキ	ナブ	—	—	—	(5.6)	F1289	
241	6	159	遺構外 SK77	Ⅲa	—	中期後葉	深鉢	—	交互刺突文 沈線文	ナブ	—	—	—	—	(4.9)	F1292	
241	7	159	遺構外 SK74	Ⅲ~IV	—	弥生後期	深鉢	平	交互刺突文	ナブ	炭化物(外)	—	—	—	(6.8)	F1287	
241	8	159	遺構外 SK66	Ⅲ	—	弥生後期	深鉢	—	—	横位沈線 直線文 L単線1(充満)	ナブ	—	—	—	(4.6)	F1293	
241	9	159	遺構外 SK78	Ⅲ	—	弥生後期	深鉢	—	—	横位沈線 直線文 L単線1(充満)	ナブ	—	—	—	(6.8)	F1288	
241	10-1	159	遺構外 SK79	Ⅲ~IV	—	弥生後期	深鉢	—	—	2条一風の沈線文	ナブ	—	—	—	(4.9)	F1294-2	
241	10-2	159	遺構外 不明	不明	不明	弥生後期	深鉢	—	—	交互刺突文 2条一風の沈線文	ナブ	—	—	—	(5.4)	F1294-1	
241	11	159	遺構外 SK79	Ⅲ	—	弥生後期	深鉢	—	—	直線文 刺突文 L単線1(縦, 磨研)	ナブ	—	—	—	(7.2)	F1291	
241	12	159	遺構外 SK80	Ⅲ~Ⅳ	—	続縄文	深鉢	—	—	磨研刺突文 刺突文	ナブ	—	—	—	(4.2)	F1294	
241	13	—	遺構外 S136	上層	—	弥生中期	高坪	—	—	沈線 L	ミガキ	—	—	—	1.7	F0138	
241	14	159	遺構外 S136	礫土	—	弥生中期	高坪	—	—	沈線	ミガキ	赤色顔料	—	(11.0)	(2.8)	F0151	
241	15	—	遺構外 SK79	Ⅲ	—	古代	深鉢	—	—	ヘラケズリ	ユビナブ	—	—	—	9.6	(2.7)	F1296
—	①	158	遺構外 SK66	礫土	—	早期 中期	深鉢	炭化 口唇平取	具線線B(横) 刺突B	具条痕	ナブ	—	—	—	—	(3.0)	F1501
—	②	158	遺構外 S155	礫土	—	早期 中期	深鉢	—	具線線A(横) 刺突A	—	ナブ	—	—	—	—	(4.2)	F1502
—	③	158	遺構外 SK75	Ⅲ	—	早期 中期	深鉢	前位 口唇平取	沈線 具線線A(横) 刺突A	—	ミガキ	—	—	—	—	(3.1)	F1503
—	④	158	遺構外 SK74	Ⅲ	—	早期 中期	深鉢	炭化 底面取 み全後う 小突起	具線線押入 刺突A	—	ナブ	—	—	—	—	(3.7)	F1504
—	⑤	158	遺構外 SK77	Ⅲ	—	早期 中期	深鉢	炭化 口唇平取	具線線B(横)	—	ナブ	—	—	—	—	(4.6)	F1505
—	⑥	158	遺構外 SK77	Ⅲ・Ⅳ	—	早期 中期	深鉢	炭化	具線線A(横)	具線線A(斜)	強い具条痕	—	—	—	—	(3.2)	F1506
—	⑦	158	遺構外 SK77	Ⅲ・Ⅳ	—	早期 中期	深鉢	炭化	具線線B(横) 刺突B	—	具条痕	—	—	—	—	(3.6)	F1507
—	⑧	158	遺構外 SK77	Ⅲ	—	早期 中期	深鉢	炭化 口唇平取	具線線A(横) 刺突A	—	強い具条痕	—	—	—	—	(3.2)	F1508

第8表 土器観察表(20)

図号	番号	実測位置	出土地区	出土位置	層位	その他 の注記	時期	器種	口縁形態	口頸部	胴部	内面	その他	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	整理 番号
—	⑩	158	遺構外	ⅡT Ⅱ174	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇平状	具線緑A-B(横)	—	ナズ	—	—	—	(4.8)	F1609
—	⑩	158	遺構外	ⅡQ78	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇平状	具線緑A(横)の区 画内に具線緑A (斜)	具線緑A(横)	濃い具線 緑	—	—	—	(3.6)	F1610
—	⑩	158	遺構外	ⅡP76	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状か 口唇平状	横位沈着 具線緑B (縦) 柄杓A	—	濃い具線 緑	穿孔L	—	—	(4.3)	F1611
—	⑩	158	遺構外	ⅡW76	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇平状	具線緑B(縦)	—	濃い具線 緑	—	—	—	(4.0)	F1612
—	⑩	158	遺構外	ⅡW77	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇平状	具線緑B(縦)	—	具線緑 B	—	—	—	(4.2)	F1613
—	⑩	158	遺構外	ⅡX77	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状	沈着 具線緑B(縦) 柄杓A	—	—	ミガキ	—	—	(3.6)	F1614
—	⑩	158	遺構外	ⅡW77	Ⅱa	—	早期 中期	深鉢	口唇平状	具線緑B(縦) 柄杓 A	—	—	濃い具線 緑	—	—	(3.6)	F1615
—	⑩	158	遺構外	ⅡW77	Ⅱa	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇平状	沈着 具線緑B(斜) 柄杓A 器面に 対応して垂直方向 (縦) 工具跡断面 あり	—	ナズ	—	—	—	(3.6)	F1616
—	⑩	158	遺構外	5147	上層	—	早期 中期	深鉢	底状 底面割 込み中央 小突起	横位沈着 沈着部に 具線緑B(縦)	横位沈着 沈着 部に具線緑B (縦)	ナズ	灰化物 (内)	—	—	(4.3)	F1617
—	⑩	158	遺構外	ⅡG66	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇内側 に凸部	横位沈着 沈着部に 具線緑B	—	具線緑 B	—	—	—	(4.9)	F1618
—	⑩	158	遺構外	ⅡP76	Ⅱ~IV	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇平状	横位沈着	—	ナズ	灰化物(内 外)	—	—	(4.2)	F1619
—	⑩	158	遺構外	ⅡJ77	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	—	具線緑押引B 柄杓A	具線緑 B	ナズ	—	—	—	(4.0)	F1620
—	⑩	158	遺構外	ⅡG66	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇平状	具線緑押引A-B	—	具線緑 B	—	—	—	(4.2)	F1621
—	⑩	158	遺構外	ⅡJ77	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	口唇平状	具線緑押引B 柄杓A	—	—	ミガキ	—	—	(5.4)	F1622
—	⑩	158	遺構外	5P282	埋土	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇平状	具線緑押引A	—	ナズ	—	—	—	(4.3)	F1623
—	⑩	158	遺構外	ⅡK76	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状 口唇平状	—	濃い具線 緑	濃い具線 緑	ナズ	—	—	(5.9)	F1624
—	⑩	158	遺構外	ⅡL76	Ⅱb	—	早期 中期	深鉢	底状か 口唇平状	具線緑押引B 具線緑 B	—	—	濃い具線 緑	—	—	(4.7)	F1625
—	⑩	158	遺構外	ⅡP82	Ⅱ~IV	—	早期 中期	深鉢	—	具線緑押引B 具線緑 B	具線緑連続底状	ナズ	灰化物 (外)	—	—	(5.7)	F1626
—	⑩	158	遺構外	ⅡK77	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	底状	ケズリ	ケズリ	ケズリ	—	—	—	(4.9)	F1627
—	⑩	158	遺構外	ⅡU74	トレンチ	—	早期 中期	深鉢	—	—	矢羽状短沈着	具線緑 B	—	—	—	(2.9)	F1628
—	⑩	158	遺構外	ⅡW76	Ⅱ	—	早期 中期	深鉢	—	—	矢羽状短沈着	ナズ	—	—	—	(3.1)	F1629
—	⑩	158	遺構外	ⅡY79	Ⅱ~Ⅲ	—	早期 中期	深鉢	口唇割目	矢羽状短沈着	—	具線緑 B	—	—	—	(3.2)	F1630
—	⑩	158	遺構外	ⅡV77	Ⅱa'	—	早期 中期	深鉢	—	—	ナズ	ナズ	底部乳突状	—	—	(5.5)	F1631
—	⑩	158	遺構外	ⅡY80	Ⅱ~Ⅲ	—	早期 中期	深鉢	平	R線緑(縦)線に具 線緑押引	—	ナズ	—	—	—	(2.6)	F1632
—	⑩	159	遺構外	ⅡJ77	Ⅱ	—	大木10	深鉢	底状 地りのあ る底平状	沈着 L2(縦)	—	口縁部に 隆起 ナズ	—	—	—	(9.0)	F1314
—	⑩	159	遺構外	ⅡG66	I	—	大木10	深鉢	底状 地りのあ る底平状	沈着 横位隆起	—	ナズ	—	—	—	(5.0)	F1306
—	⑩	159	遺構外	ⅡP79	Ⅱ	—	大木10	深鉢	底状 地りのあ る底平状	沈着 L2 柄杓(光澤)	—	ナズ	—	—	—	(5.6)	F1311
—	⑩	159	遺構外	ⅡW77	Ⅱ	—	大木10	深鉢	底状 地りのあ る底平状	沈着	—	ナズ	—	—	—	(3.5)	F1308
—	⑩	159	遺構外	ⅡG67	Ⅱ	—	後期前編 か	深鉢	折返口縁	ナズ	ナズ	ナズ	穿孔L	—	—	(2.1)	F1309
—	⑩	159	遺構外	ⅡJ77	Ⅱ	—	大木10	深鉢	平	沈着 L2(地文 縦)	—	ナズ	灰化物 (内)	—	—	(7.9)	F1312
—	⑩	159	遺構外	ⅡG66	IV	—	大木10	深鉢	平	沈着 L2(地文 縦)	横位隆起 ナズ	—	—	—	—	(4.9)	F1306

第9表 石器観察表(1)

図号	番号	出土 地区	出土 位置	層位	その他 の注記	群種	群種 番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
61	2	遺構内	S11	礫土		磨石		火山礫粗灰岩	41.5	46.0	21.0	74.6	磨面に磨状痕	461
61	4	遺構内	S13	礫土		スルパ-類	a	珪質頁岩	46.8	23.9	8.1	8.2	磨材削片ピグマッサー	179
61	6	遺構内	S15	1層		加工塊		グイサイト	167.0	95.0	28.0	377.9		128
61	12	遺構内	S16	1層	S-4	卵石	回+磨	グイサイト	124.0	106.0	36.0	717.3	側面全周磨打?	1
61	13	遺構内	S16	1層	S-8	卵石	回+磨	グイサイト	167.0	82.0	61.0	897.7		64
61	14	遺構内	S16	1層	S-2	卵石		グイサイト	129.0	77.0	61.0	496.8		53
62	3	遺構内	S17	1層	S-1 皿T01	石皿		安山岩	252.0	206.0	11.0	8900.0		226
63	7	遺構内	S19	1層		磨石		グイサイト	73.0	72.0	46.0	395.8	磨状痕。持ち跡石?	34
63	8	遺構内	S19	1層		安山岩	回+磨	安山岩	91.0	68.0	61.0	367.2		2
63	9	遺構内	S19	1層		半円状扁平打製石器		安山岩	185.0	80.0	21.0	459.1		97
64	3	遺構内	S111	礫土		卵石		安山岩	167.0	80.0	28.0	565.9		3
64	4	遺構内	S111	礫土	南	半円状扁平打製石器		グイサイト	206.0	76.0	22.0	487.5	挾入扁平磨製石器転用?	98
64	5	遺構内	S111	礫土	南	半円状扁平打製石器		輪状岩	158.0	70.0	19.5	241.3		99
64	8	遺構内	S112	礫土		石匙	a	珪質頁岩	26.6	17.9	5.7	2.5	二重ノミ型	55
64	11	遺構内	S113	礫土	南	卵石		安山岩	146.0	87.0	73.0	1086.6		66
66	3	遺構内	S116	pit16		石匙	a	珪質頁岩	27.3	26.5	7.3	4.3	両側削片剥材	56
66	4	遺構内	S116	S-6層	S-3	卵石		粗灰岩砂岩	169.0	82.0	62.0	972.6		4
66	5	遺構内	S116	礫土		卵石		輪状岩	127.0	61.0	40.0	441.8		5
66	6	遺構内	S116	S-6層	S-1	卵石		安山岩	70.0	84.0	54.0	491.6		6
66	7	遺構内	S116	2層	ニ区	石匙	a	珪質頁岩	36.6	41.0	62.5	83.2		261
67	3	遺構内	S118	2層		石匙	a	珪質頁岩	61.9	36.5	8.6	11.5	裏面光沢	287
69	3	遺構内	S119	床面		石皿		グイサイト	536.0	113.0	33.0	1216.2		289
69	4	遺構内	S119	pit18		石皿		グイサイト	131.5	116.5	53.0	660.0	S12-3と同一群種、S46-8と同一群種?	464
70	2	遺構内	S120	3層	南西	石匙	a	珪質頁岩	43.0	34.4	9.4	12.5	下面磨削後再加工、裏面磨削加工?	93
70	3	遺構内	S120	1層	南西	卵石		粗灰岩	102.0	80.0	36.0	383.9		6
70	7	遺構内	S121	西壁		石匙	b	珪質頁岩	(68.6)	(29.6)	(12.0)	(23.7)		128
76	3	遺構内	S122	取層	ハ区	石線	a	珪質頁岩	29.0	10.7	4.6	1.0		2
76	4	遺構内	S122	取層	ハ区	石線未成品		珪質頁岩	(27.1)	11.9	4.6	(1.2)	正面右下部磨面	1
76	5	遺構内	S122	取層	ハ区	石匙	a	珪質頁岩	77.9	23.4	10.2	13.6		89
76	6	遺構内	S122	床面	イ区西	石匙	a	珪質頁岩	73.2	32.1	10.7	(18.9)		89
76	7	遺構内	S122	取層	ハ区	石匙	a	珪質頁岩	(36.9)	27.2	11.3	(7.7)		62
76	8	遺構内	S122	黒褐色土の上	二区北	石匙	a	珪質頁岩	43.0	23.4	7.1	4.7		86
76	9	遺構内	S122	2層	二区北	石匙	a	珪質頁岩	76.8	27.4	12.6	13.4	裏面光沢	86
76	10	遺構内	S122	取層	ロ区西	石匙	b	珪質頁岩	74.3	56.2	12.8	36.4		61
76	11	遺構内	S122	6-7層	ハ区	石匙	a	珪質頁岩	82.2	40.5	10.3	16.4		94
76	12	遺構内	S122	0層	イ区東	石匙	c	珪質頁岩	41.9	69.9	9.9	22.2		59
77	1	遺構内	S122	取層	ロ区西	石匙	a	珪質頁岩	61.3	61.5	19.2	48.3	上面断面再加工	139
77	2	遺構内	S122	取層	ロ区西	石匙	a	珪質頁岩	(52.5)	(43.0)	(23.2)	(46.6)		149
77	3	遺構内	S122	取層	ロ区西	スルパ-類	b	珪質頁岩	63.6	42.0	16.2	61.3	玉髄質	179
77	4	遺構内	S122	取層	ロ区東	スルパ-類	a	珪質頁岩	83.5	46.9	15.4	40.7		128
77	5	遺構内	S122	取層	ロ区東	磨製石斧		綠色岩	69.5	64.5	26.0	167.7	磨切痕。軟熱上面欠失	139
77	6	遺構内	S122	取層	ロ区東	磨製石斧		綠色岩	93.0	46.0	24.0	179.4	磨切痕	129
77	7	遺構内	S122	取層	二区北	卵石		輪状岩	124.0	70.0	50.0	396.8		7
77	8	遺構内	S122	2層	ロ区	卵石		粗灰岩	127.0	70.0	28.0	261.3		19
77	9	遺構内	S122	3層上面	ハ区	卵石	回+磨+接	安山岩	141.0	76.0	25.0	396.6	正面中央磨状、左側面上面部磨痕	8
77	10	遺構内	S122	取層	ニ区	卵石		粗灰岩	79.0	67.0	31.0	215.4		9
77	11	遺構内	S122	取層	ハ区	卵石		グイサイト	70.0	84.0	53.0	426.2	石匙製作ハマ?	57
78	2	遺構内	S122	取層	イ区西	卵石		粗灰岩	134.0	102.0	30.0	486.4		28
78	3	遺構内	S122	2層	ニ区	卵石		輪状岩	119.0	48.0	196.0	124.7		59
78	4	遺構内	S122	2層	ニ区	卵石		粗灰岩	106.0	62.0	22.0	214.7	両側面磨打?	69
78	5	遺構内	S122	3層上面	ハ区	磨石		粗灰岩	134.0	72.5	61.0	666.6		35
78	6	遺構内	S122	3層上面	ハ区	半円状扁平打製石器		安山岩	176.0	84.0	22.0	424.9		101
78	7	遺構内	S122	3層上面	ハ区	半円状扁平打製石器		グイサイト	131.0	62.0	34.0	252.6		100
78	8	遺構内	S122	3層上面	ハ区	半円状扁平打製石器		グイサイト	141.0	79.0	18.0	267.2		102
78	9	遺構内	S122	不明	ニ区西	半円状扁平打製石器		グイサイト	166.5	78.5	21.0	389.5		103
79	1	遺構内	S122	ベルト層 pit19	ニ区	半円状扁平打製石器		グイサイト	163.0	90.0	23.0	508.7		104
79	2	遺構内	S122	取層	ニ区	半円状扁平打製石器		グイサイト	146.0	84.0	23.0	349.2		106
79	3	遺構内	S122	取層	ニ区	半円状扁平打製石器		グイサイト	165.0	67.0	12.0	189.9		107
79	4	遺構内	S122	1層		半円状扁平打製石器		安山岩	178.0	87.0	15.0	254.3		106
79	5	遺構内	S122	3層上面	ハ区	卵石		安山岩	206.0	96.0	66.0	1763.3		280



第9表 石器観察表(2)

図号	番号	出土 地区	出土 位置	層位	その他 の注記	器種	器種 番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
79	6	遺構内	S22	2層	Ⅱ区西	石核	b	珪質頁岩	32.1	72.1	33.3	53.0		262
79	7	遺構内	S22	2層		磨石		火山岩	141.9	96.0	26.9	496.7	半円状扁平打製石器?	149
80	4	遺構内	S23	1層	周辺	石皿	a	珪質頁岩	73.7	41.3	16.2	46.3	刃部破損・欠損	141
80	5	遺構内	S23	1層		即石	即+磨	珪質頁岩	126.0	73.0	47.0	201.7		11
80	6	遺構内	S23	1層		即石		粉砕岩	124.9	46.0	30.0	58.4		12
81	1	遺構内	S23	床面	S-2	磨石		粉砕岩	153.0	72.6	49.0	426.9		61
81	2	遺構内	S23	伊	伊石	台石		デライト	152.0	142.0	72.0	1732.7	被熱	271
81	3	遺構内	S23	床面	S-7	磨石		デライト	111.0	91.0	66.0	961.6		86
81	8	遺構内	S26	礫土	1区	即石	即+磨	デライト	137.0	97.0	36.9	677.2	両側面破行	13
81	9	遺構内	S26	礫土	6区	半円状扁平打製石器		デライト	135.0	81.0	29.9	526.9		198
82	1	遺構内	S26	礫土	1区	石皿		デライト	225.0	145.0	66.0	2600.0		256
82	2	遺構内	S26	床面直上	2区	石皿		火山岩	963.9	322.0	94.9	14799.0	被熱	237
82	8	遺構内	S28	8層		石核	a	珪質頁岩	(27.9)	14.4	4.7	(1.2)		3
82	9	遺構内	S28	礫土		石皿	a	頁岩	78.2	62.4	22.1	81.4	下部断面再加工	143
82	10	遺構内	S28	伊上面	S-1	即石		綠色結核岩	109.0	79.0	36.0	214.6		13
82	11	遺構内	S28	礫土		石皿		火山磨粉砕岩	126.5	130.0	69.0	498.3	磨付	238
82	13	遺構内	S29	礫土		石皿	d	珪質頁岩	76.9	46.6	34.1	87.2	石核?	143
83	4	遺構内	S30	床面		石匙	a	珪質頁岩	67.2	24.3	8.1	9.9	磨付のツバナー	67
83	5	遺構内	S30	礫土		即石		チャート	117.0	79.0	21.0	239.7		15
83	2	遺構内	S32	上層		石核	f	珪質頁岩	(36.1)	16.4	6.5	(3.7)	裏面石縁直・両側面破	4
83	3	遺構内	S32	中層礫土		石核	f	珪質頁岩	(26.2)	17.6	6.1	(2.3)		6
84	4	遺構内	S32	下層		石核	g	珪質頁岩	(22.6)	11.8	4.6	(0.9)		6
85	4	遺構内	S32	下層		石核未成品	h	黒曜石	21.8	17.2	5.7	1.8	石匙?分析no.X2未測定 重量1.94g	294
85	6	遺構内	S32	pit5		石匙	a	珪質頁岩	60.3	34.6	9.7	11.6		68
85	7	遺構内	S32	床面直上	S-1	ツバナー型	a	珪質頁岩	66.5	42.2	11.2	32.6		181
85	8	遺構内	S32	2層		磨製石斧		綠色岩	146.0	81.0	33.0	411.2	磨切痕	130
86	1	遺構内	S32	中層		即石		火山磨粉砕岩	106.0	96.0	63.0	641.1	被熱	16
86	2	遺構内	S32	pit4		即石		火山岩	131.0	66.0	34.0	376.0		17
86	3	遺構内	S32	床面直上		即石		火山岩	96.0	72.0	46.0	378.0		18
86	4	遺構内	S32	床面直上	S-2	磨石		焼成岩	86.0	78.0	69.0	420.6		87
86	5	遺構内	S32	中層		磨石		火山岩	101.0	111.0	41.0	491.1		62
86	6	遺構内	S32	床面直上	S-3	磨石		火山岩	109.0	105.0	73.0	1992.1		88
86	7	遺構内	S32	伊	伊石18	石皿		デライト	170.0	189.0	43.0	2110.1	被熱	239
86	8	遺構内	S32	伊	伊石4	即石		デライト	247.0	163.0	50.0	3200.0		241
86	9	遺構内	S32	床面直上		石核	a	珪質頁岩	46.7	59.6	49.1	94.2	裏面右上方破損?	263
87	1	遺構内	S32	礫土		両面磨製石核		珪質頁岩	(66.5)	46.1	21.9	(59.4)	裏面磨製痕	245
87	2	遺構内	S32	床面直上	S-6	磨石		デライト	93.6	66.0	44.6	490.4		141
87	4	遺構内	S32	伊周辺		石匙	a	珪質頁岩	55.8	26.9	7.9	12.2	裏上面被熱による欠損?	69
87	5	遺構内	S32	上層		ツバナー型	a	珪質頁岩	66.1	46.7	15.3	22.7	刃部破損	182
88	8	遺構内	S32	礫土		即石		デライト	123.0	78.0	26.9	517.9		19
88	9	遺構内	S32	礫土		即石		火山岩	91.0	71.0	38.0	236.8		29
88	10	遺構内	S32	伊	伊石6	石皿		粉砕岩	176.0	210.0	28.0	1210.9	被熱	243
89	3	遺構内	S36	礫土		石核	f	珪質頁岩	19.8	9.4	3.8	9.6	ツバナー	8
90	4	遺構内	S36	礫土		石核	f	珪質頁岩	39.0	16.9	4.4	2.4	先端部未形成?	7
90	5	遺構内	S36	9層		石皿	b	珪質頁岩	(63.1)	47.0	14.3	(36.9)		144
90	6	遺構内	S36	pit5		ツバナー型	a	珪質頁岩	109.4	(46.1)	10.7	(48.3)		184
90	7	遺構内	S36	礫土		ツバナー型	a	珪質頁岩	69.0	45.0	15.1	20.6		183
90	8	遺構内	S36	9層		磨製石斧		綠色岩	44.6	36.6	10.0	28.6	磨切痕、基部破片	131
90	9	遺構内	S36	8層	S-4(伊石)	石皿		火山岩	202.0	299.0	81.0	800.0	被熱	242
90	10	遺構内	S36	礫土		石皿		火山岩	279.0	460.0	80.0	19600.0		243
91	1	遺構内	S36	pit7		石核	a	珪質頁岩	39.7	66.4	46.7	96.0		264
91	2	遺構内	S36	礫土		加工塊		火山岩	145.0	94.0	26.9	445.7	半円状扁平打製石器?	142
91	10	遺構内	S36	2層	Ⅱ区76	石核	f	珪質頁岩	21.3	11.6	2.6	0.4	ツバナー	12
91	11	遺構内	S36	礫土		石核	f	珪質頁岩	23.7	16.1	4.9	(1.3)	被熱による割傷	10
91	12	遺構内	S36	礫土		石核	d	珪質頁岩	26.0	12.8	4.6	1.3		9
91	13	遺構内	S36	2層	Ⅱ区76	石核未成品		珪質頁岩	37.6	17.0	6.8	3.7	先端部未形成	11
91	14	遺構内	S36	上層		石匙	a	珪質頁岩	65.6	25.8	9.2	12.3		7
91	16	遺構内	S36	2層	Ⅱ区76	石匙	a	珪質頁岩	61.4	33.2	17.9	17.7		79
91	16	遺構内	S36	2層	Ⅱ区76	石匙	a	珪質頁岩	44.1	15.6	6.9	2.9		71
91	17	遺構内	S36	2層	Ⅱ区76	石匙	a	珪質頁岩	(47.2)	(28.7)	8.2	(7.4)	被熱による割傷	72
91	18	遺構内	S36	上層		石匙	a	珪質頁岩	(69.7)	(39.0)	(18.7)	(36.2)	上部被熱痕	145
91	19	遺構内	S36	礫土		ツバナー型	b	珪質頁岩	106.1	33.4	16.2	69.0		186
92	1	遺構内	S36	礫土		磨製石斧		綠色岩	74.9	24.6	9.9	26.7	被熱	132
92	2	遺構内	S36	8層		即石		焼成岩	130.9	74.0	32.0	414.8		221

第9表 石器観察表(3)

図号	番号	出土 地区	出土 位置	層位	その他 の注記	器種	器種 区分	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
90	3	遺構内	S136	上層		礫石		褐色岩	126.0	69.0	30.0	346.9	磨切痕	63
90	4	遺構内	S136	埋土		卵石		安山岩	91.0	85.0	48.0	479.7		32
90	5	遺構内	S136	埋土		平円状扁平打製石核		ブライタイト	153.0	78.0	19.0	323.4		109
90	6	遺構内	S136	目土層		石核	a	珪質頁岩	30.0	91.0	48.4	119.0		266
90	9	遺構内	S138	2層		石核	c	珪質頁岩	38.3	61.3	11.0	18.3		74
90	1	遺構内	S138	1~2層	1979	磨石	磨+凹	ブライタイト	146.0	66.0	43.0	744.1	磨痕、磨切痕	33
90	2	遺構内	S138	1~2層		磨石		安山岩	77.0	90.0	74.0	658.4		64
90	5	遺構内	S139	埋土		磨石		ブライタイト	122.0	63.0	28.0	331.6	石核?	128
90	4	遺構内	S140	下層		スラバノ礫	a	珪質頁岩	(41.9)	39.0	10.7	(19.2)		189
90	5	遺構内	S140	下層		磨製石片		緑色岩	39.0	39.0	19.0	41.8		136
90	6	遺構内	S140	下層		磨製石片		緑色岩	66.0	23.0	10.0	24.5	磨切痕	134
90	7	遺構内	S140	上層		磨製石片		緑色岩	59.0	86.0	27.5	80.6	上部磨欠失	133
90	8	遺構内	S140	2層	S-2	卵石		褐色岩	202.0	61.0	33.0	483.2		24
90	4	遺構内	S141	1層	ハ区	石核	a	珪質頁岩	(76.9)	(29.1)	19.0	(31.2)		146
90	5	遺構内	S141	埋土		スラバノ礫	a	珪質頁岩	186.7	61.8	34.8	171.8	裏面刃部欠失	187
90	6	遺構内	S141	1層	ロ区	卵石		粉砂岩	127.0	69.0	30.0	366.0		25
90	7	遺構内	S141	1層	ハ区	平円状扁平打製石核		ブライタイト	88.0	130.0	19.0	336.8	上部欠損面から再加工	110
90	1	遺構内	S143	埋土		石核	a	珪質頁岩	83.9	22.1	12.5	14.9	裏面刃部欠失?	75
90	2	遺構内	S143	目土層	重T77	石核	a	珪質頁岩	(91.4)	(38.0)	(28.4)	(50.9)		147
90	3	遺構内	S143	埋土		磨石		凝灰岩	165.0	51.5	30.5	407.6		66
90	4	遺構内	S143	埋土		卵石		凝灰岩	133.0	100.0	36.0	660.3		58
90	5	遺構内	S143	埋土		卵石		安山岩	161.0	72.0	30.0	439.3	強い凹状の磨打	67
90	6	遺構内	S143	埋土		磨石		褐色岩	128.0	80.5	18.0	213.3		66
90	7	遺構内	S143	埋土		平円状扁平打製石核		安山岩	66.0	89.0	11.0	69.9		111
90	10	遺構内	S144	砂土層		石核	a	珪質頁岩	85.0	88.2	74.9	579.1	正面上部磨欠失(磨一筋)・底面	266
100	1	遺構内	S145a	埋土		石核	d	珪質頁岩	27.1	(15.0)	4.1	(1.3)	正面左側縁磨切痕	13
100	2	遺構内	S145a	埋土		石核	e	珪質頁岩	(25.3)	(12.8)	(3.2)	(0.9)		14
100	3	遺構内	S145a	埋土		スラバノ礫	b	珪質頁岩	36.5	33.5	11.5	11.1		190
100	4	遺構内	S145a	埋土		スラバノ礫	a	珪質頁岩	77.1	40.2	9.9	26.9		188
100	5	遺構内	S145a	埋土		スラバノ礫	a	珪質頁岩	44.6	33.7	8.5	11.1		189
100	6	遺構内	S145a	埋土		卵石		凝灰質砂岩	149.0	107.0	30.0	531.6	裏面に"Z"字	27
100	7	遺構内	S145a	埋土		磨石		ブライタイト	137.0	63.0	23.0	267.3	正面中央・右側縁磨打	68
100	8	遺構内	S145a	埋土		石核	a	珪質頁岩	51.9	44.4	30.0	75.1		267
100	5	遺構内	S145b	埋土		石核	a	珪質頁岩	(18.7)	8.9	3.7	(0.6)	未成片?	15
100	6	遺構内	S145b	埋土		石核	b	珪質頁岩	33.4	25.7	7.6	4.1		191
100	7	遺構内	S145b	埋土		スラバノ礫	a	珪質頁岩	53.5	37.9	13.8	22.7		76
100	8	遺構内	S145b	埋土		平円状扁平打製石核		ブライタイト	191.0	117.0	21.0	629.1	挿入部用? 刃部断面扁平一筋走り割痕	112
100	9	遺構内	S145b	埋土		卵石		粉砂岩	137.0	69.0	37.0	436.9		28
100	1	遺構内	S147	埋土		石核	a	珪質頁岩	63.8	23.4	10.6	10.4		77
100	2	遺構内	S147	上層		石核	a	珪質頁岩	72.4	39.2	12.3	32.6		78
100	3	遺構内	S147	上層		石核	a	珪質頁岩	(37.9)	19.7	(7.6)	(7.5)	裏面光沢	79
100	4	遺構内	S147	3~4層	1979	スラバノ礫	b	珪質頁岩	82.6	29.2	16.8	23.7		192
100	5	遺構内	S147	上層		磨製石片		緑色岩	70.0	38.5	26.5	109.5	磨切痕	136
100	6	遺構内	S147	埋土		磨製石片		緑色岩	47.0	47.0	22.0	77.2	磨切痕。磨欠失	137
100	7	遺構内	S147	上層		卵石		ブライタイト	137.0	100.0	33.0	572.8		29
100	8	遺構内	S147	上層		磨石		ブライタイト	142.0	87.0	21.0	376.8		69
100	9	遺構内	S147	上層		磨石		ブライタイト	128.0	62.0	42.0	439.9		70
100	10	遺構内	S147	3~4層	1979	磨石		ブライタイト	172.0	100.0	31.0	401.4		71
100	11	遺構内	S147	上層		石豆		安山岩	498.0	466.0	60.0	1650.0		244
100	12	遺構内	S147	上層		平円状扁平打製石核		安山岩	198.0	96.0	16.0	184.7		113
100	13	遺構内	S147	上層		台石	磨+磨	安山岩	179.0	123.0	77.0	2294.9		281
100	14	遺構内	S147	2層		両面磨製石核		珪質頁岩	(42.0)	(31.9)	8.3	(10.3)		246
100	4	遺構内	S150	埋土		磨石		安山岩	88.0	68.0	28.0	218.8	石核?	72
100	2	遺構内	S151a	埋土		石核	a	珪質頁岩	(26.8)	15.2	4.1	(1.6)		16
100	3	遺構内	S151a	埋土		スラバノ礫	a	珪質頁岩	(27.4)	(22.2)	7.6	(4.3)	上部磨欠失?	190
100	4	遺構内	S151a	埋土		卵石		凝灰質砂岩	90.0	78.0	25.0	232.2		30
100	5	遺構内	S151a	埋土		磨石		ブライタイト	169.0	86.0	86.0	906.0	磨欠失	89
100	6	遺構内	S151a	埋土		平円状扁平打製石核		安山岩	92.6	100.0	25.0	200.5	刃部左側縁?	114
100	7	遺構内	S151a	埋土		石核	c	珪質頁岩	67.9	63.1	36.4	132.2		268
100	1	遺構内	S151a	埋土		磨石		ブライタイト	127.0	67.0	26.0	316.9		143
100	5	遺構内	S151b	埋土		石核	a	珪質頁岩	(24.5)	10.1	3.1	(0.8)	黒色付着物?	17
100	9	遺構内	S152	①層		卵石	凹+磨	凝灰質砂岩	141.0	86.0	51.0	487.9		31
100	10	遺構内	S152	②層		卵石		粉砂岩	106.0	102.0	27.0	431.7		32

第9表 石器観察表(4)

図号	番号	出土 地層	出土 位置	層位	その他 の注記	器種	器種 番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
106	11	遺構内	S162	①層		敲石		灰山岩	114.0	68.0	56.0	339.9		73
106	12	遺構内	S162	①層		半円状扁平打 製石器		灰山岩	164.0	71.0	24.0	948.3		115
106	13	遺構内	S162	礫土		石皿		デイサイト	168.0	115.0	37.0	1046.5		245
106	14	遺構内	S162	礫土		両面磨製石器		珪質頁岩	53.8	27.7	10.2	14.0		247
106	7	遺構内	S163	上層		石銃	a	珪質頁岩	46.5	32.9	7.9	19.9		89
106	8	遺構内	S163	礫土		石銃	a	珪質頁岩	(64.1)	27.1	10.7	(7.9)		81
106	9	遺構内	S163	礫土		石銃	a	珪質頁岩	(47.0)	(29.4)	(6.5)	(5.7)	正裏面刃部欠状	82
106	10	遺構内	S163	上層		スライダ型	a	珪質頁岩	31.9	(45.5)	13.8	(17.5)		194
106	11	遺構内	S163	上層		即石		凝灰質砂岩	123.0	64.0	35.0	239.5		23
106	12	遺構内	S163	上層		即石		焼成岩	121.0	73.0	29.0	245.9		24
106	13	遺構内	S163	上層		敲石	敲・磨	灰山岩	75.0	68.0	46.0	254.7	磨一磨打	30
106	14	遺構内	S163	上層		磨石		ひん岩	101.0	89.0	44.0	869.1		91
106	15	遺構内	S163	上層		磨石		デイサイト	75.0	66.0	26.0	136.0		92
107	1	遺構内	S163	上層		磨石		焼成岩	117.0	82.0	39.0	301.5	正面は割面利用の磨石部分?	93
107	2	遺構内	S163	上層		半円状扁平打 製石器		灰山岩	122.0	70.0	16.0	169.4		116
107	3	遺構内	S163	下層		半円状扁平打 製石器		デイサイト	85.0	83.0	16.0	152.6		117
107	4	遺構内	S163	上層		石皿		デイサイト	152.0	139.0	45.5	1148.4		246
107	5	遺構内	S163	上層		石皿		デイサイト	94.0	224.0	71.0	9090.9	被熱	247
107	6	遺構内	S163	床面	S-8	石皿		デイサイト	208.0	266.0	89.0	10090.0	被熱	250
107	7	遺構内	S163	床面	S-7	石皿		デイサイト	263.0	291.0	63.0	4890.0	被熱	249
107	8	遺構内	S163	上層		石皿		灰山岩	239.0	215.0	69.0	7290.0	被熱	248
108	1	遺構内	S163	上層		石銃	a	珪質頁岩	63.8	74.5	76.0	235.9		259
108	2	遺構内	S163	上層		石銃	a	珪質頁岩	70.4	104.7	52.7	492.7		270
109	1	遺構内	S163	上層		敲石		凝灰岩	158.0	67.0	28.0	281.0		144
109	2	遺構内	S163	上層		加工物		焼成岩	114.0	67.0	26.0	276.3	敲石?	146
110	4	遺構内	S166	1層		即石		凝灰岩	77.0	62.0	60.0	294.2		35
110	5	遺構内	S166	1層		即石		火山礫凝灰岩	139.0	83.0	22.0	321.9		36
110	6	遺構内	S166	1層		即石		火山礫凝灰岩	126.0	66.0	26.0	304.7		37
110	7	遺構内	S166	礫土		即石		灰山岩	118.0	70.0	35.0	381.1		38
110	8	遺構内	S166	礫土		即石		焼成岩	92.0	76.0	44.0	319.3		39
110	9	遺構内	S166	1層		敲石		灰山岩	92.0	83.0	45.0	307.6		74
110	10	遺構内	S166	1層		敲石	敲・磨	灰山岩	115.0	131.0	85.0	1801.1		75
110	11	遺構内	S166	礫土		敲石		火山礫凝灰岩	138.0	82.0	40.0	499.4	右側面磨面?	76
111	1	遺構内	S166	上層		半円状扁平打 製石器		デイサイト	104.0	67.0	22.0	209.9	刃部左側縁	118
111	2	遺構内	S166	上層		石銃	c	珪質頁岩	85.9	74.2	43.9	201.7		271
111	7	遺構内	S166	礫土		石銃	c	珪質頁岩	66.2	38.2	9.2	14.9		132
111	8	遺構内	S166	床面直上		半円状扁平打 製石器		灰山岩	81.0	47.0	19.0	53.9	下部欠損後摩滅	82
111	9	遺構内	S166	床面直上		敲石		焼成岩	162.0	76.5	31.0	483.6	溝い凹状の磨打	77
111	10	遺構内	S166	礫土		半円状扁平打 製石器		デイサイト	117.0	77.0	18.0	219.7		119
111	1	遺構内	S166	礫土		半円状扁平打 製石器		灰山岩	194.5	82.5	18.0	389.3		120
112	2	遺構内	S166	床面直上		半円状扁平打 製石器		灰山岩	249.0	69.0	24.0	505.5	上半部破損後刃部磨滅	121
112	3	遺構内	S166	床面直上		石皿		デイサイト	345.0	237.0	65.0	10100.0	被熱	251
112	4	遺構内	S166	上層		石銃	a	珪質頁岩	89.4	66.1	41.4	237.0		272
115	1	遺構内	S169	床面	S-2	石銃	g	珪質頁岩	(22.3)	15.6	5.8	(1.6)		18
115	2	遺構内	S169	上層		スライダ型	b	珪質頁岩	(32.9)	(22.4)	8.3	(5.9)		196
115	3	遺構内	S169	礫土	S-1	石銃	a	珪質頁岩	139.1	36.9	17.2	76.1		60
115	4	遺構内	S169	上層		即石	即・敲	焼成岩	161.0	66.0	24.0	241.8		41
115	5	遺構内	S169	1層		即石		焼成岩	226.0	83.0	62.0	904.1		40
115	6	遺構内	S169	上層		両面磨製石器		珪質頁岩	93.8	66.0	22.8	131.1		249
115	7	遺構内	S169	1層		加工物		灰山岩	169.0	71.5	19.5	277.3	被熱、両側縁側加工	145
115	11	遺構内	S180	床面5~10cm		石銃	c	珪質頁岩	(52.9)	39.5	7.5	(9.4)		84
115	12	遺構内	S180	礫土		石銃	b	珪質頁岩	45.1	61.6	8.6	14.4	正裏面刃部等欠状	85
115	13	遺構内	S180	2層		磨石		デイサイト	55.0	46.0	26.0	101.7	磨状底、持ち縁石?	94
115	14	遺構内	S180	床・上10cm		磨石	磨・敲	デイサイト	165.0	66.0	23.0	303.4	正面磨面に磨状底	96
115	15	遺構内	S180	床・上10cm		半円状扁平打 製石器		灰山岩	96.9	60.0	16.0	127.0		123
116	1	遺構内	S190	礫土		石銃	a	珪質頁岩	91.0	67.6	83.0	693.7		273
116	5	遺構内	S191	床面	S-3	石皿		デイサイト	381.0	253.0	62.0	11509.0		253
116	6	遺構内	S191	床面	S-2	石皿		灰山岩	235.0	229.5	87.0	7196.0		252
116	7	遺構内	S191	床面	S-1	石皿		灰山岩	221.0	402.0	118.0	17960.0		254
116	8	遺構内	S191	礫土		両形石器		珪質頁岩	46.4	29.1	7.7	6.7	スライダ型?	259
117	2	遺構内	S192	礫土		両面磨製石器		珪質頁岩	(32.9)	(33.5)	11.5	(13.9)	C'x3-x3x3-磨片?	249

第9表 石器観察表(5)

図号	層号	出土 部位	出土 位置	層位	その他 の注記	群種	群種 番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
117-4	遺構内	S163	床面	S-1		石皿		グレイサイト	303.0	241.0	67.0	6000.0	被熱	255
117-5	遺構内	S163	床面直上			石皿		グレイサイト	660.0	282.0	73.0	12200.0		256
121-1	遺構内	S166	埋土	S-1		スルパ <sup>ハ</sup> -型	a	珪質頁岩	38.8	25.5	9.6	7.7		43
121-6	遺構内	S166	5層			凹石		安山岩	83.0	69.0	46.0	330.4		43
121-7	遺構内	S166	4層			凹石		鮎沢岩	103.0	76.0	62.0	644.0	被熱割傷	45
121-8	遺構内	S166	6層			敲石		珪質頁岩	90.0	79.0	67.0	500.3		78
121-9	遺構内	S166	埋土			敲石	敲+磨	安山岩	102.0	83.0	60.0	724.7	磨→敲打	79
121-10	遺構内	S166	16層			平円状磨平打製石皿		グレイサイト	147.0	87.0	21.0	379.1	被熱	124
121-11	遺構内	S166	16層			平円状磨平打製石皿		グレイサイト	141.0	121.0	24.0	615.7	被熱	125
122-1	遺構内	S166	6層			石皿		グレイサイト	186.0	228.0	29.0	1600.0	被熱	257
122-2	遺構内	S166	6層	伊石	S-7	石皿		グレイサイト	218.0	229.0	36.0	3025.9	被熱	279
122-3	遺構内	S166	6層			石皿		安山岩	407.0	207.0	67.0	4000.0	被熱、溝状痕跡?/?	258
104-2	遺構内	S166	4層			石皿状成品		珪質頁岩	29.8	18.9	5.7	1.9	石皿?	39
124-3	遺構内	S166	埋土			スルパ <sup>ハ</sup> -型	b	珪質頁岩	(48.0)	(50.6)	11.8	(14.2)		137
124-4	遺構内	S166	埋土	T-6付近		凹石	凹+敲	火山礫凝灰岩	169.0	78.0	63.0	600.1		44
124-5	遺構内	S166	埋土	S-1		石皿		グレイサイト	270.0	224.0	76.0	9020.0	被熱	259
124-6	遺構内	S166	9層			石皿	a	珪質頁岩	122.5	107.9	79.4	1909.0	上部被熱割傷?	274
124-8	遺構内	S167	埋土	S-1		スルパ <sup>ハ</sup> -型	b	珪質頁岩	(46.2)	53.3	15.2	(24.2)		126
125-4	遺構内	S171	埋土			石皿	a	珪質頁岩	(29.9)	(24.9)	(9.6)	(8.2)		148
125-6	遺構内	S171・72	埋土			凹石		流紋岩	138.0	118.0	54.0	1272.4		45
125-12	遺構内	S172	埋土			石皿	a	珪質頁岩	(41.5)	(24.6)	6.7	(5.9)		86
125-13	遺構内	S172	埋土			石皿	b	珪質頁岩	84.0	47.4	20.6	75.3		149
125-14	遺構内	S172	埋土			スルパ <sup>ハ</sup> -型	b	珪質頁岩	69.2	41.8	14.9	46.2	石皿?	199
125-15	遺構内	S172	埋土			凹石		緑色鮎沢岩	118.0	66.0	47.5	405.6		46
125-16	遺構内	S172	埋土			凹石	凹+敲	安山岩	90.0	75.0	27.0	275.6	右側面敲打痕	47
125-1	遺構内	S172	埋土			敲石	敲+磨	流紋岩	178.0	79.0	48.0	885.3	磨→敲打、磨状痕	80
125-2	遺構内	S172	埋土			敲石	敲+磨	安山岩	91.0	85.0	48.5	549.8		51
125-3	遺構内	S172	埋土			敲石		流紋岩	150.0	64.0	51.0	616.3	磨状痕	82
125-4	遺構内	S172	埋土			挿入品平磨製石皿		安山岩	198.0	82.0	16.0	211.8		126
125-5	遺構内	S172	埋土			敲石		安山岩	149.5	80.0	33.5	886.4	加工痕?	147
125-6	遺構内	S172	埋土			石核	a	珪質頁岩	73.7	89.4	64.1	339.0		275
127-7	遺構内	S173	下層			石皿	b	珪質頁岩	70.5	38.8	12.7	21.6		159
127-8	遺構内	S173	II a層			スルパ <sup>ハ</sup> -型	a	珪質頁岩	61.9	31.0	16.0	23.0	正面右よ?/?	200
127-9	遺構内	S173	下層			珪質頁岩		珪質頁岩	61.8	35.3	10.5	(14.0)		201
128-1	遺構内	S173	II a層			凹石		鮎沢岩	190.0	72.0	42.0	661.8		48
128-2	遺構内	S173	II a層			凹石		鮎沢岩	131.0	100.0	36.0	566.0		49
128-3	遺構内	S173	II a層			凹石		鮎沢岩	156.0	73.0	39.0	619.6		50
128-4	遺構内	S173	下層			凹石		火山礫凝灰岩	90.0	67.0	45.0	202.6	被熱	51
128-5	遺構内	S173	下層			凹石		緑色鮎沢岩	77.0	67.0	41.0	329.1		52
128-6	遺構内	S173	下層			敲石		流紋岩	157.0	83.0	23.0	407.4		85
128-7	遺構内	S173	下層			磨石	磨+敲	流紋岩	116.0	72.0	42.0	698.1		96
128-8	遺構内	S173	II a層			平円状磨平打製石皿		安山岩	147.0	68.0	18.0	230.0	正磨研痕、磨状痕	127
128-9	遺構内	S173	II a層			石核	b	珪質頁岩	67.3	32.8	25.2	47.7		276
130-6	遺構内	SK3	中層			石皿	a	珪質頁岩	(61.1)	(21.9)	9.7	(11.4)	正磨研方角光沢	87
130-7	遺構内	SK3	8層			石皿	a	珪質頁岩	(26.6)	(23.5)	8.3	(7.6)	裏面不光沢、被熱により上部割傷	88
130-8	遺構内	SK3	上層			スルパ <sup>ハ</sup> -型	b	珪質頁岩	94.0	72.0	41.1	181.4	石皿?	202
130-9	遺構内	SK3	上層			凹石	凹+敲	流紋岩	157.0	88.0	27.0	383.1		148
130-10	遺構内	SK3	上層			敲石		鮎沢岩	149.0	86.0	44.0	490.0		176
130-11	遺構内	SK3	上層			平円状磨平打製石皿		鮎沢岩	126.0	74.0	21.0	269.8	未成品?	184
132-1	遺構内	SK10	4層			石皿	a	珪質頁岩	77.8	46.0	23.9	73.3	下層欠損後再加工	151
132-2	遺構内	SK10	下層			凹石	凹+磨+敲	グレイサイト	129.0	63.0	36.0	342.0		149
132-3	遺構内	SK10	4層			両面磨製石皿		珪質頁岩	52.8	36.9	23.2	40.4	石皿?	250
132-4	遺構内	SK10	6層			両面磨製石皿		珪質頁岩	62.5	26.9	16.2	17.8	石皿?	251
132-7	遺構内	SK15	1層	S-1		石核	g	珪質頁岩	32.7	12.9	4.4	2.0	先端部折損後再加工か	20
132-8	遺構内	SK15	6層	S-7		石皿状成品		珪質頁岩	(29.6)	18.1	8.8	(4.7)	正磨研折損後再加工	31
132-9	遺構内	SK15	1層	S-9		磨製石核		緑色岩	103.0	45.0	20.0	199.3	磨切痕	196
132-10	遺構内	SK15	1層			磨製石核		緑色岩	130.0	51.0	18.0	119.1	磨切痕、上下両刃	199
132-13	遺構内	SK18	下層			石核	d	珪質頁岩	23.7	14.4	4.4	1.2		22
132-14	遺構内	SK18	下層			石核	a	珪質頁岩	26.2	12.6	4.9	1.4		23
132-15	遺構内	SK18	下層			石皿	a	珪質頁岩	(59.9)	48.2	9.7	(22.4)		89
132-16	遺構内	SK18	埋土			スルパ <sup>ハ</sup> -型	a	珪質頁岩	391.5	75.8	33.4	523.7		203
133-1	遺構内	SK18	埋土			平円状磨平打製石皿		グレイサイト	183.0	69.0	21.0	296.5	挿入部用?基部の方向磨面より字状	185

第9表 石器観察表(6)

図号	番号	出土 層位	出土 位置	層位	その他 の注記	器種	器種 番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
133	2	遺構内	SK18	埋土		半円状扁平打製石鏃		デイトライト	170.0	77.0	28.0	389.7		186
133	3	遺構内	SK18	1~2層		半円状扁平打製石鏃		デイトライト	187.0	66.0	15.0	286.0		187
133	4	遺構内	SK19	1層		石鏃	c	瑠璃質母	(69.3)	17.2	11.6	(10.3)	石鏃?	81
133	5	遺構内	SK21	中層	S-4	凹石		安山岩	159.0	75.0	32.0	423.5		150
134	1	遺構内	SK21	11層	S-16	磨石	磨・敲	安山岩	160.0	81.0	31.0	729.5		176
134	2	遺構内	SK21	11層		半円状扁平打製石鏃		安山岩	165.0	61.0	17.0	250.6	割離面・磨面風化	188
134	3	遺構内	SK22	1~2層		石鏃	a	瑠璃質母	76.9	49.3	12.3	34.0		90
134	4	遺構内	SK22	埋土		2つ穴1型	a	瑠璃質母	(41.4)	21.5	7.5	(7.2)		204
134	5	遺構内	SK22	埋土		両面磨製石鏃		瑠璃質母	65.4	24.5	14.2	19.0		123
134	6	遺構内	SK22	埋土		石鏃		瑠璃質母	41.9	15.4	5.7	5.2	尖端破壊	252
134	8	遺構内	SK23	埋土		凹石		凝灰岩	206.0	81.0	42.0	820.4		181
134	9	遺構内	SK23	埋土		凹石	凹・敲	安山岩	96.0	67.0	27.0	217.9		152
134	10	遺構内	SK23	埋土		半円状扁平打製石鏃		デイトライト	85.0	80.0	23.0	185.1		189
134	11	遺構内	SK23	埋土		加工塊		凝灰岩	161.0	50.0	19.0	172.0		207
135	6	遺構内	SK25	埋土		石鏃未成体	h	瑠璃質母	22.8	11.9	4.4	0.9	80%の磨材、先端打製部加工か	54
135	7	遺構内	SK25	埋土		石鏃	a	瑠璃質母	(43.1)	(27.3)	(10.2)	(11.0)	削跡?	91
135	8	遺構内	SK25	底直		敲石		安山岩	167.0	89.0	31.0	695.2	磨石?	208
135	9	遺構内	SK28	6層上層		石鏃	b	瑠璃質母	79.0	36.9	8.4	15.8	基部尖鋭、異形石鏃	62
135	10	遺構内	SK28	埋土		石鏃	b	瑠璃質母	52.7	61.7	9.1	18.9	基部尖鋭	90
135	9	遺構内	SK28	埋土		2つ穴1型	a	瑠璃質母	59.9	21.8	7.0	6.3	正裏面尖鋭	206
135	11	遺構内	SK28	6層		凹石	凹・敲	凝灰岩	170.0	61.0	41.0	665.9		153
135	13	遺構内	SK30	6層		石鏃	a	瑠璃質母	63.9	24.6	9.1	7.4		93
135	14	遺構内	SK30	6層		磨製石鏃		ホルンフェルト	64.0	13.0	5.0	10.6	刃部中心に研磨	200
135	15	遺構内	SK30	6層		凹石		凝灰岩	175.0	68.0	42.5	439.8		154
137	4	遺構内	SK31	底直上直		石鏃	f	瑠璃質母	36.0	18.9	4.0	2.6		25
137	6	遺構内	SK31	4層		凹石		凝灰岩	104.0	64.0	37.0	204.3		152
137	6	遺構内	SK31	上層		石鏃		凝灰岩	86.0	72.0	33.0	196.4	凹縁	206
137	10	遺構内	SK32	上層		石鏃	f	瑠璃質母	20.5	14.7	2.5	0.6		25
137	11	遺構内	SK32	下層		凹石		安山岩	113.0	73.0	48.0	402.4		156
137	12	遺構内	SK32	下層		敲石		火山礫凝灰岩	199.0	82.0	33.0	789.2	被蝕	177
138	6	遺構内	SK33	埋土		2つ穴1型	a	瑠璃質母	141.2	41.7	18.1	69.9		206
138	6	遺構内	SK33	埋土直下		磨製石鏃		粉砕岩	35.0	15.0	8.0	5.8	被蝕	201
138	11	遺構内	SK36	埋土直下		石鏃未成体	h	瑠璃質母	35.8	(17.3)	4.3	(2.1)	正裏面基部は研磨の可能性がある	27
138	12	遺構内	SK36	埋土直下		磨製石鏃		綠色岩	61.0	40.0	17.0	73.9	上部前面磨蝕	202
138	15	遺構内	SK36	2層		2つ穴1型	a	瑠璃質母	30.6	39.3	15.1	15.7		207
138	21	遺構内	SK41	上層		両面磨製石鏃		瑠璃質母	(68.1)	(32.3)	(16.3)	(27.4)	黒色付着物、被蝕により正裏面割傷	253
138	25	遺構内	SK43	中層		凹石		安山岩	135.0	81.0	40.0	602.0		157
138	27	遺構内	SK46	埋土		2つ穴1型	a	瑠璃質母	(30.9)	(34.8)	(6.5)	(7.4)	被蝕による欠損・割傷	206
139	5	遺構内	SK48	上層		2つ穴1型	a	瑠璃質母	55.5	43.0	16.6	23.1		209
139	6	遺構内	SK48	下層		2つ穴1型	a	瑠璃質母	(38.4)	(33.3)	(6.3)	(8.6)		210
139	9	遺構内	SK52	埋土		凹石		凝灰岩	152.0	69.0	26.0	350.1		158
140	2	遺構内	SK54	6層		磨石		凝灰岩	58.0	65.0	41.0	204.1	縁石?	182
140	3	遺構内	SK54	中層		半円状扁平打製石鏃		デイトライト	94.0	87.0	29.0	227.7		190
141	3	遺構内	SK63	底直上直		石鏃	f	瑠璃質母	(26.0)	11.9	3.2	(0.7)	アフリカ、正裏面側面上部は先端への衝撃割傷痕?	28
141	4	遺構内	SK63	底直	F-4と同位置	石鏃		デイトライト	254.0	171.0	74.0	4400.0		262
142	3	遺構内	SK72	4層		石鏃	a	瑠璃質母	75.4	35.2	8.7	29.2	正裏面尖鋭	94
142	4	遺構内	SK72	埋土		石鏃	a	瑠璃質母	67.7	38.2	7.0	9.5		212
142	5	遺構内	SK72	埋土		2つ穴1型	b	瑠璃質母	35.3	45.2	9.8	13.2		93
142	6	遺構内	SK72	埋土		2つ穴1型	a	瑠璃質母	45.4	15.7	5.0	4.3		212
142	9	遺構内	SK76	埋土		石鏃	a	瑠璃質母	85.2	36.6	23.5	59.3		151
142	10	遺構内	SK76	埋土		2つ穴1型	a	瑠璃質母	76.7	63.1	29.0	88.0	両側縁両端打込	213
142	11	遺構内	SK76	埋土		2つ穴1型	b	瑠璃質母	67.6	48.4	24.2	79.6		214
142	12	遺構内	SK76	埋土	S-2	挿入部有磨製石鏃		安山岩	126.0	87.0	34.0	433.6	半円状扁平打製石鏃?	191
143	2	遺構内	SK79	底付近	S-1	凹石	凹・磨	凝灰岩	72.0	67.0	36.0	220.2		160
143	3	遺構内	SK79	14層上層		凹石	凹・磨	デイトライト	204.0	96.0	35.0	742.7	被蝕	150
143	4	遺構内	SK79	12層上層	S-3	半円状扁平打製石鏃		粉砕岩	203.0	68.0	33.0	448.8		192
143	5	遺構内	SK79	14層上層	S-2	石鏃		デイトライト	252.0	400.0	103.0	1461.5	接合品	253
143	6	遺構内	SK79	6層上層		石鏃		デイトライト	252.0	400.0	103.0	8200.0	接合品下部	254
143	6	遺構内	SK79	6層		両面磨製石鏃		瑠璃質母	(77.6)	(42.7)	17.4	(50.9)	両側縁両端打込	255
144	2	遺構内	SK80	埋土		石鏃	a	瑠璃質母	(32.2)	(14.8)	6.8	(1.7)	被蝕による割傷	29



第9表 石器観察表(7)

図号	番号	出土 地層	出土 位置	層位	その他 の注記	群種	群種 番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
144	3	遺構内	SK80	厚土		卵石	回+敷	グイサイト	108.0	96.0	41.0	599.5		161
144	5	遺構内	SK81	1層		石核	b	珪質頁岩 (29.9)	11.8	5.2	(1.4)		各層部に散佈による割	30
144	6	遺構内	SK81	4層		石核	c	珪質頁岩 (29.9)	(18.4)	6.3	(4.1)		大石平型石核	153
144	9	遺構内	SK82	厚土		卵石		火山岩	122.0	72.0	34.0	411.6		162
144	10	遺構内	SK82	厚土		石瓦		珪質頁岩	177.0	52.0	32.0	1289.3		285
144	11	遺構内	SK82	厚土		加工機		粘板岩	99.0	23.0	12.0	34.9	被熱	209
144	13	遺構内	SK83	厚土	S-1	平円状扁平打製石核		火山岩	144.0	90.0	24.0	424.3	割断面等風化	193
145	2	遺構内	SK85	下層		石核	b	珪質頁岩	89.9	83.0	20.6	88.9		164
145	3	遺構内	SK85	下層		平円状扁平打製石核		グイサイト	162.0	66.0	35.0	378.8		194
145	1	遺構内	SK90	8層		石核	a	珪質頁岩	66.7	26.6	10.2	15.4	裏面欠削	96
145	2	遺構内	SK90	6~8層		狭入型平打製石核		グイサイト	219.0	89.0	23.0	490.9		196
145	6	遺構内	SK91	1~12層 (熱褐色)		卵石	回+敷	粘板岩	145.0	58.0	31.0	315.9		163
145	7	遺構内	SK91	上層		卵石	回+敷	火山岩	84.0	74.0	58.0	461.9		194
145	8	遺構内	SK91	上層		卵石		粘板岩	142.0	49.0	41.0	305.3	被熱	166
145	9	遺構内	SK91	下層		卵石	回+敷+敷石	グイサイト	139.0	57.0	36.0	394.6		165
145	10	遺構内	SK91	上層		薄石		流紋岩	44.0	41.0	23.0	69.7	緑石?	183
147	7	遺構内	SK92	上層		卵石		火山岩	122.0	68.0	42.0	376.4		168
147	8	遺構内	SK92	上層		卵石		粘板岩	170.0	56.0	45.0	596.1		167
147	9	遺構内	SK92	上層+中層		卵石		流紋岩	1114.0	78.0	27.0	200.9		169
147	11	遺構内	SK93	厚土		スラブ+割	a	珪質頁岩 (49.9)	(36.6)	(12.7)	(20.7)		石核破片?	215
147	12	遺構内	SK93	pit2		石瓦		グイサイト	145.0	172.0	39.0	1510.6		206
148	2	遺構内	SK100	厚土	S-18	卵石		粘板岩	147.0	97.0	31.0	314.3		170
148	3	遺構内	SK100	下層		敷石		流紋岩	145.0	66.0	31.0	496.6	裏面強い凹み状の欠	178
148	4	遺構内	SK100	厚土	S-9	石瓦		流紋岩	295.0	147.0	89.0	3694.9	緑石?	267
148	7	遺構内	SK101	2層		卵石		火山岩	194.0	72.0	38.0	256.0	被熱	171
148	8	遺構内	SK101	2層		卵石	回+敷	粘板岩	118.0	83.0	28.0	251.4		172
148	9	遺構内	SK101	下層		敷石		火山岩	350.0	82.0	38.0	715.0	強い凹み状の欠	179
148	10	遺構内	SK101	2層		石核		グイサイト	71.0	78.0	21.0	146.8	被熱	96
149	5	遺構内	SK106	中層		石核	c	珪質頁岩 (81.7)	(62.4)	8.9	(15.7)			168
149	6	遺構内	SK106	上層		石核	a	珪質頁岩	97.6	48.7	17.2	77.7		95
149	7	遺構内	SK106	中層		卵石		火山岩	140.0	54.0	39.0	402.1		173
149	8	遺構内	SK106	中層		敷石		粘板岩	120.0	47.0	21.0	186.0		189
149	10	遺構内	SK107	厚土		スラブ+割	a	玉髄 (42.8)	(27.4)	(7.4)	(6.4)			216
149	11	遺構内	SK107	上層		平円状扁平打製石核		火山岩	216.0	80.0	16.0	336.6	割断面等風化	196
150	5	遺構内	SK109a	下層		石核	a	珪質頁岩	66.0	43.0	8.2	21.6		97
150	6	遺構内	SK109a	下層		石核	b	珪質頁岩	74.1	39.5	13.5	32.6	刃部再加工	156
150	7	遺構内	SK109a	19層		卵石	回+敷	流紋岩	128.0	79.0	36.0	464.9		174
150	8	遺構内	SK109a	19層		敷石		珪質頁岩	73.0	69.0	46.0	270.1	石核石核製作over?	181
150	9	遺構内	SK109a	16層		平円状扁平打製石核		グイサイト	126.0	80.0	21.0	371.6		197
150	10	遺構内	SK111	厚土	S-4	石核	a	珪質頁岩	39.2	11.5	4.1	1.3	未使用品? 欠削ある頁岩石核	31
150	11	遺構内	SK111	厚土	S-5	石核	e	珪質頁岩	31.3	12.4	3.8	1.1	未使用品? 欠削ある頁岩石核	32
150	12	遺構内	SK111	厚土	S-7	石核	c	珪質頁岩 (39.5)	13.3	3.0	(1.4)		厚み欠く? 欠削加工	35
150	13	遺構内	SK111	厚土		石核	a	珪質頁岩	80.4	32.7	20.2	25.7	素材削片の残欠大	99
150	14	遺構内	SK111	厚土		磨製石片		緑色岩	117.0	27.0	14.0	99.6	磨切痕	204
150	16	遺構内	SK111	厚土		磨製石片		緑色岩	97.0	39.0	16.0	116.9	折面欠削	203
150	17	遺構内	SK112	上層		卵石		火山岩	87.0	67.0	46.0	346.2		224
150	18	遺構内	SK112	上層		狭入型平打製石核		グイサイト	116.0	72.0	11.0	128.0		223
152	3	遺構内	SK12	厚土		石瓦		グイサイト	164.5	194.0	60.5	1360.8	9~4と同一層位、248~9と同一層位か、被熱	298
154	2	遺構内	SP21	磯部	S-6	舟石		火山岩	198.0	229.0	100.0	6400.0	被熱	226
154	3	遺構内	SP21	磯部	S-4	緑石		流紋岩	126.0	104.0	87.0	1558.4		223
154	4	遺構内	SP28	厚土		石核	a	珪質頁岩 (60.0)	36.9	16.1	(36.8)		刃部折損→再加工	157
154	5	遺構内	SP28	厚土		石核	a	珪質頁岩	72.7	82.8	64.7	396.1		227
154	6	遺構内	SP94	厚土		平円状扁平打製石核		グイサイト	141.0	89.0	21.0	366.5		224
155	1	遺構内	SP66	厚土		卵石		火山岩	108.0	82.0	36.0	323.4		210
155	2	遺構内	SP191	厚土		卵石	回+敷	火山岩	182.0	66.0	53.0	759.1		211
155	3	遺構内	SP196	厚土		石核	a	珪質頁岩 (39.6)	(43.5)	11.2	(11.3)			100
155	4	遺構内	SP197	厚土		加工機		火山岩	451.0	143.0	53.0	2465.1	軟質粘板岩、背電刀形石核部欠削	225
155	5	遺構内	SP231	厚土		石核	a	珪質頁岩	66.4	118.9	60.1	312.4		279



第9表 石器観察表(8)

図号	番号	出土 地層	出土 位置	層位	その他 の注記	種類	器種 分類	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
157	1	遺構内	SP243	4層		卵石		板状岩	124.0	90.0	52.0	899.0		212
157	2	遺構内	SP245	礫土		カハハ一部	a	珪質頁岩	34.3	23.7	6.8	3.6		215
157	3	遺構内	SP296	1層		礫石		灰山岩	187.0	67.0	39.0	529.4		221
157	4	遺構内	SP409	1層		卵石		灰山岩	114.0	63.0	61.0	369.9		213
157	6	遺構内	SP406	礫土		卵石		泥紋岩	119.0	61.0	29.0	261.5		214
157	6	遺構内	SP466	礫土		卵石		灰山岩	124.0	61.0	34.0	286.0		215
157	8	遺構内	SP642	礫土		卵石	図+磨	泥紋岩	106.0	60.0	42.0	221.3		216
157	9	遺構内	SP704	礫土		石核	a	珪質頁岩	72.8	154.6	114.0	1141.6	磨化跡あり	280
158	1	遺構内	SP671	礫土		卵石		灰山岩	127.0	69.0	41.0	299.8		218
158	2	遺構内	SP671	礫土		卵石		灰山岩	165.0	80.0	34.0	374.3		217
158	3	遺構内	SP727	礫土		石核	f	頁岩	(16.8)	14.1	3.8	(0.6)	アツツ?尖礫?ソリ	34
158	4	遺構内	SP775	1層		卵石		灰山岩	119.0	66.0	41.0	249.4		219
158	5	遺構内	SP964	礫土		卵石		グイナイト	75.0	74.0	34.0	194.5		220
158	6	遺構内	SP991	礫土		石核	a	珪質頁岩	103.0	35.3	18.7	61.1		198
158	7	遺構内	SP1001	礫土		卵石		グイナイト	101.0	62.0	48.0	439.9		222
158	8	遺構内	SP1006	礫土		カハハ一部	a	珪質頁岩	37.0	101.2	13.3	55.6	刃端二重バネ	219
158	10	遺構内	SP1046	礫土		石核	a	珪質頁岩	57.4	72.3	79.2	231.0	磨化跡あり	281
199	1	拾得	図N77	II層		石核	f	玉髓	(39.7)	16.3	4.3	(2.3)		37
199	2	拾得	図N77	I層		石核	f	珪質頁岩	(28.1)	15.4	3.4	(1.2)		40
199	3	拾得	図N78	II層		石核	f	珪質頁岩	26.6	15.3	4.1	1.6		38
199	4	拾得	図N77	II層		石核	f	珪質頁岩	(34.5)	14.3	5.0	(2.1)		36
199	5	拾得	図N78	II層		石核	a	珪質頁岩	(36.2)	14.8	4.7	(2.3)		41
199	6	拾得	図L76	II層		石核	a	珪質頁岩	43.1	15.0	4.9	3.0		45
199	7	拾得	図N77	II層		石核	d	珪質頁岩	40.4	17.9	4.9	(2.6)	角端即縁を片面加工	36
199	8	拾得	図N76	II層		石核	e	珪質頁岩	(23.1)	15.6	4.4	(1.4)	被熱による割傷	39
199	9	拾得	図O77	II層		石核	e	珪質頁岩	30.0	16.3	5.8	3.1		42
199	10	拾得	図T77	II層		石核	c	珪質頁岩	(34.3)	8.9	3.4	(0.8)		48
199	11	拾得	図N78	II層		石核		黒曜石	16.9	17.4	5.4	1.7	黒曜石分析No. K36不溶 出来品	300
199	12	拾得	図J77	II層		石核	a	珪質頁岩	77.5	24.9	9.9	16.2	正裏面黒色付着物	119
199	13	拾得	図N77	II層		石核	a	珪質頁岩	88.5	51.2	14.2	25.6	正裏面光沢、正面左下 角欠	117
199	14	拾得	図K76	II層		石核	a	珪質頁岩	92.3	18.8	10.6	14.8	正裏面光沢	120
199	15	拾得	図O78	II層		石核	c	珪質頁岩	74.2	26.9	9.7	14.3	裏面左縁辺縁の光沢あり	114
199	16	拾得	図L76	II層		石核	a	珪質頁岩	75.2	28.7	11.5	25.6	裏面右縁辺縁の光沢あり	121
199	17	拾得	図L78	II層		石核	c	珪質頁岩	65.8	41.0	6.5	15.6		107
199	18	拾得	図N78	II層		石核	a	珪質頁岩	71.8	25.2	11.8	25.2	裏面右縁辺縁の光沢あり	119
199	19	拾得	図N77	II層		石核	a	珪質頁岩	66.7	33.5	9.1	19.7		106
199	20	拾得	図N78	II層		石核	c	珪質頁岩	80.3	36.2	13.2	22.4		103
199	21	拾得	図Q77	II層		石核	a	珪質頁岩	69.6	25.0	7.8	9.6		115
199	22	拾得	図N78	II層		石核	a	珪質頁岩	50.4	24.6	8.6	9.7	玉髄質、裏面光沢	102
200	1	拾得	図O77	II層		石核	b	珪質頁岩	71.4	66.1	12.5	40.4	正裏面光沢	111
200	2	拾得	図N77	II層		石核	a	珪質頁岩	44.9	18.6	7.9	6.3		125
200	3	拾得	図P78	II層		石核	a	黒曜石	(36.6)	(9.4)	(8.4)	(0.8)	黒曜石分析No. K20不溶 出来品	296
200	4	拾得	図L78	II層		石核	a	珪質頁岩	35.9	26.6	11.8	7.0		195
200	5	拾得	図K78	I層		石核	a	黒曜石	44.4	27.6	6.8	6.9	黒曜石分析No. K38黒炭 付焼部	298
200	6	拾得	図N77	II層		石核	b	珪質頁岩	58.1	74.6	9.7	29.9	正裏面光沢	116
200	7	拾得	図O78	II層		石核	b	珪質頁岩	46.2	61.6	12.8	25.6	正裏面光沢	113
200	8	拾得	図O77	II層		石核	b	珪質頁岩	36.1	60.7	8.3	14.1		125
200	9	拾得	図L78	II層		石核	g	黒曜石	(24.9)	(17.0)	4.8	(1.9)	採取から木遺出来品 あり	304
200	10	拾得	図N78	II層		石核	c	珪質頁岩	54.1	26.0	8.2	9.6		109
200	11	拾得	図N78	II層		石核	a	珪質頁岩	194.4	27.9	9.6	29.0		112
200	12	拾得	図P78	II層		石核	d	珪質頁岩	129.3	19.2	7.8	17.4	石核?	123
200	13	拾得	図L78	II層		石核	d	珪質頁岩	85.6	18.1	16.6	16.6	裏面光沢、尖端部も光 沢あり	106
200	14	拾得	図O77	II層		石核	d	珪質頁岩	82.2	16.9	15.2	10.2	尖端部光沢顯著	127
200	15	拾得	図N77	II層		石核	d	珪質頁岩	61.8	21.3	5.7	5.4		122
200	16	拾得	図L77	II層		石核	e	珪質頁岩	48.0	12.3	7.2	3.7		194
200	17	拾得	図L78	II層		石核	a	玉髓	34.8	10.9	5.3	3.0	裏面に不純物	100
200	18	拾得	図L77	II層		石核	a	珪質頁岩	(57.2)	11.6	(5.9)	(3.0)	被熱により上縁欠損	129
200	19	拾得	図P79	II層		石核	d	珪質頁岩	45.9	15.1	7.9	4.1		126
200	20	拾得	図N78	II層		石核	c	珪質頁岩	(39.8)	23.6	8.7	(3.6)		127
200	21	拾得	図J77	II層		石核	c	珪質頁岩	34.2	16.4	4.3	1.8	尖端部欠	133
201	1	拾得	図J78	II層		石核	c	珪質頁岩	44.0	29.0	9.0	9.6		302
201	2	拾得	図N76	II層		石核	b	珪質頁岩	80.0	40.9	14.7	43.3		196
201	3	拾得	図O78	II層		石核	a	珪質頁岩	74.6	36.7	18.1	47.3		171

第9表 石器観察表(9)

図号	番号	出土 層位	出土 位置	層位	その他 の注記	群種	群種 区分	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
201	4	検砂	ⅢL77	Ⅱ層		石鏡	a	珪質頁岩	99.3	44.0	17.1	77.3		160
201	5	検砂	ⅢM78	Ⅱa層		石鏡	a	珪質頁岩	89.4	36.5	17.9	70.7		169
201	6	検砂	ⅢM77	Ⅱa層		石鏡	a	珪質頁岩	85.9	31.8	19.2	45.1		165
201	7	検砂	ⅢK78	Ⅱa層		石鏡	a	珪質頁岩	78.4	30.0	14.3	34.6		161
201	8	検砂	ⅢL77	Ⅱ層		石鏡	a	珪質頁岩 (89.7)	28.0	16.8	(24.1)		162	
201	9	検砂	ⅢM77	Ⅱ層		石鏡	b	珪質頁岩	46.6	42.6	12.9	22.6		168
201	10	検砂	ⅢK77	Ⅱb層		石鏡	b	珪質頁岩	56.1	27.7	12.0	21.1	刀部再加工?	159
201	11	検砂	ⅢM76	Ⅱb層		石鏡	b	珪質頁岩 (46.8)	37.4	15.0	(24.2)		裏面突出部に光沢	167
201	12	検砂	ⅢJ77	Ⅱ～Ⅲ層		石鏡	b	珪質頁岩	73.4	44.8	17.2	47.4	正裏面光沢、裏面刀部 両面の磨削加工	174
201	13	検砂	ⅢO78	Ⅱ層		石鏡	a	珪質頁岩	112.6	36.3	24.6	94.1	刀部磨削状	172
202	1	検砂	ⅢK78	Ⅱ層		石鏡	a	珪質頁岩	126.9	39.3	26.1	116.4		160
202	2	検砂	ⅢS79	Ⅱ～Ⅲ層		石鏡	d	珪質頁岩	87.0	28.5	19.6	43.5		176
202	3	検砂	ⅢU76	Ⅱ～Ⅳ層		石鏡	b	珪質頁岩	80.8	39.0	21.3	48.5		173
202	4	検砂	ⅢQ78	Ⅱ層	阿波磯製石鏡			珪質頁岩	50.1	26.9	12.5	21.2		200
202	5	検砂	ⅢJ77	Ⅰ～Ⅱ層	阿波磯製石鏡			珪質頁岩	62.2	68.0	26.9	115.2		209
202	6	検砂	ⅢP79	Ⅱ層	ツバノノ型	b		珪質頁岩	43.1	25.0	12.6	12.4		234
202	7	検砂	ⅢS78	Ⅱ～Ⅲ層	ツバノノ型	b		珪質頁岩	50.7	(46.0)	18.2	(44.0)		236
202	8	検砂	ⅢO78	Ⅱ層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	28.7	29.0	4.6	3.4		228
202	9	検砂	ⅢP78	Ⅱ層	ツバノノ型	b		珪質頁岩	79.5	64.6	30.2	175.8		235
202	10	検砂	ⅢM78	Ⅱa層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	97.5	42.1	24.2	51.9		223
202	11	検砂	ⅢO79	Ⅱ層	石鏡	c		珪質頁岩 (33.0)	24.5	8.0	(7.7)			201
202	12	検砂	ⅢM78	Ⅱb層	ツバノノ型	b		珪質頁岩	64.5	65.2	23.4	94.9		224
202	13	検砂	ⅢY77	Ⅱ層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	42.9	34.0	8.1	11.0		229
202	14	検砂	ⅢO78	Ⅱ層	ツバノノ型	b		珪質頁岩	75.5	33.0	14.8	37.8		228
202	15	検砂	ⅢO77	Ⅱ層	ツバノノ型	b		珪質頁岩	87.5	27.5	17.5	21.7	裏面等光沢?石鏡?	226
202	16	検砂	ⅢO77	Ⅱa層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	80.5	45.9	10.9	33.8		227
202	17	検砂	ⅢY77	Ⅱb層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	80.7	66.9	11.4	32.8		231
202	18	検砂	ⅢJ76	Ⅱ層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	74.4	55.4	9.4	32.9	裏面光沢	232
202	19	検砂	ⅢL78	Ⅱ層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	44.5	34.4	8.6	8.8		220
202	20	検砂	ⅢL78	Ⅱb層	ツバノノ型	b		珪質頁岩	46.8	26.6	6.7	7.5	裏面光沢?	222
202	21	検砂	ⅢL76	Ⅱ層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	96.9	38.8	16.5	44.7		233
202	22	検砂	ⅢM78	Ⅱb層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	57.0	29.1	8.9	12.3		225
202	23	検砂	ⅢL78	Ⅱa層	ツバノノ型	b		珪質頁岩	82.6	69.7	29.7	157.2		221
202	24	検砂	ⅢT74	Ⅲ層	ツバノノ型	a		珪質頁岩	100.0	47.0	27.4	106.6		237
204	1	検砂	ⅢP79	Ⅱ層	高形石鏡			珪質頁岩	42.3	24.2	7.3	4.2	ツバノノ型?	241
204	2	検砂	ⅢL79	Ⅱ～Ⅲ層	高形石鏡			珪質頁岩	54.0	23.0	9.0	11.9	石鏡?並み欠欠痕再加工?	240
204	3	検砂	ⅢK78	Ⅱa層	高形石鏡			珪質頁岩 (41.9)	13.8	7.2	(4.1)		石鏡?	240
204	4	検砂	ⅢL76	Ⅱ層	ヒシタテ、ホス、 キース			珪質頁岩	36.6	36.6	12.2	17.6		244
204	5	検砂	ⅢK78	Ⅱa層	石鏡	a		珪質頁岩	89.6	79.2	62.0	325.5		204
204	6	検砂	ⅢK77	Ⅱb層	石鏡	a		珪質頁岩	73.4	112.2	68.3	444.8		202
205	1	検砂	ⅢL78	Ⅱ層	石鏡	a		珪質頁岩	54.9	78.5	66.4	290.2		205
205	2	検砂	ⅢK78	Ⅱa層	石鏡	a		珪質頁岩	55.2	66.3	68.1	218.3	被熱黒色化	203
205	3	検砂	ⅢO78	Ⅱ層	石鏡	a		珪質頁岩	56.0	75.3	61.3	261.0		207
205	4	検砂	ⅢY76	Ⅲ層	石鏡	a		珪質頁岩	134.9	53.6	44.7	252.7		203
205	5	検砂	ⅢU76	Ⅲ層	石鏡	b		珪質頁岩	126.4	45.9	35.5	147.6		202
205	6	検砂	ⅢL78	Ⅱa層	石鏡	c		珪質頁岩	64.7	83.8	40.0	212.5		200
207	1	検砂	ⅢQ78	Ⅱ層	石鏡	b		珪質頁岩	147.0	43.7	26.5	173.7		201
207	2	検砂	ⅢM77	Ⅱ層	石鏡	c		珪質頁岩	69.5	77.9	49.6	231.8		206
207	3	検砂	ⅢJ77	Ⅱb層	磨製石斧			緑色岩	142.0	52.0	28.0	318.0	黒色付着物	426
207	4	検砂	ⅢO78	Ⅱ層	磨製石斧			緑色岩	120.0	56.0	36.0	379.1	被熱	387
207	5	検砂	ⅢO77	Ⅱ層	磨製石斧			緑色凝灰岩	101.5	34.5	15.0	80.7		363
207	6	検砂	ⅢO78	Ⅱ層	磨製石斧			粉板岩	101.0	61.0	24.0	236.8		396
207	7	検砂	ⅢJ77	Ⅲ層	磨製石斧			緑色岩	126.0	58.0	18.0	174.9	被熱	424
207	8	検砂	ⅢM78	Ⅱb層	磨製石斧			凝灰岩	76.0	62.0	13.0	67.3		361
207	9	検砂	ⅢL77	Ⅱb層	磨製石斧			緑色岩	96.0	56.0	28.0	225.1		374
207	10	検砂	ⅢK78	Ⅱa層	磨製石斧			緑色岩	126.0	53.0	25.0	245.8	磨削痕?	372
207	11	検砂	ⅢK77	Ⅱb層	磨製石斧			緑色岩	109.0	39.0	29.0	126.9	磨削痕	373
207	12	検砂	ⅢY77	黒色土	磨製石斧			緑色岩	126.0	24.0	15.0	79.2	刀部上下両端	426
207	13	検砂	ⅢM78	Ⅱ層	磨製石斧			緑色岩	91.5	23.0	12.0	44.1	磨削痕、上下両端刀部、 被熱	378
207	14	検砂	ⅢL77	Ⅱ層	磨製石斧			緑色凝灰岩	120.5	24.0	14.0	69.2	磨削痕、上下両端刀部	376
207	15	検砂	ⅢO77	Ⅱa層	磨製石斧			緑色岩	80.0	37.0	11.0	65.3	被熱被磨	394
207	16	検砂	ⅢQ80	Ⅱ～Ⅲ層	磨製石斧			凝灰岩	625.0	14.0	6.0	7.6	石鏡高?軟質石材	427
207	17	検砂	ⅢM78	Ⅱa層	磨製石斧			緑色岩	51.0	41.0	27.0	79.0	磨削痕	375
207	18	検砂	ⅢO78	Ⅱ層	磨製石斧			緑色岩	75.0	62.0	30.0	241.1	磨削痕	377

第9表 石器観察表(10)

図号	番号	出土 地層	出土 位置	層位	その他 の注記	器種	器種 番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
208	11	地層	Ⅷ976	I層		磨製石斧		棕色岩	112.0	43.0	34.0	254.6	磨切痕	280
208	12	地層	Ⅷ976	II層		磨製石斧		棕色岩	118.0	54.0	28.0	307.0	被割	278
208	13	地層	Ⅷ976	III層		磨製石斧		棕色岩	86.5	44.0	23.5	137.3	被割、磨切痕	388
208	14	地層	Ⅷ977	II層		磨製石斧		棕色岩	51.0	26.0	20.0	34.8	被割、磨切痕	382
208	15	地層	Ⅷ976	III層		磨製石斧		棕色岩	86.0	66.0	16.0	64.9	被割	379
209	1	地層	Ⅷ978	IIa層		卵石		火山礫岩	124.9	12.0	72.0	131.9	被割	289
209	2	地層	Ⅷ976	I・II層		卵石		火山岩	133.0	66.0	28.0	315.3	被割	309
209	3	地層	Ⅷ977	II層		卵石		礫岩	186.0	91.0	30.0	392.3	正面左側縁面?	410
209	4	地層	Ⅷ176	IIb層		卵石		火山岩	132.0	54.0	47.0	369.8	被割	406
209	5	地層	ⅧK77	IIb層		卵石		砂岩	141.0	71.0	29.0	402.2		274
209	6	地層	Ⅷ978	I層		卵石		礫質砂岩	82.0	69.0	39.0	238.8		296
209	7	地層	Ⅷ977	IIa層		卵石		砂岩	101.0	84.0	34.0	399.4		294
210	1	地層	Ⅷ178	I層		卵石		泥岩	181.0	62.0	32.0	346.9		278
210	2	地層	Ⅷ976	II層		卵石		火山岩	159.0	52.0	44.0	407.2		304
210	3	地層	ⅧK77	I～II層		卵石		礫質砂岩	208.0	99.0	45.0	946.6		272
210	4	地層	Ⅷ178	IIa層		卵石		火山岩	180.0	56.0	44.0	444.9		289
210	5	地層	Ⅷ978	IIb層		卵石		火山岩	124.5	74.0	35.0	410.5		290
210	6	地層	Ⅷ177	II層		卵石		礫岩	134.9	65.0	32.0	396.9		275
211	1	地層	Ⅷ177	IIa層		卵石		粘板岩	145.0	67.0	26.0	363.4		277
211	2	地層	Ⅷ977	II層		卵石		火山岩	141.0	48.0	22.0	239.9	断面縁打痕?	299
211	3	地層	Ⅷ978	II層		卵石		粘板岩	118.0	50.0	19.0	154.0		296
211	4	地層	Ⅷ976	I・II層		卵石		砂岩	164.0	62.0	36.0	387.2		302
211	5	地層	Ⅷ177	IIa層		卵石		粘板岩	134.0	104.0	39.0	758.8		279
211	6	地層	Ⅷ978	I層		卵石		火山岩	138.0	79.0	26.0	372.0		296
211	7	地層	Ⅷ178	IIb層		卵石		火山岩	92.5	96.0	28.0	208.0		282
211	8	地層	Ⅷ976	I層		卵石	部・破	ダイサイト	139.5	61.0	28.0	302.8		301
211	9	地層	ⅧK77	IIa層		卵石		火山礫岩	162.0	86.0	32.0	478.1		284
212	1	地層	Ⅷ178	II層		卵石		粘板岩	187.0	67.0	28.0	350.3		279
212	2	地層	Ⅷ976	IIb層		卵石		粘板岩	137.0	62.0	32.0	337.3		291
212	3	地層	Ⅷ976	II層		卵石		粘板岩	117.0	60.0	29.0	283.6		306
212	4	地層	Ⅷ178	II～III層		卵石		火山礫岩	128.0	89.5	42.0	642.4		283
212	5	地層	ⅧK77	Ⅷ区 (柱上)		卵石		礫質砂岩	148.9	76.0	29.0	344.5		286
212	6	地層	Ⅷ978	II層		卵石		礫岩	100.9	78.0	35.0	186.4		297
212	7	地層	ⅧK77	IIa層		卵石		礫質砂岩(現在 別)	117.0	69.0	28.0	309.6		285
212	8	地層	Ⅷ178	IIa層		卵石		粘板岩	164.9	62.0	33.0	441.9		281
213	1	地層	Ⅷ80	III層		卵石		泥岩	115.0	82.0	31.0	218.0		409
213	2	地層	ⅧK77	IIa層		卵石		礫質砂岩	100.5	50.0	25.0	141.8		293
213	3	地層	ⅧY78	II層		卵石		礫岩	79.9	53.0	36.0	149.4		411
213	4	地層	Ⅷ178	IIa層		卵石		粘板岩	128.0	66.0	29.0	257.6		407
213	5	地層	Ⅷ976	III～IV層		卵石		粘板岩	112.0	78.0	32.0	350.8		306
213	6	地層	Ⅷ978	II層		卵石		ダイサイト	133.0	57.0	32.5	239.7	正面右側打痕?	287
213	7	地層	ⅧK77	I層		卵石	部・破	ダイサイト	126.0	89.0	64.0	822.2	断面上部縁長打痕?	292
213	8	地層	ⅧK77	IIb層		卵石	部・破	火山岩	116.0	61.0	38.0	322.2		273
213	9	地層	Ⅷ176	II層		卵石	部・磨	火山岩	132.9	64.0	37.9	446.9		300
214	1	地層	Ⅷ978	IIa層		卵石	部+磨 (磨れ)	泥岩	67.5	65.0	38.0	169.6	凹陥穿孔痕	288
214	2	地層	ⅧK77	II層		卵石		ダイサイト	156.0	48.0	42.0	379.1		307
214	3	地層	Ⅷ978	IIb層		卵石		火山岩	206.0	78.0	46.0	882.9	被割	329
214	4	地層	Ⅷ178	IIa層		卵石		礫質砂岩	69.0	74.0	48.0	325.6		301
214	5	地層	Ⅷ978	IIa層		卵石		粘板岩	136.0	75.0	32.0	486.2	浅い凹み状の跡	304
214	6	地層	Ⅷ976	III～IV層		卵石		火山岩	110.9	90.0	24.0	272.5		309
214	7	地層	Ⅷ178	IIb層		卵石		礫岩	126.0	41.0	37.0	323.9		316
214	8	地層	ⅧK78	IIa層		卵石		礫岩	63.0	60.0	36.0	139.0		309
214	9	地層	Ⅷ978	IIb層		卵石		礫岩	112.5	36.5	37.0	328.3		311
214	10	地層	ⅧP79	II層		卵石		火山岩	165.0	79.0	43.0	606.1	被割	416
215	1	地層	Ⅷ178	IIa層		卵石		火山岩	144.9	64.0	37.0	419.1		413
215	2	地層	ⅧK77	IIa層		卵石		礫岩	147.9	59.0	30.0	419.6	被割	314
215	3	地層	ⅧK77	I層		卵石		泥岩	146.0	78.0	25.0	338.6	浅い凹み状の跡	321
215	4	地層	Ⅷ978	IIa層		卵石		粘板岩	134.0	52.0	36.0	353.9	浅い凹み状の跡	318
215	5	地層	Ⅷ979	IIa層		卵石		粘板岩	179.0	66.0	34.0	461.7	浅い凹み状の跡	415
215	7	地層	Ⅷ178	IIa層		卵石		礫岩	213.0	99.0	39.0	1127.4	被割により上部欠失	315
215	8	地層	Ⅷ978	I層		卵石		棕色礫岩	135.0	62.0	32.0	348.7		323
215	9	地層	ⅧK78	IIa層		卵石		棕色礫岩	178.0	81.0	36.0	660.0		319
215	10	地層	Ⅷ177	II層		卵石		ダイサイト	185.0	48.0	39.0	464.8		313
215	11	地層	Ⅷ978	IIa層		卵石		火山岩	216.0	46.0	39.0	515.6		319
215	12	地層	Ⅷ976	I・II層		卵石		火山岩	187.0	63.0	41.0	665.1	浅い凹み状の跡	329

第9表 石器観察表(11)

図号	番号	出土 層位	出土 位置	層位	その他 の注記	器種	器種 区分	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
216	5	検挙	Ⅲb層	Ⅱa層		礫石		輪板石	148.0	71.0	29.0	401.5	浅い凹み状の痕	326
216	6	検挙	Ⅲ078	Ⅱ層		礫石		ゴイサイト	129.0	38.0	34.0	206.7	浅い凹み状の痕	327
216	7	検挙	ⅢK77	Ⅱb層		礫石		ゴイサイト	92.5	90.5	44.0	417.5		328
216	8	検挙	Ⅲ177	Ⅱb層		礫石		鵜沢岩	67.0	83.0	37.5	181.1		412
216	9	検挙	Ⅲ078	Ⅱa層		礫石	継+層	火山岩	130.0	67.0	29.0	327.1	浅い凹み状の痕	329
217	1	検挙	Ⅲ078	Ⅱ層		礫石	継+層	ゴイサイト	154.0	75.0	27.0	306.2	浅い凹み状の痕	322
217	2	検挙	Ⅲ078	Ⅱa層		礫石	継+層	ゴイサイト	96.0	75.0	32.0	289.1		325
217	3	検挙	Ⅲ076	Ⅱb層		礫石		チャート	97.0	71.0	50.0	515.3		326
217	4	検挙	Ⅲ177	Ⅱ層		礫石		流紋岩	97.5	87.0	50.0	641.7		421
217	5	検挙	Ⅲ179	Ⅱ～Ⅲ層		礫石		流紋岩	104.5	89.0	37.5	491.4		413
217	6	検挙	Ⅲ077	Ⅱ層		礫石		流紋岩	75.0	64.0	32.0	162.7		326
217	7	検挙	Ⅲ078	Ⅱa層		礫石		流紋岩	122.0	99.0	57.0	896.2	持ち跡石?	323
217	8	検挙	Ⅲ576	Ⅱ層		礫石		火山岩	106.0	60.0	27.5	296.9		429
217	9	検挙	Ⅲ078	Ⅱ層		礫石		チャート	111.0	79.0	36.0	395.8	跡石?	537
217	10	検挙	Ⅲ076	Ⅱ層		礫石	溝+痕	緑泥岩	96.0	62.0	32.0	229.6	持ち跡石?	324
217	11	検挙	Ⅲ077	Ⅱa層		礫石		流紋岩	66.0	80.0	47.0	307.6		322
218	1	検挙	Ⅲ576	Ⅱ層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	176.0	95.0	23.0	467.9		428
218	2	検挙	Ⅲ380	Ⅲ層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	130.0	72.0	25.0	468.1		427
218	3	検挙	Ⅲ177	Ⅱ層		平行状扁平 礫石		火山岩	169.0	66.0	20.0	279.7		425
218	4	検挙	Ⅲ079	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		鵜沢岩	154.0	86.0	33.0	578.7		425
218	5	検挙	Ⅲ177	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	172.0	91.0	24.0	589.1		424
218	6	検挙	Ⅲ078	Ⅱ層		平行状扁平 礫石		火山岩	194.0	88.0	29.0	454.7		369
219	1	検挙	Ⅲ078	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		火山岩	149.0	66.5	19.0	287.0		364
219	2	検挙	Ⅲ076	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	159.0	115.0	26.0	666.2		369
219	3	検挙	Ⅲ178	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	166.0	86.0	21.0	429.0		349
219	4	検挙	Ⅲ178	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		緑色凝灰岩	154.0	93.0	29.0	492.6		346
219	5	検挙	Ⅲ078	Ⅱa層 Ⅱb層		平行状扁平 礫石		火山岩	174.0	73.0	25.0	459.4		366
219	6	検挙	Ⅲ077	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		火山岩	180.0	91.0	26.0	485.5		354
220	1	検挙	Ⅲ077	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	149.0	76.0	28.0	381.5		363
220	2	検挙	Ⅲ077	Ⅱ層		平行状扁平 礫石		火山岩	161.0	82.0	16.0	276.8		362
220	3	検挙	Ⅲ077	Ⅱ層 (目土)		平行状扁平 礫石		火山岩	166.0	75.0	26.0	385.5		362
220	4	検挙	Ⅲ078	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		火山岩	154.0	76.0	22.0	304.4		369
220	5	検挙	Ⅲ178	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		鵜沢岩	180.0	66.0	20.5	365.0		345
220	6	検挙	Ⅲ177	Ⅱ層		平行状扁平 礫石		火山岩	211.0	86.0	12.0	302.7		379
221	1	検挙	Ⅲ177	Ⅱ層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	165.0	77.0	24.0	296.7		342
221	2	検挙	Ⅲ077	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	134.0	81.0	22.5	259.3		351
221	3	検挙	Ⅲ078	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		火山岩	167.0	69.0	18.0	268.1		363
221	4	検挙	Ⅲ077	Ⅱ層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	166.0	107.0	27.0	628.8		429
221	5	検挙	Ⅲ178	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	140.0	81.0	18.0	276.5	刃部割面が平状	544
221	6	検挙	ⅢK78	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		火山岩	179.0	86.0	27.0	526.4		349
221	7	検挙	Ⅲ178	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	120.0	66.0	18.0	263.8		345
221	8	検挙	Ⅲ077	Ⅱ層		平行状扁平 礫石		火山岩	124.0	61.5	20.0	181.5		355
221	9	検挙	ⅢK78	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	136.0	88.0	21.0	390.0		341
222	1	検挙	Ⅲ077	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		火山岩	157.0	85.0	19.0	292.6		359
222	2	検挙	Ⅲ076	Ⅱ層		平行状扁平 礫石		火山岩	161.0	71.0	26.0	349.8		348
222	3	検挙	Ⅲ078	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		火山岩	157.0	64.0	18.0	207.7		368
222	5	検挙	Ⅲ078	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	139.0	60.0	23.0	242.1		367
222	6	検挙	Ⅲ078	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	166.0	88.0	28.0	411.9		365
222	7	検挙	ⅢQ77	Ⅱ～Ⅲ層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	132.0	73.5	24.0	266.1		371
223	1	検挙	ⅢK78	Ⅱa層		平行状扁平 礫石		火山岩	171.0	94.0	22.0	389.4		359
223	2	検挙	ⅢK77	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		ゴイサイト	183.0	96.0	22.0	526.6		358
223	3	検挙	Ⅲ076	Ⅱb層		平行状扁平 礫石		火山岩	172.0	107.0	21.0	617.1		361

第9表 石器観察表(12)

図号	番号	出土 地層	出土 位置	層位	その他 の注記	器種	器種 番号	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号	
223	4	検体	ⅢL78	Ⅱb層		半円状扁平打製石器		火山岩	143.0	73.0	22.0	256.1		348	
223	5	検体	ⅢL78	Ⅱb層		半円状扁平打製石器		火山岩	114.0	66.5	19.9	158.9		347	
223	6	検体	ⅢV78	Ⅲ層		半円状扁平打製石器		デイサイト	200.0	82.0	18.0	251.1	刀部磨蝕	450	
224	1	検体	ⅢV78	Ⅲ層		加工型		砂岩	160.0	87.0	23.0	260.1	442		
224	2	検体	ⅢV78	I層		半円状扁平打製石器		緑色凝灰岩	174.0	106.0	27.0	546.5	未成品?	356	
224	3	検体	ⅢL76	Ⅱb層		礫石		火山岩	253.0	88.0	33.0	520.3	被蝕	441	
224	4	検体	ⅢF78	Ⅲ層		礫石		デイサイト	151.0	72.0	33.0	464.9		439	
224	5	検体	ⅢQ79	Ⅲ層		石礫		火山岩	90.0	52.5	23.0	127.2		440	
224	6	検体	ⅢK77	Ⅱb層		礫石		砂岩	135.0	54.0	40.0	379.8		435	
224	7	検体	ⅢZ79	Ⅱ～Ⅲ層		礫石	研・敲	凝灰岩	124.0	91.0	56.0	475.7		419	
224	8	検体	ⅢK77	Ⅱa層		礫石	研・敲	凝灰岩	99.0	81.0	31.0	291.4		404	
225	1	検体	ⅢL78	Ⅱb層		礫石		凝灰岩	106.0	146.0	41.0	886.7	中央部状の凹	403	
225	2	検体	ⅢK77	Ⅱb層		石皿		デイサイト	268.0	210.0	99.0	12100.0		444	
225	3	検体	ⅢK78	Ⅱa層		石皿		緑色凝灰岩	106.0	248.0	37.5	2983.6		391	
225	4	検体	ⅢL78	Ⅱb層		石皿		凝灰岩	277.0	179.0	78.0	4650.0	被蝕	394	
225	5	検体	ⅢK77	Ⅱb層		石皿		緑色凝灰岩	197.0	208.0	58.0	3736.3		393	
225	6	検体	ⅢQ77	Ⅲ層		石皿		砂岩	264.0	168.0	72.0	8000.0		395	
225	7	検体	ⅢQ77	Ⅲ層		石皿		緑色凝灰岩	258.0	255.0	49.0	3900.9		397	
225	8	検体	ⅢM78	Ⅱa層		石皿		緑色凝灰岩	225.0	292.0	64.0	5800.0		396	
225	1	検体	ⅢK78	Ⅱb層		石皿		デイサイト	178.0	222.0	41.0	2497.5	被蝕	392	
225	2	検体	ⅢK78	Ⅱb層		石皿		凝灰岩	211.0	189.0	60.0	2743.1	被蝕	395	
225	3	検体	ⅢK77	Ⅱb層		石皿		デイサイト	147.0	218.0	68.0	4000.0	他側一5個有り	389	
225	4	検体	ⅢK77	Ⅱb層		石皿		デイサイト	119.0	108.0	44.0	1768.7		390	
225	5	検体	ⅢK77	Ⅲ層		石礫	d	凝灰岩	31.5	14.0	4.0	1.1	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	311
225	6	検体	ⅢM78	Ⅲ層		石礫	a	凝灰岩	40.5	32.5	5.5	4.6	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	316
225	7	検体	ⅢK78	Ⅱa層		スライダ-型	a	凝灰岩	45.0	16.0	7.0	4.1	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	319
225	8	検体	ⅢK78	Ⅱa層		スライダ-型	a	凝灰岩	50.5	20.0	6.5	3.8	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	312
225	9	検体	ⅢK78	Ⅱb層		スライダ-型	a	凝灰岩	55.0	38.0	10.5	13.0	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	318
225	10	検体	ⅢQ78	Ⅲ層		削片		凝灰岩	46.0	38.0	12.0	14.9	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	315
225	11	検体	ⅢQ77	Ⅲ層		削片		凝灰岩	41.0	41.0	11.5	6.9	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	314
225	12	検体	ⅢK78	Ⅱb層		削片		凝灰岩	26.0	32.0	11.0	5.7	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	317
225	13	検体	ⅢK78	Ⅱa層		削片		凝灰岩	36.0	36.0	12.0	9.4	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	319
225	14	検体	ⅢK78	Ⅱa層		削片		凝灰岩	26.0	46.0	9.0	6.4	灰緑色、 磨削面	磨痕類合等質 磨削面	313
242	1	遺体外	ⅢJ74	Ⅲ層		石礫	b	凝灰岩	30.8	15.1	5.7	1.6			46
242	2	遺体外	ⅢQ76	Ⅱ～Ⅲ層		石礫	d	凝灰岩	34.6	22.1	5.9	3.7			43
242	3	遺体外	ⅢD68	Ⅲ層		石礫	d	黒曜石	25.2	14.7	4.8	1.4			黒曜石分析No. K26 298
242	4	遺体外	ⅢK79	Ⅲ層		石礫	f	凝灰岩	(19.0)	11.9	3.1	(0.4)			770#1
242	5	遺体外	ⅢG70	Ⅲ層		石礫	f	凝灰岩	26.8	16.8	3.4	0.7			玉髓質の凝灰岩片
242	6	遺体外	ⅢQ71	Ⅱ～Ⅲ層		石礫	c	凝灰岩	(46.4)	15.6	4.4	(2.5)			49
242	7	遺体外	ⅢD69	Ⅲ層		石礫	d	黒曜石	21.9	15.2	4.1	1.3			土地調査 - 正室石井 加工、No. K25 299
242	8	遺体外	ⅢY90	Ⅱ～Ⅲ層		石礫	a	凝灰岩	94.1	35.5	16.1	42.1			54
242	9	遺体外	ⅢG68	Ⅲ層		石礫	b	凝灰岩	75.7	23.4	8.1	19.0			53
242	10	遺体外	ⅢZへR S8-70	礫土	田56	スライダ-型	a	凝灰岩	106.3	49.8	27.6	92.4			217
242	11	遺体外	ⅢK79	Ⅲ～Ⅳ層		石礫	c	凝灰岩	39.8	56.3	8.2	11.0			裏面光沢
242	12	遺体外	ⅢK76	Ⅱ～Ⅲ層		黒曜石礫		凝灰岩	35.1	47.4	7.8	8.1			石礫?
242	13	遺体外	ⅢC60	Ⅲ層		石礫	a	凝灰岩	66.5	35.0	10.0	21.7			正室面光沢
242	14	遺体外	ⅢE66	Ⅲ層		石礫	d	凝灰岩	86.9	19.2	8.1	12.0			正室中央部へ尖端光沢
242	15	遺体外	ⅢM71	I層		石礫	a	凝灰岩	29.5	8.6	7.7	2.0			尖端磨蝕
242	16	遺体外	ⅢL76	Ⅲ層		石礫	b	凝灰岩	27.9	17.3	7.9	1.9			154
242	17	遺体外	ⅢE86	Ⅲ層		石礫	c	凝灰岩	39.5	14.6	8.9	4.5			132
242	18	遺体外	ⅢQ45	礫土		石礫	b	凝灰岩	(31.1)	24.7	8.2	(5.9)			131
242	19	遺体外	ⅢL77	Ⅲ層		石礫	b	凝灰岩	67.5	20.3	12.6	21.9			164
242	20	遺体外	ⅢK68	Ⅳ層		石礫	a	凝灰岩	89.8	38.8	15.6	37.4			176
242	1	遺体外	ⅢK78	Ⅲ層		石礫	b	凝灰岩	84.8	52.0	14.0	82.0			170
242	2	遺体外	ⅢA79	Ⅱ～Ⅲ層		石礫	a	凝灰岩	82.6	32.4	21.0	43.7			177
242	3	遺体外	ⅢF65	Ⅲ層		スライダ-型	a	凝灰岩	46.4	15.4	5.4	3.4			石蓋?
242	4	遺体外	ⅢE74	Ⅲ層		両面磨蝕石器		凝灰岩	65.0	89.4	17.9	83.6			250
242	5	遺体外	不明	黒色土		両面磨蝕石器		凝灰岩	35.2	47.9	19.2	36.8			256
242	6	遺体外	ⅢG66	Ⅲ～Ⅳ層		両面磨蝕石器		凝灰岩	39.4	64.9	14.9	31.6			258

第9表 石器観察表(13)

図章	番号	出土 地区	出土 層位	層位	その他 の注記	器種	器種 区分	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号	
	243	7	遺構外	不明	不明	石棒	α	黒曜石	29.0	24.2	3.9	2.0	黒曜石成分No. K10木造 出土品群	299	
	243	8	遺構外	Ⅱ～Ⅲ層		河原岡燧石錐		珪質頁岩	(72.6)	(31.8)	(15.8)	(32.0)	河原岡燧石打	294	
	243	9	遺構外	Ⅲ層		具形石錐		珪質頁岩	57.4	31.2	12.4	14.3		243	
	243	10	遺構外	Ⅳ層		石棒	α	珪質頁岩	66.8	94.1	65.2	371.3		299	
	244	1	遺構外	ⅢE66	Ⅳ層上面	石棒	a	珪質頁岩	70.8	96.7	42.0	252.3		298	
	244	2	遺構外	ⅢA-B 63～67	Ⅲ層	ⅢSD4	石棒	a	珪質頁岩	71.7	106.7	62.7	448.8		277
	244	3	遺構外	ⅢL75	Ⅲ層		磨製石斧	棕色岩	107.0	43.0	25.5	172.3		426	
	244	4	遺構外	ⅢE66	Ⅲ層		磨製石斧	棕色岩	97.0	56.0	32.0	272.8	磨切痕	432	
	244	5	遺構外	ⅢI74	Ⅲa層		磨製石斧	棕色岩	96.0	50.0	26.0	200.6	被熱	433	
	245	1	遺構外	ⅢE71	Ⅳ層		燧石		258.0	98.0	34.0	861.0		406	
	245	2	遺構外	ⅢA-B 63～67	Ⅲ層	ⅢSD4	燧石		146.0	39.0	38.0	222.6		227	
	245	3	遺構外	ⅢA-B 63～67	Ⅲ層	ⅢSD4	燧石		117.0	46.0	19.0	159.7		228	
	245	4	遺構外	ⅢA-B 63～67	Ⅲ層	ⅢSD4	燧石		147.0	83.0	44.0	662.7		229	
	245	5	遺構外	ⅢF67	Ⅲ層		燧石	Ⅲ+磨+ 絞	180.0	69.0	33.0	619.9		406	
	245	6	遺構外	ⅢB 69～70	Ⅲ層	ⅢSD6	燧石		174.0	60.0	48.0	725.2		229	
	245	7	遺構外	ⅢK69	Ⅳ層		燧石	Ⅲ+磨	90.0	88.5	53.0	599.1	被熱	414	
	245	8	遺構外	ⅢL78	Ⅲ-1層		燧石		119.0	62.0	55.0	351.3	下部磨面端で割れ	317	
	245	9	遺構外	ⅢI74	Ⅲ層		燧石		186.0	61.0	34.0	377.8	浅い凹み状の磨	417	
	245	10	遺構外	ⅢK78	Ⅲ層		燧石		144.5	48.5	36.0	309.7		512	
	245	1	遺構外	ⅢV82	Ⅲ～Ⅳ層		磨石		106.0	65.0	39.0	476.5		422	
	245	2	遺構外	ⅢA-B 63～67	Ⅲ層	ⅢSD4	磨石	磨+磨	156.0	58.0	66.0	921.7		231	
	245	3	遺構外	ⅢI77	Ⅲ層		半円状扁平打 製石錐		162.0	116.0	22.0	560.0		431	
	245	4	遺構外	ⅢG74	Ⅲ層		半円状扁平打 製石錐		136.0	79.0	17.0	276.2		423	
	245	5	遺構外	ⅢH78	Ⅲ層		半円状扁平打 製石錐		134.0	95.0	21.0	432.3	被熱	367	
	245	6	遺構外	ⅢA-B 63～67	Ⅲ層	ⅢSD4	楕円扁平打 製石錐		84.0	116.0	17.0	196.4		232	
	245	7	遺構外	ⅢF78	Ⅲ層		半円状扁平打 製石錐		126.5	61.0	18.5	181.1		420	
	245	8	遺構外	ⅢI81	Ⅲ～Ⅲ層		石皿		113.0	83.0	54.5	417.6	59-4-152-9と同一個体?	446	
	245	9	遺構外	ⅢC73	Ⅳ層上面		石皿		209.0	172.0	51.5	3106.8		443	
写真 150	①	遺構外	149717	I層	分布調査	磨製石斧		青色片岩	98.0	46.0	15.0	93.0	被熱?	590	
写真 151	②	棒棒	ⅢJ78	Ⅲa層		接合資料		珪質頁岩	58.0	89.0	20.5	91.7	写真151(2)と同一個体、 磨石と接合	329	
写真 151	③	棒棒	ⅢI78	Ⅲa層		接合資料		珪質頁岩	66.0	82.0	33.0	82.4	写真151(1)と同一個体、 磨石と接合	321	



第10表 土製品観察表

調査号	出土 地区	出土 位置	層位	器種	文様など	計測値(cm)			重量 (g)	備考	整理 番号
						長・高さ	幅・口径	厚さ			
61-15	遺構内	S16	厚土	円筒状土製品	単脚LR	5.0	5.2	1.4	24.7		v245
61-16	遺構内	S16	1層	円筒状土製品	LR	5.3	5.2	1.8	45.6		v247
60-8	遺構内	S116	2層	円筒状土器	簡文	(4.8)	—	(2.2)	3.0		F0600
60-6	遺構内	S119	4層	円筒状土器	簡文	7.3	4.3	4.6	70.6		F0084
67-5	遺構内	S132	厚土	円筒状土器	簡文	3.1	1.9	0.7	19.3		w5
60-7	遺構内	S136	厚土	円筒状土製品	RL単脚輪糸体第1型	5.6	5.8	1.3	34.1		v243
66-9	遺構内	S140	3~4層	土塊	柄杓	4.7	3.1	1.7	19.8		w21
66-10	遺構内	S140	上層	円筒状土器	簡文	2.6	2.5	0.7	7.0		v239
66-11	遺構内	S140	1層	円筒状土器	沈線	4.7	3.2	0.8	24.7		w15
66-8	遺構内	S141	厚土	円筒状土製品	底前段反拗り単脚LR	4.8	4.9	1.2	32.6		v249
100-9	遺構内	S146a	灰産	円筒状土器	簡文	(7.7)	(4.2)	1.4	36.2		w6
100-10	遺構内	S146a	灰産層土	土塊	柄杓	11.4	8.7	2.1	77.7		w5
100-11	遺構内	S146a	厚土	円筒状土製品	単脚LR	5.0	3.0	0.8	6.6		v244
106-2	遺構内	S151a	厚土	円筒状土製品	複脚LR	3.7	4.0	1.2	18.9		v245
106-16	遺構内	S152	厚土	円筒状土製品	L単脚輪糸体第1型	4.6	4.8	1.4	28.3		v241
117-8	遺構内	S164	上面	円筒状土製品	単脚LR	6.7	6.3	1.6	29.4	裏面に灰粉付着	v242
136-3	遺構内	SK24	雑砂面	不明土製品	簡文	1.7	3.1	1.8	8.3		v230
137-13	遺構内	SK32	上層	円筒状土器	簡文	5.4	4.6	0.8	36.6	内面に赤顔料付着。粘土接合痕	w2
147-10	遺構内	SK92	上層	円筒状土器	簡文	1.6	4.0	1.0	15.1		v239
147-11	遺構内	SK92	上層	円筒状土製品	簡文	3.6	3.5	0.9	11.6		v238
147-12	遺構内	SK92	上層	円筒状土製品	沈線・沈線に伴う細段隆帯・L泡	5.0	4.9	1.0	29.0		P0075
148-11	遺構内	SK101	3層	土塊	柄杓	5.3	5.0	1.7	32.6		w9
148-12	遺構内	SK101	3層	円筒状土製品	簡文	4.1	7.0	1.5	48.9		v28
227-3	検砂	SK76	1層	円筒状土器	柄杓	2.4	2.8	1.6	7.4		v192
227-6	検砂	SK176	I~II層	円筒状土製品	簡文	2.3	3.4	3.5	16.6		w5
227-7	検砂	SK177	II~III層	円筒状土製品	LR単脚輪糸体第1型	5.4	5.4	1.1	31.3	裏面に灰粉	w16
228-2	検砂	SK176	II~III層	円筒状土器	L単脚輪糸体第1型	1.5	3.4	0.5	6.9		w6
228-3	検砂	SK178	II~III層	三角形土器	沈線	3.6	(2.9)	1.1	9.6		v147
228-4	検砂	SK177	II~III層	不明土製品	簡文	5.8	(4.2)	2.7	46.2	穿孔・土塊か	w15
228-6	検砂	SK177	II~III層	円筒状土器	LR単脚輪糸体第1型	3.2	4.7	1.1	8.4	粘土接合痕	v146
230-6	検砂	SK176	II~III層	円筒状土器	簡文	3.0	3.5	0.6	7.7	粘土接合痕	w7
231-2	検砂	SK176	II層	土塊	柄杓	(2.1)	(2.9)	1.1	4.6		v19
231-3	検砂	SK177	II層	土塊	柄杓	(5.9)	6.6	1.96	36.2		w93
233-5	検砂	SK779	II層	円筒状土製品	簡文	3.6	4.0	0.8	11.2		v205
233-6	検砂	SK779	II層	円筒状土器	簡文	(3.0)	(4.1)	1.0	19.5		w197
234-1	検砂	SK176	II層	円筒状土器	L単脚輪糸体第1型	4.6	4.0	0.9	21.6	穿孔	w5
234-2	検砂	SK176	II層	円筒状土製品	柄杓	(2.7)	(2.4)	1.3	7.4		v32
234-6	検砂	SK177	II層	粘土塊	クワシ型	(2.0)	2.0	0.9	2.0		v124
236-1	検砂	SK180	II層	円筒状土製品	簡文	4.5	4.2	0.6	12.1	縁辺部を研磨	w10
236-3	検砂	SK177	II層	円筒状土製品	単脚LR	3.8	3.6	0.9	11.9		v109
236-8	検砂	SK177	複土	円筒状土製品	底前段反拗り複脚LR	6.7	7.7	1.2	60.3		w19
247-1	遺構外	SK067	煎層	土塊	柄杓	3.9	3.2	4.1	25.5		w4
247-2	遺構外	SK176	煎層	土塊か	簡文	1.8	1.3	1.6	2.9		w8
247-3	遺構外	SK064	IV層	土塊か	簡文	2.1	1.9	2.1	5.8		w9
247-4	遺構外	SK173	煎層	円筒状土製品	単脚LR	4.8	7.3	1.3	40.2	黒化層?ハ	w67
247-5	遺構外	SK065	IV層	円筒状土製品	単脚LR	4.5	4.6	1.0	21.4		v24
247-6	遺構外	SK076	複土	円筒状土製品	R線部	4.4	4.1	1.0	13.6		w12
247-7	遺構外	SK176	II~III層	円筒状土製品	単脚LR	4.2	4.4	1.1	21.4		w11
247-8	遺構外	SK180	II層	円筒状土製品	単脚LR	5.5	4.8	1.2	21.8		w201
247-9	遺構外	SK181	II~III層	円筒状土製品	LR単脚輪糸体第1型かJ型	4.2	4.2	1.3	21.8		w190
247-10	遺構外	SK168	煎層	三角形土器	沈線	3.6	3.4	1.2	9.7		v67
247-11	遺構外	SK167	煎層	三角形土製品	沈線	2.9	2.7	0.7	5.0	穿孔	w9
247-12	遺構外	SK174	煎層	円筒状土器	簡文	3.2	5.2	0.6	46.9	指痕	v29
247-13	遺構外	SK176	煎層	円筒状土器	簡文	1.7	3.2	1.1	4.9		w9
247-14	遺構外	SK076	複土	円筒状土器	簡文	1.9	2.6	0.7	6.6	粘土接合痕	w14
247-15	遺構外	SK176	II層	円筒状土器	簡文	5.1	(4.0)	0.7	39.5	粘土接合痕	w28
247-16	遺構外	SK179	厚土	円筒状土器	簡文	4.5	4.7	1.3	23.3	粘土接合痕	v215
247-17	遺構外	SK174	煎層	不明土製品	水滲痕	(3.2)	(3.7)	1.4	11.3		w6
247-18	遺構外	SK166	煎層	不明土製品	沈線・捺痕文・単脚LR	4.1	3.5	1.2	16.7		v25

第11表 石製品観察表

調査号	出土 層位	出土 位置	層位	器種	計測値(cm)			重量(g)	石材	備考	整理 番号
					長さ	幅	厚さ				
63-1	遺構内	S16	1層	不明石製品	16.2	9.5	1.1	475.1	粘板岩	敲打痕、剥離	y89
70-8	遺構内	S21	不明	石棒	14.4	5.8	4.1	494.0	流紋岩		y97
79-8	遺構内	S122	A区直層	石剣	11.8	3.6	1.3	75.5	粘板岩	欠損、敲打痕、スリ	y1
82-3	遺構内	S156	厚土	不明石製品	4.7	4.4	2.1	66.4	粘板岩	スリ、擦痕	y28
82-4	遺構内	S156	厚土	不明石製品	3.7	7.1	0.7	33.8	粘板岩	敲打痕、剥離	y87
87-4	遺構内	S152	中層	石棒	29.6	11.3	9.1	4200.0	流紋岩	スリ、敲打痕、磨滅、台石に転用可	y91
91-3	遺構内	S136	11層	磨石鏡	6.4	(4.2)	2.8	92.9	粘板岩	欠損、磨石転用、研磨面可	y2
92-3	遺構内	S136	上層	不明石製品	9.2	4.7	0.7	37.1	粘板岩	敲打痕、剥離	y3
100-12	遺構内	S145	1層	不明石製品	3.6	2.0	0.4	4.2	粘板岩	欠損、敲打痕	y7
100-13	遺構内	S145	厚土	不明石製品	4.9	1.6	0.2	3.2	粘板岩	欠損、敲打痕、剥離	y8
106-3	遺構内	S161	厚土	不明石製品	7.8	1.9	0.5	9.4	粘板岩	敲打痕	y9
109-4	遺構内	S163	上層	円盤状石製品	4.8	4.3	2.1	34.2	粘板岩	欠損、スリ	y10
109-5	遺構内	S163	床面	円盤状石製品	(4.2)	(4.7)	1.0	25.4	粘板岩	欠損、スリ	y13
109-3	遺構内	S163	1~2層	円盤状石製品	3.2	2.8	0.3	4.3	粘板岩	スリ	y6
112-5	遺構内	S166	厚土	不明石製品	5.5	2.7	7.6	13.2	粘板岩	欠損、敲打痕	y11
122-4	遺構内	S166	5層	石刀	(16.7)	5.7	1.3	159.6	粘板岩	欠損、スリ	y96
130-3	遺構内	SK59	厚土	円盤状石製品	1.9	1.9	0.8	3.2	粘板岩	擦痕	y24
138-22	遺構内	SK41	12層	不明石製品	2.0	1.9	0.5	3.4	粘板岩	欠損、敲打痕、剥離	y4
149-4	遺構内	SK54	6層	有孔石製品	(5.0)	5.7	2.1	53.4	粘板岩	欠損、回転穿孔	y25
149-8	遺構内	SK62	厚土	磨石鏡	7.3	4.2	3.3	134.3	粘板岩	欠損	y112
142-7	遺構内	SK72	厚土	不明石製品	(5.7)	(4.3)	1.0	36.7	粘板岩	欠損、敲打痕	y17
227-1	拾得	直177	I層	円盤状石製品	4.7	4.8	0.7	18.6	粘板岩	敲打痕、剥離	y89
227-2	拾得	直174	I層	円盤状石製品	3.9	4.0	1.7	27.5	粘板岩	擦痕	y84
227-4	拾得	直177	I層	円盤状石製品	10.2	10.7	1.3	167.5	粘板岩	敲打痕、剥離	y101
227-6	拾得	直176	I・II層	有孔石製品	6.1	5.7	2.9	64.4	粘板岩	敲打穿孔、未製品	y100
227-8	拾得	直177	II・III層	石棒か	4.4	5.3	3.5	45.0	粘板岩	欠損、スリ、未製品	y98
228-1	拾得	直K77	B a層	磨石鏡	4.6	4.9	1.4	49.0	粘板岩	擦痕	y82
228-6	拾得	直K78	B a層	石棒	7.1	7.1	6.3	260.1	火山石		y110
228-7	拾得	直M78	B a層	棒状物	377	76	58	2130.6	ゲイサイト		y120
228-8	拾得	直M78	B a層	石棒	303	90	33	4000.0	流紋岩		y121
229-1	拾得	直M78	B a層	石棒	339	91	74	5400.0	流紋岩		y120
229-2	拾得	直K77	B b層	磨石	15.7	7.9	3.5	218.3	粘板岩	擦痕、敲打痕	y22
229-1	拾得	直K77	B b層	円盤状石製品	9.6	10.2	3.2	264.2	粘板岩	敲打痕	y109
230-2	拾得	直L78	B b層	円盤状石製品	9.8	9.6	1.1	101.6	粘板岩		y19
230-3	拾得	直L78	B b層	不明石製品	8.6	11.4	1.9	179.2	粘板岩	敲打痕、剥離	y106
230-4	拾得	直L78	B b層	磨石鏡	8.4	4.2	1.6	58.2	粘板岩	敲打痕	y78
230-6	拾得	直L78	B b層	不明石製品	3.6	3.4	1.7	14.9	粘板岩	敲打・回転穿孔	y111
231-1	拾得	直J77	B層	円盤状石製品	5.1	(6.5)	1.3	41.8	粘板岩	欠損、擦痕、敲打痕	y39
231-4	拾得	直L78	B層	有孔石製品	5.2	4.4	1.5	30.4	粘板岩	擦痕、回転穿孔	y21
231-5	拾得	直L77	B層	円盤状石製品	14.6	10.7	2.8	579.5	粘板岩	敲打痕	y107
232-1	拾得	直M78	B層	石棒	230	79	74	2271.5	流紋岩		y122
232-2	拾得	直177	B層	不明石製品	7.2	7.4	3.76	155.9	粘板岩	敲打痕	y70
233-1	拾得	直178	B層	石棒	267	91	84	3420.3	流紋岩		y124
233-2	拾得	直178	B層	磨石鏡	4.7	2.5	0.7	9.7	粘板岩	スリ、回転穿孔	y30
233-3	拾得	直179	B層	石棒	200	57	57	1093.1	流紋岩		y126
233-4	拾得	直179	B層	不明石製品	2.9	2.8	1.9	19.2	粘板岩	擦痕	y62
234-3	拾得	直Q79	B層	有孔石製品	15.8	9.4	3.0	446.3	粘板岩	敲打穿孔、円形磨滅	y113
234-4	拾得	直S77	B層	不明石製品	9.4	2.3	0.6	18.5	粘板岩	敲打痕	y68
234-5	拾得	直T77	B層	石棒	278	94	75	2269.6	流紋岩		y126
235-2	拾得	直Y77	B層	磨石鏡	7.3	4.9	2.1	110.1	粘板岩	回転穿孔、未製品	y29
235-4	拾得	直O78	B層	磨石鏡	3.3	3.5	2.0	16.1	粘板岩	擦痕、回転穿孔、未製品	y21
235-5	拾得	直S78	II~III層	磨石鏡	7.8	1.7	0.9	25.1	粘板岩		y27
235-6	拾得	直H77	覆土	円盤状石製品	2.9	3.0	1.2	9.5	粘板岩	擦痕	y63
235-7	拾得	直H77	覆土	円盤状石製品	3.8	3.8	1.4	18.9	粘板岩	擦痕、回転体による磨滅	y23
248-1	遺構外	直S80	II~III層	円盤状石製品	5.1	5.3	0.7	19.1	粘板岩	敲打痕	y60
248-2	遺構外	IV B89	黒色土	円盤状石製品	4.3	5.2	0.9	27.1	粘板岩	敲打痕	y47
248-3	遺構外	-	-	円盤状石製品	6.2	5.1	0.7	22.5	粘板岩	敲打痕	y18
248-4	遺構外	IV A82	厚層	石棒	301	72	66	2314.6	流紋岩		y127
248-5	遺構外	直A64	赤土	円盤状石製品	(5.0)	7.8	1.4	75.3	粘板岩	欠損、敲打痕	y25
248-6	遺構外	直M79	赤土	円盤状石製品	9.8	8.8	0.9	96.5	粘板岩	敲打痕、剥離	y61
249-1	遺構外	直U80	II~III層	磨石鏡	3.6	2.5	0.4	3.2	粘板岩	敲打痕、回転穿孔	y42
249-2	遺構外	直V76	黒色土	不明石製品	5.9	3.7	1.4	37.0	磨石鏡	磨石石棒転用、強い沈痕	y21
249-3	遺構外	直Y80	厚層	不明石製品	6.1	6.2	3.8	147.0	粘板岩	敲打痕	y42
249-4	遺構外	直J75	覆土	不明石製品	9.9	5.8	1.5	52.9	粘板岩	敲打痕	y118